

# 研究紀要

## 研究主題

社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～



# 目 次

はじめに	校 長 石井 正広	1
I II III 研究の概要		2
IV各学年の実践		
○第1学年生活科		
单元名 「なつがやってきた」		20
单元名 「たのしいあきいっぱい」		32
第1学年分科会の成果と課題		51
○第2学年生活科		
单元名 「ぐんぐんそだてわたしのやさい」		52
单元名 「もっとなかよしまちたんけん」		65
第2年生分科会の成果と課題		78
○第3学年社会科		
单元名 「新宿区の移り変わり」		81
第3学年分科会の成果と課題		93
○第4学年社会科		
单元名 「ごみはどこへ」		95
单元名 「受け継がれる祭りと文化財」		107
第4学年分科会の成果と課題		123
○第5学年社会科		
单元名 「低い土地の暮らし」		125
单元名 「暮らしと産業を変える情報通信技術」		135
第5学年分科会の成果と課題		151
○第6学年社会科		
单元名 「わたしたちの暮らしと日本国憲法」		154
单元名 「明治の新しい国づくり」		164
第6学年分科会の成果と課題		177
○専科分科会の取組・成果と課題		178
V 研究のまとめ		
○児童のアンケート分析・研究の成果と課題		179
おわりに	副校長 田内 利美	
研究に携わった教職員		

## はじめに

令和5年度の全国小学校社会科研究協議会東京大会の前年に、東京都のまん延防止等重点措置期間が終了し、学校では様々な学習活動への制約が緩和され、グループ活動や話し合い活動の充実への道が開かれました。そして、今年度は、全国大会に向けて、指導案の検討段階から都小社研の四谷小学校会場担当研究推進委員の皆さんにご参画いただきながらの授業づくりが始まりました。また、全国大会の第一会場として、令和4年11月11日にはプレ発表会を開催することになりました。陸上の三段跳びで言う「ホップ・ステップ・ジャンプ」の「ステップ」の年にあたります。

今年度は、都小社研の授業づくりの考え方を理解したうえで、授業公開と授業提案という形で研究内容の具体化が求められる1年間となりました。そのために、本校では、年度当初から綿密な研究計画を立て、次の4点に注力して研究に取り組んできました。

- 1 研究主題に迫ることができるような教材開発をすること
- 2 都小社研の理論に基づいた単元構想をすること
- 3 四谷小の特色である「自分発—みんな経由—自分行き」の授業づくりをすすめること
- 4 都小社研の助言者管理職及び研究推進委員の先生方と協働して授業をつくること

このような中、9月までに各学年1本ずつ合計6本の研究授業を実施し、プレ発表会では、全学年で2学級ずつの授業公開を行うことができました。プレ発表会では、授業公開とともに、本時までの子供の学習記録を補助資料として取りまとめ、子供の姿を基によりよい授業づくりを協議できるように準備し、都小社研の方々と授業提案ができたことは大きな成果だったと考えています。本紀要において、実践授業の様子や研究成果の一端を紹介させていただきました。社会科の授業実践に取り組まれている先生方に参考になることをお届けできれば幸いです。

一方で、本大会に向けて様々な授業づくりの課題も見えてきました。

- 本時の授業のねらいをよりシャープにして学びの焦点化を図ること
- 子供が主体的に追究できるように学習問題を設定したあとの学習計画を吟味すること
- 子供がより対話的に学び合い生き生きと活躍できるようにすること

令和5年度は、4月からこれらの課題の解決に取り組み、大会の成功につなげていきたいと考えています。

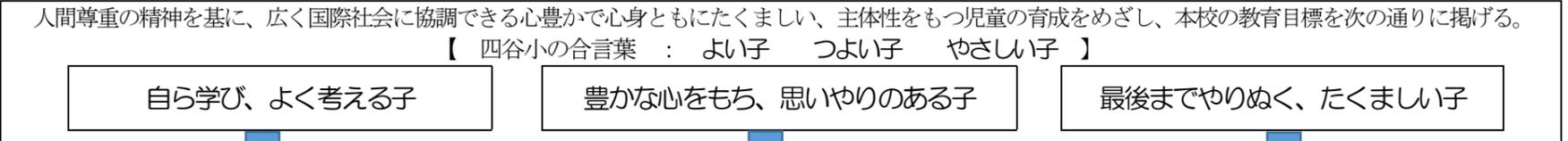
結びに、本校の研究にご指導いただきました、大妻女子大学教授 澤井陽介先生、文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉勝登先生、元聖徳大学大学院教授 廣嶋憲一郎先生、その他ご指導いただきました全ての先生方、そして、針谷弘志教育長はじめ新宿区教育委員会の皆様に、この場をお借りして深く感謝申し上げます。

令和5年3月 石井 正広

I 研究の概要

1 学校教育目標と研究主題との関連

四谷小学校の教育目標と研究主題との関連を踏まえて、各学年及び各教科・領域で目指す子供像を整理すると以下ようになる。



教育課程全体を通して育成する児童像 **豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童** 「学習指導要領総則第1章第1の3」より

— 未来社会を創造する主体としての自覚を一人一人の子供に育んでいくことが大切 —

未来には明るい社会が待っていると考えられる子供 そうした社会は自らの力で創造できると信じられる子供 未来に向かって前向きで誠実に行動し続けようとする子供

【 2050年に生きる8つの日本人像 】 ※総務省・国土交通省・環境省などの資料より作成

○グローバル社会の中で多様性を認め積極的なコミュニケーションを通して互恵関係を成立させる。 ○デジタル技術を活用して社会課題を解決し新しい生活様式を創造する。  
 ○日本の強みや良さ(和・匠・美)を生かして世界に貢献しようとする。 ○高齢化社会(65歳以上の高齢者4割・生産人口5割)を支え合う国や社会の仕組みを構築する。  
 ○カーボンニュートラルの社会を実現する生活様式を選択しようとする。 ○人口減少する地方の地域資源を地域内で循環できるシステムやスマートシティーを形成する。  
 ○甚大化する自然災害に備えて自助・共助の取組を進め防災主流の社会を創ろうとする。 ○創造的思考力で「自分らしい」人生を描こうし、個人の継続的スキルアップに取り組む。

【 研究主題 】

## 社会とつながり未来を創る子供の育成

論理的に考え説明し話し合っ課題を解決する子供 仲間と工夫し協力して目標を実現していく子供 学習課題の解決に向け見通しを持ち学びを振り返って粘り強く追究する子供 人・もの・ことの動きを理解し学びを生活に生かしていく子供 地域や日本の良さを感じ世界に目を向ける子供 社会の発展を願い未来に希望を持ちよりよい社会を創ろうとする子供

【四谷地区全体で育てる子供像：地域に貢献できる子供】

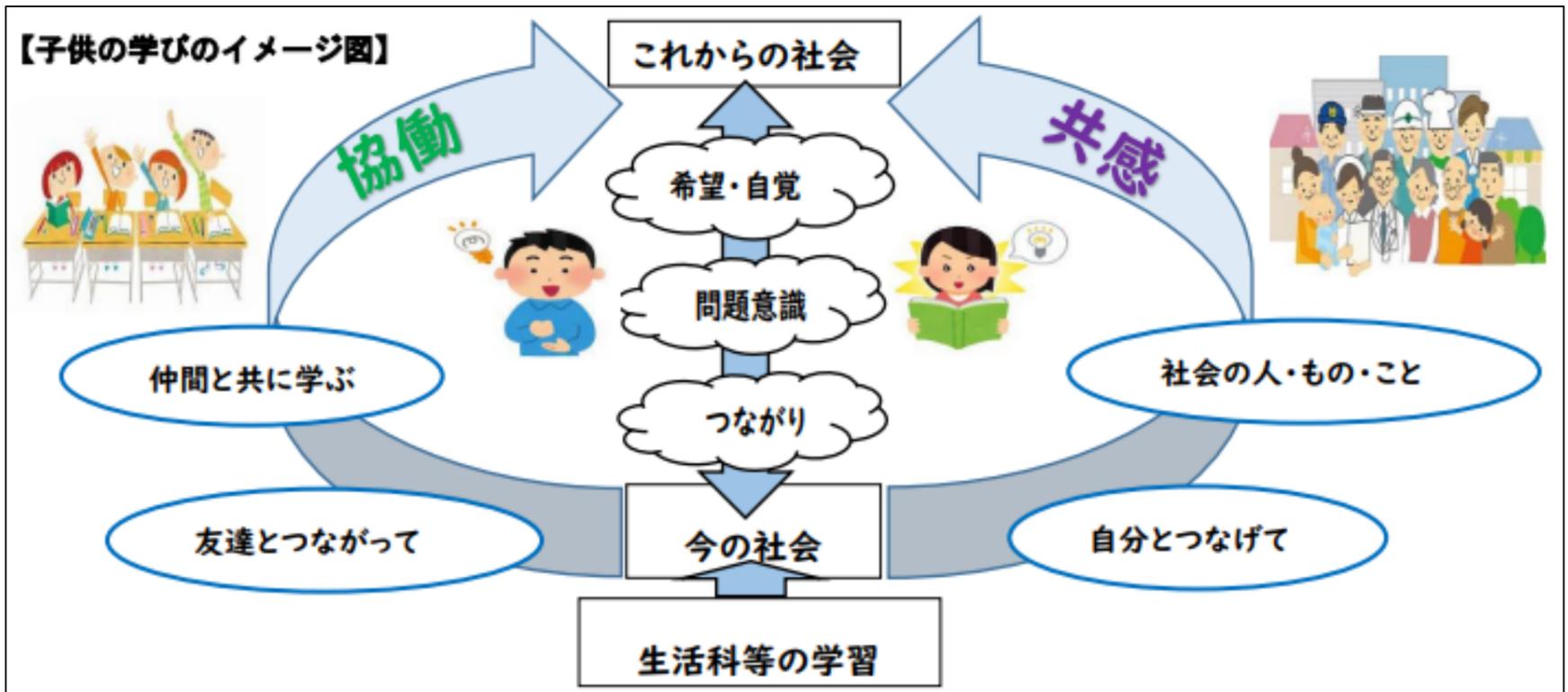
1年	よく聞いて、しっかり考える子供	友達にやさしい子供	最後までがんばる子供
2年	話をよく聞き、自分の考えをもてる子供	相手の気持ちを考え、やさしくできる子供	最後までがんばる子供
3年	自分の考えをもち、相手に伝えようとする子供	友だちの意見や考えをよく聞き、協力し合える子供	何事にも「やってみよう」と考えることのできる子供
4年	課題を把握し、目的に向かって自ら考え行動する子供	仲間を尊重し、様々な活動に対して協働的に取り組む子供	問題や課題を自分事として受け止め、最後まで粘り強くやりぬく子供
5年	自分の考えをもち、説明したり、発信したりする子供	友達の考えや意見を尊重し、認め合える子供	前向きにチャレンジする子供
6年	自分の考えをもち、意欲的に学習や活動にとりくむ子供	互いの立場や考えを尊重し協力し合える子供	目標に向かって最後まで努力する子供

国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育	外国語	生活
◆日本語の良さや美しさを理解し、言語文化に親しむことができる子供	◆社会をよく見て、今の社会の様子や仕組みと変わりつつある社会の動きが分かる子供	◆数などの性質を理解し、日常の事象を数理的に処理できる子供	◆自然の事象・現象に進んで関わり、学んだことを学習や生活に生かそうとする子供	◆曲のよさを要素などから気付いたり理解したりするとともに、音楽表現をする為に必要な技能を身に付けようとする子供	◆造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解し、材料や用具を使い、表し方を工夫する子供	◆家族や家庭生活、消費や環境について理解し、それらに係る技能を身につけようとする子供	◆各種の運動の行い方や身近な生活における健康・安全について理解し、基本的な動きや技能を身に付ける子供	◆外国や外国語の文化に興味をもち、親しむことができる子供	◆社会や自然の変化に気づき、日常生活に生かすことができる子供
◆自分の思いや考えをもって、正しい言葉で伝え合うことのできる子供	◆問いをもち、くらべたりつなげたりして社会的事象の特色や意味を考える子供	◆数量や図形などの性質を見だし、統合的・発展的に考察したり事象を目的に応じて柔軟に表したりする子供	◆予想や仮説、実験の計画を立て、見通しをもって考え理解しようとする子供	◆自分の思いや意図を音楽で表現しようとする子供	◆造形的なよさや表したいこと、表し方について考えたり、作品から自分の見方や感じ方を広げたりする子供	◆日常生活の中から問題を見出して、家族の一員として、生活をより良くしようと考え、工夫や改善に取り組む子供	◆運動や健康についての自己の課題を見付け、その解決に向けて思考、判断し他者に伝える子供	◆外国語の表現に興味をもち、相手に伝わるよう工夫して外国語を用いて他者とコミュニケーションを図ろうとする子供	◆学んだことを他の事象と結び付けて考え、表現できる子供
◆言葉や文章を通して、自分と世界とのつながりを、考えたり表現したりしようとする子供	◆社会の出来事を自分とつなげ、よりよい社会づくりに関わっていかうとする子供	◆算数で学んだことを日常生活や学習で生かそうとする子供	◆学習を振り返り、自己の変容を自覚し、新たな問いを見いだす子供	◆様々な音楽に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしてようとする子供	◆つくりだす喜びを味わうとともに、形や色に関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする子供	◆家族の一員として、家庭生活や地域の人々とのかかわりを大切にしようとする子供	◆運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む子供	◆外国語や外国の文化に興味をもち、進んでコミュニケーションを図ろうとする子供	◆身近な人々や自然、地域に進んで関わりをもち、楽しみを見出すことができる子供
総合的な学習の時間									
◆学習テーマに応じて、適切な手段で情報を集め、活用することができる子供									
◆知識と疑問から学習問題を考え、情報を集める手段と内容を精選し、適切に活用しながら表現することができる子供									
◆切実感をもって課題解決に向けて取り組もうとする子供									
道徳	◆多様な考えがあることを前提とし、道徳的諸価値について考え理解しようとする子供								
	◆道徳性を養う上で自己を見つめ、よりよく生きるために物事を多面的・多角的に考えようとする子供								
	◆道徳的価値の理解を基に、自己の生き方について多面的・多角的に考えようとする子供								
特活	◆違いを認め合い、みんなと共に生きていこうとする子供								
	◆「個と個」や「個と集団」の関わりを通して、よりよい集団や社会を創ろうとする子供								
	◆将来を見通して、今の自分にできることを考え、なりたい自分に向けてがんばろうとする子供								

## 2 「社会とつながり未来の社会を創る子供」のイメージ

「持続可能な社会の創り手」となる学びは、どの教科・領域においても行われるものであるが、「社会とつながり未来を創る子供の育成」においては、子供が生活する社会を学習の対象や舞台とする総合的な学習の時間や生活科・社会科が担う役割は大きい。本校では、社会科、生活科、総合的な学習の時間など教科横断的に多岐に渡って四谷地域の方々と関わりをもつ機会があり、学習したことを交流したり、発信したりする活動を通して社会とのつながりがある。

「社会とつながり未来を創る」学びのイメージを社会科において描いてみると下図のようになる。子供たちは、社会とつながりながら、問題意識をもち、人物の営みに共感し、仲間と協働して追究・解決していくことを通して、これからの社会への希望やその社会の創り手としての自覚が涵養されていくものと考えている。



## 3 都小社研の研究内容と本校の研究内容の関連

都小社研の研究と四谷小学校の研究との関連については、これまでの研究実績を基に、下の表のように整理できる。

都小社研の研究副主題		四谷小学校の授業づくりの特色	
社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して		「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくりを通して主体的・対話的に学び、自らの考えを深めることを目指す。	
都小社研の研究内容 ※「授業づくりガイドブック」より引用		四谷小学校の研究（授業づくりの手だて）の重点	
		社会科の研究（授業づくりの手だて）	教科共通の研究（授業づくりの手だて）
教材開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会とのつながりを意識できる教材</li> <li>○問題意識をもち追究意欲を高める教材</li> <li>○東京らしさやよさを感じ、都民の誇りがもてる教材</li> <li>○人の営みや働きに共感できる教材</li> <li>○時間的、空間的、相互関係的な視点に着目できる教材</li> <li>★学習指導要領解説に基づき、「知識・見方・考え方・資料・問い」の観点から教材を分析して単元を構想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子供の社会生活とのつながりから問いを見いだせる教材や事例を開発する。</li> <li>●人の営みや働きに共感し、未来の社会を創るモデルとなる地域人材の教材化を進める。</li> <li>★学習指導要領解説に基づき、「知識・見方・考え方・資料・問い」の観点から教材を分析して単元を構想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教科特有の見方・考え方が働くように、教科書の分析・活用を進め、未来につながる教材を教科書にプラスして用意する。</li> <li>●子供の生活につながる教材や未来社会につながるよう教材を取り入れる。</li> <li>●デジタル教材を積極的に取り入れて、タブレットPCを効果的に活用していく。</li> </ul>
研究内容 1	<p>◇主体的に問いを追究する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会とのつながりに気付き問題意識が高まり問いが生まれる社会的事象との出会いの工夫</li> <li>・学習問題の設定と予想や学習計画の立案の工夫や自己調整を促す工夫</li> <li>・児童の思考の過程に即して社会とのつながりが広がっていく問いの構成を想定</li> </ul>	<p>◆主体的に問いを追究する工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の問題解決的な学習過程と子供の思考の流れを大切に「問い」の構成を描く。</li> <li>・問題意識：社会的事象との出会いを工夫して個々の問題意識を高めて「問い」をつかむ。</li> <li>・みとおし：学習問題の解決の見通しがもてるように学習計画を立てる。</li> <li>・えらぶ：資料、調べる内容や方法などを選んで追究する場面や時間を設定する。</li> <li>・学び合い：友達や社会の人から学び、考えを広げ深める場面や時間を設定する。</li> </ul>	<p>◆自分タイム→みんなタイム→振り返りタイムの授業展開の充実を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の「めあて」「問い」「学習課題」等を子供が意識して学習がスタートできるよう工夫し、板書しノートに明文化する。</li> <li>・一人学びが成立するように支援する。</li> <li>・一斉学習でも、内容や方法などを子供が選んだり、ペアやグループの学習など多様な学習形態を取り入れたりする。</li> <li>・協働的な学びの質が高まる板書や発問の工夫、思考ツールやタブレットPCを活用する。</li> </ul>
研究内容 2	<p>◇社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点に着目して問いについて、社会的事象や人とのつながりを意識して調べる学習活動の工夫</li> <li>・比較・分類・関連付け・総合したり、自分たちの地域や国民生活と関連付けたりして考察・説明する学習活動の工夫</li> <li>・これまでに養われた視点や方法を転移・応用させ社会に見られる課題の解決に向けて構想・議論する学習活動の工夫</li> </ul>	<p>◆社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視点に着目した「問い」を子供と設定する。</li> <li>・ひろがりで見ると資料、経過で見ると資料、関係で見ると資料に焦点化して調べる。</li> <li>・調べたことや様々な立場を比較、分類、関連、総合したり、生活と関連付けたりして意味を考えたりする話し合いや表現活動を設定する。</li> <li>・つなぐ段階を設定し、発展や選択・判断について考え主張し合う。</li> </ul>	<p>◆教科特有の見方・考え方が働くような教材を用意し、提示や子供の活用方法を工夫したり、見方・考え方を働くことを促す発問などを工夫したりする。</p> <p>◆教科の特性に応じて、比較・分類・関連付けなどの思考方法が働くような問いや学習活動を工夫したり、や思考ツール、タブレットPCの共有ソフトを活用した学習活動を工夫したりする。</p>
研究内容 3	<p>◇学びを確かにする評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3観点による評価計画の作成</li> <li>・指導と評価の一体化を図る（教師が指導に生かす）ための評価の工夫</li> <li>・子供が自分の学びを振り返り、次の学びやよりよい社会づくりに生かそうとする評価の工夫</li> </ul>	<p>◆学びを確かにする評価の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3観点での評価計画を作成し、まとめる場面での子供の表現内容を教師が想定して適切に学習状況の評価ができるようにする。</li> <li>・毎時の振り返りと学習段階ごとの振り返りの時間を設定して、学び方カードなどを活用して子供が学び方を振り返る観点を自覚して、学びをつなげていけるようにする。</li> </ul>	<p>◆授業のねらいと評価規準を踏まえて評価場面を焦点化し、一人一人の子供の学習状況を教師が見取ることができる評価材料が残るような学習活動を設定する。</p> <p>◆1時間の授業の最後には振り返る時間を設定し、子供が自分の学びを振り返り、次の学びに生かしていけるように、観点を意識できるような工夫をする。</p>



### 3 社会科の単元づくりにおける3つの工夫

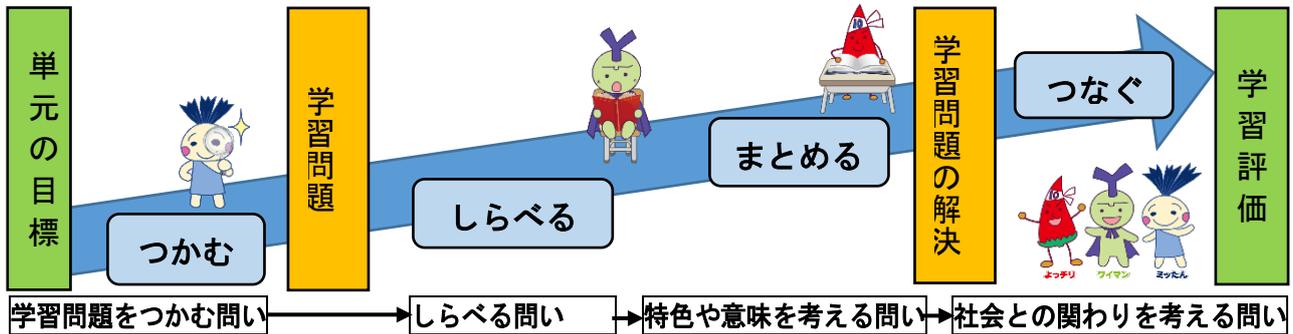
#### (1) 主体的に問いを追究する工夫

##### ① 問題解決的な学習過程を描く

社会科において「主体的に問いを追究する」ことは、次の4点に集約できる。

- 社会的事象に対する疑問をもち、関心を高め、問題意識をもつこと。
- 学習問題を予想したり、学習計画を立てたりして、追究・解決への見通しをもつこと。
- 学習したことを振り返り、自分の学びや変容を自覚したり、学習成果を吟味したり、新たな問いを見いだしたりすること。
- 学んだことを基に、自らの生活を見つめたり、社会生活に向けて生かしたりしようとする事。

これらは問題解決的な学習を通して実現していく。本校では、以下のような学習過程を通して問題解決な学習を子供と教師が進めていくことを大切にしている。



##### ② 「問い」の構成を描く

本校では、「つかむ・調べる・まとめる・つなぐ」という学習過程を構想している。そこでは、問題解決の段階や学習活動に応じて「問い」を吟味していくことが大切である。

「問い」は、学習問題を中心に、「学習問題を把握する問い」、学習問題や学習計画に即して「事実を追究し捉える問い」、社会的事象の「特色や意味を考える問い」、学んだことを基に「社会との関わり方を考える問い」などの役割を意識しながら、【見方・考え方＝視点や方法】を児童が働かすことができるような「問い」を以下のように構成することが、主体的に問いを追究する子供を育てることにつながると考える。

(3年「地域に見られる販売の仕事」の例)

社会と出会う問い	私たちは、どこでどのような物を買っているのだろう。	【商店の分布】 【消費者の願い】
学習問題をつかむ問い	地域の人はどのお店でたくさん買い物をしているのだろう。	【販売の仕方】
単元の学習問題	A店にたくさんの人が買い物に来るひみつは何だろう？	
↓ 事実を追究し捉える問い	A店ではどのような売り方の工夫をしているのだろう。	【販売の仕方】
	A店ではたくさんの人に来てもらうためにどのようなことをしているのだろう。	【販売の仕方】
	A店の商品はどこから来ているのだろう。	【他地域や外国との関わり】
特色や意味を考える問い	A店の人気のひみつは何だろう。種類ごとに分けて考えよう。	【分類する】
	お店の人の工夫は買い物客の願いとどうつながっているのだろう。	【関連付ける】
	A店以外のスーパーでも同じような工夫をしているのだろう。	【比較する】
社会との関わりを考える問い	お店のよさを買い物する人にどう伝えとよいのだろう。	【総合する】
	私たちはどのように買い物をしていくとよいのだろう。	【生活との関連】

### ③ 社会との出会いを工夫して問題意識をもつ

学習問題とは、社会的事象との出会いから生まれた児童の問題意識や追究意欲を継続させ、学習を方向付け、社会生活についての理解を深め、単元の目標に迫る学習の問題である。このように設定される学習問題は次のような条件をもっている必要がある。

- ① 「この勉強をすることはおもしろそうだ」と興味・関心を高めるもの。
- ② 「この問題を解決することは価値あることだ」「必要なことだ」と切実感をもつようなもの。
- ③ 子供たち自身によって解決への見通しがもてるようなもの。
- ④ 学習も目標に方向付けられている（追究することで目標が達成できる）もの。
- ⑤ 子供の力で学習問題について調べることができるもの。

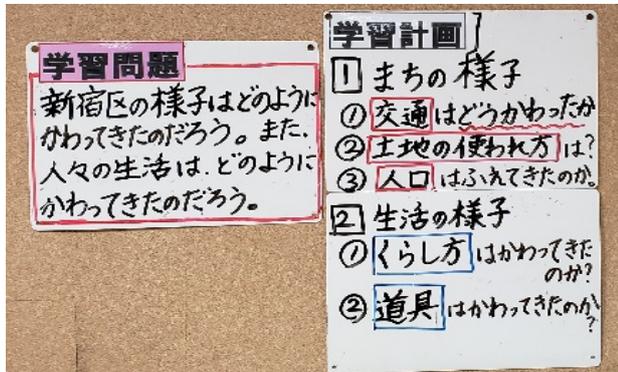
社会的事象と出会い、問題意識を高め、学習問題をつかむための資料提示のパターンは、以下の図のようにすることができる。主体的に問いを追究する子供を育てるためには、まずは、社会との出会いを工夫して、子供自身が問題意識をもてるようにすることが大切である。

<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">ブラックボックス型</div> <p>資料Aと資料Bとの間にある謎を活かす。AとBの変化に着目し、「その間に何があったのか」という疑問をもたせる。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">子供の常識と異なる型</div> <p>子供や世間の一般常識とはかけ離れて、説明がつかないような資料Aを提示する。「Aは一体どうなっているの?」という問題意識をもたせる。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">時間経過型</div> <p>既習の資料Aから時間が経過した新資料Bを簡単に（概要）を提示する。「新資料Bの社会がどんな様子だったのか」より詳しく知りたいと切実感をもたせる。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">圧倒驚き型</div> <p>子供が予想するよりはるかに〇〇な資料Aを提示する。〇〇には、圧倒的に大きい、少ないなどの具体物や数量の提示が効果的。「そんなに〇〇なAはどうやって〜?」という疑問をもたせる。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>
<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">矛盾型</div> <p>資料Aと資料Bとの間にある矛盾を活かす。「AであるのにどうしてBなのか?」という問題意識をもたせる。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>	<div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 0 auto; padding: 5px;">予想対立型</div> <p>学習問題は一般的には、多様な予想が生まれるほうがよい。ただし、このタイプの場合は、予想があまり多岐にわたらないような資料の方がよい。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> </div>

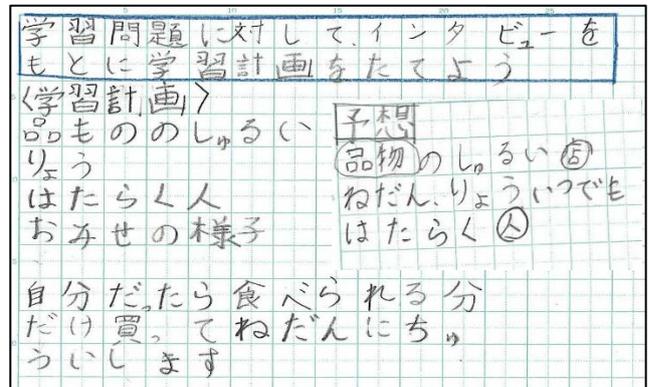
#### ④ 見通しをもち、学習計画を立てる

設定した学習問題解決の為に何を調べるのか話し合い、学習計画を立てて見通しをもつ工夫や学習計画を見直したり調整したりする工夫をすることが、主体的に問いを追究する子供を育てることにつながる。

教室の常時掲示ボードを教室掲示する



子供が、見通しをもち学習計画をノートに書く



#### ④ 子供が自分で選んで学習をする

子供が問いを主体的に追究するためには、子供自身が方法を工夫して仲間と協働して、問題解決を粘り強く進めていくことが求められる。そのためには、教師に敷かれた追究の道筋の上を歩くのではなく、自分たちの経験を生かして、解決に向けて問いや資料、学習方法などを選び、粘り強く取り組む経験を重ねていくことが大切である。

##### 【子供が選ぶ】

##### ア 課題や問いを選ぶ

自分で問題意識をもち、調べたいと思う課題や問いを選ぶ。

##### イ 資料を選ぶ

いくつかある資料から、追究する課題に対しての資料を選ぶ。

##### ウ 学習形態を選ぶ

ペア、トリオ、グループ、一斉の形態を選ぶ。

##### エ 集めた情報を選ぶ

自分が集めた情報や写真、動画、ゲストティーチャーやお家の方から聞いたことなどの情報から選ぶ。

##### オ 時間を選ぶ

話し合いなどの時間の使い方  
時間配分を選ぶ。

##### カ まとめ方を選ぶ

タブレットを活用したものや年表、関係図など表現活動を選ぶ。

学習活動

教師の支援

##### 【子供が選ぶための教師の支援】

##### ア 課題や問いを選ぶ

教師から一方的に課題や問いを提示するのではなく、問いを子供にもたせるために資料や動画など提示の工夫をする。

##### イ 資料を選ぶ

教科書、副読本、デジタル教科書、自作資料や動画、ゲストティーチャー等を用意して選び追究できる環境を工夫する。

##### ウ 学習形態を選ぶ

一時的に行うのではなく、社会科だけでなく、他教科でも、継続的に行う。

##### エ 集めた情報を選ぶ

情報収集する視点を選び、選びとった情報をタブレット端末を活用して保存できるようにする。また、家庭学習を取り入れて自分に必要な情報を集めてくる。

##### オ 時間を選ぶ

教師の単元デザインに基づいて、子供が追究に必要な時間について見通しをもって設定したり、学習する順番や時間を柔軟に変更できるようにしたりしておく。

##### カ まとめ方を選ぶ

色々な表現活動を体験させておき、単元の内容に応じてまとめの方法も選べるようにしていく。

⑤ 友達と協働的に学ぶ

ア 社会的事象の見方・考え方を働かせるためには、一人の見方・考え方で結論を導くのではなく、集団思考が働く協働的な学習活動を通して理解を深めていきたい。本校では、学習過程に即して以下のように学び合いの活動を整理している。

学習過程における協働的な学習場面		協働的な学習活動の例
つかむ	○思いや疑問、調べたいことを表出し合い共有する場面	◆ <u>ペア（二人）で話し合う。</u> ・短時間で、疑問に思ったことや気付いたこと、考えたことや感想をお互いに言葉やノートなどで紹介し合う。
調べる	○気付いたことや調べたことを共有する場面 ○比較や関連付けして特色や意味を考へ合う場面	◆ <u>グループ（4人程度）で話し合う。</u> ・問いについて、分かったことや考えたことなどを紹介し合い、思考ツールやホワイトボード、付箋などを活用して、比較・分類・関連付けなどして情報を整理して考えを深めたり広げたりする。 ・ホワイトボードや短冊などを活用して話し合ったことを関連付けたり総合したりして文章などにまとめていく。
まとめる	○調べたことをまとめ、分かったことを確かめ合う場面 ○まとめた作品や文等を使って考えたことを説明し合う場面 ○新たな問いについて考える場面	◆ <u>学級全体で話し合う。</u> ・立場を明確にしたり友だちの発言とつなげたり、資料やICTを活用して視覚的に伝え合ったりして話し合う。
つなぐ	○社会に見られる課題を見付け合う場面 ○学んだことを活用して社会の発展や自分の関わり方について話し合う場面	◆ <u>社会生活を営む人と対話的に学ぶ</u> ・直接聞き取りしたり手紙やメールで質問したりする。

イ 話し合いを進めていくうえでは、話し合いの進め方やルールが定着していることが大切である。話型やつなぎ言葉を以下のように整理して、話し合いが充実するよう指導に生かすこととした。

<p><b>&lt;話型やつなぎ言葉の例&gt;</b></p> <p>◎確認、質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・～～は～～ということですか。</li> <li>・～さんに質問ですが、</li> </ul> <p>◎根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の～ページから、</li> <li>・～年生のときの学習で～、</li> </ul> <p>◎理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうしてかというと、</li> <li>・なぜかというと、</li> <li>・～～～からです。</li> </ul> <p>◎例示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例えば～～のように、</li> </ul>		<p>◎比較</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんに似ていて、違って、</li> <li>・〇〇さんに賛成で、反対で、</li> </ul> <p>◎まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見をまとめると～～です。</li> <li>・つなげると～～です。</li> <li>・つまり～～～です。</li> </ul> <p>◎深める</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〇〇さんにつけたしで、</li> <li>・大切なことは〇。</li> <li>・「問い」とつなげると～～だ。</li> </ul>	<p><b>&lt;友達の発言に対する反応例&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆同意、共感 「うん」「ああ」「そうか」 「いいね」「同じだ」「わたしも」</li> <li>☆驚嘆、感嘆 「すごい」「おお」「ほんと」</li> <li>☆否定 「そう？」「ええ？」「そうかな」</li> <li>☆その他 「それで」「どうしたの」 「たとえば」「ほかには」</li> </ul>
--	--	--	---

ウ 話し合い活動を充実させていくためには、内容を視覚的に分かりやすくし、児童が調べて獲得した情報やそれぞれの考えなどを整理し、そこから考えやすくするためのツールが有効である。

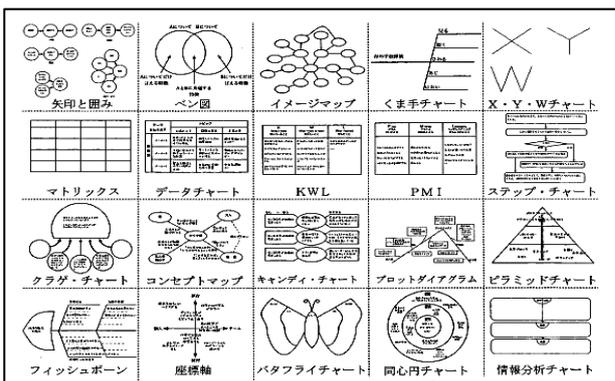
◎「付箋の活用」資料を読んで自分の意見を付箋で貼る。  
・自分の意見を予めもつことで、自信をもって発言できる。  
・付箋を操作しながら話し合い活動を行うことで、意見の比較や分類を行うことができる。

◎「ホワイトボードの活用」マーカーを使って記録しながら話し合い、発表にも使用する。  
・書いたり消したりが容易にできるので、話し合いの進行に合わせて記録することができる。  
・書いたものをそのまま発表に使用でき、グループごとの意見の比較がしやすい。

◎「思考ツール」様々な思考ツールをその特徴や目的に応じて活用する。

活用例<ピラミッドチャート>

- ・思考方法：焦点化 構造化
- ・グループの発表方法を決める際に使用。

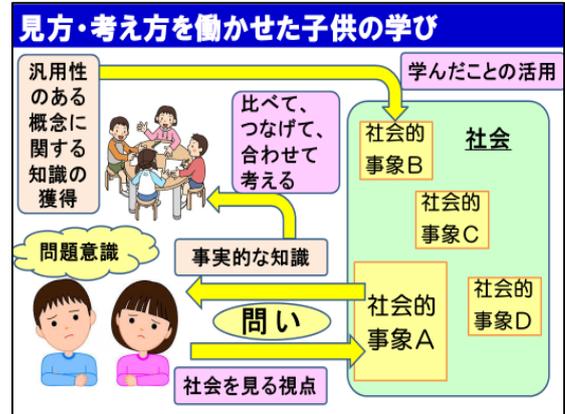


### 3 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ① 見方・考え方が働く主な学習場面

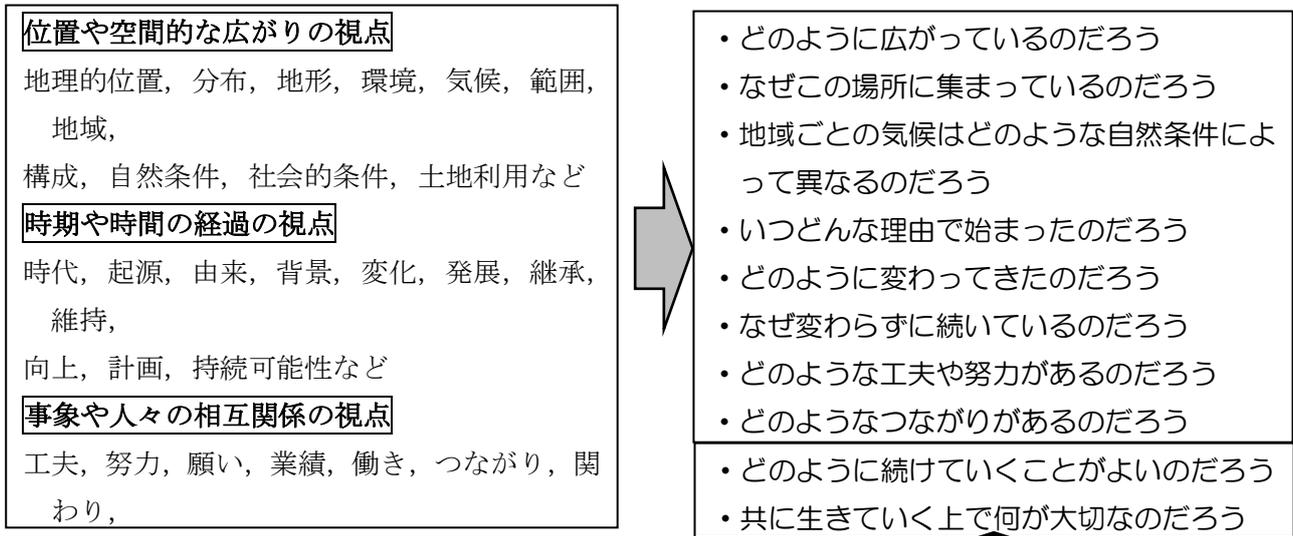
見方・考え方を働かせた子供の学びを図式化すると、下図のようになる。見方・考え方が発揮されやすいのは次の4つの場面だと考えられる。

- 問いを設定したり学習問題の予定を立てたりする場面
- 社会的事象に対して社会を見る視点に着目して問いを追究する場面
- 問いを追究する中でつかんだ事実に知識を比べたり、つなげたり、合わせたりして、社会的事象の特色や意味を考え、概念に関する知識を獲得する場面
- 獲得した知識や概念、見方・考え方を活用して社会生活を見直したり他の社会的事象を見たりしていく場面



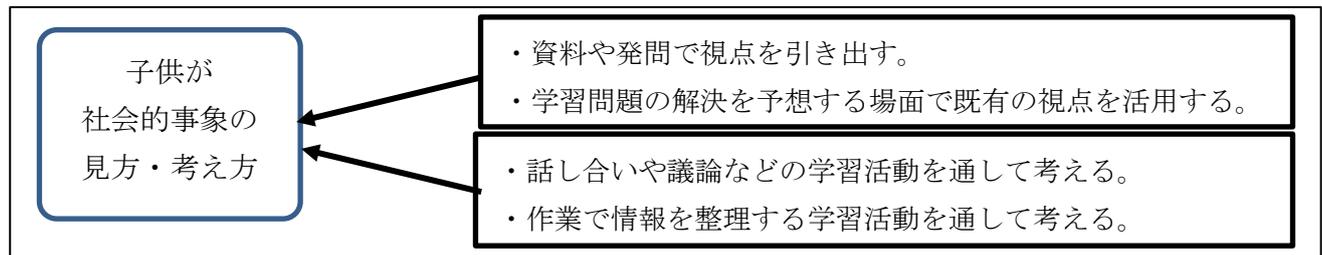
#### ② 子供が働かせる見方・考え方や教師の手だて

上記の場面で子供が働かせるのは、社会的事象の見方・考え方は社会的事象を見ていく際の視点と社会的事象の特色や意味を考察する際の考え方であり、以下のように例示されている。



- 比較、分類、関係付け、総合させて社会的事象の特色を考察
- 地域や国民の生活と関連させて社会的事象の意味や意義を考察
- 社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断して構想

このような社会的事象の見方・考え方は、資料を活用したり学習活動を通したりして、子供が自然と働かせていくものであり、教師の教材研究に基づく学習問題の設定や発問の構成、地図や年表、統計資料など各種の資料の選定や効果的な提示などの活用、学んだ事象相互の関係を整理する学習活動などを工夫することが大切である。



### (3) 子どもの学びを確実にする評価

#### ①学習過程における評価場面を設定する

評価の目的の一つは指導に生かすことにある。一方、指導した結果として児童の学習状況を記録に残し、総括的に評価して通知表や指導要録に記載する必要がある。下図のゴチックの観点が残す評価であり、まとめる段階での表現活動が重要である。単元展開に即して調べる段階で、主体的に学習に取り組む態度①の評価場面を計画的に設定するようにする。また、単元により、「つなぐ段階」がない場合には、主体的に学習に取り組む態度②の評価場面を設定しなかったりすることが考えられる。

	評価規準の観点	評価方法の工夫と指導上の留意点
つかむ	思考・判断・表現①	○評価活動：社会的事象との出会いから見出した疑問や問いを記述する活動 ・留意点：事実に基づいて疑問を記述できるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度①	○評価活動：学習問題の解決を予想したり学習計画を立てたりする活動 ・留意点：調べることや方法の見通しをもてるようにする。
調べる	思考・判断・表現①	○評価活動：問いについて考えたことを記述する活動 ・留意点：比較・分類・関連付けして考えられるようにする。
	知識や技能①	○評価活動：見学・調査して読み取った情報を記述する活動 ・留意点：社会的事象の様子が具体的に捉えられるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度①	○評価活動：学習問題の解決に向かっているか学習の進め方を振り返る活動 ・留意点：学習計画の実現状況や学習問題の解決ができそうか判断を促す。
まとめる・つなぐ	知識や技能②	○評価活動：調べたことを整理して分かったことを記述する活動 ・留意点：まとめる活動を通して理解目標について到達できるようにする。
	思考・判断・表現②	○評価活動：整理したことから学習問題の結果を考察する活動 ・留意点：比較・分類・関連付けして考えられるようにする。
	主体的に学習に取り組む態度②	○評価活動：社会の発展や自分の関わり方を考える活動 ・留意点：学んだことを基に考えて表現できるようにする。

#### ②まとめる段階の表現活動での子供の姿を想定して適切に学習状況を評価する

「指導と評価の一体化」と言われるように、評価の目的の一つは指導に生かすことにある。一方、指導した結果として児童の学習状況を記録に残し、総括的に評価して通知表や指導要録に記載する必要があり、まとめる段階での表現活動における概ね満足できる子供の姿を明確に想定しておく。

**学習問題**  
私たちが出したごみは、だれがどのようにして処理しているのだろう

ごみの収集はどのように行われているのだろう

燃やすごみはどのように処理されるのだろう

燃やさないごみや粗大ごみはどのように処理されるのだろう

資源はどのように再利用されるのだろう

うめ立て処分場ではどのようにごみを処理しているのだろう

ごみ処理の仕方はどう変わってきたのだろう

どうしてこんなにたくさんの人でごみの処理をしているのだろう

地域では、ごみを減らすためにどのようなことに取り組んでいるのだろう  
ごみを減らすために、私たちはどのようなことに協力していくとよいだろう

**【関係図を基に考えたこと】**  
清掃工場のない新宿区は他の区と協力してごみを燃やしてもらっていた。私たちの健康と安全を守るために区をこえて大勢の人たちが協力して計画的にごみを処理している。

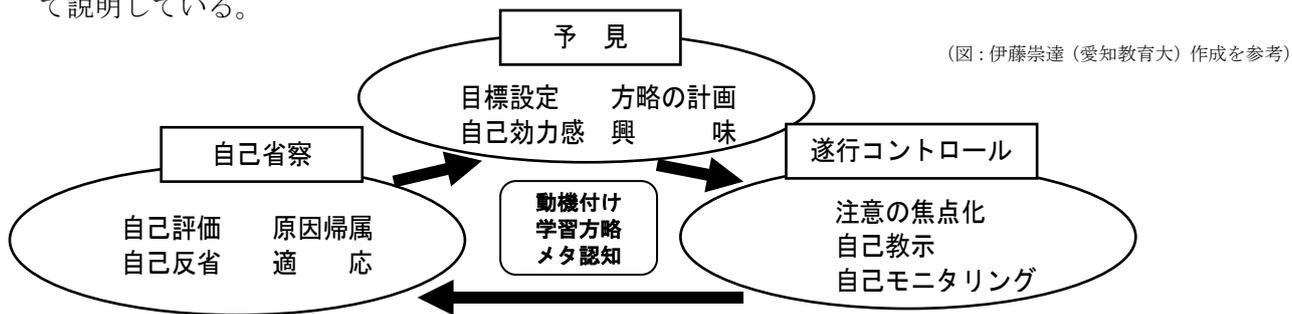
### ③主体的に学習に取り組む態度の育成プロセス

『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料・小学校社会（文部科学省）の中では、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価することが重要である。

と記載され、評価の観点及びその趣旨や単元の評価規準の作成に向けて次のように示されている。

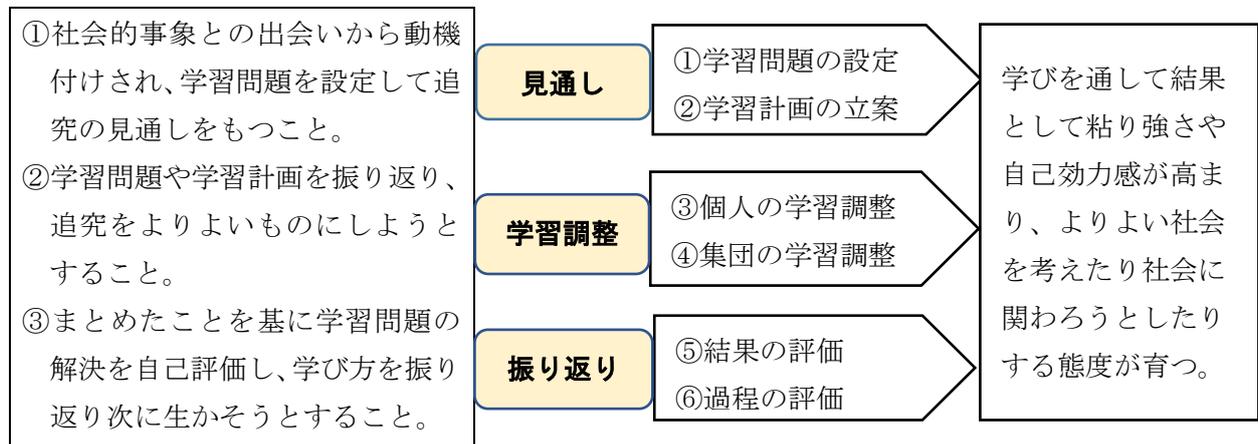
評価の観点の趣旨	単元の評価規準	教師が捉える学習状況
社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとしている。	①社会的事象について、予想や学習計画を立てて、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしている。	・学習問題の追究・解決に向けて見通しをもとうとしている学習状況 ・問題解決に向けて、自らの学習状況を確認したり、さらに調べたいことを考えようとする学習状況
	②よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	・学習成果を基に、生活の在り方やこれからの社会の発展について考えようとする学習状況

ジーマーマンは、「自己調整学習とは、学習過程のすべてに学習者自身が能動的にかかわり、自己の認知活動や行動をコントロールしながら、効果的に学習目標を達成していこうとする学習スタイルとして説明している。

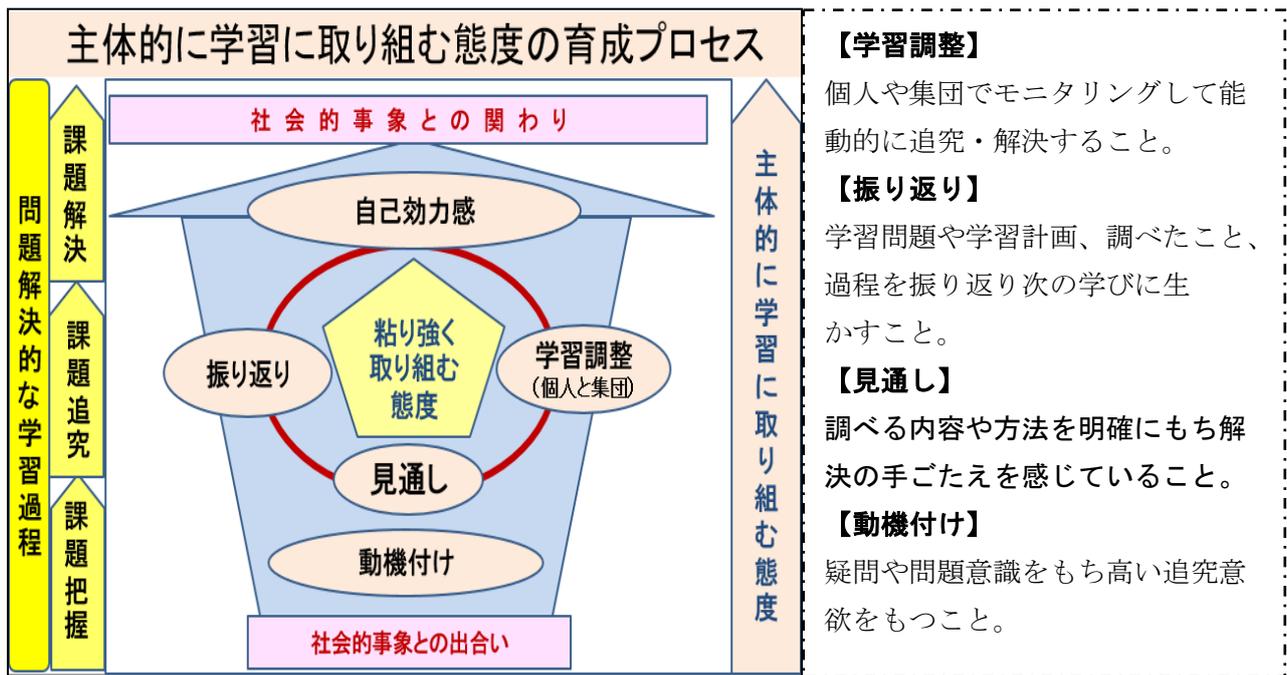


上記の図の「予見→遂行→自己省察」という展開は、正しく課題解決学習・問題解決的な学習のプロセスと同様である。大切なのは、それらの展開を円滑に進めるための「動機付け」「学習方略」メタ認知を子供に育成していくことが、大切なのである。

さらに、「社会・歴史地理・公民ワーキンググループにおける審議のまとめ」などを参考にして主体的に学習に取り組む態度を学習過程に即して整理すると、主体的に学習に取り組む態度を支える①から⑥までの6つの要素と「見通し・学習調整・振り返り」の3つのキーワードに焦点化できる。



このような主体的な学習に取り組む態度は、問題解決的な学習の過程に即して次の図のようなサイクルの中で育成されていくものと捉えた。図で使用している用語の説明は下の通りである。



#### ④児童が主体的に学習に取り組む姿の具体化

「つかむ」「調べる」「まとめる」の各段階で、児童が学習を振り返ったり見直したりする姿を具体化した一覧を以下のように作成した。これらの具体的な文言を手掛かりにすることで、児童にとっては、自分の学びが振り返りやすくなるとともに、次の学習活動の目標やめあてが立てやすくなる。また、教師にとっては、項目にある児童の姿が現れるように学習活動を設定するので、問題解決的な学習過程を意識した授業をデザインすることができると考えた。

	低学年		中学年	高学年
であう	◎活動や体験を通して、思いや願いをもてた。 ・ふしぎ、おもしろいを見つげられた。 ・ドキドキ、ワクワクした。 ・もっと〇〇したい。	つかむ	「?」(はてな)を見つけて、みんなで話し合って学習問題をつくることができた。 予そうをたてたり、学習計画をたてたりすることができた	気付いたことや疑問・調べたいことを考えられた。 気付いたことや疑問を話し合って、みんなで学習問題をつくった。 予想をもとに学習計画を立てて、これから調べる見通しがもてた。
かかわる	◎願いや思いを実現するために考えたり、伝え合ったりできた。 ・工夫してかつどうできた。 ・おしえてもらったり、おしえてあげたりできた。 ・ほかの人にもつたえたい。	しらべる	学習計画とてらし合わせて調べていくことができた。 自分で見てさがしたり、人に聞いたりして調べることができた。 調べたことを友達と話し合い、たしかめ合うことができた。	学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせて調べた。ねばり強く調べた。 資料の大切なところに気を付けて読み取れた。大切なことや人や出来事の関係が分かるようにノートに書いた。 調べたことを友だちと話し合い、確かめ合うことができた。
ひろげる	◎自分の良さに気づいたり、成長を感じたりできた。 ・すきなことやとくいなことを見つげられた。 ・〇〇ができた。 ・つぎは〇〇したい。	まとめる	はじめにつくった学習問題をかいけつすることができた。 学んだことを次の学習や生活に生かせそう！生かしていきたい！	キーワードや「つまり」や「例えば」という言葉をうまく使って、学習問題を解決することができた。 学んだことを次の学習や生活に生かすことができそう！または生かしていきたい！

⑤発達段階を踏まえた「学び方カード」の活用

児童が学習を振り返ったり見直したりする姿を振り返る項目として問題解決の学習過程に即して整理して作成したものが下図「社会科学び方カード」である。 (3年「新宿区の様子」学び方カード)

～できたかどうか、記号で振り返る～ ○できた・もちよつとできそう △もちよつとできるようになった △うまくできなかった		振り返る・いかそう
つかむ	<p>? (はてな)を見つけて、みんなで話し合つて学習問題をつくることができたかな。</p> <p>予想をたてたり、学習計画をたてたりすることができたかな。</p>	<p>目的をたてられることができた。</p> <p>予想をたてたりすることができずか</p> <p>しかし、たけとつた、あれをたててみた</p>
しらべる	<p>学習計画とてらし合わせて調べていくことができたかな。</p> <p>自分で見てさがしたり、人に問いたり、し料でさがしたりして調べることができたかな。</p> <p>調べたことを友達と話し合い、たしかめ合うことはできたかな。</p>	<p>しようかさがしたいりするのよ</p> <p>かんたんだったらしよとめるとか</p> <p>ちよとあましかつた、つぎか</p> <p>らはいっけいよとめたい</p>
まとめる・いかす	<p>はじめにつくった学習問題をかいけつすることができたかな。</p> <p>学んだことを次の学習や生活に生かせよう! 生かしていきたい!</p>	<p>新宿区は公共施設がどんな</p> <p>ところにあるか地図をつかたし</p> <p>しよんをつかたりしてまとめた</p>

【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。】 単元を通して自分がとくにがんばったこと・できるようになったこと・学んでよかったこと・役に立つと思ったこと など

地図をみると新宿区はサイのうな形をしていることに気がついた。

し料や地図をつかて新宿区を分かることと本でしよんをつかたしよんは新宿区

いかにの地いきをしらべてみたい

→ 地図やしよんを使つてみるよ: 地図やしよん

→ 地図やしよんを使つてみるよ: 地図やしよん

→ 地図やしよんを使つてみるよ: 地図やしよん

【主体的に問題解決に必要な学び方を明記する】

身に付けたい学び方を明記することで、児童が問題解決の過程や望ましいと考える学習の進め方を意識することができる。

社会科学 学び方カード

5年組 番( )

身に付けたい学び方	できたマーク	ふりかえり
気付いたことや疑問・調べたいことを考えられた。		
気付いたことや疑問を話し合つて、みんなで学習問題をつくった。		
予想をもとに学習計画を立てて、これから調べる見通しがもてた。		
学習計画とてらし合わせて、調べることをはっきりさせて調べた。ねばり強く調べた。		
資料の大切なところに気を付けて読み取れた。大切なことや人や出来事の関係が分かるようにノートに書いた。		
調べたことを友達と話し合い、確かめ合うことができた。		
キーワードや「つまり」や「例えば」という言葉をうまく使って、学習問題を解決することができた。		
学んだことを次の学習や生活に生かすことができそう! または、生かしていきたい!		

【今回の自分の学習の進め方はどうだったかな。～自分がとくにがんばったことやできるようになったことを振り返る～】

【学びの成果を次の単元につなげる】

単元全体の学習を振り返って自由に記述する。できるようになったことや、次の学びに生かせることに目を向けさせていく。

【学び方の自覚を促す】

学習を進める途中で項目が達成できたら○印、もっとよくできたら◎印をする。マークを記入することで、項目を手掛かりに自己の学びをモニタリングする。

【振り返り場面の焦点化】

毎時の終末に本時の問いについてのまとめと学習の振り返りを記入する時間を確保することは難しいことから、「つかむ、調べる、まとめる」の各段階の終了後と単元を総括して振り返りを記入していく。

## ⑥主体的な学び生み出す社会科の授業とその段階

主体的な学びは、中央教育審議会答申においては、次のように説明されている。

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」

社会科の目標の「学びに向かう力・人間性」から、社会科の主体的な学びは次の4点に集約できる。

- 社会的事象に対する疑問をもち関心を高め、問題意識をもつこと。
- 学習問題を予想したり学習計画を立てたりして、追究・解決方法の見通しをもつこと。
- 学習したことを振り返り、自身の学びや変容を自覚したり、学習成果を吟味したり、新たな問いを見出したりすること。
- 学んだことを基に自らの生活を見つめたり社会生活に向けて生かしたりしようとする事。

中央教育審議会答申の中では、「主体的な学びについては、児童生徒が学習課題を把握しその解決への見通しを持つことが必要である。そのためには、単元などを通した学習過程の中で動機づけや方向付けを重視するとともに、学習内容・活動に応じた振り返りの場面を設定し、児童生徒の表現を促すようにするなどが重要である」とまとめられている。また、「児童生徒の学習評価の在り方について」（報告）の中でも、「主体的・対話的で深い学び」からの授業改善の視点として、自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面の設定、他者と協働して自らの考えを相対化する場面の設定の3点が挙げられている。社会科における主体的な学びを引き出す教師の役割は右の5点に集約できると考える。

- ①児童が問題意識をもち追究の意欲を高める教材の工夫
- ②内容や方法を選択し追究・思考する場面の設定
- ③他者と協働して考えを深める場面の設定
- ④児童が自己の理解の状況などを振り返る発問の工夫
- ⑤見通しと振り返りを記述し、共有する場面の設定

主体的な学び生み出す授業は、問題解決的な授業に即して整理すると下の3つの段階が想定できる。

単元を通して主体的な学びを育む授業		1 単位時間での主体的な学びを育む授業	
段階 1	単元の学習問題を教師と子供で設定し、その解決の予想を話し合い、学級の学習計画を教師と子供で問いの形にして立て、その問いについて、学級全体で、調べ考えて話し合い、まとめる授業。	A	本時の問いについて、自分タイムで一人ひとりが調べたり考えたりして、みんなタイムで、学級で発表し合っている。
		B	本時の問いに対して学んだことを自分の言葉でまとめている。
		C	本時の問いに対して調べたことや考えたことをグループで根拠を示して話し合い、考えを共通の方法でまとめて説明している。
		D	問いについて調べる途中で、学習の進め方を振り返り、自分の学習を見直して調べまとめたりしている。
段階 2	単元の学習問題を教師と子供で設定し、その解決の予想を話し合い、学級の学習計画を教師と子供で問いの形にして立て、グループや個人で、調べ考え、話し合い、まとめる授業。	E	問いについて、個人やグループで、調べるための資料を教科書以外に選択したり集めたりして調べたり、インターネットや図書室、聞き取り調査など調べる方法を自分で選択して調べたりして、調べたことや考えたことを自分でまとめている。
		F	個人やグループで、調べたり考えたりしたことについて、表現方法を選択してまとめ、グループ内や学級全体に説明している。
		G	個人やグループで、問いを選んで、学習したことを振り返りながら、自分の学習を見直して調べまとめ、発表し合っている。
段階 3	単元の学習問題を教師と子供で設定し、その解決に必要な問いをグループで生み出し、自分たちの力で調べ考え、まとめる授業。	H	学習問題の解決に必要な問いについて、子供たちの力で考え、グループで理由を話し合い、優先順位をつけて焦点化する。
		I	設定された時間の中で進め方を相談して決め、グループ等で調べ情報共有し、学習したことを振り返りながら、自分の学習を見直して調べ、方法を選択して発表し合っている。

## ⑦振り返りのパターン

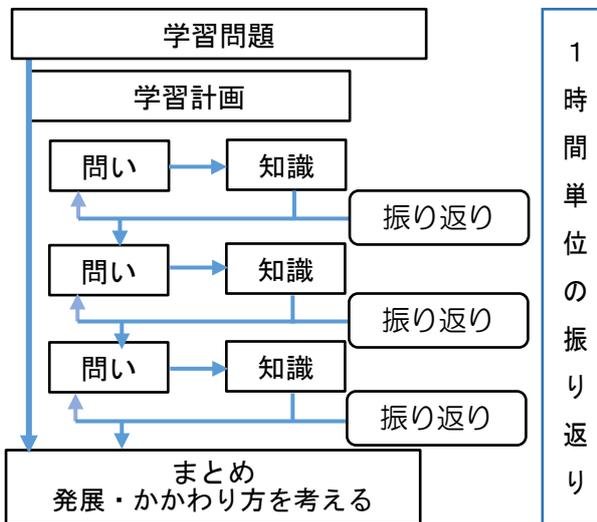
主体的に学習に取り組む態度の育成において振り返りは重要な役割を担っている。子供が自らの学びを振り返り自己調整することで粘り強い追究が生まれる。振り返りの観点は以下の通りである。

- ア 問いについて分かったことや考えたこと、できるようになったこと。
- イ 次の学習に向けて必要だと思ったことやもっと知りたいこと、もっとやりたいこと。
- ウ 学習の進め方で気付いたことや修正しようと思ったこと、学び合いで感じた友達のよさ。
- エ 自分の成長や考えの変化に気付いたこと、よかったと思ったこと。
- オ これからの自分の行動や生活につなげていけそうなこと。

また、全ての観点を毎時間の終末に振り返ることは到底できない。様々な振り返りのパターンの中で、焦点化して行うことが大切である。社会科においては、次のような振り返りが想定できる。

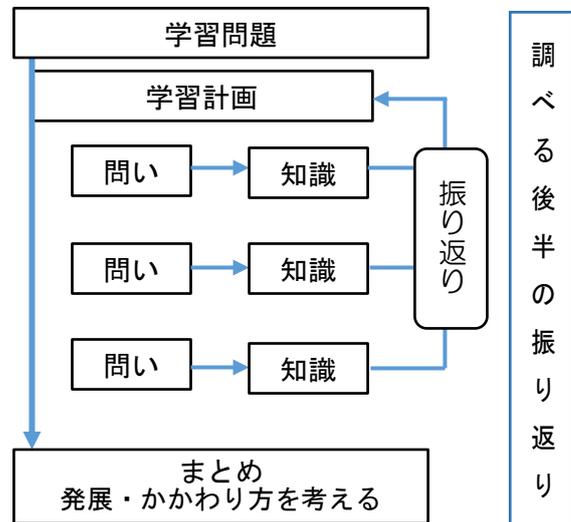
### 1 毎時の問いの解決について振り返る

調べて分かったことから問いの解決について振り返り、調べ足りないことなどを確かめ、次に調べることなどの見通しをもつ。



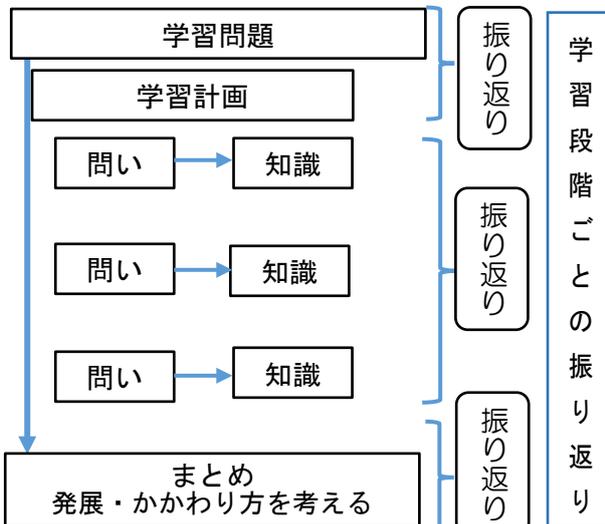
### 2 学習計画の進捗状況について振り返る

学習計画の進捗を振り返り、調べ足りないことなどを確かめ、次に調べることの見通しをもったり、学習計画を見直したりする。



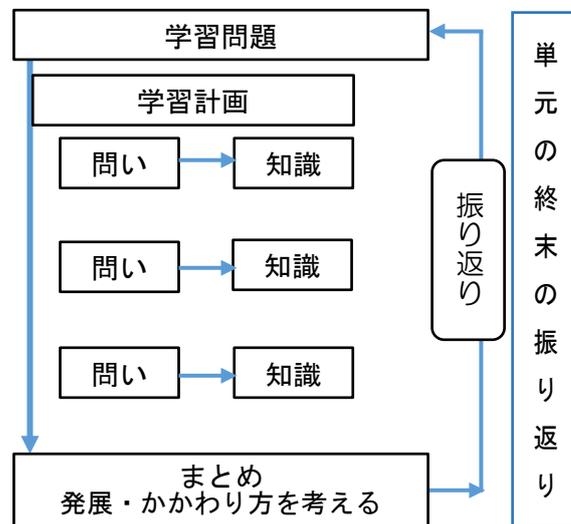
### 3 学習のプロセスを段階ごとに振り返る

学習過程の「つかむ・しらべる・まとめる」の段階ごとに学習成果を振り返り、次の段階に進めるか評価して、不十分な点は補充する。



### 4 単元終末で学習問題の解決と学び方を振り返る

調べて分かったことをまとめ、学習問題が解決できそうか評価して、不十分な点について追加して調べまとめ、学習問題の結論を出す。

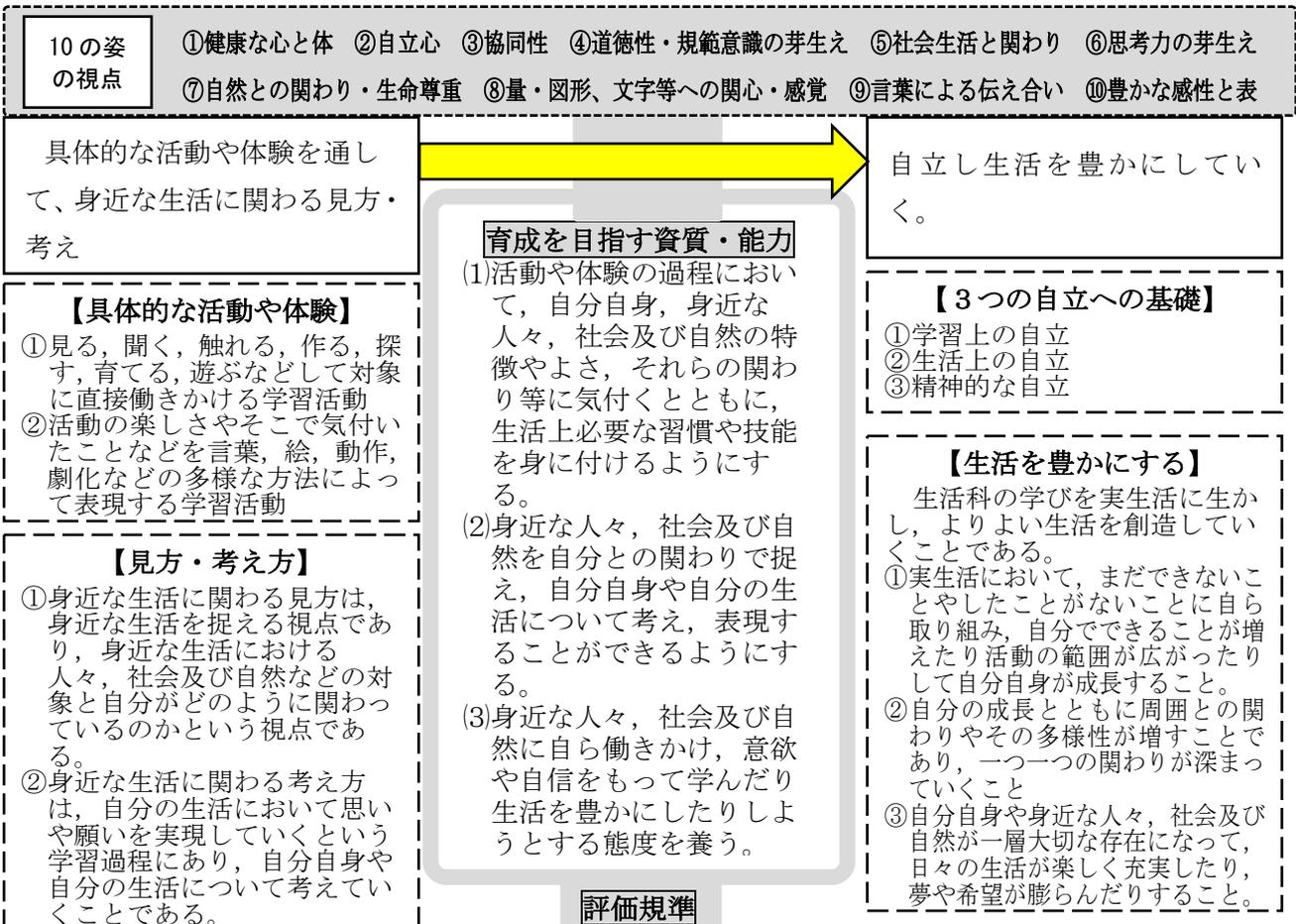


### Ⅲ 社会科以外の教科・領域での研究内容

#### 1 生活科での取組

##### (1) 生活科の目標と特質

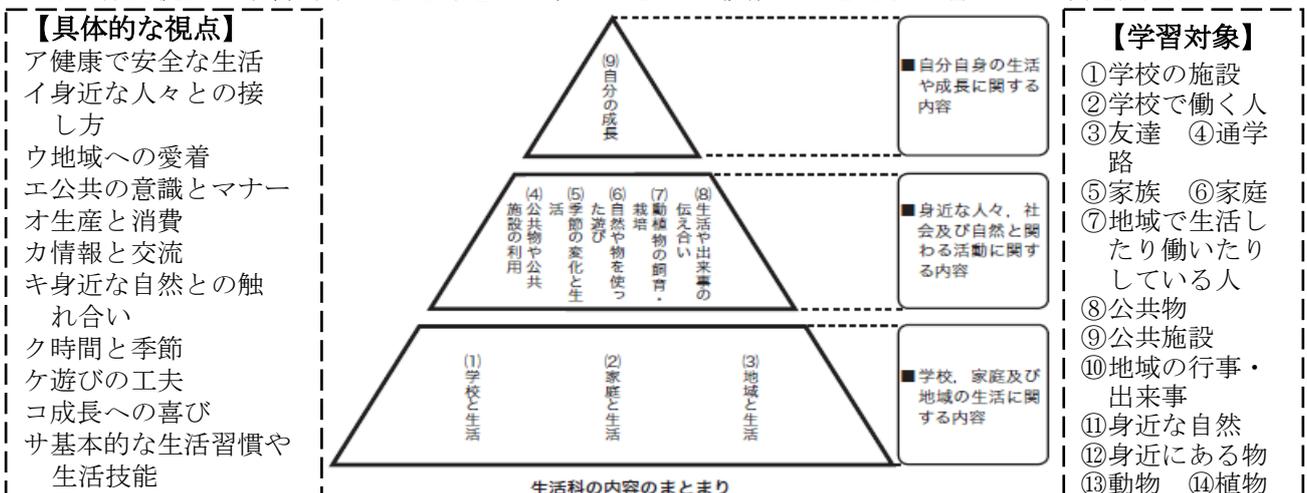
生活科の目標は以下のような構造となっている。本校では、「幼児期に育てたい10の姿」と生活科の特質を踏まえて次のように低学年生活科で育てたい子ども像を設定している。



知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けている。	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現している	身近な人々、社会及び自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとしている。

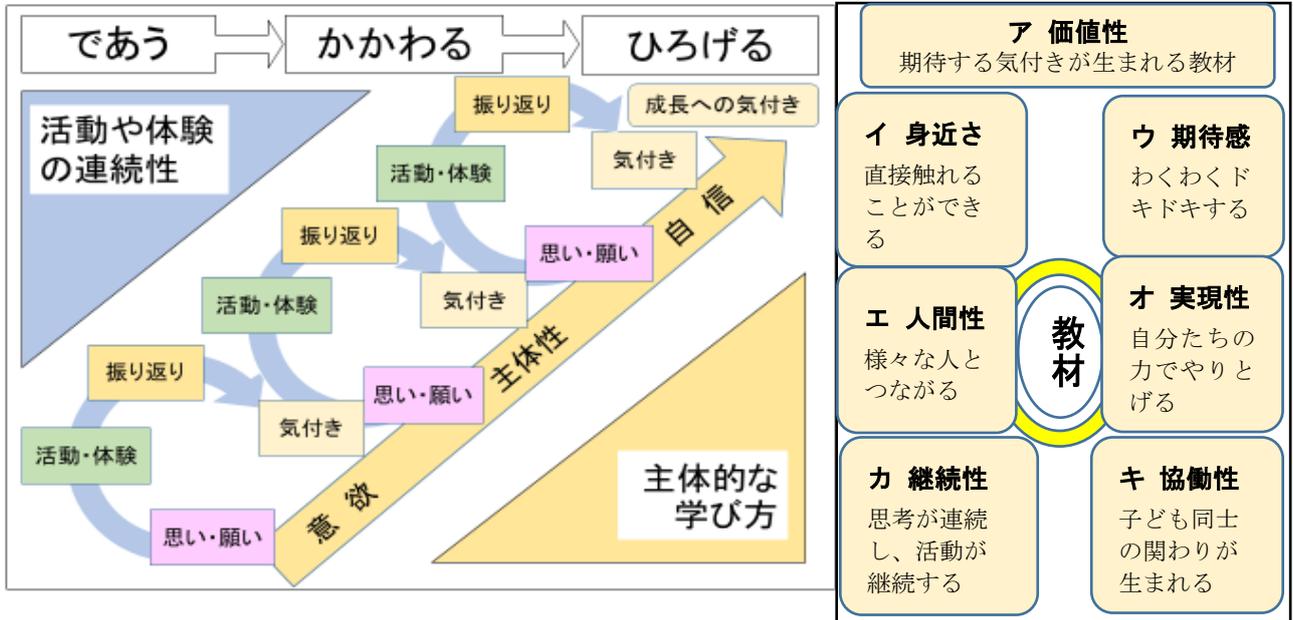
##### (2) 生活科の内容構成

生活科の内容は9つの内容があり、大きく3つの階層に整理されている。本校では、解説に示されている具体的視点や学習対象なども考慮して、一つまたは複数の内容を組み合わせることで単元設計をしている。



### (3) 生活科の単元展開のイメージ

生活科では、下図のような「①思いや願いをもつ、②活動や体験をして感じ考える、③学びを振り返る、④気づきを表現し交流する、⑤新たな思いや願いをもつ」というプロセスが繰り返され、学習が展開していく。本校では、学習過程を「であう→かかわる→ひろげる」として、社会科の問題解決的な学習過程との接続を意識している。また、このように活動が連続し、主体的な学びを展開するために、下のような7つの教材化の視点を持ち、身近な教材の開発と活動や体験の工夫を進めている。

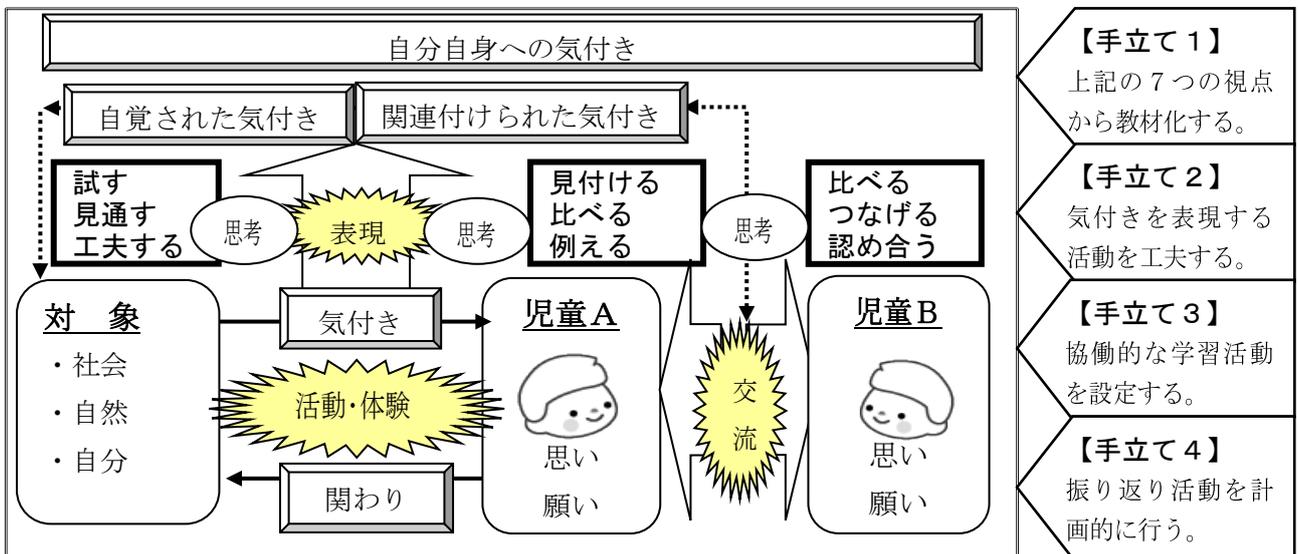


### (4) 気づきの質を高める工夫

生活科での気づきは、一人一人の認識の芽であるのに対して、社会科での知識は、社会的事象に基づいた事実に客観的な認識である。生活科において深い学びを実現するためには気づきの質が高まることが重要であると考える。

生活科における気づき	社会科における知識
対象に対する一人一人の認識であり、子どもの主体的な活動によって生まれるものである。知的な側面と情意的な側面があり、次の自発的な活動を誘発するものでもある。 ①「無自覚な気づき」から「自覚された気づき」へ ②「一つ一つの気づき」から「関連付けられた気づき」へ ③「対象への気づき」から「自分自身への気づき」へ	知識は、地域や我が国の地理的環境、地域や我が国の歴史や伝統と文化、現代社会の仕組みや働きを通して、社会生活についての総合的な理解を図るためのものである。 ○「具体的知識」から「概念的知識」へ

本校では気づきの質が高まる学習のイメージを下図のように描いている。気づきを表現する際に、「見付ける・比べる・例える・試す・見通す・工夫する」という6つの考える方法を意識して表現活動をしたり気づきを交流したりして気づきの質を高めていく。4つの手だてから授業実践を行う。



- 【手立て1】  
上記の7つの視点から教材化する。
- 【手立て2】  
気づきを表現する活動を工夫する。
- 【手立て3】  
協働的な学習活動を設定する。
- 【手立て4】  
振り返り活動を計画的に行う。

## 2 全教科・領域での取組（四谷スタイルの授業）

### （１）「自分発—みんな経由—自分行き」の1時間の授業構成

深い学びは単元を通して実現していくものだが、1時間毎の学びの積み重ねの上に深い学びが実現する。本校では、下図のような1時間に協働的な学習時間を組み込んだ授業構成を基本としている。

**導入（つかむ）** 本時の問いを把握

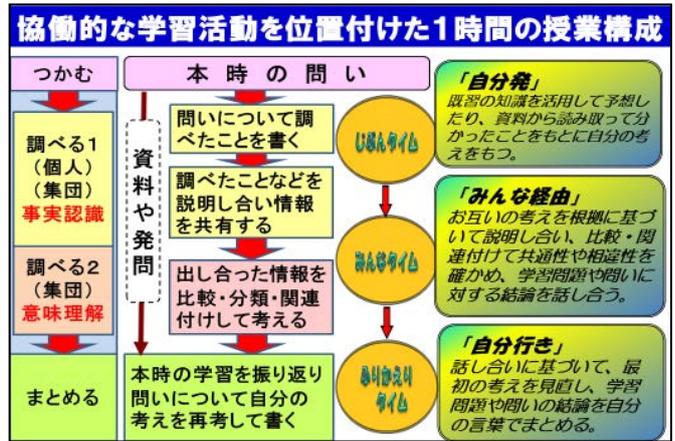
**じぶんタイム** : 自分で調べる

**みんなタイム1** : 調べたことを共有

**みんなタイム2** : 比較・分類・関連付けて考える

**ふりかえりタイム** : 考えをまとめ、学びを振り返る

みんなタイムでは、調べた事実の確かめから特色や意味を考える時間へと学習内容の深まりを保証し、ふりかえりタイムでは、問い学び方を振り返る。それらを実現する手だてを下に整理した。



### 四谷スタイルの授業づくりを実現するための「四つの矢」

	主な学習活動	教師の問いかけ		
つかむ	○その時間のめあてや問いを明確にし、追究の見通しをもつ。	T 今日は何を学習しますか？ T 学習計画で確かめよう。 T 前時の振り返りを見よう。	<b>1の矢</b> 見通しをもつ 本時の問いやめあてを明確に意識できる指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>意欲を高める導入</li> <li>問いを生む資料の工夫</li> <li>ICTの活用</li> <li>課題設定、学習計画</li> <li>発問</li> </ul>
じぶんタイム	○疑問や予想をノートや短冊などに記述する。 ○問いについて調べたことをノートなどに記述する。 ○問いに対して考えたことを記述する。	T 疑問や予想をノートにできるだけたくさん書こう。 T 資料で大事なところに下線や丸印をつけよう。 T 分かったことをノートに箇条書きで書こう。 T 考えたことを書き、理由や根拠を用意しよう。	<b>2の矢</b> 自分で学ぶ 問いやめあてについて自分で調べたり考えたりできる指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>使う資料などの精選</li> <li>一人学びの技能の定着</li> <li>一人学びの時間の確保</li> <li>個の学びの把握と支援</li> <li>家庭学習の活用</li> </ul>
みんなタイム	○一人一人の疑問や予想を出し合ってグループや学級で共有する。 ○調べたことや考えたことをグループや学級で話し合って共有し、ノートなどに追記する。 ○疑問を分類・関連付けて学習問題を設定する。 ○予想を分類して学習計画について話し合う。 ○調べて分かったことを比較・分類・関連付けて特色や意味を考えて話し合う。	T グループで出し合ってホワイトボードに書きそう。 T 学級で出し合あって書いていないことをノートに書きたそう。 T タブレットPCでみんなの意見を確かめてみよう。 T 板書の中で問いの解決に大切なことに下線を引こう。 T 出された意見を比べて仲間分けしてみよう。 T 出された意見を線や矢印でつないで考えよう。 T 大事なことをキーワードにまとめてみよう。	<b>3の矢</b> 友達と学ぶ 調べたことや考えたことを共有し、協働的に考えを広め深め合う指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>学びが見える板書掲示</li> <li>ペアやグループの学習</li> <li>思考ツールの活用</li> <li>ICTの効果的な活用</li> <li>発問や問い返し</li> <li>教師の個別支援</li> </ul>
ふりかえりタイム	○学習したことを振り返り、問いについて自分の言葉でまとめる。 ○自分の学習の進め方を振り返り、次の時間に向けてのめあてを記述する。	T 板書を見て大事なことは何か考えてみよう。 T 問いについての結論を自分の言葉でノートに書こう。 T 今日の学習を振り返り、よくできたと思うことを学び方カードに記入しよう。	<b>4の矢</b> 学びを振り返る 学んだことを振り返り学びを価値付け次の学びにつなげる指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>問いへの自分のまとめ</li> <li>振り返りの方法や工夫</li> <li>学び方カードの活用</li> <li>単元を通した評価計画</li> <li>学んだことの価値付け</li> <li>次時への見通し</li> </ul>

### 学びの基本（授業を支える土台）

- 話し方    ○聞き方    ○ノートの書き方    ○一人学習の仕方    ○グループ学習の仕方  
○発表の仕方    ○質問の仕方    ○話し合いの仕方    など

## (2)「自分発—みんな経由—自分行き」の授業の実現に向けた手だて

### ①シャープに1時間のめあてや問いをつかみ追究の見通しを持たせる。

- ア 素朴な驚きや疑問から問題が醸成される等の要素を含んだ資料の工夫をする。
- イ 既習事項や既有事項とのズレをもたせることができる、めあてや問いを設定し予想を立てる。
- ウ 学習計画をもとに、「何を学ぶか」を確かめる。
- エ 学習計画をもとに、「どのように学ぶか」を吟味する。

### ②「じぶんタイム」での一人学びの力を身に付ける。

- ア 文で書き表す力を身に付ける。
- イ 様々な方法で調べたり実験したり調査したりする技能を身に付ける。
- ウ 教科書や副読本、資料集、書籍、映像など資から情報を読み取る技能を身に付ける。
- エ タブレットPCの操作方法や活用方法を身に付ける。
- オ 既習を想起して、活用できるものがないかを考える思考を身に付ける。
- カ 家庭学習での取組を促し、自主学習に取り組む力を身に付ける。

### ③「みんなタイム」で効果的な学び合える発言力や話し合う力を身に付ける。

- ア 自分の考えを主語と述語を使ったり絵図やグラフを示したりして分かりやすく説明できる。
- イ 事実と自分の考えを分けて、自分の考えを根拠や理由に基づいて、論理的に説明できる。
- ウ 具体例をあげたりまとめたものを提示したりして説明できる。
- エ 他者の意見を聞き、一度受け止めてから話し合うことができる。
- オ 他者の意見に質問して理解を深めることができる。
- カ 他者の意見と比較したり関連付けたりして自分の立場を明確にして話し合うことができる。
- キ 他者の考えと自分の考えをつなぎ、力を合わせて問題を話し合いで解決することができる。
- ク 目的や判断根拠を理解して、話し合いや討論することができる。
- ケ 立場を変えて考えたり複数の立場から多角的に考えたりして話し合いや討論することができる。

### ④「ふりかえりタイム」で学びを確かにする振り返り方を身に付ける。

- ア 何を振り返るのか？
  - ・ 問いについて分かったことや考えたこと、できるようになったこと
  - ・ 次の学習に向けて必要だと思ったことやもっと知りたいこと、もっとやりたいこと
  - ・ 学習の進め方で気付いたことや修正しようと思ったこと、学び合いで感じた友達のよさ
  - ・ 自分の成長や考えの変化に気付いたこと ・ これからの自分の行動や生活につながること
- イ いつ振り返るのか？
  - ・ 毎時間の終末で ・ 学習過程の段階ごとに ・ 単元の終了時に
- ウ どう振り返るのか？
  - ・ 観点に即して自由記述 ・ 項目ごとに数値等の自己評価 ・ 第三者からの他者評価

### ⑤一人一人の学習状況を評価する。

- ア 本時のねらいに即して評価活動で得られた評価材料を通して学習状況を評価し、必要な支援を行う。
- イ 子供のノートや作品などの記述を蓄積して、一人一人の子供の学びの変容を評価する。

#### IV 各学年の実践

### 第1学年 生活科学学習指導案

#### 1 単元名 「なつが やってきた」(12時間)

#### 2 単元の目標と観点別評価基準

##### (1) 単元の目標

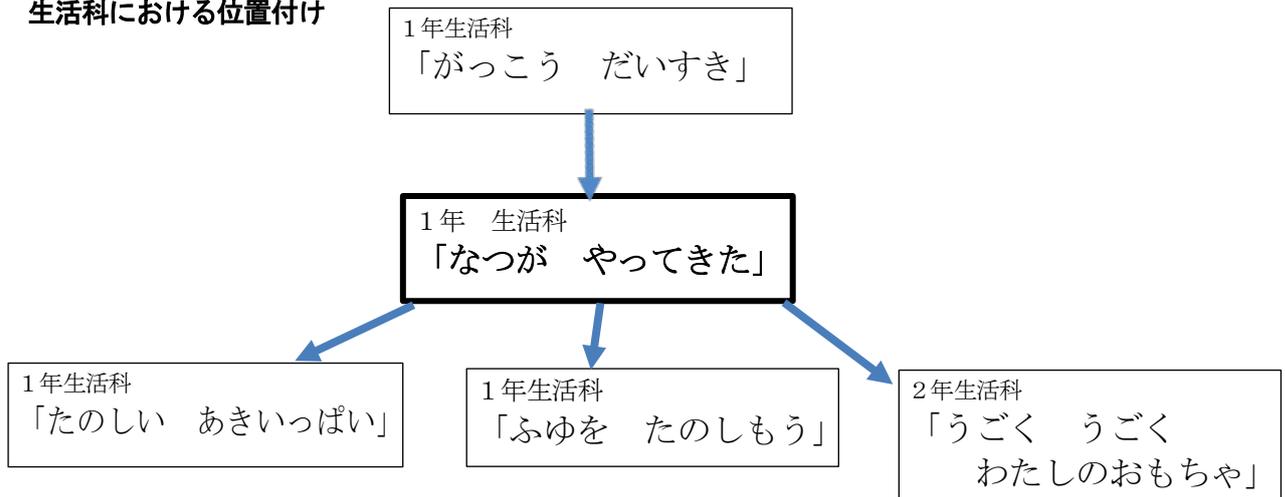
夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付け、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとする事ができるようにする。

##### (2) 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の様子や自然を使った遊びの面白さに気付くとともに、公園の使い方の約束に気付いている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然の違いや特徴を見付けたり、水を使った楽しい遊び方を考えたりしている。	夏の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしようとしている。

#### 3 単元について

##### (1) 生活科における位置付け



##### (2) 本単元の教材について

本単元は、学習指導要領(5)(6)を受け、設定している。身近な自然である木々や草花、水に直接触れたり、身近にある物を使ったりして遊びを工夫して作り出す楽しさや友達と関わって遊ぶ楽しさを十分に味わわせることをねらいとした単元である。遊びの活動を通し、その面白さや自然の不思議さに気付き、遊び方を工夫する経験を繰り返すことで、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうと活動を深めたり、広げたりしていくことができると考える。この際、試行錯誤する時間を十分に確保することで、自分のやってみようという思いや願いを実現しようとする活動に広がっていくと考える。

身近な自然として夏という季節にふさわしい草花や生き物、水を取り上げる。第5・6時で自然豊かな南元町公園で草花に触れることで、夏の自然に関する気付きが生まれる。また、第8時以降は、夏の遊びを水遊びに限定することで追求する要素が絞られ、気付きの共有化が図りやすいと考える。この自然に触れ、自然の中で遊び、自然物を使って遊びを工夫するという活動が、2学期後半の「たのしい あき いっぱい」の学習にもつながると考える。

##### (3) 子供の実態

本学級の子供は、外で遊ぶことや、はさみやのりを使って物を作る活動が大好きである。休み時間はやりたい遊びに積極的に参加したり、好きな遊びに没頭したりしながら過ごしている。生活科「こうていで、く

さばなやむしをさがそう」では、校庭に咲いている花や虫を観察し「土に空いている穴はなんだろう。」「セミの抜け殻があったよ。」「花にチョウがとまっているよ。」など、虫や花に興味関心をもちながら触れたり探したりする様子が見られた。しかし、自然の様子に気付いたり、友達とのかかわりのなかで遊びを工夫したりするまでには至っていない。自然の中で遊ぶ中で、「夏にはきれいな花がたくさんあるね。」「カブトムシがお相撲をしていたよ。」など自然の様子に気付いたり、「一緒に花の冠をつくろう。」「遠くに飛ばせるか競争しよう。」「水の出方が面白いね。」など、友達と遊びを作り出す喜びを味わわせたりしたい。

#### (4) 目指す子供像

「五感で自然に関わりながら、動植物や風などの自然の様子に気付くとともに、これまでの経験や友達と相談しながら遊び方を想像して水遊びを楽しむ中で、夏ならではの遊びの良さに気づき、自分の生活をより楽しいものにしようとする子供」の育成を目指す。

### 4 指導の工夫

#### ① 気づきの質を高める工夫（自然の様子、自然を使った遊びの面白さ）

自然の中で活動した後で子供一人一人の気づきを共有する時間を十分に確保したい。その際に子供の描いた絵や活動中の写真を活用しながら、発言を問い返したり全体で共有したりしていく。また水遊びの活動では、遊びに使う身の回りの物を選び出し、試行錯誤しながら遊ぶ時間を十分に確保したい。その中で自分の想像したおもちゃにしていくために必要なことや工夫に気付かせたい。さらに、実際に遊んでいる様子をタブレットで撮影し、見合う活動を通して、互いの遊びの良さを認め合ったり、自分の考えた遊びの良さを改めて実感したりできるようにしたい。こうした体験的活動後の丁寧な言語化や子供同士の関りの積み重ねにより気づきが自覚化され、関連付けられることで気づきの質が高まっていく。

#### ② 思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成

「夏をたくさん見付けたい。」そして「より夏を楽しみたい」からこそ、「より楽しい遊びを考えたい。」と子供は考える。このような子供の思いや願いの醸成に丁寧に寄り添うようにする。子供の具体的な姿を具体的な言葉で価値付け、集団としての学習意欲を高める。子供が直接自然や人々に働きかけたり、働き返されたりしながら活動が継続していくよう、夏の自然や友達と繰り返し関わる体験を位置づける。その際に、どのようなめあてで活動するかを明確にし、活動のイメージをもつ。そして活動中の写真や活動直後の交流により、この流れを繰り返し行うことで、思いや願いを実現させ、自分たちでやり遂げる達成感を味わわせたい。

#### ③ 振り返り活動の充実

関わる場面では「つぎにやってみたいこと」、思考場面では「考えたこと」、広げる場面では「活動を通して気付いたこと」を視点として振り返りカードを活用する。この振り返りにより、子供の気づきの質を高めるとともに、子供の思いや願いを大切に学習を展開していきたい。振り返りカードには教師もコメントを書いたり、友達の記述を紹介したりすることで、子供の気づき、思いや願いを学習につなげていけるようにしたい。

5 単元の指導計画(全12時間扱い)

過程	ねらい	<p>めあて <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;"> </span> 子供の学び</p> <p>○主な学習活動 ●評価の活動</p>	<p>◎教材・資料 ☆指導の工夫</p> <p>【観点】評価(方法)</p>
<p>であう</p>	<p>校庭の夏の様子に気付き、絵や言葉で伝える。</p> <p>①②</p>	<p>○夏についてのイメージを出し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・校庭にきれいな花が咲いていたよ。</p> <p>・太陽が当たっているところは触ると熱いよ。</p>  </div> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校庭の夏を見つけよう。</span></p> <p>○校庭に出て、夏の草花や虫を探したり、自然の様子を観察したりする。</p> <p>○興味を持った草花や虫を観察したり、工夫して遊んだりする。</p> <p>●校庭で見付けた自然の様子や遊んだことを夏のすてきカードに書いて伝え合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・いろいろな色のお花がさいていてとってもきれいだっただよ。みんなも見つけてみてね。</p> <p>・鉄棒が熱くなっていて、びっくりしたよ。校庭以外の場所にも行ってみたいな。</p>  </div> <p>○これからの活動について話し合う。</p>	<p>◎前単元のワークシート</p> <p>☆「よかった。」「楽しかった。」などの発言を受けて問い返すことにより、友だちと交流して気付いたよさを詳しく言語化させる。</p> <p>☆「なつはっけんコーナー」を作り、見つけたことやものをカードにかき、自由に貼れるようにする。(休み時間などに貼ってもよい。)</p> <p>【態度】音やにおい、手触りなどの諸感覚を使って、校庭の夏の動植物や自然の特徴を探している。</p> <p>【知技】校庭で見付けた動植物や自然の特徴について、言葉や動作で友達と伝え合ったり、記録カードに書いたりしている。</p>
<p>かかわる</p> <p>①</p>	<p>公共施設の利用のきまりを守って三栄公園の夏を見つける。</p> <p>③④</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三栄公園の夏を見つけにいこう。</span></p> <p>○公園に遊びに行き、ルールを守って楽しく遊ぶ。</p> <p>○気付いたことや楽しく遊んだことを報告し合う。</p> <p>●楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>・小さな子も遊びに来ていたよ。</p> <p>・学校にはない遊具があって楽しかったよ。</p> <p>・みんなでおにごっこをしたよ。とても暑くて汗をたくさんかいたけど、気持ちよかったよ。</p> <p>・思ったよりに夏が少なかった。</p> <p>・もっと自然いっぱい公園にも行きたいな。</p>  </div>	<p>◎なつはっけんコーナー・すてきカード</p> <p>☆公園ではどのようなことに気を付けなければならないか子供の発言を生かしながら確認する。</p> <p>☆前時の「なつはっけんコーナー」を提示してさらに夏について情報を集めたいという意欲が高まるようにする。</p> <p>☆振り返りはカードで行い、発表の際の問い返しにより子供の気付きを引き出す。</p> <p>☆校庭と比較して、あまり夏の様子が変わっていないという発言を広げ、夏をもっと感じられそうな場所を話し合う。</p> <p>【知技】公園は、いろいろな人が使う場所であることや、利用方法やきまりが存在していることなどに気付いている。</p>
	<p>南元町公園の夏の様子に気付く。</p> <p>⑤⑥</p>	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">南元町公園の夏を見つけよう。</span></p> <p>○公園に遊びに行き、ルールを守って楽しく遊ぶ。</p> <p>○気付いたことや楽しく遊んだことを報告し合う。</p> <p>○友達活動を参考にして、より工夫して自然や遊具を使って楽しく遊ぶ。</p>	<p>◎なつはっけんコーナー・すてきカード</p> <p>☆前時を振り返り、公園の使い方を確認する。</p> <p>☆出発前に自分が見付けたいことや漢字程ことを言語化する時間を確保し、公園での活動の見通し明確にする。</p> <p>☆活動中の気付きを取り上げ、問い返したり写真などに記録したりする。</p>

		<p>●楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <p>・ザリガニやおたまじゃくしのいる池もあったよ。</p> <p>・水が出てくる川みたいなのがあったよ。</p> <p>・ねこじゃらしやシロツメクサがあったよ。</p> <p>・暑かったからお水で遊んで気持ちよかったよ。もっとやりたかったな。</p> <p>・もっと友達の見つけたことが知りたいな。</p> 	<p>☆掲示している「なつはっけんコーナー」にすてきカードを足していくことで、気づきの広がりを見える化する。</p> <p>☆すてきカードをを基に気づきを共有し、工夫や夏ならではの特征にも着目できるように問い返す。</p> <p>☆子供の「もっとくわしく伝えたい。」という思いを受け止め、次時の活動へつなげる。</p> <p>【思判表】公園の自然に関わる活動を通して、工夫して遊んだり、自然の特征を見付けたりしている。</p>
<p>ひろげ ①</p>	<p>夏の様子 を伝え 合い、 比べて 考えた ことを 話し合 う。 ⑦</p>	<p>夏のすてきを伝えあおう。</p> <p>●なつはっけんコーナーを見ながら夏の自然の特征について話し合う。</p> <p>●伝えたいことを整理し、あのねカードに書く。</p> <p>○あのねカードを基に、自分の感じた夏のすてきを伝え合う。</p> <p>・南元町公園は、校庭や三栄公園よりも木や草がたくさんあったよ。</p> <p>・校庭でも三栄公園でもシオカラトンボを追いかけたのが楽しかったよ。</p> <p>・南元町公園の水が出るところでいろんな遊びができてよかったよ。校庭での水遊びならできるかもしれないな。みんなでやりたいな。</p> 	<p>◎「なつはっけんコーナー」・振り返りカード</p> <p>☆「なつはっけんコーナー」を見て、夏の特征を捉えやすいように、板書にまとめる。</p> <p>☆これまでの学習を振り返り、気付いたことや感じたことを伝える際は、絵や言葉で伝えるよう促す。</p> <p>☆校庭、三栄公園、南元町公園での気づきを関連付けられるよう板書に整理する。</p> <p>【思判表】校庭・三栄公園・南元町公園で見付けたことを比べて、夏の自然の違いや特徴を見付けている。</p> <p>【思判表】伝えたいことが相手に伝わるかどうかを予想しながら、伝え方を選んでいく。</p>
<p>かかわ ②</p>	<p>楽しく 水遊び をし、遊 びを考 える面 白さに 気付く。 ⑧</p>	<p>水で楽しく遊ぼう。</p> <p>●これまでの水遊びの経験を教え合い、水を使った夏の遊びについて話し合い、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○遊びで感じたことを伝え合う。</p> <p>・水の飛ばしっこが楽しかった。</p> <p>・地面にお絵かきもできたよ。</p> <p>・水が体にかかって気持ちよかった。</p> <p>・的があると何点か勝負できて楽しそうだな。</p> <p>・友達と相談したり、的を作ってみたりしたいな。</p> 	<p>◎振り返りカード</p> <p>☆これまでの子供の水遊びの経験の違いがあると考えられるため、これまでの水遊びの経験を共有する時間を十分に確保する。</p> <p>【知技】身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりして、遊びを創り出すことの面白さに気付いている。</p> <p>【態度】夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。</p>

	<p>友達と話したり、相談したりして楽しい遊び方を考える。</p> <p>⑨ (本時)</p>	<p><b>水でもっと楽しく遊ぶ作戦を考えよう。</b></p> <p>○前時の振り返りから、本時の見通しをもつ。</p> <p>●グループごとに遊び方を相談する。</p> <p>○グループで話し合ったことを全体へ向けて紹介する。</p> <p>・水鉄砲はいろんなものに穴をあけて、水の出方を比べたら面白いと思う。</p> <p>・的当てでは、遠くの的に当てたら点数を高くしたらもっと面白くなると思う。</p> <p>・今日考えた遊びを次にやってみたいな。</p> <p>・早く校庭に出て、みんなで遊びたいな。</p> 	<p>◎前時の写真や動画</p> <p>◎振り返りカード</p> <p>☆グループごとに指名して紹介させ、「もっと楽しく」という目的で、様々な工夫が考えられたことを価値づける。</p> <p>☆紹介後に質問などによる交流の場を設ける。</p> <p>【思判表】これまでの経験や持ち寄った道具から水を使った遊び方を想像し、試したり友達と相談したりしながら、遊び方を考えている。</p>
	<p>友達と関わりながら、遊びを楽しむ。</p> <p>⑩⑪</p>	<p><b>水遊びでもっと楽しく遊ぼう。</b></p> <p>●前時で考えた工夫をもとにして、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○活動を通して工夫したことや気付いたことを振り返りカードに書いて振り返りをする。</p> <p>・的を大きくしたらよく当たるようになってすごく楽しかったよ。大きくしてよかった。</p> <p>・水が飛んだところに線を引いたら、誰が一番遠くまで飛んだか分かったから、ケンカしないでみんなで楽しく遊べたよ。</p> <p>・他のグループはどんな遊びをしたのかな。知りたいな。</p> 	<p>◎振り返りカード</p> <p>☆各グループが活動しやすいように、場の工夫をする。</p> <p>☆各自で振り返りカードを書く前に、グループで「工夫したことでより楽しくなった点」という視点で話し合いの場を設ける。</p> <p>【態度】夏の自然と関わりたいという思いをもち、いろいろな遊びを繰り返し、夏の自然を楽しもうとしている。</p>
<p>ひろげられる</p> <p>⑫</p>	<p>遊びの楽しさを振り返り、これからの生活に活かそうとする。</p> <p>⑫</p>	<p><b>水遊びで楽しかったことを伝えよう。</b></p> <p>○グループごとに遊びの紹介をする。</p> <p>●遊びの紹介を聞いて、考えたことをあのねカードに書いて振り返りをする。</p> <p>・みんな面白そうな遊びを考えていてすごいと思いました。どの遊びも楽しそうでした。ぼくは、遊びの工夫を考えるのがとても楽しかったです。おうちでもおもちゃを作って遊びたいです。</p> <p>・ぼくは、的当てをやってみたかったです。なぜかという、みんな盛り上がっていて楽しそうだったからです。それから、的が大きくてたくさん当てられそうだったからです。校庭はとっても暑かったのでお水が冷たくて気持ちよかったです。また、みんなとお水を使っているような遊びをしたいです。</p> 	<p>◎振り返りカード</p> <p>☆遊びを紹介するときは、前時の振り返りカードを渡し、遊びを想起できるようにする。</p> <p>☆友達と遊びを広げている姿を取り上げ、価値づける。</p> <p>☆楽しかったこと、これからやっていきたいことに焦点化し、最後の振り返りが書けるようにする。</p> <p>【知識】夏の自然の特徴を生かして遊ぶことの楽しさに気付いている。</p> <p>【態度】夏の自然を生かして自分たちで遊びを創り出す楽しさを実感し、これからも身近な自然で楽しく遊ぼうとしている。</p>

(1) 本時のねらい

これまでの経験や持ち寄った道具から水を使った遊び方を想像し、試したり友達と相談したりしながら、遊び方を考えている。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される子供の反応	◎教材 ☆指導上の留意点 ・【評価】
導入 (8)	<p>○前時の水遊びを振り返る。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しかったまたやりたいな。</li> <li>・今度はペットボトルに穴をあけて水鉄砲で遊びたいな。</li> </ul> </div>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>みずをつかった、もっとたのしいあそびかたをかんがえよう。</p> </div> <p>○道具を使うときの注意点や活動の見通しをもつ。</p>	<p>◎教材 ☆指導上の留意点 ・【評価】</p> <p>◎前時の写真や動画、振り返りカード</p> <p>☆きりやカッターは必ず教師の見ているところで使用するよう指導する。</p>
みんなのタイムⅠ (10)	<p>○グループごとに遊び方を相談する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペットボトルに穴をあけたものとケチャップの容れ物は、水の出方が違ったよ。</li> <li>・誰が一番水を飛ばせたかが分かりやすくなると、もっと楽しいと思う。</li> </ul> </div>  	<p>☆改良コーナーには、道具や材料を準備しておく。</p> <p>◎作ったおもちゃ ◎カラーペン、画用紙、スズランテープ ☆グループの話し合いの様子を見ながら、試すよう促したり、前時の気付きを取り上げたりして適宜助言をする。</p>
みんなのタイムⅡ (20)	<p>○グループで話し合ったことを全体へ向けて紹介する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水鉄砲はいろんなものに穴をあけて、水の出方を比べたら面白いと思います。</li> <li>・的あてでは、遠くの的に当てたら点数を高くしてあげたらもっと面白くなると思います。</li> </ul> </div>  <p>○紹介を基に、再度遊び方を相談したり、遊びに必要な道具を準備したりする。</p>	<p>☆グループごとに指名して紹介させ、「もっと楽しく」という目的で、様々な工夫が考えられたことを価値付ける。</p> <p>☆遊び方と道具に分けて板書し、活動のヒントになるようにする。</p> <p>☆紹介後に質問などによる交流の場を設ける。</p>
振り返り (7)	<p>○今日考えたことと、次の時間にやりたいことをカードに記入する。</p> <p>○次にやりたいことを発表し、次々の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作った水鉄砲でどっちが遠くまで水を飛ばせるかグループでくらべっこしたいな。</li> <li>・他のおもちゃでも遊んでみたいな。自分のおもちゃも友達にやってもらいたい。</li> </ul> </div> 	<p>◎振り返りカード</p> <p>【思判表】これまでの経験や持ち寄った道具から水を使った遊び方を想像し、試したり友達と相談したりしながら、遊び方を考えている。</p> <p>☆次時に何をするのかを見通しをもたせ、次時の学習につなげる。</p>

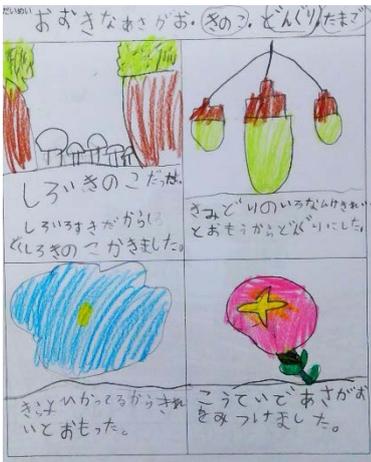
### (3) 本時の板書計画

<p>なつをたのしもう</p> <p>みずをつかったもったのしいあそびをかんがえよう。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・おえかき。</li><li>・どっちがとおくへとばせるか。</li><li>・シャワー</li></ul> <p>あそびかた</p>	<p>動画や考えの共有</p>	<p>すすめかた</p> <ol style="list-style-type: none"><li>① さくせんタイム①</li><li>② はっぴょう</li><li>③ さくせんタイム②</li></ol> <p>・かんがえたあそびをこ うていでやりたい。 ・ともだちのかんがえた あそびもやってみたい。</p>
---	-----------------	---

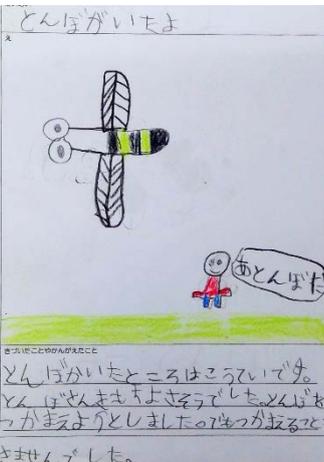
## 7 参考資料

### 第7時の発表で使ったワークシート

A児



B児



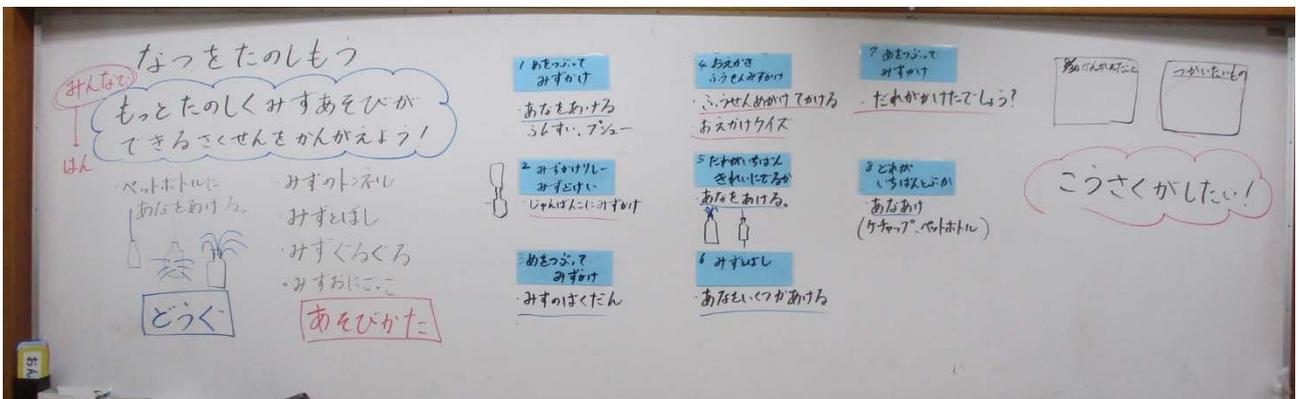
### 「なつ発見コーナー」(第6時まで)



### 前時(水遊び)の様子



### 本時の板書



### 本時の子供の様子



## 8 学習の実際

	○主な学習活動 ◆めあて【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1 ・ 2 時	<p>◆校庭の夏の様子に気付き、絵や言葉で伝えることができるようにする。</p> <p>○校庭に出て、夏の草花や虫を探したり、自然の様子を観察したりする。</p> <p>○興味を持った草花や虫を観察したり、工夫して遊んだりする。</p> <p>○校庭で見つけた自然の様子や遊んだことを夏のすてきカードに書いて伝え合う。</p> <p>○次時やりたいことを話し合う。</p> <p>【知技】【態度】</p>	<p>・「学校に来るときに、蝶々がお花に停まっているのを見たよ。」</p> <p>・「オジギソウが育っていたよ。大きい朝顔も咲いているよ。」</p> <p>・様々な草花に関心を持ち、触ったり大きさを比べをしたりしている。</p> <p>・「私は、大きな朝顔を見つけました。私の手ぐらい花が大きかったです。」</p> <p>・「校庭じゃないところにも行ってみたいな。」</p>	<p>・「最近、暑いな。」</p> <p>・「夏なのにトンボが飛んでいるよ。」</p> <p>・トンボを追いかけるのに夢中。</p> <p>・「僕はトンボを追いかけました。汗をいっぱいかきました。」</p> <p>・友達のお考えに共感している。</p>	<p>・校庭に行く前に、「夏といえばどんなものを思い浮かべるか。」を出し合ったことで、直接目で見て確かめたいという気持ちが高まった。</p> <p>・教師が積極的に関わり、活動の中でも子供の発言を広げたことで、多くの子供が友達や教師に一生懸命自分の発見を伝えようとしていた。</p> <p>・子供の発言を受けて丁寧に問い返しながらかつ共有したことで、「もっとたくさん夏を見付けたい。」「他の場所も探してみたい。」という思いの醸成につながった。</p>
3 ・ 4 時	<p>◆公共施設の利用のきまりを守って三栄公園の夏を見つめることができる。</p> <p>○公園に遊びに行き、ルールを守って楽しく遊びながら、気付いたことや楽しく遊んだことを報告し合う。</p> <p>○楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <p>○次時やりたいことを話し合う。</p> <p>【知技】</p>	<p>・約束をしっかりと聞き、「いろんな花を見つけない。」と活動のめあてをもっている。</p> <p>・シロツメクサなど校庭にはなかった草花を次々に見付けている。</p> <p>・「シロツメクサが咲いていました。でも思ったより夏は見つかりませんでした。」</p> <p>・「もっと夏の自然がいっぱいある公園に行きたいな。」</p>	<p>・約束をしっかりと聞き、「虫を探したい。」と活動のめあてをもっている。</p> <p>・ダンゴムシやトンボ、ゼミの抜け殻などを次々に見付けている。</p> <p>・「またトンボを見つけました。校庭で見たのと同じ模様でした。」</p> <p>・「南元町公園がいんじゃないかな。」</p>	<p>・活動に出る前に、個人のめあてを考える時間をとったことで、一人ひとりが主体的に学習に取り組んでいた。</p> <p>・教師がデジタルカメラを持ち、写真に収めたことで伝えたいという思いが加速するとともに、その後の共有でも役に立った。</p> <p>・校庭と比べて思っていたほど変化がなかったことから、「もっと自然がいっぱいある公園に行きたい。」という思いにつながった。</p>
5 ・	<p>◆南元町公園の秋の様子に気付くことができるようにする。</p> <p>○公園でルールを守って楽しく遊びながら、気付いたことや楽し</p>	<p>・「もっとたくさん夏の植物を見つけたいな。」</p> <p>・白いキノコや黄緑色のどんぐりなどを見付け、興奮気味</p>	<p>・「おたまじゃくしを見つけないな。」</p> <p>・おたまじゃくし、ザリガニなどの生き物を見付け、</p>	<p>・前回同様、個人のめあてを決めてから活動したことで、活動への期待が膨らみ、のびのびと活動していた。</p> <p>・三栄公園で体験できなかつた。</p>

6時	<p>く遊んだことを報告し合う。</p> <p>○友達の活動を参考にして、より工夫して自然や遊具を使って楽しく遊ぶ。</p> <p>○楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <p>【思判表】</p>	<p>に話している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水場で遊んでいる友達を見付け、自分もその遊びに参加している。</li> <li>・見つけたことがありすぎて伝えきれない様子。</li> </ul>	<p>友達と報告し合っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の見付けたものに興味を持ち、活動を広げている。</li> <li>・黄緑色のどんぐりの話を聞き驚いている。</li> </ul>	<p>ったどんぐり集めや秋の植物見付けができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前回同様、教師は活動中の写真を撮った。</li> <li>・振り返りの時間は、簡単な共有に留め、「もっと伝えたい。」「もっと友達の話を知りたい。」という思いを高めて次時へつなげた。</li> </ul>
7時	<p>◆夏の様子を伝え合い、比べて考えたことを表現することができるようにする。</p> <p>○なつはっけんコーナーを見ながら夏の自然の特徴について話し合う。</p> <p>○伝えたいことを整理し、あのねカードに書く。</p> <p>○あのねカードを基に、自分の感じた夏のすてきを伝え合う。</p> <p>○次時やりたいことを話し合う。</p> <p>【思判表】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「今日のめあては伝えようだね。友達の話も聞きたいな。」</li> <li>・「夏は自然も生き物もたくさん見つけたね。」</li> <li>・「私は好きな色の植物をたくさん見つけました。特に <u>南元町公園にしかかった</u> 黄緑色のどんぐりはかわいくてお気に入りです。」</li> <li>・「水のところで遊んだのが楽しかったな。みんなで水遊びしたいね。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A児の発言にうなずき、共感を示している。</li> <li>・「トンボは全部の場所にいたよ。」</li> <li>・「僕はトンボを追いかけたのが楽しかったです。秋にしかいないと<u>思ったのに、夏にも色んな場所</u>にいてびっくりしました。」</li> <li>・「今度は夏を見つけようじゃなくて、夏で遊ぼうだね。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝え合いの際に、前時の活動の写真や子供のワークシートを投影したことで、イメージの共有が容易になり、共感的な反応を示す子供が多く見られた。</li> <li>・板書の構成や、夏のすてきカード、丁寧な問い返しにより、下線部のような季節や場所による自然の様子の変化に着目した発言が子供から生まれた。</li> <li>・発表後夏のスてきカードを見返すと「遊び」の項目が少ないこと、教師から前時の水場で遊んでいる写真を示したことで、次時への思いにつながった。</li> </ul>
8時	<p>◆楽しく水遊びをし、遊びを考える面白さに気付く。</p> <p>○水を使った夏の遊びについて話し合う。</p> <p>○友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○遊びで感じたことを伝え合う。</p> <p>【知技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ペットボトルを斜めにして虹を作りたいな。」</li> <li>・水で虹を作ったり、友達と一緒に上に飛ばしたりして遊んでいる。</li> <li>・「飛ばしっこが楽しかったです。次はもっと楽しい遊びを考え</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「マヨネーズの容器に水を入れてプシャッとやったら楽しそうだな。」</li> <li>・友達と水のかけ合いをして遊んでいる。途中で的を見付けて的あてのようなこともしている。</li> <li>・「水がかかって気持ちよかったです。またやりたいな。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回は使う道具をペットボトルやマヨネーズの容器としたが、水桶やホースなども用意しておくことで子供の発想がより広がった。</li> <li>・就学前などの経験をより丁寧に話し合う必要があった。</li> <li>・活動中にも数名の子供を取り上げて全体に広めたことで、「やってみよう。」「試してみよう。」という思いにつながった。</li> </ul>

		てやりたいです。」		
9時 本時	<p>◆友達と話したり、相談したりして楽しい遊び方を考えることができる。</p> <p>○グループごとに遊び方を相談する。</p> <p>○グループで話し合ったことを全体へ向けて紹介する。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【思判表】</p>	<p>・「今日はもっと楽しい水遊びを考えようだね。」</p> <p>・「風船を持ってきて、水かけをしようよ。」</p> <p>・友達の発言に耳を傾けている。</p> <p>・「次は風船に顔を描いてかわいい的を作りたいです。」</p>	<p>・「考えるだけで終わりかな。」</p> <p>・「水かけリレーをしたらどうかな。」</p> <p>・友達の発言に耳を傾けている。</p> <p>・「水かけリレーをするためにペットボトルのキャップに穴をあけたいです。」</p>	<p>・B児の発言が全てだった。実物を用いて遊びながら考える活動にすべきだった。後日1時間試す時間をとった。</p> <p>・考えたことをすぐに試せるように、校庭や屋上などの場で行えたらよかった。</p> <p>・話し合う活動が初めてだったので、話し合いの方向性や視点を明確にするより取り組みやすかったと思う。</p>
10時 11時	<p>◆友達と関わりながら、遊びを楽しむことができる。</p> <p>○前時で考えた工夫をもとにして、友達と一緒に水を使った遊びを楽しむ。</p> <p>○活動を通して工夫したことや気付いたことを振り返りカードに書く。</p> <p>【態度】</p>	<p>・「今日はみんなで水遊びだね。」</p> <p>・前半はグループで決めた的あて遊びで楽しく遊び、後半は他のグループとも一緒に遊んだ。</p> <p>・「的あては、<u>たくさん点数が入って</u>楽しかったです。優勝は○○さんでした。他のグループの遊びも知りたいです。」</p>	<p>・「僕たちの水遊びを先生は写真に撮ってね。」</p> <p>・何度か水かけリレーをした後、他のグループと一緒に水のトンネルを作って遊んだ。</p> <p>・「水かけリレーは<u>ちよっぴり難しかったけど、せえの(と声をかけたこと)</u>で上手くできました。」</p>	<p>・活動中に思い付いた遊びも認めていくことで、グループを越えて学ぶ姿が生まれた。</p> <p>・各自で振り返りカードを書く前に、「楽しかったことをくわしく教えてね。」と「遊びが面白くなったコツを教えてね。」と問うことで、A児のような前時までの工夫の良さを実感した言葉や、B児のような友達との関わり方に着目した発言が生まれた。</p>
12時	<p>◆遊びの楽しさを振り返り、これからの生活に生かそうとする。</p> <p>○グループごとに遊びの紹介をする。</p> <p>○遊びの紹介を聞いて、考えたことをあのねカードに書いて単元のまとめとする。</p> <p>【知技】【態度】</p>	<p>・「今日はみんなで伝え合おうだね。」</p> <p>・前時のカードを基に発表する。</p> <p>・「的あても楽しかったけれど、水のトンネルも楽しそうだなと思いました。ぬれるかぬれないかドキドキして楽しそうでした。また<u>みんなで遊びたい</u>です。」</p>	<p>・友達の発言に頷いて肯定している。</p> <p>・前時のカードを基に発表する。</p> <p>・「僕はやっぱり水かけリレーが1番楽しかったと思いました。みんなにもルールを教えて、<u>クラスみんなでやったらすごく楽しい</u>と思います。」</p>	<p>・振り返りカードの記述から。友達と遊びを広げている姿を取り上げ、価値付けた。</p> <p>・楽しかったこと、これからやっていきたいことに焦点化し、最後の振り返りを書けるようにしたことで、単元を通した学びの楽しさを再確認すると共に、学びを今後の生活にも生かそうとする記述につながった。</p>

## 考察

低学年では「社会とのつながりを実感し、生活を豊かにしようとする子」を目指す子供像としている。本単元において「社会とのつながりを実感すること」とは、身近な友達や水遊びの道具、夏の自然などに思いを巡らせることとした。「生活を豊かにしようとする子」とは、学びを実生活に活かし、よりよい生活を想像していこうとすることと考えた。B児は「僕はトンボを追いかけたのが楽しかったです。秋にしかないと思ったのに、夏にも色んな場所にてびっくりしました。」と、五感で自然に関わりながら、動植物や風などの自然の様子に気付いていた。また、「マヨネーズの容器に水を入れてプシャッとやったら楽しそうだな。」とこれまでの経験や友達と相談しながら遊び方を想像して水遊びを楽しんでいた。また、A児は「ぬれるかぬれないかドキドキして楽しそうでした。」と夏ならではの遊びの良さに気付いていた。さらに「またみんなで遊びたいです。」「クラスみんなでやったらすごく楽しいと思います。」と自分の生活をより楽しいものにしようとする発言も見られた。

生活科で大切にしたいこと

- ① 気付きを言語化する場面では、「なるほど」「面白いね」と子供の発言を受け止め、「それで、それで」と話を促し、「～したら、水が遠くまで届いたんだね。」「穴の大きさを変えると、変わるんだね。」と気付きを関連付け広げるなど、教師が丁寧に問い返し、全体へも広めていくことで、子供の気付きの質を高めることができる。
- ② 活動の場やめあてを少しずつ変化させながら、体験活動と表現活動を単元の中に繰り返し位置付けることで、子供が直接自然や人々に働きかけたり、働き返されたりしながら活動が継続していき、子供の身近な友達や水遊びの道具、夏の自然などに思いを巡らせる姿につながる。
- ③ 振り返りでは、子供自身の学びを支える自分なりのめあてをもち、次の時間にしたいことを決めることに重点を置き、その思いや願いを可能な範囲で実現したことで、思いや願いをもって身近な人々と関わるというサイクルが生まれ、単元の終末ではさらに関わりを広げようとしたり、「またみんなで遊びたいです。」「クラスみんなでやったらすごく楽しいと思います。」など、これからの生活を豊かにしようと考えたりすることにつながった。

## 第10、11時の活動の様子

### 水のトンネル



### 水かけリレー



# 第1学年 生活科学習指導案

1 単元名 「たのしいあきいっぱい」(21 時間)

## 2 単元の目標と観点別評価規準

### (1) 単元の目標

秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり、気温や感触・大きさ・形・色などの身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることで、季節による自然の様子の変化や自然の不思議さに気付くとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活や遊びを楽しくしようとする事ができる。

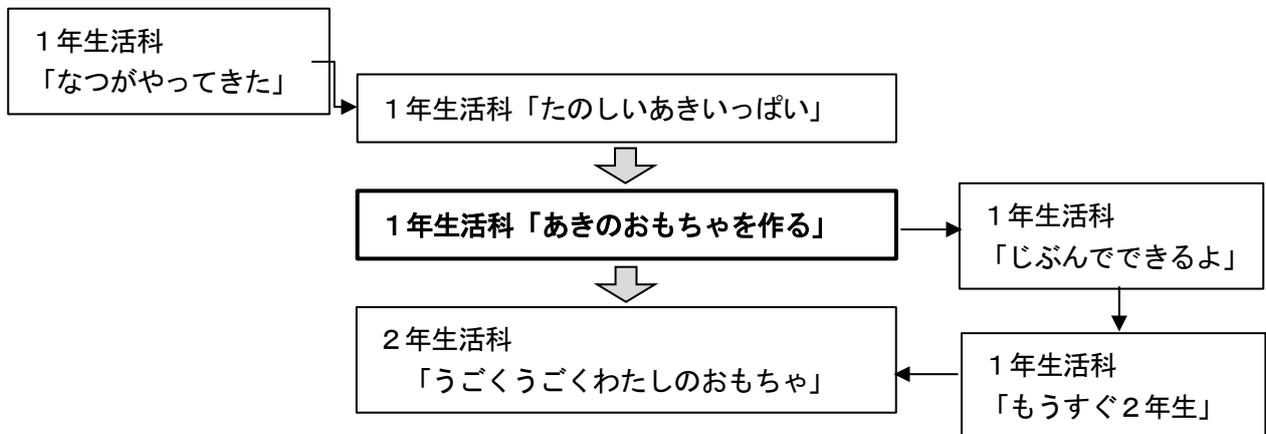
### (2) 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・表現・表現	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わる事、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることの面白さ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、気温や感触・大きさ・形・色などの身近な自然の違いや特徴を見付けたり、身近な自然を使って、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れ、みんなと楽しみながら遊びを創り出し、遊びを通して園児や友達や園児と楽しくより良く関わろうとしている。

## 3 単元について

### (1) 生活科における本単元の位置付け

本単元では学習指導要領の内容(5)「季節の変化と生活」(6)「自然や物を使った遊び」を受けて設定したものである。



### (2) 本単元の教材について

本単元では、集めたさまざまな自然物を試しながら比べて材料を選び、自分のおもちゃをつくる中で、いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気づき、試行錯誤して楽しいおもちゃを創り出そうとすることができるようにしたい。さらに、四谷子ども園の園児と一緒に遊ぶためには、製作したおもちゃを園児用に改良する必要がある。おもちゃ博物館の方々の話を聞いたりアドバイスをもらいながら、みんなで楽しく遊ぶにはどうしたらよいかを考えたり、園児が楽しむ活動をつくり出すことで、生活科の活動への意欲や今後の交流活動への期待を高めたい。



### (3) 子供の実態

本学年の子供は、外で遊ぶことが大好きで、身近な自然に触れる機会も多く、休み時間に花を見つけて教室に持ってきたり、家の近くで捕まえた生き物の話をしたりと身近な自然と積極的に関わろうとする様子が見られる。生活科「きれいにさいてね」では、あさがおの日々の変化を観察し、世話の仕方を工夫して「棒を立てよう」、「隣のあさがおと少し離して置こう」など、もっときれいな花を咲かせようという活動への意欲が見られた。しかし、自然物の特徴や面白さに気付いたり、友達との関わりの中で遊びを工夫したり、自分の思いや願いをもって活動したりするまでには至っていない。

### (4) 目指す子供像

本単元では自然物を利用して遊ぶ経験を大事に考えている。秋を感じることができる自然に多く触れ合い、遊びに使う自然物を自ら選び出して試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを進んで楽しむことができる子供を育てたい。また、身近な自然と「であい」、友達やおもちゃの先生方と「かかわり」、子ども園の園児と交流へと活動を「ひろげ」ていくことで、「人」や身近な「もの」を大切にしようとする子供の育成を目指す。

## 4 研究内容の関連

### (1) 気付きの質を高める工夫

子供は自然物を利用して遊ぶ経験が少ない。そのため、遊びに使う自然物を選び出し、試行錯誤しながら秋の自然を生かして遊ぶ時間を十分に確保する。

また、おもちゃを作って遊ぶ中で出てきた疑問を、おもちゃの先生方に質問したり教えていただいたりすることで、新たなことに気付いたり、アドバイスからさらにおもちゃや遊びを発展させていくようなつぶやきや行動を全体へ広げられるよう支援する。

### (2) 思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成

子供は、子ども園との「おもちゃやさんごっこ」の活動に向けて、個人やグループでの試行錯誤を繰り返し、遊びを工夫できるようにしていく。おもちゃを生み出す活動を試していくうちに、子供たちから新たな発想やアイデアが生まれ、「おもちゃや遊びをさらによいものにしたい。」「子ども園の子たちも楽しめるものにしたい」と考え始め、「自分たちの力だけでは思うようにいかない」状況が出てくるのが予想される。そこで、おもちゃの先生方に協力をいただき、自分から進んで助言を求め、願いの実現に向けて活動していくことで、自分たちの力でやり遂げる達成感を味わうことができるようにする。

### (3) 振り返り活動の充実

ねらいに応じた「あきのすてきカード」や「振り返りカード」「ワークシート」を用いて、見つけたもの、気付いたこと、次にやってみたいことの振り返りを行うことで、活動を自分事として捉えられるようにする。振り返りを基に子供たちの思考のつながりを大事にした授業を展開し、友達の意見を取り入れやすくするために似たおもちゃ同士でグループを作って活動を進めたりすることで、子供の気付きの質を高めるとともに、子供の思いや願いを大切にしたい授業を進めていく。振り返りカードには教師もコメントを書いたり、友達の記述を学級全体で紹介したりすることで、子供の学びが次時につながるようにする。

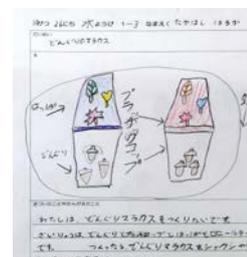
秋のすてきカード (掲示)



振り返りカード

/	
	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>
 気づいたこと	 かんがえたこと
 つぎにやりたいこと	

ワークシート



5 単元の指導計画 (全 21 時間扱い)

過程	ねらい	○主な学習活動 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子供の学び</span> ●評価につながる活動	◎教材・資料 ☆指導の工夫 【観点】評価 (方法)
であう	<p>校庭の秋の様子に気づき、絵や言葉で伝えることができるようにする。</p> <p>①②</p>	<p>●自分が見付けた初秋の様子を話し合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">涼しくなったね。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">道で落ち葉を見付けたよ。</div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content;">校庭の秋を見付けよう。</div> <p>○夏に草花遊びをした校庭の今の様子を話し合い、実際に見に行く。</p> <p>●校庭で、初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、見付けたことを友達と話したりする。</p> <p>●校庭で見付けた秋の自然の様子を、あきのすてきカードに書いて伝え合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">校庭にも黄色い葉っぱがあったよ。</div> </div> <p>○次にしたいことを振り返りカードに書いて伝え合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">夏に行った公園はどうなっているかな。</div> </div>	<p>☆通学路や校庭で見付けた秋の様子について考えられるようにする。</p> <p>自然の変化だけでなく、人々の服装やまちの様子などの変化も話題にする。</p> <p>☆前単元の「なつがやってきた」と関連させることで、秋の自然物の色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付くことができるようにする。</p> <p>【思判表】 幼児期に秋の自然物と関わった経験や、日常生活で見付けた秋の変化について考えて話している。(発言、行動)</p> <p>【知技】 秋の校庭の落ち葉やきのこを見付け、自然の様子について気付いたことを話したり、書いたりしている。(発言、行動、すてきカード)</p>
	<p>南元町公園の秋の様子に気づくことができるようにする。</p> <p>③④</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin-bottom: 10px; width: fit-content;">南元町公園で秋を見付けよう。</div> <p>○公園に行き、秋の自然物を見付けたり観察したりする。</p> <p>●秋の自然物を見付けて、気付いたことを振り返り、すてきカードに書いて伝え合う。伝え合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">木の実や落ち葉をたくさん拾いました。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">どんぐりもたくさん落ちていたよ。</div> </div> <p>●次にしてみたいことを、振り返りカードに書いて伝え合う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">拾ったもので飾りをつくったり遊んだりしたいな。</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">もっと秋いっぱい場所で遊んで落ち葉のベッドに飛び込んでみたいな。</div> </div>	<p>◎あきのすてきカード</p> <p>☆外で活動する際の注意点について確認する。</p> <p>☆公園にある秋の自然物の色や形、においなど、秋ならではの变化に気付くように声掛けをする。</p> <p>☆うまく相談できない子供には、「困っていることは何だったかな。」「聞きたいことはなんだったかな。」と問いかけるなど、個別に支援をする。</p> <p>【思判表】 夏になかった自然物や色の変化した葉っぱを探し、友達と見せ合ったり自然物の特徴を見付けたりしている。(行動、観察、すてきカード)</p> <p>【態度】 秋の自然物に関わりながら秋の自然の様子を楽しんでいる。(観察、振り返りカード)</p>

<p>新宿御苑の秋の様子に気付くことができるようにする。</p> <p>⑤⑥</p>	<p><b>新宿御苑で秋の遊びを工夫しよう。</b></p> <p>○公園に遊びに行き、ルールを守って楽しく遊ぶ。</p> <p>○五感を使って秋の自然と存分に関わる。</p> <p>●楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <div data-bbox="391 448 893 560">  <p>キンモクセイやギンモクセイの花を見つけたよ。</p> </div> <div data-bbox="391 571 893 683">  <p>落ち葉を集めてみんなでなげると、ひらひらして綺麗だったよ。</p> </div> <div data-bbox="391 694 893 806">  <p>いろんなどんぐりの大きさ比べをしたよ。</p> </div> <p>●楽しかったことや気付いたことをワークシートに書く。</p>	<p>☆新宿御苑の施設利用の決まりとして拾って持ち帰れないことについて確認し、自然の中で遊びを考えることに焦点化する。</p> <p>☆公園に来ている人達にも配慮しながら行動することを伝える。</p> <p>☆秋の自然の様子について、色や形、においなどの視点で観察してみるよう公園で声掛けを行う。</p> <p>☆新たな発見や遊びの特徴への気付きを引き出す声掛けを行う。</p> <p><b>【態度】</b> 秋の自然物に関わりながら秋の自然の様子を楽しんでいる。 (行動、観察)</p> <p><b>【思判表】</b> 色が変わった葉っぱや夏になかった自然物などを探し友達と見せ合ったり、秋ならではの自然の中の遊びを考えたりしている。 (発言、振り返りカード)</p>
<p>ひ 秋の様子を伝え合い、比べて考えたことを伝え合うことができるようにする。</p> <p>⑦</p>	<p><b>秋のすてきを伝え合おう。</b></p> <p>○二つの公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて伝え合う。</p> <p>○なつのすてきカードを見ながら、秋の自然で発見したものや自然の特徴について伝え合う。</p> <p>○秋の自然物で遊ぶ活動の中で見つけたことや気付きを紹介し合う。</p> <div data-bbox="391 1288 893 1400">  <p>公園にはいろいろな色や形のどんぐりや葉っぱが落ちていたよ。</p> </div> <div data-bbox="391 1411 893 1523">  <p>見たことないくらい大きな松ぼっくりがあってびっくりしたよ。</p> </div> <p>●伝え合ったことを基に、夏の自然の様子と比べて気付いたことや次にやりたいことを振り返りカードに書き伝え合う。</p> <div data-bbox="391 1680 893 1792">  <p>葉っぱの色が緑色から赤や黄色に変わっていたよ。</p> </div> <div data-bbox="391 1803 893 1915">  <p>たくさんあった葉っぱが地面に落ちて気が枝だけになっていたよ。</p> </div> <div data-bbox="391 1960 893 2072">  <p>拾ったもので、なにか作りたいな。</p> </div>	<p>☆誰とどこで何をして遊んだのか、何の観察したのかなど、発言の視点を明確にするよう促すことで自然の様子や季節の変化、それに伴う生活の様子の変化などについて伝え合うことができるようにする。</p> <p>◎あきのすてきカード</p> <p>☆夏に活動した時の観察カードを確認し、秋の変化に気付くことができるようにする。</p> <p>☆公園に出かける前の学習に沿って、振り返る活動を展開する。</p> <p><b>【知技】</b> 夏から秋になって、身近な自然の様子が変化していることを振り返りカードに書いている。(発言、振り返りカード)</p>

<p>集めた自然物を使って遊んだり、飾りを作ったりすることができるようにする。</p> <p>⑧⑨</p>	<p><b>秋で遊ぼう。</b></p> <p>○集めた自然物を使って遊ぶ。</p> <p>○秋の自然の中で遊んだことを思い出し、落ち葉や木の実などの自然物を使った遊びを工夫して遊ぶ。</p> <p> 遊びに使えるものはあるかな。</p> <p> どんぐりや落ち葉を並べて動物の顔をつくったよ。</p> <p> 擦ると落ち葉が浮かび上がったよ。貼り絵にしたよ。</p> <p>●秋の自然物を使って、遊んだり飾りを作ったりする中で気付いたことや次時やりたいことを、振り返りカードに書き伝え合う。</p> <p> どんぐりがコロコロ転がって、貼るのが難しかったな。</p> <p> 今度は動くおもちゃを作ってみんなで遊びたいな。</p>	<p>☆楽しかった気持ちと、秋の季節を結び付けて考えることで、秋のよさに気付くことができる。</p> <p>☆拾ってきたものを陳列したり、前時の記録カードを見させたりすることを通して、校庭や公園での楽しかった活動を思い出し、落ち葉や木の実で遊ぶ活動への意欲を高めることができるようにする。</p> <p>☆落ち葉のこすりだしやお面作りなど、遊びの例を示す。</p> <p>☆気持ちや、感想を話すことができるようにする。</p> <p>【知技】季節によって楽しめる遊びが変わるなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。 (発言、ワークシート)</p> <p>【態度】友達の遊びを聞いて、自分でも、もっと秋の自然物を使って遊びたいと話している。 (発言、観察、振り返りカード)</p>
<p>秋の自然物を使って自分が作るおもちゃのイメージを設計図に描くことで明確にもてるようにする。</p> <p>⑩</p>	<p><b>秋のおもちゃの設計図を描こう。</b></p> <p> 何が作れるかな。</p> <p>○自然物や材料を触りながら設計図を描く。</p> <p> どんぐりはこまになるのかな。何があればできるかな。</p> <p> どんぐりと紙コップを使って、マラカスをつくりたいな。できたらみんなで作って遊びたいな。</p> <p>●設計図の描いたおもちゃを作りたい理由をワークシートに描く。</p>	<p>☆集めた秋の自然物を重ねたり、並べたりして自由に遊ばせ、おもちゃづくりの発想を高める。</p> <p>☆つくりたいおもちゃの種類をまとめ、同じおもちゃをつくるグループで今ある材料を使い、自分たちでおもちゃをつくれるようにする。</p> <p>◎おもちゃの設計図</p> <p>【態度】設計図を描くことで、自分の作りたいおもちゃのイメージを明確にし、意欲を高める。 (行動、観察、ワークシート)</p>
<p>自分の作りたいおもちゃに適した自然物を選び、作って繰り返し遊ぶことができるようにする。</p> <p>⑪⑫⑬⑭</p>	<p><b>秋のおもちゃを作ろう。</b></p> <p> どんぐりこまをつくってみよう。</p> <p> マラカスをつくってみよう。</p> <p>○おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊ぶ。</p> <p>○改良したもので互いに遊び、より良い工夫ができないか考える。</p> <p>○工夫してみたて困ったことやうまくいか</p>	<p>☆前時の振り返りから、本時の活動への見通しをもてるようにする。</p> <p>☆同じ種類の物をつくっている子供は近くで作業し、互いの共通点や相違点に気付くことができるようにする。</p> <p>☆子供の困り感を教師が解決せずに、友達同士アドバイスできる環境を作る。</p> <p>☆試しに遊びながら、材料や作り方を工夫できるように、材料と時間を十分に確保する。</p>

		<p>なかったことを共有する。</p>  <p>すごくよく回るどんぐりゴマを作りたいけど、難しいな。</p> <p>●次時やりたいことを記録カードに記入する。</p>  <p>だれかにヒントをもらえないかな？</p> <p>●おもちゃの先生に相談したいこと振り返りカード書く。</p>  <p>ずっと回っているどんぐりこまの作り方を教えてもらおう。</p>	<p>◎安全面に配慮が必要な道具は「作業コーナー」を設け、教師が目の届く場所で行うように指導する。</p> <p>【思判表】自然物を選んでおもちゃをつくり、試しに遊んでみてはその結果を観察するということを繰り返し、自分のつくりたいおもちゃに適した自然物を決めている。 (行動、観察、記録カード)</p>
<p>か か わ る</p>	<p>おもちゃづくりのヒントを基に、よりよいおもちゃを作ることができる。 (本時) ⑮</p>	<p>もっと たのしくしたいな。</p> <p>○おもちゃの先生方から、おもちゃ作りのヒントを教えてもらう。</p>  <p>いい音をだしたいな。</p>  <p>もっと変えてみたい。</p> <p>○おもちゃや楽器を改良したり、種類を変えておもちゃをつくったりして、楽しく遊ぶ。</p>  <p>どんぐりごまがよく回るようになったよ。</p>  <p>音がきれいになるようになったよ。</p>  <p>他の人のものでも遊んでみたいな。</p> <p>●発見や感想を振り返りカードに書いて、伝え合う。</p>	<p>☆どうしたら目的に合ったおもちゃが作れるのか、子供たちが質問できる時間を確保する。</p> <p>☆おもちゃや楽器が改良されていくことを称賛し、工夫することの面白さを実感できるようにする。</p> <p>☆おもちゃ美術館の方への質問を通して、今まで自分たちが思いつかなかった発想に気付かせる。</p> <p>【思判表】おもちゃ作りのヒントを生かし、よりよいおもちゃの工夫を考え、進んで作っている。 (発言、行動、観察、振り返りカード)</p>
	<p>友達の改良したおもちゃで遊んでみて、うれしかったことやおもちゃのよさを知ることができ</p>	<p>友達のおもちゃで、遊んでみよう。</p> <p>○自分のおもちゃの遊び方を説明したり、友達のおもちゃで遊んでみたりする。</p>  <p>僕はマラカスを作りました。シャカシャカ鳴らして遊んでください。</p>  <p>どうやって遊ぶか教えてね。</p>	<p>☆自分でつくったおもちゃの遊び方や工夫したところを友達に説明する。</p> <p>☆いろいろなおもちゃで遊んでみる。</p> <p>☆友達のおもちゃの工夫している点や良いところに気付かせる。</p> <p>【思判表】自分のおもちゃの遊び方を友達に伝えながら遊んでいる。 (発言、行動、観察、ワークシート)</p>

	<p>るようにする。 ⑩</p>	<p>●友達のおもちゃで遊んでみて、楽しかったことや、気が付いたことをワークシートに書き、伝え合う。</p> <p> 友達のおもちゃで遊べてよかったです。私のおもちゃもみんなが楽しんでくれてよかったです。次はもっといろんな人に遊んでほしいです。</p>	<p>【態度】友達のおもちゃで遊んでみて、楽しかったことや、自分のおもちゃで遊んでもらって嬉しかったことなど、人と関わる良さを実感している。 (発言、作品、ワークシート)</p>
<p>つながる</p>	<p>学級以外の人とも交流したいという思いをもち、そのための遊ぶ工夫を考えることができるようにする。 ⑭</p>	<p>○前時の振り返りカードを基に、互いの思いや願いを共有し、子ども園の園児を招待する計画を立てる。</p> <p><u>子ども園の子とおもちゃ屋さんごっこをしよう。</u></p> <p> もっとたくさんの人を招待しておもちゃのお店屋さんを開きた</p> <p> そういえば、子ども園の園児が、遊んでいるとき見ていたよ。</p> <p> 教室に来てもらって、子ども園の子たちにも遊んでもらいたいな。</p> <p>●子ども園の園児も楽しめるおもちゃの工夫を考えて振り返りカードに記入する。</p>	<p>☆友達と一緒に遊んだり、競い合ったりする楽しさを取り上げる。 ☆学級の子供には知らせず、生活科を中心に、子ども園の園児に前時までの学習の様子を見学に来てもらう。</p> <p>◎写真（見学に来た園児） ◎写真（前時の活動の様子） ◎前時のワークシート</p> <p>【態度】園児のためにおもちゃ屋さんごっこをしたいという思いを持ち、自分のおもちゃや遊び方をより良くしたいという思いを記述している。 (振り返りカード、ワークシート)</p>
	<p>子ども園の友達と秋のおもちゃを使った楽しい遊び方を考えることができるようにする。 ⑮⑯</p>	<p><u>どうしたら楽しんでもらえるか考えよう。</u></p> <p>○自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊ぶ計画を話し合う。 (当日の進め方、おもちゃや遊びの工夫)</p> <p>●改良する視点をもっておもちゃやルールの改良に取り組む。</p> <p> おもちゃを少し簡単なつくりにしてもいいよ。</p> <p> 子ども園のお友達が楽しめるように、ルールを説明してあげよう。</p> <p> お手本を見せると分かりやすいな。</p> <p>●工夫したことや次やりたいことを振り返りカードを記入する。</p> <p> 楽しく遊べるようにルールを簡単にしました。優しく教えてあげたいです。</p>	<p>☆昨年園児だったとき小学校を楽しみにしていたことを振り返り、園児と一緒に遊ぶ活動への意欲を高め、見通しをもてるよう話し合わせる。</p> <p>☆ルール、おもちゃの改造に焦点化し、園児と一緒に楽しく遊ぶための準備を行うことができるようにする。</p> <p>☆早く終わった子供には、他の役割を分担している友達の手伝いをするよう指示し、学級全体で協力して、楽しいお店屋さんの準備ができるようにする。</p> <p>【思判表】相手が園児であることを考え、おもちゃや遊びのルールやを工夫している。 (行動、観察、振り返りカード)</p>

<p>子ども園の友達に遊びを説明しながら、一緒に遊びを楽しむことができるようにする。</p> <p>⑳</p>	<p>たのしく あそぼう。</p> <p>●学校にこども園のお友達を招待して、「おもちゃやさん」をひらき、分かりやすく説明しながら、一緒に楽しく遊ぶ。</p> <p> 優しく教えてあげよう。</p> <p>○楽しかったことを、振り返りカードに書き、伝え合う。</p> <p> こども園の子たちにわかりやすく説明して一緒に遊んだよ。</p>	<p>☆活動の中で、園児の様子を気にかけて、園児に感想を聞いたりするような言葉がけができるよう促す。</p> <p>☆園児と関わっている様子を写真に撮っておく。</p> <p>【態度】自分から園児に関わり、楽しく一緒に遊ぼうとしている。 (行動、観察、振り返りカード)</p>
<p>子ども園の友達と一緒に遊んで楽しかったことを振り返ることができるようにする。</p> <p>㉑</p>	<p>たのしかったことをはなそう。</p> <p>○園児と一緒に遊んで、楽しかったことや頑張ったことを話し合う。</p> <p>○○さんは教えるのが上手だったよ。</p> <p> またみんなで遊びたいな。</p> <p>●こども園のお友達と一緒に遊んでみて気付いたことや楽しかったこと、頑張ったことなどをワークシートに記入する。</p>	<p>☆自分たちが工夫したことを言葉にすることで、気付きを自覚し、友達の作ったものには、自分のものとは違う良さがあることに気付くことができるようにする。</p> <p>【知技】子供のおもちゃや本物のおもちゃには皆が楽しむための工夫が施されていることに気づいている。 (発言、ワークシート)</p> <p>【態度】本単元を振り返りこれからも遊びを創り出したいという思いを記録し、今後の活動に活かそうとしている。 (発言、ワークシート)</p>

6 本時の指導 (15/21 時) <1組・2組>

指導者 大島なぎさ・渡邊正美

(1) 本時のねらい

おもちゃ美術館の方をお迎えし、子供が自ら進んで助言を求めて関わる活動を通して、おもちゃ作りや遊び方のヒントをいただき、自分のおもちゃの作り方や遊び方を工夫して試したり、次時に工夫したいことを表現したりすることができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・予想される子供の反応	◎資料 ☆指導上の留意点 ・【評価】
導入 8分	<p>○本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">おもちゃのめいじんにそうだんして、おもちゃをしんかさせよう！</div> <p>○おもちゃの先生方に挨拶をする。</p> <p>○前時の質問カードから、困ったこと上手いかなかったことを整理し、おもちゃの先生方に質問したいことを確認する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                     どうしたらけん玉がもっと入りやすくなるか聞きたいです。                 </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                     いろんな楽器が作りたいけど、マラカスのほかにはどんな学期が作れるのか聞きたいです。                 </div> </div> <p>○本時の見通しをもつ。</p>	<p>◎前時で書いた質問カード</p> <p>☆前時の質問カードをおもちゃの種類ごとに分類して掲示することで、質問したいことが明確になるようにする。</p> <p>☆子供たちの発言から、「困っていること」「進化させるためのアイデア」という質問の視点を共有する。</p> <p>☆活動の流れの順序を板書して示し、子供に活動の見通しをもたせる。</p>
みんなタイム ー 23分	<p>○困っていることや上手いかなかったことをグループごとに質問する。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                         どうしたらもっと早く回るどんぐりごまになりますか。                     </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                         ぶんぶんだいがもっと勢いよく回らないかな。                     </div> </div> <p>○アドバイスを聞いて改良したり新たにおもちゃをつくったりする。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                         紐の長さで動きが変わるのか！ 短く変えてみよう。                     </div>  </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; width: fit-content;">                         どんぐりの大きさが音が変わる！少し大きなどんぐりをつけてみよう。                     </div>  </div>	<p>☆どうしたら目的に合ったおもちゃが作れるのか、子供たちが質問できる時間を十分に確保する。</p> <p>☆教師が前時の質問カードを基に各グループを回り、相談ができているか机間指導で確認する。</p> <p>☆うまく相談できない子供には、机間指導で「困っていることは何だったかな。」「聞きたいことはなんだったかな。」と問いかけるなど、個別に支援をする。</p> <p>☆おもちゃの先生方には、グループごとに回っていただき、子供の質問に答えたり相談に乗っていただいたりする。</p> <p>☆自分から質問をしている子供や、友達の質問に耳を傾けている子供の姿を価値づける。</p>

<p>みんなタイム 7分</p>	<p>○アドバイスを基に工夫したことを発表する。</p> <p> 紐を短くしたら、前よりも動きがよくなりました。</p> <p> どんぐりの大きさを変えてみたら、本物の太鼓に近い音が出るようになりました。</p>	<p>☆工夫した点や改良した点について触れることで、おもちゃの先生に相談したことで、様々な工夫が考えられたことを価値付ける。</p>
<p>ふりかえり 7分</p>	<p>○今日教えてもらったこと、次時やりましたことを振り返りカードに記入する。</p> <p> おもちゃ美術館の方にヒントをもらって、もっと改良するところが分かったよ。</p> <p> ほかのおもちゃも作りたくなってきたな。</p>	<p>◎振り返りカード ☆カードを書いている間もおもちゃの先生に回っていただき、相談ができるようにしておく。</p> <p>【思判表】おもちゃの作り方や遊び方など、相談した工夫を試したり、表現したりしている。 (観察・振り返りカード)</p>

**<板書>**

11月11日(金)  
たのしい あき いっぱい

おもちゃのめいじんにそうだんして、おもちゃをしんかさせよう！

こまっていること

しんかするためのアイデア

どんぐりのまち 質問カード	バスケット 質問カード	ぶらんこ 質問カード
しんかんせん 質問カード	どんぐりごま 質問カード	けんだま 質問カード
めいろ 質問カード	まといれ 質問カード	どんぐりごま マラカス

11/11

- ・おしえてもらったこと
- ・やりたいこと

おすすめ方

- ① そうだん
- ② はっぴょう
- ③ ふりかえり

7 参考資料

たのしかったよ、やってみたいな

Blank lined box for notes.

「あき発見コーナー」(第6時まで)



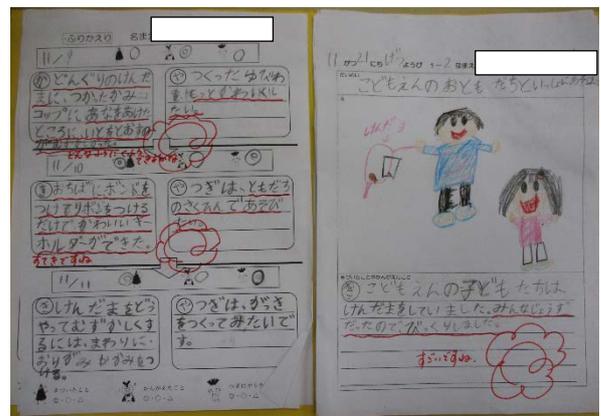
第5・6時の発表で使ったワークシート

A児



第20時の発表で使ったワークシート

B児



本時の板書



本時の子供の様子



8 学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆めあて【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1 ・ 2 時	<p>◆校庭の秋の様子に気づき、絵や言葉で伝えることができるようにする。</p> <p>○秋の様子を伝え合う。</p> <p>○校庭の秋の様子を観察する。</p> <p>○校庭での様子で気付いたことを伝え合う。</p> <p>○あきのすてきカードに気付いたことや見つけた自然物を書き、秋の掲示板に貼る。</p> <p>○発表を振り返り次にやりたいことを伝え合う。 【思判表】【態度】</p>	<p>・「夏は水遊びをしたけど今は寒くてできない。」</p> <p>・植物や虫を観察している。</p> <p>・「木の葉が緑から茶色になった。」</p> <p>・ひまわりが枯れている絵を描いていた。</p> <p>・「夏に行った公園はどうなっているだろう。行ってみたいな。」</p>	<p>・「夏は暑くて半袖だったけど秋は涼しくなって洋服が長袖になった。」</p> <p>・楽しそうに観察している。</p> <p>・「木に毒キノコのようなものが生えていた。」</p> <p>・枯れ葉を描いていた。</p> <p>・友達の話聞いて公園に行くことを楽しみにしている。</p>	<p>・夏に体験したことや、見たことを基に、秋も同じように自然物に関わりたい気持ちを高めることができた。</p> <p>・夏のすてきカードを掲示していることで、夏と秋の自然の様子を比べる思考につながる事ができた。</p> <p>・活動中に教師が写真を撮ったことで、教室で伝え合う活動で気づきが共有しやすくなった。</p> <p>・校庭以外に公園に行ったことを思い出し、どのようになっているか見に行きたい気持ちを高めることができた。</p> <p>・振り返り際には、「次は公園で何をしたいか。」など視点を明確にする必要がある。</p>
3 ・ 4 時	<p>◆南元町公園の秋の様子に気づくことができるようにする。</p> <p>○公園に行くときのルールを確認する。</p> <p>○公園の秋の様子を観察する。</p> <p>○公園で見付けたことをあきのすてきカードに書き、伝え合う。</p> <p>○次にやりたいことを振り返りカードに書く。 【思判表】【態度】</p>	<p>・道路は端を歩く。</p> <p>・様々な種類のどんぐりや枯れ木、枯れ葉をたくさん拾った。</p> <p>・色々な種類のどんぐりの絵を描いた。</p> <p>・「いろいろなどぐりを飾って遊びたいな。」</p>	<p>・信号はよく見てわたる。</p> <p>・葉の色が変わった</p> <p>・バッタを触ったとみんなに伝える。</p> <p>・「次はもっとたくさんバッタを捕まえたいな。」</p>	<p>・前時に公園に行きたい思いが高まっていたことで、活動への意欲が高まった。</p> <p>・実際に自然物に触れることで自然の特徴に着目した発言が数多く見られた。</p> <p>・教師が積極的に関わり、活動の中でも子供の発言を広げることで、発見や気づきを価値付けることができた。</p> <p>・「他の場所にも行ってみたい。」「拾ってきたもので遊びたい。」という2つの願いを引き出し、順番に行おうと子供が自ら決めることができた。</p>
5	<p>◆新宿御苑の秋の様子に気づくことができるようにする。</p> <p>○公園に行くとき</p>	<p>・凄く広い公園だった。</p> <p>・「人に迷惑をかけないようにする。」</p>	<p>・楽しかった。</p> <p>・話に相槌をうちながら聞いている。</p>	<p>・前時と授業展開が似ていたため、子供が活動にスムーズに取り組めた。</p> <p>・南元町公園で体験できなかった紅葉集めや秋の植物見</p>

<p>・ 6 時</p>	<p>のルールを確認する。 ○秋の自然と存分に関わる。</p> <p>○楽しく遊んだことや気付いたことを振り返り、伝え合う。</p> <p>○ワークシートに絵と言葉で考えた遊びや楽しかったことを書く。 【思判表】【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい形のどんぐりを見つけた。</li> <li>・枯れ葉を集めてみんなで投げる。</li> <li>・「枯れ葉をお面みたいにして遊んで楽しかった。」</li> <li>・キンモクセイやギンモクセイが綺麗だった絵を描いた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いっぱいどんぐりや落ち葉があった。</li> <li>・卵みたいな松ぼっくりを見つけて驚く。</li> <li>・「みんなで公園に行ったら楽しかった。南元町公園にはないものがたくさんあったよ。」</li> <li>・銀杏があった絵を描き臭かったと感想を書いた。</li> </ul>	<p>付けができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前にどんな遊びがやりたいか出し合っていたことで、活動への期待が膨らみ、のびのびと活動できていた。</li> <li>・振り返りでは、発言に対して問い返すことで考えを深めることができた。</li> <li>・子供たちの疲労もあり、振り返りの時間は後日1時間確保するようにした。</li> </ul>
<p>7 時</p>	<p>◆秋の様子を伝え合い、比べて考えたことを表現することができるようにする。</p> <p>○公園での活動で楽しかったことや気付いたことについて伝え合う。</p> <p>○夏の様子と秋の様子を比べて気付いたことを伝え合う。</p> <p>○次にやりたいことを振り返りカードに書く。 【知技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろんな種類のどんぐりを見た。」</li> <li>・「落ち葉を集めて上に投げて遊んだら綺麗だった。」</li> <li>・「キンモクセイやギンモクセイの花がよいにおいがした。」</li> <li>・「拾ってきたものでたくさん遊びたいな。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「銀杏が臭かった。」</li> <li>・「松ぼっくりが木になっているなんて知らなかった。」</li> <li>・「秋の自然はいろいろなにおいがしたよ。いい匂いも臭いにおいもあったな。」</li> <li>・「みんなで楽しく遊びたいな。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝え合いの際は、前時の活動の写真や子供のワークシートを投影したことで、イメージの共有が容易になり、共感的な反応を示す子供が多く見られた。</li> <li>・板書の構成や、夏のすてきカードと秋のすてきカードを並べて掲示することで、秋と夏の様子の変化に着目した発言が子供から生まれた。</li> <li>・自然の中で思いっきり遊ぶという願いを叶えたことで、今度は「拾ってきたもので遊びたい。」と、全体で大きな願いをもつことができた。</li> </ul>
<p>8 ・ 9 時</p>	<p>◆集めた自然物を色や形、大きさなどのなかまに分け、使う物を決めることができるようにする。</p> <p>○作りたいもののイメージを持つ。</p> <p>○落ち葉や木の実などの自然物を使って工夫して遊ぶ。</p> <p>○秋の自然物で遊</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんぐりと落ち葉で紙にお絵かきかしたいな。」</li> <li>・紙に絵を描いて、どんぐりを飾り、町を作る。紙に波を描いて枝とどんぐりでポートを作っている。</li> <li>・「どんぐりをケース</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんぐりをタイヤにして車が作りたいな。</li> <li>・紙に枯れ木とどんぐりをのせて、車の形を作っている。</li> <li>・「どんぐりはころこ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発言を問い返したことで、公園で遊んで楽しかった気持ちと秋の季節を結び付けて考えることができ、秋の自然物を生かして工作がしたいという思いにつながった。</li> <li>・拾った秋の自然物を紙の上に並べてみることで、動物の形や顔の模様などになりそうと、想像力を膨らませることができた。</li> <li>・活動中にも数名の子供を取り上げ全体に広めることで、「やってみたい。」「試し</li> </ul>

	<p>んだ活動の中の発見や気づきを紹介し合う。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【思判表】</p>	<p>に入れて揺らすとシャーときれいな音がしたよ。」</p> <p>・次はどんぐりと葉っぱで音が鳴るおもちゃを作りたいな。</p>	<p>る転がるからボンドでくっつけるのが大変でした。」</p> <p>・「どんぐりを使ってみんなで遊びたいな。」</p>	<p>てみたい。」という思いにつながった。</p> <p>・活動の中で仕上げた作品で遊ぶ子供の姿を全体に紹介することで、「次はみんなで遊べるおもちゃを作りたい。」という思いにつながった。</p>
10時	<p>◆秋の自然物を使って自分が作るおもちゃのイメージをもち、設計図に描くことでどんな作品にするか明確にする。</p> <p>○自然物や材料を触りながら設計図を書く。</p> <p>○設計図に作るおもちゃでどんな遊びがしたいか書く。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【態度】</p>	<p>・「音が鳴るおもちゃは、マラカスやでんでんだいこがあるな。」</p> <p>・マラカスの絵を描き、中に何を入れたら好みの音が出るか、自然物を使って試している。</p> <p>・マラカスの中が見えるプラコップで作るか紙コップで作るか迷っている。</p> <p>・「マラカスを作ってみんなで一緒にならして遊びたいな。」</p>	<p>・「どんぐりを転がしたら、どんなあそびができるかな。」</p> <p>・どんぐりの迷路に興味を持ち、迷路のコースのイメージを黙々と描いている。</p> <p>・どのどんぐりが良く転がるか試したり、コースの材料は何にするか、友達と相談したりしながら書いていたりしている。</p> <p>・「スタートからゴールまで落とさずに行けるか、勝負したいな。」</p>	<p>・秋のおもちゃ図鑑を見て、他にも作りたいものを考え、いろいろ工夫してみようと思えることができた。</p> <p>・設計図を描くことで、自分の作りたいおもちゃのイメージを明確にして、作る意欲を高めることができた。</p> <p>・図に材料を細かくメモしている子供を全体に紹介したことで、使いたい材料とイメージが鮮明になった。</p> <p>・図が描けた子供から、おもちゃと子供の名前をホワイトボードに書きだしたことで、自然に活動のグループが出来上がった。</p>
11 ・ 12 ・ 13 ・	<p>◆自分の作りたいおもちゃに適した自然物を選び作って、繰り返し遊ぶことができるようにする。</p> <p>○おもちゃや楽器</p>	<p>・「色々な音が出るよ</p>		<p>・前時のワークシート（設計図）を手元に置いたことで、イメージに向かって突き進む子供の姿が見られた。</p> <p>・作るおもちゃが似ている子供でグルーピングしたことで、友達のおもちゃを参考にしたり、相互に教え合っ</p>

14時	<p>を工夫してつくりながら遊ぶ。</p> <p>○おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊ぶ。</p> <p>○おもちゃの先生が来ることを知る。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【態度】</p>	<p>うにできるかな。」</p> <p>・「面白いものができたよ。」</p> <p>・「見て、見て、面白いものができたよ。」</p> <p>・「おもちゃの先生ってどんな人だろう。どうすれば色々な音が出るか聞けるかな。」</p> <p>・「音のことを聞いてみたいな。」</p>	<p>「こまができあがった。」</p> <p>・「何を聞こうかな。」</p> <p>・「こまをたくさん回すためのアドバイスがもらいたいな。」</p>	<p>たりしていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・質問ボードを設置し、相談したいこととアドバイスを自由に書き込めるようにしたところ、おもちゃの種類を超えた子供の交流があった。</li> <li>・できたおもちゃで試して遊ぶ様子を全体で紹介し、「遊んで楽しいおもちゃをつくる。」という願いを共有できた。</li> <li>・「おもちゃの先生がみんなのおもちゃを見てみたいよだよ。」と伝えると、見せたい、質問したいという思いが生まれ、次時への期待につながった。</li> </ul>
15時	<p>◆おもちゃづくりのヒントを基に、よりよいおもちゃを作ることができるようにする。</p> <p>(本時)</p> <p>○おもちゃの達人に相談しながら、更におもちゃをパワーアップすることができる。</p> <p>○おもちゃや楽器を工夫してつくりながら遊ぶ。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【態度】</p>	<p>・「どうすれば、綺麗な音や、色々な音が出るかな？」</p> <p>・「色々な音が聞こえるようになったよ。」</p> <p>・みんなに伝えようとしていた。</p> <p>・他の人にも遊んでもらいたいという思いをもつ。</p>	<p>・「どんぐりごまが良く回るようにできるかな？」</p> <p>・「かたむかないで、すぐ回るようになったよ。」</p> <p>・驚いたように何度も遊んでいた。</p> <p>・みんなに自慢していた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達にヒントがもらえるように、「おしえてほしいな。」「おしえてあげる。」を移動式ホワイトボードに提示し、自分達で付箋に書きながら、情報を共有できるように手立てを行った。</li> <li>・更に、パワーアップできるようにおもちゃの達人に質問したいと期待しながら、作ってみることができた。</li> <li>・パワーアップした作品を見て、友達同士で共有しながら見せ合い遊ぶことができた。</li> <li>・地域の方との交流を通し教えてもらえて良かったという意識を高めることができた。</li> </ul>
16時	<p>◆友達の改良したおもちゃで遊んでみるようにする。</p> <p>○改良したもので互いに遊び、より良い工夫ができたか話し合う。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカ</p>	<p>・「すごいね。楽しい工夫したおもちゃがたくさんあるね。」</p> <p>・「発見だな。」</p> <p>・「もっといろんな人</p>	<p>・「どうやって遊ぶのか教えて」</p> <p>・「面白い。」</p> <p>・「もっといろんなお</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の物で遊んでみてアドバイスをしたり楽しいところを伝え合う時間を設け、色々なおもちゃでたくさん遊ばせた。</li> <li>・色々なおもちゃで遊ぶことで新しい発見や気づきを共有することができた。</li> <li>・「まだまだ遊びたい。」という声もあり、実際にはもう</li> </ul>

	ードに書く。 【態度】	に遊んでほしいな。」	もちやで遊びたいな。」	1時間活動時間を確保した。
17時	◆学級以外の人とも交流したいという思いをもち、遊び工夫を考えることができるようにする。 ○工夫してみて困ったことやうまくいかなかったことを共有する。 ○次時やりたいことを振り返りカードに書く。 【態度】	・「自分が子ども園の時、小学校に来て遊んだことを覚えているよ。」 ・「お兄さんお姉さんが優しく教えてくれたよ。」	・「他の人にも、見せたいな。」 ・「楽しかったよ。」 ・「子ども園の人達を招待したいな。」	・自分が子ども園の時に経験したことを想起させ、自分の作ったおもちゃで遊んで欲しい気持ちを高めることができた。 ・どうすれば楽しんでもらえるかみんなで考え、意見を出し合い共有できた。 ・招待したい相手は様々な意見が出たが、数日前に園児がおもちゃに興味を示していた姿を取り上げたことで、全体での思いがまとまった。
18・19時	◆子ども園の友達と秋のおもちゃを使った楽しい遊び方を考えることができるようにする。 ○自分が子ども園の時に小学生にやってもらえて嬉しかったことを考え、共有する。 ○次時やりたいことを振り返りカードに書く。 【態度】	・「優しく案内してくれたな。」 ・「いっぱい教えてくれて、たくさん遊んだよ。」 ・「たくさん遊んでくれるといいな。」	・友達のことを聞きながらうなずいている。 ・「おぼえているよ。」 ・「ぼくのおもちゃで喜んでほしいな。」	・みんなが子ども園の時、小学校に行き一緒に遊んだことを思い出すことができた。 ・自分がやってもらえて嬉しかったことを思い出し、自分が何をすれば子ども園の友達が喜んでくれるかを考え話し合うことができた。 ・活動がスムーズに進んだ班は、園児役、子供役に分かれて本番どおりの動きを確かめたりしていた。
20時	◆子ども園の友達に遊びを説明しながら、一緒に遊びを楽しむことができるようにする。 ○自分のおもちゃの遊び方を説明したり、友達のおもちゃで遊んでみたりする。 ○友達の楽しかったおもちゃについて、気付いたことやよかったと	・「遊び方を説明してあげよう。」 ・「いろいろ案内してあげよう。」 ・「これも面白いよ。一緒に遊ぼう。やってみて。」 ・「迷路遊びを楽しそ	・「一緒に楽しく遊ぼう。」 ・「こっちにおいで。見て見て、やってみて。」	・事前に役割を決め、何をすれば良いか考え決めることができたことで、子供が見通しをもって活動することができていた。 ・時間を区切って様々な園児と関わられるようにしたことで、子供もだんだんと慣れ、子ども園の友達を誘導し、遊び方を説明しながら、楽しく一緒に遊ぶ姿が見られた。 ・終わりに園児からの感想を聞く時間を設けたことで、

	ころを話し合う。	うに遊んでいたね。」	・「音楽に合わせてマラカスを振ってくれていたよ。」	子ども園の友達から笑顔で楽しかったと言う感謝の気持ちを聞き達成感を味わうことができた。
21時	<p>◆子ども園の友達と一緒に遊んで楽しかったことを振り返ることができるようにする。</p> <p>○自分がつくったおもちゃで園児と一緒に遊べたか話し合う。</p> <p>○進め方、おもちゃや遊びの工夫についてできたか話し合う。</p> <p>○次時やりたいことを振り返りカードに書く。</p> <p>【態度】</p>	<p>・「遊び方を説明できて、楽しく遊べたよ。」</p> <p>・「いろいろ紹介して遊んでもらったよ。」</p> <p>・「面白いと言ってくれたよ。」</p> <p>・「今度、おばあちゃん家で一緒に遊んでみようかな。」</p>	<p>・「楽しく一緒に遊べたよ。」</p> <p>・「にこにこ遊んでくれたよ。」</p> <p>・「お家に帰ったら、お家の人とも遊びたいな。」</p>	<p>・子ども園の友達と一緒に遊んだことを振り返り、楽しかったことや反省点を考え、話し合うことができた。</p> <p>・振り返りカードと一緒に遊んで楽しかったことを描き、自分の思ったことを文章で書き表すことができた。</p> <p>・子ども園の友達だけでなく、身近な人達とも、一緒に遊んでみたい気持ちを高めることができた。</p>

## 9 考察

低学年では、「社会とのつながりを実感し、生活を豊かにしようとする」を目指す子供像としている。まず、「社会とのつながりを実感すること」を身近な人やもの、自然などに思いを巡らせることとした。次に「生活を豊かにしようとする」では学びを実生活に生かし、よりよい生活を創造していこうとすることと考えた。A児は、「校庭の葉っぱが緑から茶色に変わったよ。夏に行った公園はどうなっているかな。どんぐりでおもちゃを作りたい。」B児も「公園を見に行きたい。葉っぱで遊んでみよう。」と、思いを巡らせることができた。また、季節の変化と共に夏と秋に公園を見学し、自然物の変化に気づき、自然物に触れながら遊び、自然物を使ったおもちゃ作成につなげることができた。さらに、「子ども園の時に小学校に来て、1年生のお兄さんお姉さんと一緒に遊んだよ。」と、自分の経験を思い出し、「私達も子ども園の友達をよんで、一緒に遊びたい。」と、おもちゃを使っての人と関わりをもつことに関心が広がっていった。また、A児が「子ども園の友達が遊びやすいように、ルールを説明しよう。」B児が「自分のおもちゃで遊んでもらおう。」といったように、ルールを決めて遊ぶことは日常の生活とつながり、よりよい生活を創ろうとする姿につなげることができた。

目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントは、以下の通りである。

- ①子供にとって身近な自然である季節の「秋」を教材にし、夏との違いを発見させ、秋の自然物を使った遊びに発展させることができた。
- ②似た遊びをしている子供を同じグループにすることで、友達と関わりながら、さらにおもちゃの工夫をしたり、遊び方の工夫をしたりして楽しさを味わうことができた。
- ③振り返りの観点に「～したい」という思いを書かせることで探究心をもち続け、遊びの工夫につなげることができた。

子供の発達段階から、振り返りカードに文章だけでなく、絵を描かせるようなカードも用意することで自由に表現することができた。

本時の学習の様子



【第1学年分科会の成果と課題】

目指す子供像		よく聞いて、しっかり考える子供 友達にやさしい子供 最後までがんばる子供	
「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり			
研究内容	① <u>気付きの質を高める工夫</u>	② <u>思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成</u>	③ <u>振り返り活動の充実</u>
○ 成 果	<p>○対象に直接働きかける活動を繰り返し設定することで、子供は「もっと～したい」という思いや願いをもつことができた。</p> <p>○活動の楽しさを様々な方法で表現するための場を設定し、場に応じて、秋に関する絵本や秋の自然物を使ったおもちゃづくりの本を用意することで、子供のイメージが具体的にになり変化や気付きを友達に伝えることができた。</p> <p>○「自分のおもちゃで遊んでもらいたい。」「パワーアップさせたい。」「どうしたら、面白くなるんだろう。」と、主体的に学ぶ中で人と関わりたいと思う姿が生まれ、社会とのつながりを意識させることができた。</p>	<p>○子供の思いや願いに合わせたグループ分けを行うことで、自然や身近な人々と社会（おもちゃ美術館からの方々）などについて自分との関わりでとらえることができた。</p> <p>○子供の気付きの言語化、視覚化による価値付けや振り返りの内容を紹介することで、視点を意識して取り組めるようになった。</p> <p>○「おもちゃの達人にお世話になった。」→〈ものだけでなく人に着目したことによる学びの広がり〉や「子ども園の友達にも遊んでもらいたい。」→〈自分の気持ちだけでなく相手の気持ちにも着目したことによる学びの広がり〉など、生活を豊かにしようとする意識を醸成することができた。</p>	<p>○活動と振り返りの時間を繰り返し、よりよくするための工夫を考えたり、次にやってみたいことなどを振り返ったりすることにより、子供は自身の成長を実感し、次単元への期待をもつことができた。</p> <p>○発達段階に応じて、振り返りカードの内容を検討、設定することにより、子供はできることや活動の範囲の広がりをより明確に実感することができた。</p> <p>○自分自身の成長の確かな実感により、身近な人やもの、自然などに思いを巡らせ、学びを実生活に生かし、よりよい生活を創造していこうとする態度の育成を図ることができた。</p>
● 課 題	<p>●主体的に学ぶための学習対象との関わりについて、より質の高い気付きが生まれるよう、活動の場や道具、時間配分を精査していく必要がある。</p>	<p>●見方・考え方を生かしている子供の具体的な姿を単元別に具体化し、年間を通して系統的な活動を積み重ねていく必要がある。</p>	<p>●自分自身の変容の記述については、発達段階に関係なく個人差があるため、概ね満足できるようにする手立てについて考える必要がある。</p>

## 第2学年 生活科学学習指導案

1 単元名 「ぐんぐんそだて わたしのやさい」(11時間)

### 2 単元の目標と観点別評価規準

#### (1) 単元の目標

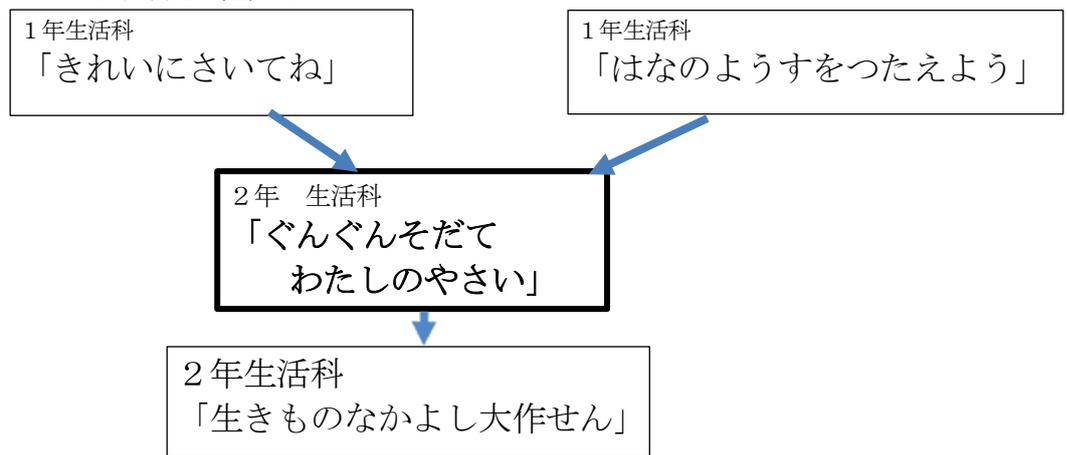
植物を継続的に栽培する活動を通して、これまでの経験を基に、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、植物が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物に親しみを持ち、大切にしようとする事ができる。

#### (2) 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
植物を継続的に栽培する活動を通して、植物が生命をもっていることや成長していることに気付いている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、植物の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	植物を継続的に栽培する活動を通して、生き物に親しみを持ち、大切にしようとしている。

### 3 単元について

(1) 低学年生活科における本単元の位置付け



#### (2) 本単元の教材について

本単元は、学習指導要領生活の内容(7)「動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみを持ち、大切にしようとする。」を踏まえて設定したものである。関心をもって植物にかかわることで、成長や変化に関する気付き、生命をもっていることへの気付き、自分のかかわり方に対する気付きなど多くの気付きが生まれる。また、野菜を育てるという活動を通して、子供は植物への親しみを持ち、世話をする楽しさや喜びを味わうことができると考える。

子供の主体的な活動を目指すために、四つの夏野菜(オクラ、ミニトマト、ナス、ピーマン)の中から、自分の好きな野菜を選び、一人一鉢で育て、毎日各自が水やりの世話をしている。水やり時に気付いたことを気軽に記録しやすいように「野菜日記」を作り、日々の世話の仕方や野菜の変化を記していく。このことによって、目に見える形で、自分の世話の仕方や野菜の変化・成長の様子が記録に残り、意欲や愛着をもって世話ができると考えた。

また、本単元の学習では、観察カードへの絵や文の表現だけでなく、野菜の成長の様子が明確にわかるように、タブレットPCの写真で記録する活動を設定している。それにより、「野菜の花が咲いた」「野菜の軸がのびた」などの、野菜の成長に対する喜びを共有できるとともに、友達が育てている野菜を観察す

る機会となり、自分が育てている野菜と他の友達が育てている野菜との共通点や相違点に気付かせることができると思う。

### (3) 子供の実態

本学級の子供は、1年生の時にアサガオとチューリップを栽培する活動に取り組み、水やりなどの簡単な世話を通して、植物が成長し花が咲くことの喜びを味わったり、収穫した種が植えた時と同じ形をしていることに気付いたりしている。また、種から育つ植物と球根から育つ植物があることや、それぞれの植物の成長には季節がかかわっていること、育て方が植物によって違うことも学んでいる。さらに2年生になってからの校庭での春見つけでは、自ら花のにおいを嗅いで観察したり、ダンゴムシやアリを熱心に探したり、身近な自然を楽しむ様子が見られた。

野菜の栽培については、幼稚園や保育園でミニトマトなどを育てたり、自宅や祖父母宅で家族とともにプランター栽培をしたりして経験している子供もいるが、多くの子供にとっては今回が初めての経験となる。これまでの経験を活かし、さらに植物への関わり合いを深めるために、野菜を育てて収穫する活動を行う。その活動の中に、自分の思いや願いを達成していく楽しさを感じながら、活動への意欲を高めていきたい。活動においては、これまでの栽培経験をもとに、試行錯誤しながら野菜を育てたり、ほかの野菜と比べたりして、観察や世話の仕方を自分なりに工夫する力を育てる。また、野菜が生命をもち成長していることに気付くだけでなく、活動を通して自分自身も成長しているという喜びや、自分の力で栽培することができたという自信から、さらに植物の栽培に興味・関心をもたせていきたい。

## 4 研究内容との関連

### (1) 気付きの質を高める工夫

鉢に植える前の苗と、育った野菜の苗を比べる活動を取り入れることを通じて、野菜の成長に対する興味を引き出し、どのように育てていけば野菜が育つのだろうという課題意識を高められるように工夫した。その際、タブレットPCの協働学習ツール(オクリンク)の写真機能を活用してスライド資料を作成させ、視覚的に成長の様子が分かりやすいようにした。自らが育てている野菜を観察するだけでなく、友達が育てている野菜と比べて、似ているところと違うところを話し合い、自分の野菜の特徴をより多く見付けられるようにした。

〈本単元で子供に期待する気付きの例〉

- 世話をすると野菜が元気に育つ。
- 野菜によって育ち方が違う。
- 野菜は毎日成長している。
- 野菜の育ち方によって世話を工夫することが大切だ。

### (2) 思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成

単元の導入で、野菜を選んだ理由や、野菜がどのように育ってほしいかを絵や文でカードに表現させることを通じて、子供がこれから行う活動に見通しをもつとともに、活動に対する意欲を高められるようにした。そして、その願いを発表して共有し、単元のめあてとして集約することで、一つの目標に向かう学習となるようにした。また、野菜とのかかわり方については、子供一人一人が自ら選んだ野菜を、自身の手で植える体験活動を取り入れた。このことにより、自分の野菜という実感をもたせ、お世話をして育てていこうという意欲を高めるようにした。

さらに、苗を植える活動の際に、スマイルクラブの保護者や地域の方々とは触れ合うことによって、周囲の人にお世話になった野菜づくりという意識が生まれ、子供の粘り強い栽培活動につながると考えた。

### (3) 振り返り活動の充実

授業における振り返りタイムで、振り返りカードを記入する学習活動を設定した。その際に、四谷小の

三つのキャラクター（よつキャラ）を活用して、「野菜の成長について気付いたこと」「次の時間でしたいこと」「みんなでしたいこと」との観点に関連させたワークシートとして、子供が振り返りを書こうとする意欲が高まる工夫をした。

### 5 単元の指導計画(全 11 時間扱い)

過程	時配	○主な学習活動 <span style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">子供の学び</span> ●評価の活動	◎教材・資料 ☆指導の工夫 【観点】評価（方法）
であらう	1	<p>○1年生のときに花を育てたことについて、植物の育て方や育てているときの気持ちを振り返る。</p> <p>●昨年度の2年生の苗植えの様子を振り返り、教科書に載っている野菜の写真を見て自分が育てたい野菜を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生のときに、チューリップを育てたよ。</li> <li>・去年の2年生みたいに、自分たちも野菜を育てて食べたいな。</li> <li>・今から育てられる野菜を植えないと、食べられないんじゃないかな。</li> </ul> </div>	<p>◎教科書 P12～P13</p> <p>☆植物の栽培方法について、子供の発言を生かしながら確認する。</p> <p>☆教科書に載っている野菜の写真を活用して、どの野菜が好きかを考えさせる。</p> <p>☆野菜には育てられる季節があることを子供の発言から確かめるようにする。</p> <p>【態度】野菜を育てようという意欲をもって話し合っている。（観察、発言）</p>
	2	<p>○昨年度の2年生が、オクラ、ピーマン、ナス、ミニトマトを育てていたことを知り、育てたい野菜を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> <p><b>自分が育てる野菜を決めよう！</b></p> </div> <p>●夏野菜の実物を見て自分が育てたい野菜を考え、自分が育てる野菜を選んだ理由や、どう育ててほしいか願いをカードに書く。</p> <p>○振り返りカードを記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・元気に大きく育ててほしいな</li> <li>・おうちでカレーに入れて食べたいから、ミニトマトを育てたいな。</li> <li>・あまくておいしいサツマイモをみんなで食べたいな。</li> </ul> </div>	<p>☆昨年度の2年生が、学年の花壇でサツマイモを育てていたことを確認して、サツマイモを育てて何をしたいかを聞くようにする。</p> <p>◎夏野菜（ピーマン、ミニトマト、ナス、オクラ）</p> <p>☆振り返りカードには、「気づいたこと」「次の時間にしたいこと」「みんなでしたいこと」の観点で書かせるようにする。</p> <p>【態度】自分が選んだ野菜の理由やどう育ててほしいかを願いカードに書いている。（ワークシート）</p>

か か わ る	<p>3 ○前時の「ねがいカード」に書いたことを発表して、似ている願いはないかを話し合う。</p>	<p>☆野菜がどう育てほしいかを一人ずつ発表させて、共通する願いをまとめて単元全体のめあてとして集約する。</p>
	<div data-bbox="311 280 957 358" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>やさいをげんきいっぱいにそだてて たべよう</p> </div> <p>○実際に届いた苗を見て、気が付いたことを話し合う。</p> <div data-bbox="295 448 598 488" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>苗を植える準備をしよう</p> </div> <p>○苗を植えるために何が必要かを話し合い、どうすれば成長の様子がよく分かるかを考える。</p> <p>●振り返りカードを記入する。</p> <div data-bbox="295 795 853 1064" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・ぐんぐん元気に育ってほしいな。</li> <li>・早く苗を植えたいな。</li> <li>・成長する様子を写真に撮りたい。</li> <li>・おうちの人と苗を植えるのが楽しみだ。</li> </ul> </div>	<p>◎ミニトマト、オクラ、ナス、ピーマンの苗</p> <p>☆子供の発言から、植木鉢や土が必要であることを確認し、成長の様子はオクリンクの写真機能を活用して確かめるように促す。</p> <p>☆写真以外に、日記や観察カードに記録するという発言も取り上げて、学級としての取組にする。(〇〇日記、お知らせコーナー)</p> <p><b>【態度】</b>自分が選んだ野菜やサツマイモの苗を植える前の思いを振り返りカードに書いている。(振り返りカード)</p>
<p>4 ○スクールコーディネーターの話を聞いて、野菜が大きく育つような苗の植え方や、育て方を知る。</p> <div data-bbox="295 1288 710 1328" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>自分が育てる野菜の苗を植えよう</p> </div> <p>○地域の方や保護者と一緒に、植木鉢や学級花壇に野菜の苗を植える。</p> <p>○植えた苗の写真に撮って記録し、日記を書く。</p> <p>●振り返りカードを記入する。</p> <div data-bbox="295 1545 853 1827" style="border: 1px dashed black; padding: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の人が手伝ってくれてうれしい。</li> <li>・お家の人と苗を植えられて楽しかったよ。</li> <li>・これから育てることにわくわくする。</li> <li>・早く育ってほしいな。</li> </ul> </div>	<p>◎スクールコーディネーターの話</p> <p>☆スクールコーディネーターの方に、昨年度の2年生による栽培活動の様子を話してもらい、子供の苗植えに対する意欲を高めるようにする。</p> <p>◎ミニトマト、オクラ、ナス、ピーマン、サツマイモの苗</p> <p>☆写真はオクリンクで保存させる。</p> <p><b>【知識】</b>苗の様子に関心をもって写真を撮り、気付いたことを日記に書いている。(日記)</p>	

<p>5</p>	<p>○野菜の変化を書いている日記やお知らせコーナーの紹介を聞く。</p> <p><b>育てている野菜の様子を見てみよう</b></p> <p>●植えてから 10 日ほど経った苗の様子を写真に撮り、日記に気付いたことを書く。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・植えたばかりの苗と比べて、葉が大きくなっている。</li> <li>・同じ野菜どうして比べてみたいな。</li> <li>・他の野菜の成長はどうなっているのだろう。</li> </ul> </div>	<p>◎日記やお知らせコーナーにある子供の記述</p> <p>☆「葉が大きくなった」などの記述から、どうすれば植えたばかりの苗からの成長の様子が分かるかを考えさせ、子供の発言から、写真で比較することをおさえる。</p> <p>☆写真はオクリンクに保存させ、気付いたことを詳しく日記に書かせる。</p> <p><b>【知識】</b> 育てている野菜の様子で気付いたことを日記に書いている。(日記)</p>
<p>6</p>	<p>○お知らせコーナーや日記から、野菜の成長についての友達の気付きを知る。</p> <p>○教師が育てた野菜の写真を見て、成長の様子で気付いたことを話し合う。</p> <p><b>植えたときと今の苗の様子を比べよう</b></p> <p>●育てている野菜が成長している様子をワークシートに書く。</p> <p>○野菜の成長について気付いたことを発表し合う。</p> <p>○友達の野菜の成長の様子を知って、思ったことや考えたことを発表する。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと大きく育てたいな。</li> <li>・他の野菜も育てているみたいだ。</li> <li>・友達と比べて少し野菜が小さいな…</li> <li>・早く収穫したい。</li> </ul> </div>	<p>◎日記やお知らせコーナーにある子供の記述</p> <p>◎教師が育てている野菜の写真(オクリンク)</p> <p>☆教師が栽培している野菜の写真を活用して、子供に自分が育てている写真も見たいという意欲を高めるようにする。</p> <p>☆オクリンクで2枚の写真をまとめ、気付いたことをワークシートに記入させるようにする。</p> <p><b>【知識】</b> 自分の育てている植物が成長している様子をワークシートに書いている。(ワークシート)</p> <p>☆同じ野菜を育てた人同士で紹介させ、思ったことや考えたことをワークシートに記入させる。</p> <p>☆野菜の成長の仕方が、野菜によって違うということに着目させる。</p>

<p>7</p>	<p>○振り返りカードの記述から、野菜の世話について困っている子供がいることを知る。</p> <p><b>これからの野菜の世話の工夫を調べよう</b></p> <p>○野菜をよりよく育てるためにどんな世話が必要かを調べたり、話し合ったりする。</p> <p>●振り返りカードに記入する。</p>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜を育てるためには、葉を取らないといけない。</li> <li>・野菜の軸が伸びてきたから、そろそろ支柱を立てたほうがよさそうだ。</li> <li>・詳しい人の話を聞きたいな。</li> </ul> </div>	<p>◎振り返りカードの子供の記述</p> <p>☆同じ野菜のチームで集まり、どんな世話が必要かを考えるようにさせる。</p> <p>☆「野菜救出大作戦」など、学習活動への意欲が高まる名称を子供と一緒に考える。</p> <p>☆どのように調べるかを考えさせて、野菜の世話に詳しい人に着目するよう働きかける。</p> <p><b>【思考】</b> 本やインターネットで調べたり、友達と話し合ったりして、自分の野菜の成長に合った世話の仕方の工夫を考えている。</p>
<p>8</p>	<p>○前時の振り返りや日記から、友達が調べた野菜の世話の工夫を知る。</p> <p>○野菜の世話に詳しい人からのアドバイスを 知る。</p> <p><b>野菜の世話を工夫しよう</b></p> <p>○前時に調べたりアドバイスを受けてたりして知った野菜の世話を実際に行う。</p> <p>○どのような世話をしているかを写真に撮る。</p> <p>●日記にどのような世話をしたかを記入する。</p> <p>○振り返りカードを記入する。</p>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜が増えるように少し実をとったよ。</li> <li>・野菜がまっすぐ伸びて育つように支柱を立てたよ。</li> <li>・みんながどんな世話をしているか知りたいな。</li> </ul> </div>	<p>◎振り返りカードや日記の子供の記述</p> <p>☆野菜グループごとの作戦名を確かめる。</p> <p>☆野菜の世話に詳しい人から聞いたことを教師が子供に紹介する。</p> <p>☆野菜の成長を確かめるために、撮った写真はオクリンクに保存させる。</p> <p><b>【思考】</b> どのような作戦を考えて、世話の工夫をしたかを日記に書いている。(日記)</p>
<p>9</p>	<p>○友達の日記や振り返りカードから、野菜のチームごとに世話で工夫していることを確かめる。</p> <p>○野菜グループで行っている作戦の発表会をすることの見通しをもつ。</p>	<p>◎日記や振り返りカードの子供の記述</p> <p>☆野菜の成長の様子、世話の工夫、成長への願いを発表することを確認する。</p>

	<p><b>野菜の世話の工夫をまとめよう</b></p> <p>○野菜チームで世話の仕方をまとめる。</p> <p>●振り返りカードに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・早く発表したいな。</li> <li>・うまくまとめることができた。</li> <li>・大きく育ててくれてうれしい。</li> <li>・他の野菜チームはどんなお世話をしているのかな。</li> </ul> </div> <p>○前時を振り返り、本時のめあてを確かめる。</p> <p><b>野菜グループごとに作戦を発表しよう</b></p> <p>○みんなに伝えたいことをグループでたしかめて、ワークシートに書く。</p> <p>○工夫した世話の内容を伝え合う。</p> <p>○発表を聞いて思ったことを発表する。</p> <p>●振り返りカードを記入する。</p>	<p>☆これまでに撮ってきた写真を使って、オンラインでまとめさせる。</p> <p><b>【思考】</b> 野菜の成長に必要な世話の工夫をまとめている。</p> <p>◎おしらせコーナーや日記の記述</p> <p>☆一つのグループの発表が終わったら、聞いていた子供に、よいと思ったことなどをワークシートに書かせるようにする。</p> <p>☆野菜ごとの世話の工夫に着目して発表するようにさせる。</p> <p><b>【知識】</b> いろいろな野菜の世話の工夫が自分の野菜の世話にも似たところがあったり、活用できたりすることに気付いている。</p>
<p>広げる</p>	<p>11</p> <p>○野菜の成長の様子を振り返り、本時のめあてを知る。</p> <p><b>収穫した野菜でしたいことを話し合おう</b></p> <p>○野菜を収穫してやりたいことを考え、話し合う。</p> <p>○話し合ったことを野菜グループごとに発表する。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のお世話をがんばったよ。</li> <li>・他の野菜も育ててみたいな。</li> <li>・みんなでサツマイモを食べたいな。</li> <li>・今度は秋の野菜を育ててみたい。</li> </ul> </div>	<p>◎育ててきた野菜の写真</p> <p>☆これまで作ったスライド資料をもとに、自分ががんばったことや野菜の成長で気付いたことを振り返らせる。</p> <p>☆自分でやりたいこと、家でやりたいこと、みんなでやりたいことに分けて考えさせるようにする。</p> <p>☆野菜グループでの話し合いの場をつくる。</p> <p>☆出された意見について、学校でできることとできないことを分類して子どもに示す。</p> <p><b>【態度】</b> 話し合いを通じて、これからも継続的に生き物と関わろうとしている。</p>

6 本時の指導 (10/11 時)

指導者 馬見塚 拓也

(1) 本時のねらい

友達と自分の世話の仕方を比べながら、自分の野菜の状態にあったお世話のやり方を考えることができる。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される子供の反応	◎教材・資料☆指導の工夫◆評価【観点】(方法)
導入 8分	○今日のめあてを確認する。	☆野菜のグループが視覚的に分かり易いように、野菜の絵のマグネットを貼っておく。
	グループごとに、野菜の世話の工夫を発表しよう。	
自分 分 タ イ ム 10分	○ワークシートにめあてを書く。 ○みんなに伝えたいことを確認する。 ・脇芽をつんだら、実が大きくなった。 ・大きくなってきたら、支柱を立てて支えてあげないといけない。 ・追肥作戦を試してみた。	◎ワークシート ☆前時で確認した発表することを思い出させるように、ワークシートを見返すように声をかける。
みんな な タ イ ム 23分	○野菜グループで、作戦の内容を伝え合う。  ・水をいつもより多くあげるようにしたら、芽がピンとしてきました。 ・脇芽を摘んだら、実が早く大きくなりました。 ・苗が大きくなったので、支柱を立てて支えました。茎が折れないように、支えることが必要ということが分かりました。	・発表グループの資料を投影する。 ☆発表を聞いている子供は、なるほどと思った事をメモして聞くことで、集中して発表を聞けるようにする。 ☆発表が終わったグループの内容が残るように、ホワイトボードに記述しておく。
ふり か え り 7分	○グループの発表を聞いて、考えたこと、次にやってみたいこと、みんなでやってみたいことについて、ふりかえりカードに書く。  ・実を大きくするには、芽を摘むことも必要なことがわかった。 ・ただ水をあげているだけではいけない事が分かった。	◎振り返りカード 【思考】異なる野菜にも、同じような特徴や性質があることに気付いている。

### (3) 板書計画

<p>6月10日(金) ぐんぐんそだて わたしのやさい</p> <p><b>めあて</b> やさいのせわのくふうをはっぴょうしよう。</p> <p>きき方のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メモをとりながらきいてみよう。</li> <li>なるほどメモや気になるメモ</li> <li>・</li> </ul>	<p>各野菜グループがオクリンクで作成した発表スライドの投影</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1045 197 1252 347"> <p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p> <p>・「めかき」をしたら、みが大きくなってきた。</p> </td> <td data-bbox="1252 197 1444 347"> <p>・ひりょうをあげたら、みが大きくなった。</p> <p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1045 347 1252 481"> <p>・つめのピーマンをしゅうかくしたら、ほかのピーマンが大きくなってきた。</p> </td> <td data-bbox="1252 347 1444 481"> <p>・水やりをまい日やるようにしている。</p> <p>・ひりょうをあげたら、すこしずつはっぱが大きくなってきた。</p> </td> </tr> </table> <p><b>ふりかえり</b></p> <p>気づいたこと・つぎやりたいこと</p> <p>みんなにつたえたいこと</p>	<p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p> <p>・「めかき」をしたら、みが大きくなってきた。</p>	<p>・ひりょうをあげたら、みが大きくなった。</p> <p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p>	<p>・つめのピーマンをしゅうかくしたら、ほかのピーマンが大きくなってきた。</p>	<p>・水やりをまい日やるようにしている。</p> <p>・ひりょうをあげたら、すこしずつはっぱが大きくなってきた。</p>
<p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p> <p>・「めかき」をしたら、みが大きくなってきた。</p>	<p>・ひりょうをあげたら、みが大きくなった。</p> <p>・しちゅうを立てたら、せがのびて大きくなった。</p>					
<p>・つめのピーマンをしゅうかくしたら、ほかのピーマンが大きくなってきた。</p>	<p>・水やりをまい日やるようにしている。</p> <p>・ひりょうをあげたら、すこしずつはっぱが大きくなってきた。</p>					

### 【野菜作りの様子】

苗を植える前にアドバイスを受ける子供の様子



植えたばかりの野菜の苗の様子



植えたばかりの野菜の苗の様子



野菜の世話を工夫する様子



7 学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>◆1年生で花を育てたときのことを振り返ろう。</p> <p>○植物を育てているときの気持ちを振り返る。</p> <p>○昨年度の野菜作りの様子を振り返ったり、教科書の写真を見たりしながら育てたい野菜を話し合う。</p> <p>【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の時にチューリップを育てたよ。</li> <li>・家で野菜を育てたことがある。</li> <li>・<u>学校でも野菜を育ててみたいな。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生でアサガオを育てたことがあったな。</li> <li>・2年生が学級花壇の近くで野菜を育てていたよ。</li> <li>・夏の野菜にはいろいろな種類があるんだな。</li> <li>・<u>ぼくも自分の野菜を育ててみたいな。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生のときに花を育てたことや昨年度の2年生が野菜を育てていた様子を振り返り、友達と話し合うことを通じて、2年生になった自分たちも野菜を育てたいという思いが高まっていた。</li> </ul>
2時	<p>◆自分が育てる野菜を決めよう</p> <p>○夏野菜の実物を見て自分が育てる野菜を決める。</p> <p>○野菜を選んだ理由やどのように育ててほしいかを願いカードに書く。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <p>【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜がつやつやしてきれいだな。</li> <li>・ピーマンの肉詰めが好きだから、ピーマンを育てたい。</li> <li>・<u>大きくて立派でおいしいピーマンに育ててほしいな。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤いミニトマトがおいしそうだ。</li> <li>・<u>ぼくは、おいしいミニトマトを育てて食べたいな。</u></li> <li>・サラダに入れてミニトマトを食べたいな。</li> <li>・真っ赤なミニトマトに育ててほしいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物の夏野菜を目にしたことで、野菜を育てたいという意欲が高まっていた。</li> <li>・自分が選んだ野菜について、理由を考えさせることにより、どのように野菜が育ててほしいかについてイメージし、願いをもつことにつながった。</li> </ul>
3時	<p>◆苗を植える準備をしよう</p> <p>○実際に届いた苗を見て、気が付いたことを話し合う。</p> <p>○苗を植えるため必要な準備を話し合う。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <p>【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーマンの苗が届いてうれしいな。</li> <li>・ピーマンの葉がまだ小さいな。</li> <li>・育てるためには、花を育てたときみたいに土が必要になる。</li> <li>・<u>ピーマンの苗が元気に育つように世話をしていこう。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニトマトの苗が届いてうれしい。</li> <li>・緑色をしたミニトマトの実があるよ。</li> <li>・<u>ミニトマトを育てるためには植木鉢が必要になるな。</u></li> <li>・早くミニトマトを植えて育てたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・届いた苗を実際に見ることで、自分が育てる野菜という気持ちが高まり、苗を植えるために必要な準備について具体的に考えることができていた。</li> <li>・振り返りカードには、野菜が元気に育ってほしいという願いが表現されていた。</li> </ul>
4時	<p>◆自分が育てる野菜の苗を植えよう</p> <p>○スクールコーディネーターの話聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>ピーマンが元気に育つようにきちんとお水をあげよう。</u></li> <li>・植木鉢に土をたくさん入れよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>土は多めに入れないと元気に育たないみたいだから、植木鉢にたっぷり土を入れよう。</u></li> <li>・植木鉢に植えたミニトマトの写真を撮っ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苗を植えるにあたって、野菜作りに詳しい人の話を聞く活動を設定したことにより、野菜の世話に対する子供の意識が高まっていた。</li> </ul>

	<p>○地域の方や保護者と一緒に苗を植えて、写真を撮る。</p> <p>○野菜日記を書く。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <p>【知技】</p>	<p>・今日はピーマンの苗を植えた。大きく育ててほしいな。(野菜日記)</p>	<p>たよ。大きく育つといいな。(野菜日記)</p>	<p>・野菜日記には、自分の野菜に名前を付けている子供もいて、野菜の成長への期待が感じられた。</p>
5時	<p>◆育てている野菜の様子を見てみよう</p> <p>○友達の日記に書いていることを聞く。</p> <p>○苗の写真を撮って気付いたことを日記に書く。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <p>【知技】</p>	<p>・他の野菜がだんだん大きく育てているみたいだ。</p> <p>・<u>苗を植えた時と比べると、苗を背が高くなった。葉の数も増えてきてうれしいな。世話をがんばろう。(野菜日記)</u></p>	<p>・ミニトマトを育てている他の友達の実はいくらも赤くなっているみたいだ。</p> <p>・ぼくのミニトマトの写真を撮ったよ。<u>緑色から少しだけ赤くなっているような気がする。</u></p> <p>・早く赤くなるように世話をがんばろう。</p>	<p>・野菜日記に書かれていることを紹介したところ、共感的な反応があり、友達の野菜の成長に関心をもっている子供が多いことが分かった。友達の野菜と比べて、自分の野菜の成長を感じることもあるのだと思う。</p>
6時	<p>◆植えたときと今の苗の様子を比べよう</p> <p>○教師が育てた野菜について、成長の様子を話し合う。</p> <p>○育てている野菜が成長している様子をワークシートに書く。</p> <p>○友達の野菜の成長の様子を知って思ったことを発表する。</p> <p>○振り返りカードに記入する。</p> <p>【知技】</p>	<p>・先生が育てたナスが大きく育てているすごいな。</p> <p>・私のピーマンがどんどん大きく育てている。収穫できそうな実があるよ。</p> <p>・友達の野菜も順調に育てているみたい。</p> <p>・<u>もっと大きく育てるためにはどうしたらいいのかな。</u></p>	<p>・先生の育てているナスは立派に育てている。</p> <p>・ぼくのミニトマトの実が少しずつ赤くなっている。</p> <p>・他の友達のミニトマトは赤くなっているのに、ぼくのミニトマトはまだあまり赤くないから少し心配だな。</p> <p>・<u>ミニトマトが元気育つように世話を工夫したい。</u></p>	<p>・前回の学習で、友達の野菜の成長の様子と比べるという観点をもたせたことにより、植えたばかりの時と比べることが自然にできていた。</p> <p>・多くの子供が、野菜が大きく育てていることへの喜びを振り返りカードに表現していた。</p>
7時	<p>◆これからの野菜の世話の工夫を調べよう</p> <p>○野菜をよりよく育てるためにどんな世話が必要かを調べたり話し合ったりする。</p> <p>○振り返りカード</p>	<p>・ピーマンを育てている友達と話し合ってみよう。</p> <p>・屋根の下に入れると雨が当たらないみたいだ。</p> <p>・本には、大きく育ててきたら支柱が必要と書いている。</p>	<p>・<u>ぼくも他の友達みたいにたくさん実がなるようにしたいな。</u></p> <p>・水をやり過ぎてはいけないうまいな。</p> <p>・インターネットで調べたら、間引くことも必要らしい。</p> <p>・早く世話を工夫して</p>	<p>・順調に野菜が成長している子供は、もっと大きく育てたいという願いをもって世話の工夫を調べていた。一方で、思うように野菜が育っていない子供については、野菜を元気にしたい気持ちから、進んで友達にアドバイスを求めたり、本や</p>

	に記入する。 【思考】	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の世話に詳しい人の話を聞いてみたいな。</li> </ul>	元気なミニトマトにしたい。	インターネットで調べたりする姿が見られた。
8時	<p>◆野菜の世話を工夫しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友達が調べた野菜の世話の工夫を知る。</li> <li>○野菜の世話に詳しい人のアドバイスを知り、野菜の世話をする。</li> <li>○世話の様子を写真に撮り、振り返りカードに記入する。</li> </ul> 【思考】	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の友達も支柱を立てる工夫を調べていたよ。</li> <li>野菜に詳しい人から、ピーマンは屋根の下に置いたほうが良いと教えてもらったよ。</li> <li>茎をひもで結んで支柱を立てたよ。</li> <li>もっとピーマンが大きく育つといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の友達は、毎日決まった時間に野菜の様子を見ていたんだな。</li> <li>ミニトマトの実を増やすためには、枝を間引くことが大事みたいだ。</li> <li>先生にも手伝ってもらって間引く工夫をしたよ。赤いミニトマトが増えるといいな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前時の振り返りカードに、「野菜の世話に詳しい人から世話の工夫を教わりたい」という記述があり、子供が調べたことと合わせて世話の工夫をすることができた様子であった。</li> <li>野菜日記には、どのような作戦を実施したかを書くとともに、野菜がもっとおいしく元気に育つようにという願いが表現されていた。</li> </ul>
9時	<p>◆野菜の世話の工夫をまとめよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜グループで行っている作戦の発表をすることの見直しをもつ。</li> <li>○野菜チームで世話の仕方をまとめ、振り返りカードに記入する。</li> </ul> 【思考】	<ul style="list-style-type: none"> <li>みんなで工夫して野菜が育っている様子を知りたいな。</li> <li>おいしいピーマン大作戦の世話の仕方をまとめよう。</li> <li>今日は世話の仕方を話し合ったので、次からはオクリンクでまとめていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ぼくたちが工夫してミニトマトを育てていることをみんなにも知ってほしいな。</li> <li>ミニトマト赤くなあれ作戦を紹介しよう。</li> <li>オクリンクでみんなに紹介する準備をしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育てている野菜チームごとに、野菜の工夫をまとめることとなり、オクリンクが分かりやすいと感じている子供が多いことが分かった。</li> <li>世話の工夫の作戦名には、野菜の成長に対する子供の願いがどのようなものが端的に表現されていた。</li> </ul>
10時	<p>◆野菜グループごとに作戦を発表しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○みんなに伝えたいことをグループで確かめる。</li> <li>○野菜グループごとに世話の工夫を発表する。</li> <li>○振り返りカードに記入する。</li> </ul> 【知識】	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピーマンが元気に育っていることを伝えたい。</li> <li>支柱を立ててピーマンが大きく育った。</li> <li>ピーマンを収穫して、実が多くなりすぎないようにした。</li> <li>他の野菜も支柱を立てているところがあって、世話の仕方が似ていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と工夫した世話の工夫をたくさん紹介したい。</li> <li>ミニトマトの土が乾かないように水をあげることができた。</li> <li>枝をほどよく間引いて実に栄養がいくように工夫した。</li> <li>世話を工夫すると野菜が元気に育つことが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人が発表で伝えたいことがはっきりしていたことにより、発表で世話の工夫を詳しく伝えることができていた。</li> <li>聞いている子供についても、育てている野菜が違っていても、世話の工夫には似ているところがあることに気づき、振り返りカードに表現することができていた。</li> </ul>
11時	<p>◆収穫した野菜でしたいことを話し合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○野菜を収穫してやりたいことを</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おいしそうに育った野菜をみんなで食べたいな。</li> <li>育てた野菜を給食に出してもらおうことは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>収穫したミニトマトで料理をしたいな。</li> <li>サツマイモを収穫して焼き芋にして食べたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どの子供についても、野菜をおいしく食べたいという願いがあって、世話を工夫してきたことが分かった。世話を工夫してよかったと</li> </ul>

<p>話し合い、野菜グループごとに発表する。 ○振り返りカードに記入する。 【態度】</p>	<p>できないのかな。 ・夏休みも植木鉢を持って帰って野菜を育てていきたい。</p>	<p>・これからも、いろいろな植物を野菜の世話を工夫して、元気に育てていきたい。</p>	<p>いう満足感が、花や野菜をはじめとする生き物へのよりよいかかわり方につながっていると考えた。</p>
--	--	--	--

## 8 考察

低学年では、「社会とのつながりを実感し、生活を豊かにしようとする子」を目指す子供像としている。本単元では、進んで世話の工夫を調べて実施して、野菜への親しみが高まった姿として考えた。A児は、自分が育てているピーマンに名前を付けて毎日の様子を日記に書くとともに、「ピーちゃん、がんばってそだってね」などと野菜に励ましを送っていた。また、元気に育てている様子を観察して、「やった！元気にそだっているよ！」など、素直な喜びの気持ちを表現していた。B児は、野菜がうまく育たないことに悩み、友達に相談する姿が見られた。野菜日記には、「ともだちは水のあげ方を工夫していると言っていたから、ぼくも同じようにやってみよう」と世話の工夫への意欲を表現していた。世話の工夫を重ねてミニトマトが大きく育つにつれて、「ぼくの野菜がぐんぐん育ってきてうれしい」と野菜日記に記述して、学習の過程で野菜への親しみが高まっていた。

本単元における目指す子供の実現に向けた指導の手立ては以下のとおりである。

- ① 導入で野菜づくりへの子供の興味・関心が高めることが大切と考え、夏野菜の実物を提示したことにより、ピーマン、ナス、ミニトマト、オクラの中から野菜を選ぶ活動は自然な流れとなった。その際、子供に対して、「どうしてその野菜を選んだのか」を問いかけると、「ピーマンの肉詰めにしたいから」「ミニトマトをサラダにしたいから」等の様々な理由が挙げられた。そして、「元気な野菜を育てておいしく食べたい」という子供の願いを全体で共有することができ、その後の学習における共通のめあてを作ることができた。
- ② 思ったように野菜が大きく育たないなどの困りごとが起こってくるようになったときには、学級内にお助けコーナーを設けて、友達の困りごとに対するアドバイスができるような環境を整えた。そうすると、同じ願いをもった友達の困りごとに関心をもち、進んでアドバイスをしている姿が見られるようになった。野菜作りが上手くいっていないときも、友達の助けを借りながら粘り強く世話の工夫を調べて育てていたのは、「野菜をおいしく育てて食べたい」という願いがあったからと考える。順調に育てている子供については、「もっと立派に育てたい」などとの願いを動機として、さらに世話の工夫をしようと学習に取り組んでいた。

### 【本時の授業の様子】



## 第2学年 生活科学学習指導案

### 1 単元名 「もっとなかよしまちたんけん」(15時間)

### 2 単元の目標と観点別評価規準

#### (1) 単元の目標

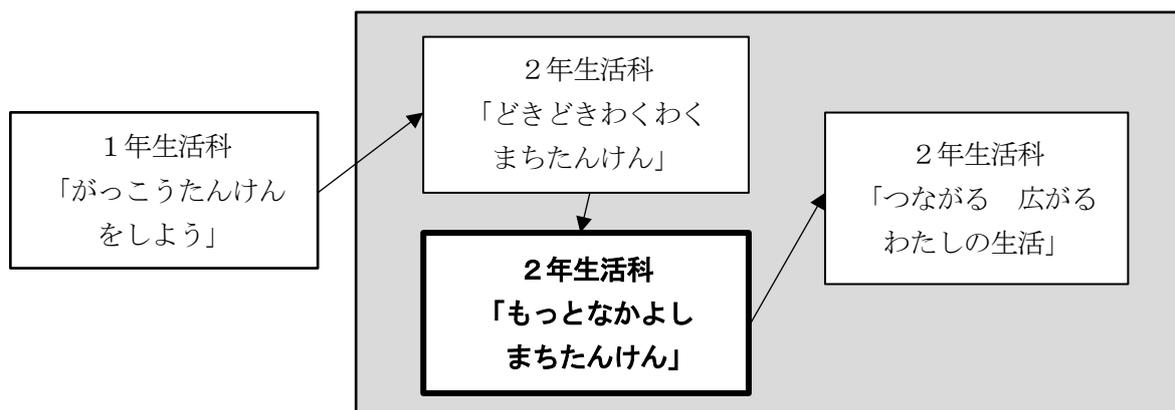
地域の人々と関わる活動を通して、地域には生活したり、働いたりしている人々がいること、それらの人々と自分たちの生活との関わりに気づき、地域の人々に親しみや愛着をもつとともに、人々と適切に接したり、安全に生活をしたりすることができるようにする。

#### (2) 単元の観点別評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地域で生活したり、働いたりしている人々との自分たちとの関わりに気付いている。	もう一度関わりたい場所や人、一緒にしてみたい活動を決め、地域で生活したり、働いたりしている人々と自分たちとの関わりについて考え、表現している。	前単元のまち探検などで関わった人や場所と繰り返し関わることによって、地域や場所に関心を持ち、それらに親しみや愛着をもっていたり、一緒に活動したりしようとしている。

### 3 単元について

#### (1) 生活科における本単元の位置付け



#### (2) 本単元の教材について

本単元では、様々な人とつながることを通して、地域への関心を高めたり、親しみや愛着をもったりすることを目的としてまち探検を行う。特に、前単元の「どきどきわくわくまちたんけん」とのつながりと、地域の人と繰り返し交流する活動の設定の二点を意識して単元を構成している。

一点目では、四谷のまちには「すてき」な場所が多くあるという前単元の気づきを振り返ったり、そこで見つけた「すてき」な場所の中から探検先を決めたりすることで、その場所で働いている「すてき」な人を見つけて、話を聞くためにまち探検へ行きたいという思いをもたせる。二点目では、まち探検を複数回実施することで、四谷で働く人々との関わりをより強く意識し学習を進めることができるようにしている。

これらのことを通して、自分たちの生活を支えてくれる「すてき」な人が四谷のまちに多くいることが気づき、地域に対してさらに愛着をもち、地域の人々と適切に接することができるようになると思う。

#### (3) 子供の実態

本学級の子供は、前単元の「どきどきわくわくまちたんけん」を通じて四谷の地域にある「すてき」な場所について見付け共有している。実際に探検に行き、四谷のまちには「すてき」な場所が多くあること

に気付き、四谷の地域に興味をもち始めている。しかし、前単元では一度の探検で場所のすてきを見付けるのみだったことから、地域への愛着や地域に対する気付きの質の高まりが課題となった。そこで、本単元の「もっとなかよしまちたんけん」では、四谷のまちで生活し、暮らしている人に着目させ、交流することで地域への関心の高まりや愛着をもたせていきたい。

#### **(4) 目指す子供像**

子供にとって毎日の生活の場である四谷のまちを探検する活動を通して、自分たちの日々の生活が家族だけでなく、地域の人たちによっても支えられていることに気付かせたい。その上で、今の暮らしに感謝し、自分ができることについて考え実践できる子供を目指していく。

### **4 研究内容との関連**

#### **(1) 気付きの質を高める工夫**

個人の振り返り、協働的な活動、教師の働きかけの3つを通して、子供の気付きを自覚させたり高めたりしたいと考えた。子供は活動の中で様々なことに気付いていく。その子供の気付きを表出させることで、子供は自分の気付きを意識するようになる。さらに、個人の気付きを全体で交流することで、それぞれの気付きのよさを感じたり意識したりできる。そのために、探検を通して発見したことを個人でまとめる活動と、探検での発見や気付きを共有する活動を計画的に設定した。

また、教師が子供のよいつぶやきや気付きを価値付けたり全体に広げたりすることも、子供の気付きの質を高めると考えた。教師は、単元を通して「人とのつながり」に関係した気付きやつぶやきを意識的に価値付けていく。

さらに、グループ活動と全体での話し合いでは、子供の気付きの質を高めたり、広げたりすることをねらっている。そのため、見付けたことや分かったことに加えてそれぞれの子供が考えたことや感じたことなども共有させていく。そうすることで互いの気付きの質を高めていきたい。

#### **(2) 思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成**

前単元の「どきどきわくわくまちたんけん」の学習と関連させて単元を計画した。本単元では、前単元で子供が選んだ「すてき」な場所へ探検に出かけ、その場所にいる地域の方々と子供が直接交流を行っていく。

思いや願いを自分たちの力で実現できるようにするために、見学先の決め方を子供が考えたり見学のお願いの手紙やお礼の手紙を書いたりする活動を設定した。また、見学を2回設定し繰り返し通うことで地域の方との関わり方の質を高め、親しみをより感じられるようにした。見学先の方とは、1回目、2回目の見学がどのような目的なのか、どのようなお話をしていただきたいのかなどを事前に打ち合わせ、学習が進むごとに子供の気付きが「人とのつながり」へ向くように計画した。

また、グループ活動は同じ場所に探検に行った友達と話し合うことで自分の発見を整理したり、考えに自信をもったりするために設定している。さらに、全体で発表や話し合いをし、別のグループとの共通点や相違点を見付けることで自分の考えを深めることができると考えた。

#### **(3) 振り返り活動の充実**

毎時間授業の終わりには振り返りの時間を設定した。振り返りカードにはその時間に気付いたことや思ったことに加え、次にやりたいことを書き表すことで子供が自分の思いや願い、気付きなどを意識しながら学習に臨めると考えた。また、教師は振り返りカードを基にして次時の学習活動の内容を修正し、子供の願いや思いを授業に反映できるように活用する。

5 単元の指導計画(全 15 時間扱い)

過程	ねらい	○主な学習活動 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">子供の学び</span> ●評価の活動	◎教材・資料 ☆指導の工夫 【観点】評価(方法)
であう	1 学期のまちたんけんを振り返り、自分の行きたい場所を考え探検の計画を立てることができるようにする。①	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">前回の町たんけんを振り返ろう。</span></p> <p>●町探検を振り返り、行ってみたい場所について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>まち探検で前を通ったペットショップの中を詳しく見てみたいな。</p> </div> <p>●探検に行つてできそうなことや、探検で調べることをカードに書く。</p>	<p>◎前単元のワークシート</p> <p>◎全体の絵地図</p> <p>☆「よかった。」「楽しかった。」などの発言や振り返りカードの内容を受けて問い返すことにより、もっと調べたい、行ってみたい気持ちを言語化できるようにする。</p> <p>【態度】探検に行つて実現しそうな活動を予想し、探検する場所や調べることを決めようとしている。(発言)</p>
かかわる I	探検先を決め、やりたいことをもとに準備をして、探検に行き、地域にある場所には働いている人や生活している人がいることに気付き、その場所や人の役割について考えることができるようにする。②③④	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見学に行く準備をしよう。</span></p> <p>○見学に行くグループごとに準備をしよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <ul style="list-style-type: none"> <li>・初めにしっかりあいさつをしよう。</li> <li>・何を質問しようかな。</li> </ul> </div> <p>●どんなことを知りたいかを振り返りカードに書く。</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">グループごとに町探検に行こう。</span></p> <p>○お店や町の人たちの話を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>・たくさんのお菓子を売っていたね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>・お店の人は一杯ずつコーヒーを入れていて大変そうだったよ。</p> </div> <p>●探検に行つて考えたことや思ったことを振り返りカードに書く。</p>	<p>◎行ける場所の名前リスト</p> <p>◎全体の絵地図</p> <p>☆見学に行くためにどのような準備が必要かを考えることで、人とのつながりについて目を向けることができるようにする。</p> <p>【態度】見学に行つて、知りたいことややりたいことの思いをもっている。</p> <p>◎分かったことを記録するワークシート・探検ボード</p> <p>☆後からでも、見学の様子が分かるように、写真や動画を撮っておく。</p> <p>☆保護者や地域の方に協力していただき、安全に見学ができるように計画・準備しておく。</p> <p>【知技】地域にある場所には、働く人や生活している人がいることに気付いている。</p> <p>【思判表】地域で見つけたことを自分のこれまでの経験と関連付けながら、地域の場所や人の役割を探している。</p>
	探検先で見つけたことを紹介し合い、すてきの共通点を探ることができるようにする。⑤	<p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">探検に行つて気付いたことや分かったことを発表しよう。</span></p> <p>○探検で分かったことを、グループごとにまとめる。</p> <p>○グループでまとめた内容を、全体で紹介しあう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>・朝早くからお店を開くために準備しているんだね。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">  <p>・お店のことはよく分かったから、働いている人にもっと色々聞いてみたいな。</p> </div>	<p>◎記録した写真や動画</p> <p>☆発見したことや分かったことを、場所にかかわることと人にかかわることに分けて板書することで、視点を分かりやすくする。</p> <p>☆場所の写真と子供からの発表をまとめて板書することで、場所ごとに発見したことの共通点や違いを分かりやすくする。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●さらに聞いてみたいことを、振り返りカードに書く。</li> </ul>	<p>【思判表】 友達の見付けたことと自分の見付けたことの共通点や相違点を探しながら、地域のことを伝え合っている。</p>
か か わ る Ⅱ	<p>もう一度探検に行くために見たり聞いたりしてくることを明らかにし、2回目の見学を通して人と交流しながら、町のよさに気付くことができるようにする。</p> <p>⑥⑦ ⑧⑨</p>	<p>さらに聞きたいことや知りたいことについてまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループごとに聞きたいことをまとめる。</li> </ul> <p> ・おいしいお菓子をどうやって作っているのかを聞いてみたいな。</p> <p> ・どうしてあの場所にお店を作ったのかな。昔から四谷に住んでいたのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●探検に行った場所で、もっと知りたいことをカードに書く。</li> </ul>	<p>◎前回の振り返りカード</p> <p>◎探検に行った場所の写真と、取材メモ</p> <p>☆働く人や思いに注目している子供のつぶやきや発言を全体に広げる。</p> <p>【思判表】 知りたいことが分かるような質問を考えている。</p> <p>【態度】 探検で分からなかったことを調べたいという思いをもち、もう一度探検に行こうとしている。</p>
		<p>見学に行く準備をしよう。</p> <p>○グループごとに探検に行く準備をする。</p> <p> ・質問を言う人と、メモを取る人を決めておいた方がいいね。</p> <p> ・なぜ朝早くからお店を開けているのか理由が知りたいな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループでの活動について振り返り、カードに書く。</li> </ul>	<p>◎探検に行った場所の写真と、分かったこと</p> <p>◎見学用のワークシート</p> <p>☆子供からの手紙や質問を事前に見学に行く場所や人に伝えておく。</p> <p>【態度】 グループでの活動で、自分の思った事を伝えたり友達の意見を聞いたりして意見をまとめようとしている。</p>
		<p>2回目の見学に行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●グループごとに見学へ行き、質問して分かったことを記録する。</li> </ul> <p> ・お店の人は、お客さんが喜んでくれるようにいろんな工夫や努力をしていたんだね。</p> <p> ・四谷の町が大好きって言っていたね。私と同じだなと思ったよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●見学に行っって思ったことや考えたことを振り返りカードに書く。</li> </ul>	<p>◎見学用のワークシート</p> <p>☆班で質問の様子等を記録するために、グループで1台タブレットを持たせ、記録させる。</p> <p>【知技】 探検で関わった地域の人の地域に寄せる思いについて、気付いている。</p> <p>【知技】 地域の人と接する際、相手や場に応じた挨拶や適切な言葉遣いをしている。</p>
ひ ろ げ る	<p>探検をして、分かった地域や交流した人々のすてきを伝える準備を積極的にする</p>	<p>分かったことを伝え合う準備をしよう。</p> <p>○見学に行っって分かったことをグループごとにまとめる。</p> <p> ・まずは、2回目の見学で分かったことをまとめていこうよ。</p>	<p>◎前時の振り返りカード</p> <p>◎探検に行った場所の写真と、分かったこと</p> <p>☆一回目の見学で分かったことを発表した内容を振り返り、さらに分かったことをどのように発表していくかを考えることができるようにする。</p>

<p>ことができるようにする。 ⑩⑪⑫</p>	 <p>・質問をしている様子は、動画や写真で伝えた方が分かりやすいと思うな。</p> <p>●どんなことを伝えたいかを振り返りカードに書く。</p>	<p>☆グループですてきだなと思ったところをまとめておくように声掛けをする。 【思判表】伝えたいことに合わせた発表方法を考えようとしている。 【態度】地域で関わった人の、地域に寄せる思いに触れ、これからも地域の人々と関わろうとしている。</p>
<p>探検で分かった地域の暮らしを豊かにしてくれる人々について気付いたことを伝え合うことができるようにする。 ⑬ ⑭ (本時1組)</p>	<p>友だちのはっぴょうを聞いて、すてきをたくさん見つけよう。</p> <p>●グループごとに見学をして分かったことを発表する。</p>  <p>・来てくれるお客さんが、「おいしい」と笑顔になってくれるように、心を込めてお菓子を作っていることが分かりました。その気持ちがとてもすてきだなと思いました。</p>  <p>・店の掃除をする時は、周りまでゴミを拾うようにしているそうです。店の前に花を置いていて、町が明るくなるといいなと思っていますと教えてくれました。</p> <p>●発表を聞いて思ったことや感じたことを、振り返りカードに書く。</p>	<p>◎見学に行った場所についてまとめたスライドと取材メモ</p> <p>◎発表を聞いて「見つけたすてき」をメモするワークシート</p> <p>☆発表を聞いている子供が、町のすてきだと思った事をワークシートにメモできるようにしておく。 ☆ワークシートは書く分量が自由に調整できる形にしておく。</p> <p>【知技】地域には自分たちの暮らしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。</p>
<p>まちのすてきについて考えたことを地図に表して伝え合うことができるようにする。 ⑮ (本時3組)</p>	<p>発表を聞いて、思ったことや感じたことを伝え合おう。</p> <p>●発表を聞いて、町のすてきだと思った事を伝える。</p>  <p>・四谷の町には、みんなの事を考えながら過ごしている人がたくさんいてすてきだね。</p>  <p>・場所は違っていても、町のことを考えていることは一緒だと思ったよ。</p> <p>●活動を振り返って、思ったことや感じたことを振り返りカードに書く。</p>	<p>◎全体の絵地図</p> <p>◎1、2回目の見学で分かったことをまとめた資料</p> <p>☆全体の地図にすてきカードを貼っていき、たくさんのすてきをみんなで見つけたことが実感できるようにする。 【思判表】自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見だし、地域の人々の良さに気付いている。 【態度】地域で関わった人々の地域に寄せる思いに気付き、その人々に親しみや愛着をもって接し、生活しようとしている。</p>

6 本時の指導 (14/15 時) < 1 組 >

指導者 塚田 麻衣

(1) 本時のねらい

探検で分かった地域のくらしを豊かにしてくれる人々について気付いたことを伝え合うことができるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される子供の反応	◎教材・資料 ☆指導の工夫 ◆評価【観点】 (方法)
導入 3分	○前時の確認をし、本時のめあてをつかむ。  友だちのはっぴょうを聞いて、すてきをたくさん見つけよう。	☆前時を振り返り、本時のめあてを共有する。
自分 分 タイ ム 3分	○前時にワークシートに書いためあてを確認する。 ○みんなに伝えたいことを確認する。  ・ぼくはパン屋さんの苦勞を伝えたいな。 ○話の聞き方を確認する。	◎ワークシート、本時に向けて準備した資料 ☆前時のワークシートを見て確認させる。  ☆「すてきな○○」を見つけながら聞くことを確認する。
みんな な タイ ム 34分	○前時まで作成した発表用スライドを投影してグループごとに分かったことを発表する。  ・このお店ではお客さんが迷わないように、商品の置き方をくふうしているそうです。  ・お客さんにいろいろなパンを食べてもらえるように、朝早くから仕込みをしているそうです。	◎本時に向けて子供が準備したスライド ☆まち探検で撮った写真を活用したグループごとのスライドを用いて、自分達が見つけたすてきを伝えることを確認する。 ☆発表を聞いている子供は、町のすてきだなど思ったことをワークシートに書く。
ふり か え り タイ ム 5分	○振り返りカードに記入する。  ・お店や施設の人々は町の人たちのためにそれぞれいろいろな工夫しているんだな。  ・私が調べたお店の工夫と友達が調べたお店の工夫は違うけど、考えている思いは同じだな。	☆「考えたこと」「次にやりたいこと」の2つの視点で学習を振り返るよう伝える。 ☆友達の見解を参考に、自分のワークシートに書き込んでもよいことにする。  【知技】地域には自分たちのくらしを豊かにしてくれる人々がたくさんいることに気付いている。 (振り返りカード)

### (3) 板書計画

友だちのはっぴょうを聞いて、  
すてきをたくさん見つけよう。

#### <聞き方>

- ・自分のはっぴょうとくらべながら聞く。
- ・見つけたすてきをみじかいことばで書く。

子供のスライドを投影する。

ふりかえり

- ・今日考えたこと
- ・つぎやりたいこと

### 【見学に行ったお店の一覧】

金駒（魚屋）	丸正総本店（スーパー）
大久保基盤店	カフェ ベローチェ
たいやき わかば	坂本屋（和菓子）
ナカ薬局	有明屋（佃煮）
はなまるうどん コモレ四谷店	仲芳屋（文具店）
アサクラメガネ	スターバックス四谷三丁目店
肉の竹井商店	ケンタッキーフライドチキン 四谷駅前店
ZOO 四谷店（ペットショップ）	ファミリーマート四谷大通り店
四谷 もつ焼きのんき	セブンイレブン四谷店
和楽（文具店）	アンポルテ（ケーキ）
アンテンドウ（パン屋）	小泉豆腐店

6 本時の指導 (15/15 時) < 3 組 >

指導者 長田 英恵

(1) 本時のねらい

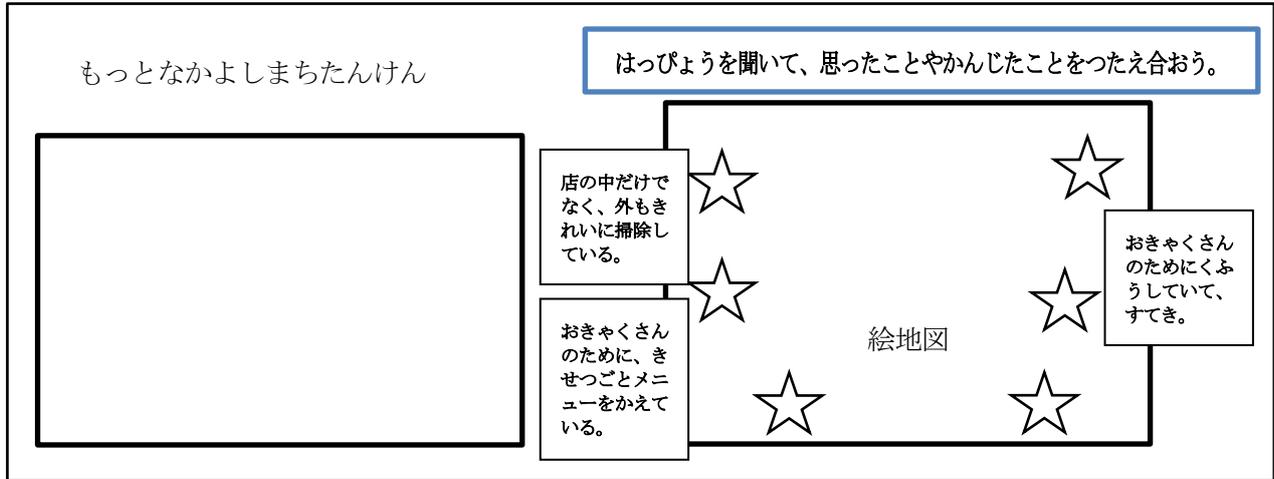
まちのすてきについて考えたことを地図に表して伝え合うことができるようにする。

(2) 本時の展開

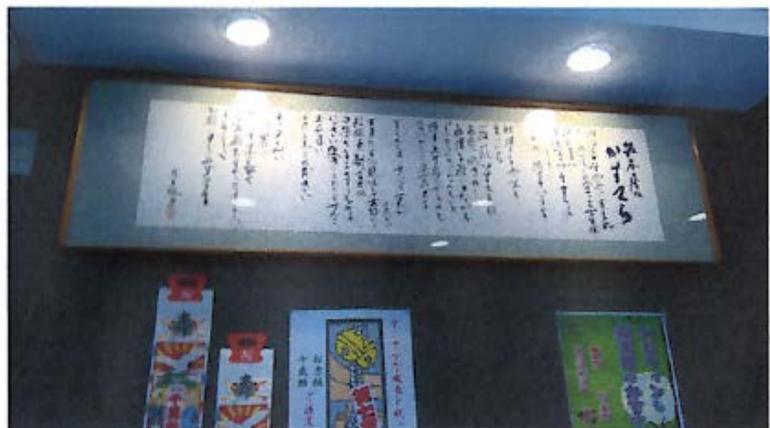
	○主な学習活動 ・予想される子供の反応	◎教材・資料 ☆指導の工夫 ◆評価【観点】 (方法)
導入 5分	○前時の振り返りから、本時のめあてをつかむ。  はっぴょうを聞いて、思ったことやかんじたことをつたえ合おう。	☆前時を振り返り、本時のめあてを共有する。 ◎前時の振り返りカード ◎絵地図
自分 タイム 5分	○前時に書いたすてきカードを読み返す。   ・あまり行ったことがない場所のことがよくわかったよ。	☆個人で振り返る時間を取り、一人一人の考えを表出させる。 ☆発表で使ったスライドを表示することで、すてきカードに書いた内容を思い出させる。
みんな タイム ① 20分	○発表した場所ごとに、すてきカードを発表する。   ・お店の人は、お客さんの事を考えて、一生懸命働いていて素敵だと思いました。   ・道の掃除をしている人は、ずっと住んでいる四谷の町をきれいにしたいという気持ちで掃除をしていて、素敵だと思いました。	☆どの場所についてすてきだと思ったかを分かりやすくするために、場所ごとにすてきカード・シールを貼っていく。  ☆一つの意見に対して、「同じ意見の人」と問うことで、発表者以外の子供の意見も絵地図に反映できるようにする。  ☆絵地図にすてきカードを貼っていくことで、たくさんのすてきをみんなで見つけたことを実感できるようにする。
みんな タイム ② 8分	○完成した絵地図を見て、思ったことを伝え合う。   ・ぼくたちのまちには、こんなにたくさんのすてきがあって嬉しい。	☆子供のつぶやきや、前時までの振り返りカードの中で、まちを大切に思う気持ちや、愛着をもつ気持ちを取り上げて価値づける。
ふり かえり タイム 7分	○振り返りカードに記入する。   ・お店の人の話や友達の発表を聞いて、四谷の町には生活したり、働いたりしている人がいること、その人たちと自分たちの生活と関わっていることが分かった。四谷の町がもっと好きになったし、他の地域の人々とも関わってみたい。	☆「今日考えたこと」の視点で学習を振り返るよう伝える。 ☆友達の意見を参考に、自分のワークシートに書き込んでも良いことにする。  【思判表】自分や友達に関わった人々の地域に寄せる思いから共通点を見だし、地域の人々の良さに気付いている。(振り返りカード)  【態度】地域で関わった人々の地域に寄せる思いに気付き、その人々に親しみや愛着をもって接し、

		生活しようとしている。(振り返りカード)
--	--	----------------------

(3) 板書計画



【子供がお店で撮ってきた写真の一部】



## 7 学習の実際

	○主な学習活動 ◆めあて【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児（ZOO）	B児（丸正）	
1時	<p>◆前回の町たんけんをふりかえろう。</p> <p>○絵地図を見て、通った道と何があったかを振り返る。</p> <p>○もっと詳しく見たい場所について話し合う。</p> <p>○振り返りを書く。 【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂がいっぱいある事、学校から須賀神社に行く道が分かった。</li> <li>公園で遊びたい。</li> <li>ZOOの店員さんに、いつもどういう気持ちでいるか聞きたい。犬や猫たちと仲良くなりたい。</li> <li>学校の周りにはいろいろなお店があることが分かった。そこに行ってみたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂に名前がついていた。</li> <li>公園で遊びたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前單元において学級で作成した絵地図を見ながら振り返ることで、どのような場所だったかのイメージをもちながら振り返ることができた。</li> <li>「行ってみたい」という発言に対して、問い返すことで具体的に見てきたい事知りたいた事を言語化できた。</li> <li>振り返りの際に、思いや願いを引き出すための声掛けが必要である。</li> </ul>
2時	<p>◆見学に行く準備をしよう。</p> <p>○グループごとに、質問の内容を考える。</p> <p>○役割分担を決める。</p> <p>○振り返りを書く。 【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来の夢に向かって、将来の夢の参考になるようなことを聞きたい。</li> <li>何時から何時までやっているのか、どんな動物がいるのかを知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイが売っているか教えてほしい。</li> <li>どんな商品があるのか知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分が聞きたいことを明確にもっている子供と、もっていてもうまく言葉にできない子供がいたが、グループで考えさせることによって、全員が目的をもって見学に臨むことができた。</li> <li>どんなお店か、という質問が多く出ていた。</li> </ul>
3・4時	<p>◆グループごとに町探検に行こう。</p> <p>○お店の人に話を聞く。</p> <p>○探検に行って考えたことや思った事を振り返りに書く。 【知技】 【思判表】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お店の人はいつも大変だということが分かった。もうちょっといろいろ聞きたい。もうちょっと動物と仲良くなりたい。動物たちのことを知りたい。仕事内容は、毎日同じじゃないことが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷凍庫の中に冷凍庫があって、とても寒かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>見学から戻るとすぐに、見たこと聞いたことやしたことなどの話で盛り上がっていた。実際にその場に行き、見聞きする活動は子供たちにとってとても良い経験となっていることが分かる。また、友達の話聞いて、「別の場所にも行ってみたい」「すごいね」といった感想や、「もっといろいろ見たかった」「違うことも聞いてみたい」といった次回への思いや願いももつことができた。</li> </ul>

<p>5時</p>	<p>◆探検に行って気付いたことや分かったことを発表しよう。</p> <p>○探検で分かったことを、グループごとにまとめる。</p> <p>○グループでまとめた内容を、全体で紹介し合う。</p> <p>【思判表】</p>	<p>【自分の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店にいた動物の種類を紹介する。</li> <li>・お散歩は一日三回行っている。</li> <li>・お店は、楽しい気持ちでやっている。</li> <li>・お店にはレモンちゃんという看板犬がいる。</li> <li>・犬や猫のおやつなども売っていた。</li> </ul> <p>【友達の発表を聞いて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなお店があって、みんな違って楽しかった。</li> </ul>	<p>【自分の発表】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沢山の商品が並んでいた。</li> <li>・シソの葉にラップをしているところを見せてもらった。</li> <li>・冷蔵庫の中を見せてもらった。</li> <li>・肉や魚を切っているところも見させてもらった。</li> <li>・冷凍庫の中に冷凍庫があってとても寒かった。</li> </ul> <p>【友達の発表を聞いて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの説明が上手だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクを使って発表したことで、写真や動画を見せながら伝えることができ、より具体的に伝えることができていた。</li> <li>・発表を聞きながら、もっと知りたい事や見付けたすてきなことをメモに取りながら聞くことで、最後まで集中して聞くことができていた。</li> <li>・振り返りでは、別のお店に行きたいという意見と、分からなかったことをもう一度聞きたいという意見があり、次の活動へ意欲をつなげることができた。</li> </ul>
<p>6 . 7 . 8 . 9 時</p>	<p>◆さらに聞きたいことや知りたいことについてまとめよう。</p> <p>○グループごとに聞きたいことをまとめる。</p> <p>【思判表】 【態度】</p> <p>◆見学に行く準備をしよう。</p> <p>○グループごとに探検に行く準備をする。</p> <p>○グループでの活動について振り返り、カードに書く。</p> <p>【態度】</p> <p>◆2回目の見学に行こう。</p> <p>○グループごとに見学へ行き、質問して分かったことを記録する。</p> <p>○見学に行って思ったことや考えたことを振り返りカー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一回目には聞けなかった生き物について聞いてみよう。</li> <li>・お店の人についての質問も考えてみよう。</li> <li>・働いて大変だと思うことはあるのかな。</li> <li>・グループで話し合いをしながら質問をまとめワークシートに書いていた。</li> <li>・グループ内で、意見がうまくまとまらずに困る場面もあったが、友達の意見をしっかり聞きながらまとめていた。</li> <li>・役割分担も決めよう</li> <li>・犬や猫の薬も売っていた。</li> <li>・お店をきれいに掃除したり、動物たちの寝かしつけをしたりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働いて嬉しいことは何かを聞いてみよう。</li> <li>・始めの挨拶や、終わりの挨拶の担当も決めておこう。</li> <li>・グループで意見を出し合って、質問をワークシートに書き込んでいた。</li> <li>・よく話し合えた。</li> <li>・働いて嬉しいことは、お客さんが商品を買</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の際に書いた、友達からのもっと知りたいことのカードが二回目の質問を考えるのに役立っていた。</li> <li>・二回目の見学では、お店のことをより詳しく知るための質問だけでなく、店員さんの思い、お客さんのためにしていること等の働く人自身に迫るもの考える子供が増えた。</li> </ul>

	<p>ドに書く。 【知技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客さんがぶつからないように、お店を広くしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ってくれること。</li> <li>・いろいろなことが分かった。</li> </ul>	
10 ・ 11 ・ 12 時	<p>◆分かったことを伝え合う準備をしよう。</p> <p>○見学に行って分かったことをグループごとにまとめる。</p> <p>○どんなことを伝えたいかを振り返りカードに書く。 【思判表】 【態度】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見学に行った後に書いたワークシートを確認しながら資料を作ったり、発表原稿にいち早く取り組んだり意欲的に発表に向けて準備をすすめていた。</li> <li>・動物たちのことを考えてお世話していたり、お客さんの事を考えて、お店をきれいにしていたりした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・撮った写真をたくさん使おう。</li> <li>・動画も入れて紹介しよう。</li> <li>・商品や冷蔵庫や機械がたくさんあることを伝えたい。</li> <li>・お客さんにたくさん買ってもらえると嬉しいと店員さんが言っていたね。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイメニューを使って準備をすることで、同時に編集を行うことができるとも効率がよかった。</li> <li>・発表原稿を先に書き、それに合った写真や言葉を選んで資料を作った方が狙いに沿って作れていた。</li> <li>・時間ごとに、進度の確認や発表内容の確認をすることで、意欲的に準備を進めることができていた。</li> </ul>
13 ・ 14 時	<p>◆友達の発表を聞いて、すてきをたくさん見つけよう。</p> <p>○グループごとに、見学して分かったことを発表する。</p> <p>○発表を聞いて思った事や感じたことを、振り返りカードに書く。 【知技】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんな発表を頑張っているなと思った。みんなで、まだ行ってないところに行きたい。</li> <li>・おいしそうなのがいっぱい売っていて、どうやったらそんなに作れるのかを知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また町探検に行つて発表したい。</li> <li>・もっと知らせたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人についての質問」をしたことが一回目の見学とは違うことだということを意識させて発表に臨ませたことで、多くの子供が物ではなく人についてのすてきに気付くことができていた。</li> <li>・すてきを見付け、ワークシートに書く活動をしながら聞くことで、集中して聞けていた。</li> </ul>

## 8 考察

低学年では、「社会とのつながりを実感し、生活を豊かにしようとする子」を目指す子供像として  
いる。本単元において「社会とのつながりを実感すること」とは、まち探検で様々な人とつながる  
ことを通して地域への関心を高め、「自分たちの日々の生活との関わり」に気付くことと考えた。ま  
た、「生活を豊かにしようとする子」とは、まち探検を通して自分たちの生活を支えてくれる「すて  
き」な人が地域に多くいることに気づき、地域に対して更に愛着をもって地域の人々と適切に関わ  
ろうとする子であると考えた。

A 児は「学校の周りにはいろいろなお店があることが分かった。そこに行ってみよう」と関心を  
もち、探検の結果「お店の人はお客さんのことを考えて、お店をきれいにしていたりした。」と気付  
いていた。さらに友達の発表を聞いて「まだ行ってないところに行きたい」と関心をさらに広げ  
ようとする姿も見られた。B 児は、1 回目の探検後に「働いてうれしいことは何か聞いてみよう」と  
地域の人について自ら関心を深めていく姿が見られた。

また、本単元における目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントは以下のとおりである。

- ・前単元で興味をもった自分の住む町について、本単元では「この町で生活し、暮らしている人」に  
着目して授業を展開した。スマイルクラブを活用して、22 か所の協力を得られたことで、子供は  
自分が知りたい場所に探検に行くことができ、意欲的な活動ができた。
- ・気づきの質を高めるために、「自分タイム」と「みんなタイム」でそれぞれの考えを表出させたり、  
まとめたりする活動を丁寧に行ったことで、子供は自分の考えを明確にもち、次時への活動へつ  
なげることができていた。
- ・町探検を2回設定したことで、もっと知りたいという子供の思いに応えることができ、高い関心  
をもって学習に取り組むことができたが、「自分たちの住む町の良さ」だけでなく「自分たちの住  
む町の人の良さ」にまで向かわせるには、教師側の丁寧な働きかけが必要であった。
- ・グループ活動では、一人一台のタブレットを有効に使い、スカイメニューの発表ノートを活用し  
て、見学先ごとに2～3人で分かったことをまとめる活動を行った。発表ノートは同時作業が可  
能なため、子供同士がコミュニケーションをとりながら効率的に学習のまとめを行うのに効果的  
であった。
- ・グループでまとめたことを学級で発表したり、保護者へ発表したり、協力先へお手紙を書く活動  
を通して、子供は自分たちの生活は、家族はもちろん地域の人にも支えられていると気付くこと  
ができた。

**【第2学年分科会の成果と課題】**

<p>目指す子供像 <b>話をよく聞き、自分の考えをもてる子供</b>  <b>相手の気持ちを考え、やさしくできる子供</b>  <b>最後までがんばる子供</b></p>			
<p>「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり</p>			
研究内容	① <b>気付きの質を高める工夫</b>	② <b>思いや願いを自分たちの力で実現させる単元構成</b>	③ <b>振り返り活動の充実</b>
○ 成果	<p>○単元の初めに子供が個人で気付きを表現する活動を行い、その後個々の気付きをグループでまとめ、全体で交流していくことで、互いの気付きの質を高めたり、広げたりすることができた。</p> <p>○タブレットPCの協働学習ツールを活用することで個人の気づきをグループや全体で効率的に共有することができた。</p> <p>○町探検では、様々な業種のお店の協力があり、様々な視点から町の良さに気付かせることができた。</p>	<p>○子供が主体となって、育てる野菜や見学するお店を決められるようにしたことが、活動への意欲につながった。</p> <p>○町探検では、2回の探検を設定し、それぞれで目的を明確にすることで、より多くのことに気付かせることができた。</p>	<p>○各単元で同じフォーマットの振り返りシートを使用することで、子供が振り返りの仕方に慣れ、思ったことを素直に表現できるようになった。</p> <p>○子供の思いを教師が価値付け、全体に共有することで、次時のよりよい活動につなげることができた。</p>
● 課題	<p>●町探検の協力店の数は十分であるため、それぞれがねらいに迫れる店かどうかは検討の余地がある。</p>	<p>●2年生という発達段階を考慮し、皆がねらいに迫れるよう、子供の活動を全体場で価値づけたり、必要に応じて思いや願いを補足して一緒に考え、教師が導いたりしていくことが必要である。</p>	<p>●文章での振り返りを基本としたため、書くことを苦手としている子供の思いに十分迫ることができなかった。</p>





## 第3学年 社会科学習指導案

### 1 単元名 「新宿区の移り変わり」(13時間)

### 2 単元の目標

新宿区の移り変わりについて、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して問いを見だし、聞き取り調査をしたり地図などの資料で調べたりして年表などにまとめ、比較したり関連付けたりして変化の傾向を考え、表現することを通して、新宿区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、区民の一人として新宿区の発展を考えようとする態度を養う。

### 3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いについて、聞き取り調査をしたり、地図などの資料で調べたりして情報を集め、読み取り、区や人々の生活の様子の移り変わりについて理解している。 ②調べたことを年表にまとめ、区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、移り変わってきたことを理解している。	①交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期による違いに着目して問いを見だし、区や人々の生活の様子の移り変わりについて考え、表現している。 ②調べたことを相互に関連付けたり、区の様子の変化と人々の生活の様子の変化を結び付けたりして区全体の変化の傾向を考えたり、学習したことを基に、区の発展を考えたりして、表現している。	①区の移り変わりについて、予想や学習計画を立て、振り返ったり見直したりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②新宿区や人々の生活の様子の移り変わりについて学んだことを基に、区民の一人として区の発展について考えようとしている。

### 4 目指す子供像

現在に至るまでのまちや人々の生活の様子の変化について理解することや、地域の人々の願いやまちの発展を考えることを通して、移り変わってきた新宿区への愛着をもち、未来の新宿区の発展を担っていく一人になろうとする子供の育成を目指す。

### 5 教材について

東京23区の中でも新宿区は、昭和以降の歴史の中で、まちが大きく発展した。都庁が居を構え、「新宿駅周辺」はビル群が立ち並び、東京を代表するまち並みといえる。新宿区は戦後間もない時期に、「四谷区」「淀橋区」「牛込区」が統合し昭和22年に誕生した。交通網は当時より新宿駅を中心に発展していたが、オリンピック開催のころに路面電車やトロリーバスが地下鉄に置き換わるとともに、新たな地下鉄も引かれさらに個通網が発展した。また、新宿区成立以前より、新宿駅周辺は商業地として栄え、時代が進むとともに商業地、住宅地は拡大し、公共施設の数も増加した。そうしたまちの発展の一方で、人口は昭和40年以降に減少したが、平成以降に再び増加しており、近年は外国人人口の増加率が高い。このようにまちの発展と人口の増減が単純な比例関係にない点が新宿区の移り変わりの特徴である。現在、新宿区のまちづくりは、様々な国の出身者がいる国際性と多種多様な目的をもつ人々がいる多様性に対応すること、少子化対策、災害時の防災対策などが重点になっている。

以上のように、交通網の発展と人口の変化が結び付き、まちが発展したことが新宿区の移り変わりの特色である。こうした移り変わりの中で、人々の生活も変化しており、人力や石炭などの直接的な火力を使った道具から、電気を利用した家電製品へと身の回りの生活道具も変わっていった。また、近年では自動化も進んでいる。このような生活の変化の流れは全国的なものであり、新宿区もその例外ではない。

本単元では、四谷地域に住み続ける人が語る昔のまちの様子や新宿区の発展への願いや、新宿区役所の職員が語る新宿区の未来像を教材化する。よりよいまちを創ろうとする人々の願いをモデルとしながら新宿区民としての自分自身の考えや願いを形成することで、移り変わってきた新宿区への愛着をもち、未来の新宿区の発展に希望をもとうとする子供を育成する。



## 6 単元構想

### 【本単元につながる子供の学習経験】

前単元「地域の生産の仕事」では、働く人へのインタビューやグラフや資料の読み取りなど、地域の生産の仕事について調べていく中で、社会的事象についての調査方法を学んできた。本単元の「つかむ」段階では、第一単元「新宿区の様子」について調べたときの交通、土地利用、公共施設などの視点や、特色を考えるとときの考え方を働かせて、時間の経過とともに移り変わってきた新宿区の様子や人々の生活の時代の違いによる変化について調べ、考えるようにしたい。

子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から		
過程	想定される「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	見方・考え方を働か せる資料・活動	子供が獲得できるようにしたい 知識
つかむ	<学習問題をつかむ問い> 昔と今の四谷は何がちがうの だろう。	← 駅前や人々の 様子の違いに 着目して ← 地域や人々の 生活の違いに 着目して	→ 四ツ谷駅周辺の3 つの時期の写真  → 3つの時期の人々 の生活の写真	四ツ谷駅周辺は、時代の変化 に合わせてまちや人々の生活 の様子が変わってきた。
学習 問題	新宿区のまちの様子と人々のくらしは、どのように変わってきたのだろう。			
し ら べ る	<しらべる問い> 交通はどのように変わってきたの だろう。  <しらべる問い> 土地の使われ方はどのように変わ ってきたのだろう。  <しらべる問い> 公共施設はどのように変わってき たのだろう。  <しらべる問い> 新宿区の人口はどのように変わっ てきたのだろう。  <しらべる問い> 人々のくらしはどのように変わっ てきたのだろう。 生活の道具はどのように変わっ てきたのだろう。	← 交通の違いに 着目して  ← 土地の使われ 方の違いに着 目して  ← 公共施設の違 いに着目して  ← 人口の違いに 着目して  ← 人々の生活や 道具の使い方 の違いに着目 して	→ 3つの時期の交通網の 地図と新宿駅の写真 ・地域の方のお話  → 3つの時期の土地利用 の地図と写真 ・地域の方のお話  → 3つの時期の小中学校 の分布地図 ・2つの時期の区役所と 四谷小学校の写真  → 新宿区の人口のグラフ ・外国人人口のグラフ  → 博物館展示の写真、再現 映像、絵 ・照明器具や洗濯の道具 の変化の写真、くらし の様子の絵	路面電車がなくなり、地下鉄や電車、道 路が作られて、交通の様子も変わり、ま ちの様子も変わってきた。  工場が減ったり、住宅地や商業地になっ たりして土地の使われ方が変わり、まち の様子も変わってきた。  土地の使われ方や交通の様子の変化はこ ともなあって、区役所が税金を使って、 学校などの公共施設が作られたが、子 供の数が減り学校の数も減った。  人口は、オリンピックのころまでに急増 し、その後も増え、外国人の人口も増 えた。人が増え、住宅地、学校が増え たことで、まちの様子も変わってきた。  新宿区ができたころから電化製品が広 まり、家事が減って、働きに出かける 人が増えた。今は、インターネットも 広まり、人々の生活がさらに便利にな ってきている。
ま と め る	<特色や意味を考える問い> 3つの時期は、それぞれどのような 様子だろう。  新宿区の様子や人々のくらしは、ど のように変わってきたと言えるだろ う。	← 生活の様子の 変化を区の様 子の変化と関 連付けて	→ 新宿区は、商業地や住宅がふえて、新宿駅の前は人でにぎ わい、多くの外国人も、くらすようになった。それに合わ せて道具や区民のくらしも変わってきた。この70年くら いで、みんなが住みやすく、くらしやすい世の中に大きく 変わってきた。	
つ な ぐ	<社会に見られる課題をつかむ問い> 今の人々はどんな願いをもち、 これからの新宿区がどのよう になってほしいのだろう。 これからの新宿区は、どう変わ っていくとよいのだろう。	← 区民の願いに 着目して  ← 比較して考え て	→ 新宿区の移り変わり年表 → 「新宿区ができた当時の区民 の願い」(文章) → 「大新宿区の歌」(歌詞) ・現在の区役所の人の話	これからの新宿区はもっと外国人 が増え、にぎやかになると思う。日 本人も外国人も笑顔でくらすよ うな新宿区にしていきたい。

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

#### ○問題意識を高める

- ・身近な四ツ谷駅周辺と昔の生活がわかる写真から、まちの様子と人々のくらしが時代とともに変化してきたことへの関心を引き出し、四谷のまちから新宿区全体の移り変わりへと**問題意識を高める**ようにする。



#### ○追究の見通しをもつ

- ・学習問題について、第1単元「新宿区の様子」で学んだことを生かして予想を話し合い、調べることを整理して学習計画を立てる。さらに、学習問題と学習計画をボードに書いて常時掲示し、問いについて調べる時間ごとに**振り返り**ながら見通しをもって学習をすすめることができるようにする。

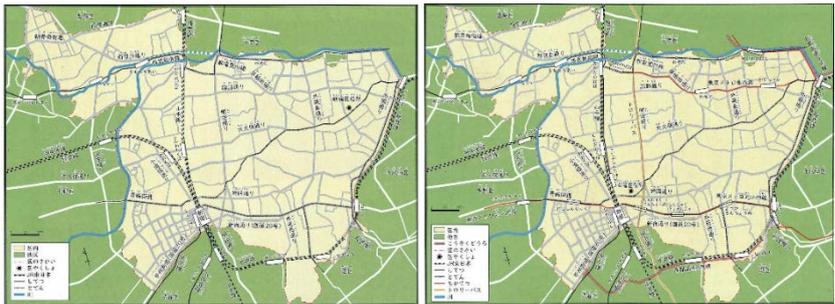
#### ○調べる方法や情報を選んで調べる。

- ・「しらべる」段階では、写真や文書などの資料、ICTを活用しての情報収集、歴史博物館の見学、家族や近所への自分自身での取材など様々な調べる方法を用意し、子供たちが必要に応じて**選ぶ**ことができるようにする。また、歴史博物館の見学やまちの昔の様子や昔の生活の様子を伝える写真や場所について、子供が一人一台タブレットを活用して撮影するなどして必要な情報を**選び**、写真や動画を資料ボックスに入れて紹介し合う。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ○追究の視点に着目して調べる学習活動

- ・**交通網の広がりや公共施設の分布**に着目して、時期の経過に伴った変化を捉えることができるように、時期ごとの交通網の地図や小中学校の分布図から、広がりやの違いを読み取る学習活動を設定する。
- ・**四ツ谷駅前の様子や交通、土地利用、人口の様子、公共施設、人々の生活**などの時期による違いに着目して、時期の経過に伴った変化を捉えることができるように、3つの時期の様子を比較する学習活動を設定する。



#### ○人物の願いに共感し未来を考える学習活動

- ・四谷のまちの変化を見続けてきた新宿通り沿いに暮らす人々のインタビュー動画や新宿区立歴史博物館の学芸員への聞き取り、区役所の人による区の未来像のインタビューを通して、当時の暮らしの様子や新宿区の発展に込められた願いについて共感的に調べることができる学習活動を設定する。こうした学習を通して養った、**まちの発展やまちへの願い、持続可能性、発展への協力などの視点**を働かせて、「つなぐ」段階では、区役所の方から未来の新宿像についての話を実際に聞き、**区長や新宿区民の願いに着目して**、新宿区歌「大新宿区の歌」の歌詞の意味を考え、社会の一員としての自分が暮らす新宿区がどのように変わっていったらよいかを話し合う活動を設定する。

#### ○比較、関連付けて考える学習活動

- ・「まとめる」段階では、3つの時期ごとに、**区の様子の変化と生活の様子を相互に関連付けて**、時期ごとのまちや生活の様子の特徴を考え、**時期ごとの様子を比較**することで、新宿区の変化の傾向について考えることができるようにし、新宿区の移り変わりを年表にまとめ、年表からわかったことを話し合う学習活動を設定する。

### (3) 子供の学びを確かにする評価

- ・**学び方カード**を活用して、当該学年で実現を目指す問題解決の姿としての**チェック項目を意識して学びを振り返ったり**、「つかむ」段階、「調べる」段階、「まとめる」段階、「つなぐ」段階ごとに**学習の進め方を振り返ったり**することで、子供たちに学び方の自覚を促し、次の段階での追究の見通しがもてるようにする。
- ・また、小単元終了時に小単元全体の振り返りを行うときには、単元を通して自分が特に頑張ったことやできるようになったこと、学んでよかったこと、役に立つと思ったことなどについて振り返ることを通して自己有用感を高め、積み重なってきた**学びを次の単元での学習や実生活に生かしていこうとする態度を**養っていく。

8 単元の指導計画 (全13時間)

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 □教師の手立て 【評価】
つかむ	新宿区ができたころ、東京オリンピックがあったころ、現在の四ツ谷駅前の様子を比べて気付いたことを話し合うことを通して、駅前の様子や人々の生活が時間経過に伴って変わってきたことに気付き、疑問をもつことができるようにする。①	○昭和22年ごろの四谷見附橋の写真を観察し、区の様子を振り返り、まちの変化について気が付いたことを話し合う。 ◆昔と今の四谷は、何がちがうのだろう。 ○昭和22年、昭和39年、現在の四ツ谷駅周辺の写真を見て気が付いたことをノートに書き話し合う。 ○区ができたころの人々の生活の様子写真を見て気が付いたことを話し合う。 ●疑問や知りたいことをノートに書く。 ・70年でこんなに変わったなんてびっくりした。ほかの場所はどうなのだろう。	◎四ツ谷駅周辺の3つの時期の写真(昭和22年、昭和39年、現在)、家事をする女性の写真 □区ができた頃として昭和22年の写真を取り上げる。 【思判表①】ワークシートの記述から「四谷駅前の様子や人々の様子の違いに着目して問いを見いだしているか」を評価する。
	第一単元で区の様子をまとめた地図を基に学習問題について予想するとともに、予想を分類して何を調べたらよいかを考え、学習計画を立てることができるようにする。②	○前時に出た疑問を分類して、学習問題を立てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">新宿区のまちの様子と人々のくらしは、どのように変わってきたのだろう。</div> ○区の様子で学習したことを生かして学習問題について予想する。 ・家や店が多くなったのでは。【土地利用】 ・学校も増えたのではないか。【公共施設】 ・地下鉄や電車が増えたはず。【交通】 ・住んでいる人が増えている。【人口】 ・人のくらしもちがう。【くらし】 ○予想を分類し、何を調べたらよいかを考え、学習計画を立てる。 ●「つかむ」段階の学習を振り返り、学び方カードに記入する。 ・くらしがどう変わったか、おばあちゃんに聞いてみたい。また、歴史博物館で調べたら分かりそう。	□疑問を分類して板書し、学習問題を設定する。前時に作成した疑問や学習問題はカード化して、予想に生かせるようにしておく。 ◎現在の新宿区の写真と地図 □1学期に行った「新宿区の様子」の学習を振り返り、調べる項目について予想して学習計画を立てられるようにする。 【態度①】学び方カードの記述から「学習問題や学習計画を立て、解決の見通しをもっているか」を評価する。
調べる	3つの時期の新宿区内の主な鉄道や道路の広がりについて地図などの資料を使って調べ、交通とまちの様子の変化について理解することができるようにする。③ (1組本時)	◆交通はどのように変わってきたのだろう。 ○新宿区内の交通の変化について調べる。 ・昭和22年は道路に線路があった。(都電) ・路面電車がなくなり、地下鉄など線路が増えた。 ○地域の方のインタビュー映像を見て、当時のくらしの様子や住民の思いを調べる。 ・地下鉄ができてまちも生活も大きく変わっていった。 ・まちがよくなることを考えて、移転に協力した。 ●交通の変化についてのまとめをワークシートに書く。 ・電車や道路が作られて交通の様子も変わり、みんなが使うようになってまちの様子や人々の行動範囲も変わってきた。	◎3つの時期の交通網の地図 ◎3つの時期の新宿駅の写真 ◎新宿の変化を知る地域の方のインタビュー映像 □3つの時期の交通網の地図や新宿駅の写真には、どこに着目したかが分かるように丸印などの書き込みをさせるようにする。 【知技①】ワークシートの記述から交通の時期による違いについて地図などの資料から情報を読み取って、新宿区の変化の様子を理解しているかを評価する。

<p>3つの時期の新宿区内の土地利用について地図など資料を使って調べ、土地利用の様子の変化について理解することができるようにする。④</p>	<p>◆土地の使われ方はどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○新宿区内の土地利用について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和22年に比べて新宿駅の周りにあった店がさらに広がっている。</li> </ul> <p>●土地利用の変化についてのまとめをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工場が減ったり、住宅地や店が多い地域に変わったりして土地の使われ方が変わり、まちの様子も変わってきた。</li> </ul>	<p>◎3つの時期の土地利用の地図</p> <p>□地図や写真に気付いたことを書き込みながら、3つの時期を比べて変化を捉えるようにする。</p> <p>【知技①】ワークシートの記述から「土地利用の時期による違いについて地図などの資料から情報を読み取って、新宿区の土地利用の移り変わりの様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>3つの時期の区内の公共施設について地図など資料を使って調べ、新宿区の公共施設の分布の変化について理解できるようにする。⑤</p>	<p>◆公共施設はどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○主な公共施設の分布や数の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和22年は学校が少なかったけれど、昭和41年には増えている。</li> <li>・公共施設は区で決まった予算でつくられている。</li> </ul> <p>○近隣の公共施設として歴史博物館の役割を調べる。</p> <p>●公共施設の変化についてのまとめをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路面電車から、自動車、地下鉄へと変わってきた。駅の数もとても多くなった。</li> </ul>	<p>◎3つの時期の小中学校分布の地図</p> <p>◎役所と四谷小学校の今と昔の写真</p> <p>□地図から小中学校の数を比べて、分布の傾向を捉えるようにする。</p> <p>□公共施設の一つとして歴史博物館を取り上げて、見学の動機づけをする。</p> <p>【知技①】ワークシートの記述から「時期による違いについて地図などの資料から情報を読み取って、公共施設の分布の移り変わりの様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>新宿区の人口の変化について棒グラフなどの資料を使って調べ、人口の移り変わりの傾向を理解できるようにする。⑥</p>	<p>◆新宿区の人口はどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○新宿区の人口の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックのころが一番多い。</li> </ul> <p>○外国人の人口の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんどん外国人の人口が増えている。</li> </ul> <p>●人口の変化についてのまとめをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口は、オリンピックの頃に急に増えて一度減ったけれど、また増えている。外国人も増えてきた。</li> </ul>	<p>◎新宿区の人口の棒グラフ</p> <p>◎外国人人口のグラフ</p> <p>□グラフに矢印や丸印を書き込み、人口の増減や一番多い時期などを捉えるようにする。</p> <p>【知技①】ワークシートの記述から「人口の時期による違いについてグラフなどの資料から情報を読み取り、人口の移り変わりの様子を理解しているか」を評価する。</p>
<p>3つの時期の人々の生活について博物館の資料などで調べ、生活の様子の変化を理解できるようにする。⑦⑧</p>	<p>◆人々のくらしはどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○くらしの変化の様子について歴史博物館を見学したり職員の方の話を聞いたり、資料を使ったりして調べ、くらしの変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木でできているものが多い。</li> </ul> <p>●人々のくらしはどのように変わったかをワークシートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピックのころに電化製品が広まったところで、みんなが使い、便利になり始めた時期だと分かった。</li> <li>・道具が変わったことで、生活の仕方や働き方も変わったことが分かった。</li> </ul>	<p>◎昔と現在のくらしの写真</p> <p>◎歴史博物館の方の話</p> <p>□歴史博物館の見学を行い、古い道具の観察や昔の生活について学芸員の方に質問して調べる。</p> <p>【知技①】ワークシートの記述から「生活の様子の違いについて写真などから情報を集め読み取り、人々の生活の移り変わりの様子について理解しているか」を評価する。</p>
<p>生活の道具の移り変わりについて資料や聞き取り調査で調べ、生活の道具や人々のくらしの変化</p>	<p>◆生活の道具はどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○いくつかの古い道具の変化について資料を基に調べ、くらしの変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の道具はかなり人の力が必要だった。今は、飯を炊くのも、洗濯も自動。電気力も大きい。</li> </ul> <p>●生活の道具とくらしがどのように変わったかを</p>	<p>◎道具年表、道具の変化の写真(明かり、洗濯機)、古い道具の実物</p> <p>□道具をどのように使っていたのかや当時のくらしの様子について、資料館や家庭で聞いたことを基に考えられるようにする。</p>

<p>を理解できるようにする⑨</p>	<p>年表に整理する。          ・人の力で動かすものから電気を使った便利で安全なものに、様々な道具が変わっていった。それに合わせて人々の生活はよくなった。</p>	<p>【知技①】「生活の道具の違いについて資料や聞き取り調査から情報を集め、生活の道具の変化を理解しているか」を評価する。</p>
<p>これまで調べてきたことを年表にまとめて、新宿区の変化の様子を理解することができるようにする。⑩⑪</p>	<p>◆3つの時期の人々のくらしの様子は、それぞれどのような様子なのだろう。          ●区の変化や人々のくらしの変化の様子について調べたことを年表にまとめる。          ○それぞれの時期のまちの様子と人々の生活の関連性を考え、年表に書き込む。          ◆新宿区の様子や人々のくらしは、どのように変わってきたと言えるだろう。          ○まとめた年表を基に、学習問題について自分の考えをまとめ、話し合う。          ●新宿区や人々のくらしがどのように変わってきたかをノートに書く。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">         ・新宿区は、商業地や住宅が増えて、新宿駅の前は人でにぎわい、多くの外国人も、くらすようになった。それに合わせて道具や区民のくらしも変わってきた。          ・この70年くらいで、みんなが住みやすくなり、まちもくらしも大きく変わってきた。       </p>	<p>□道具の移り変わりや生活の様子の変化を区の様子の年表に位置づけ位置付けて相互に関連させて時期ごとの特徴を考えられるようにする。          【知技②】ワークシートの記述から「道具やくらしの変化を年表に整理しているか」を評価する。          ◎新宿区や人々の生活の年表、写真          □時期ごとの様子を比較して、全体的な変化の傾向を考える。          【知技②】ワークシートの記述から「区や人々の生活の様子は、時間の経過に伴い、大都市へと移り変わってきたことを理解しているか」を評価する。</p>
<p>現在の新宿区や区民の願いを調べることを通して、理由を明確にして区民の一人としての願いをもてるようにする。⑫          (2組本時)</p>	<p>◆今の人々はどんな願いをもち、これからの新宿区をどのようにしていきたいのだろう。          ○「大新宿区の歌」に込められた願いを考える。          ・昔も今も区をよりよくしていきたいという願いがある。          ○地域の人取材した映像や、区役所の人の話から人々の願いについて考えたことを話し合う。          ・よりくらしやすいまちになってほしい。          ・いろいろな国の人とその文化を大切にする。          ●区がどのように変わっていくのか、理由を踏まえて自分の考えをまとめ、ノートに書く。          ・これからの新宿区はもっと外国人が増え、にぎやかになっていくと思う。地域の人が言っていたように、日本人も外国人もみんながなかよく笑顔でくらすような新宿区にしたい。</p>	<p>◎「新宿区ができた当時の区民、区長の願い」(文章資料)、「大新宿区の歌」(歌詞)          ◎区役所の人のお話(映像)          ◎地域の人々のお話(映像)          □区役所の人のお話の中で、新宿区の抱える課題についてもわかるようにする。          □区の施策を知り、これまでの学んだことを生かして、これからの新宿区の様子を考えるようにする。          【思判表②】ノートの記述から『大新宿区の歌』に込められた願いを踏まえて、区の未来像について考えているか」を評価する。</p>
<p>「大新宿区の歌」の新しい歌詞を考えることを通して、区の発展について区民の一人としての願いをもち、協力したいことを話し合うことができるようにする。⑬</p>	<p>◆これからの新宿区は、どのように変わっていくとよいのだろう。          ○子供の考えをキーワード化して、確認する          ○キーワードをもとにして「大新宿区の歌」の1番の新しい歌詞を考え、発表し合う。          ・「世界」や「にぎやか」という歌詞は入れたい。なぜなら外国人の人口も今後も増えていくだろうから。          ●学び方カードに単元の振り返りを記入する。          ・新宿区はみんなの願いによってつながってきたのだと思う。新宿区がどのように変わるか楽しみ。</p>	<p>◎新宿区の移り変わり年表、「大新宿区の歌」(歌詞)          □区歌の続きとして「キーワード」を考えるようにする。考える際には、なぜそれを選んだかを説明できるようにする。          【態度②】学び方カードの記述から「学んだことを基に、区の発展を担う区民の一人としての願いをもち、協力していこうとしているか」を評価する。</p>

9 本時の学習 I (1/13時)

3年4組 教諭 山根 恵子 (9/16実施)

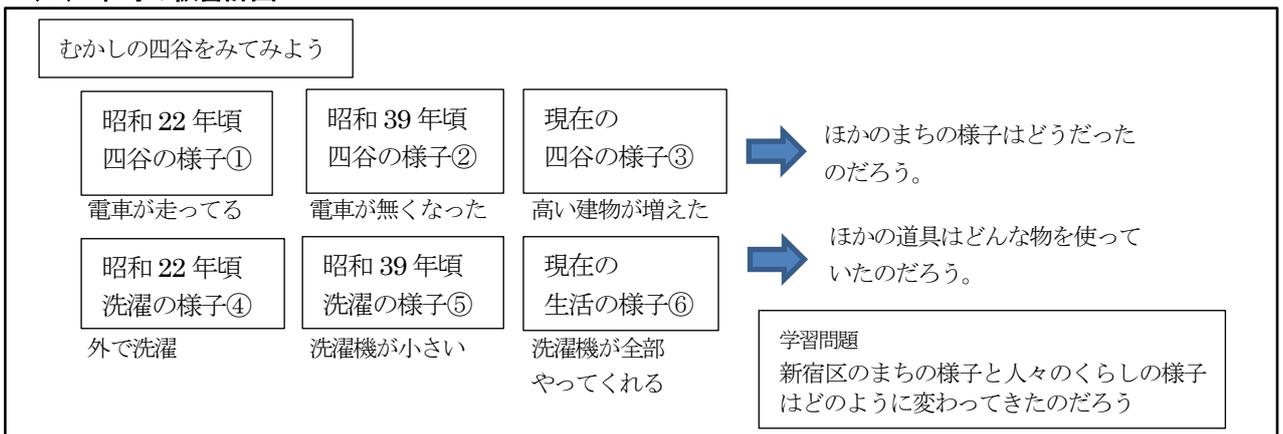
(1) 本時のねらい

新宿区ができたころと東京オリンピックがあったころと現在の3つの時期の四ツ谷駅前の様子を比べて気付いたことの話し合いを通して、時期の経過に伴って駅前の様子が変わってきたことを捉えて疑問をもつ。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・児童の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入	○昭和22年頃の四谷見附橋の写真を見てどこか予想する。 ・昔の写真じゃないかな？ ・橋の上に電車が走っているよ。どこだろう？ ・四ツ谷駅近くの橋に似ている。四谷見附橋だ	◎四谷見附橋の写真3枚(昭和22年頃・昭和39年頃・現在) □それぞれの時期を比べやすいように3枚の写真をタブレットに配信する。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">むかしの四谷と今の四谷をくらべてみたら何がちがうのだろう</div> ○現在の写真と昭和22年頃のまちを昭和39年頃の写真と見くらべて、変化する四谷の様子を読みとる。 ・今と様子が違ってる。・高い建物がない。・人が少ない。  ○昭和22年頃・昭和39年頃・現在の生活の様子がわかる写真を見て、見つけたことを言う。 ・洗濯機ではない方法で洗っていたんだ。 ・外で洗濯していたんだ。 ・今は洗濯機が洗ってくれるから楽そうだ。	□昭和22年頃と現在の写真の間に昭和39年頃の写真を掲示して四谷のまちがだんだん変わっていったことを感じとらせる。 ◎くらしの様子がわかる写真3枚 □昭和22年頃・昭和39年頃・現在のくらしの様子がわかる写真と四谷の様子の写真を年代ごとに並列させることで、まちの様子だけでなく生活の様子もだんだんと変わっていったことに着目させる。
自分タイム	○昭和22年頃・昭和39年頃・現在の写真と比べてみて気づいたことや疑問に思ったことを付箋に書く。 ・昭和22年頃は電車が走っている。 ・昭和22年頃より昭和39年頃は歩いてる人や車の数も多い。 ・今は高いビルが多い。・洗濯は外でしていたことに驚いた。	□気付いたこと、疑問に思うことが分かりやすいように付箋を色分けして書かせる。
みんなタイム①	○見つけたことや疑問に思ったことを書いた付箋をホワイトボードにはり話し合う。 ・四ツ谷駅辺りは、だんだん高いビルが増えた。 ・人や車の数もだんだん増えた。 ・人が増えたから建物や車も増えたと思う。 ・昔より今の生活の方が楽だと思う。 ・昔のごはんの支度はどうしていたのかな？	◎昭和22年頃・昭和39年頃の四谷の様子がわかる写真3枚(ホワイトボード) □班で情報共有するために、見つけたことや疑問を書いた付箋をホワイトボードに貼りながら話し合わせる。 【思判表①】 駅前の建物や人の様子の違いに着目し、四ツ谷駅周辺の変化について問いを見出している。(ノート)
みんなタイム②	○班で話し合った疑問に思ったことを学級で伝え合う。 ・どのようにして今の町になったのか疑問に思った。 ・昔の人はどんなくらしをしていたのだろう？	□四谷の様子とくらしの様子の2つに分けて板書することでまちの様子と人々の暮らしの両方に着目した疑問がもてるようにする。
まとめ	○これから調べてみたいことについてノートに振り返りを書く。	□振り返りを書かせることで次時の学習問題つくりにつなげる。

(3) 本時の板書計画



(1) 本時のねらい

3つの時期の新宿区内の主な鉄道や道路の広がりについて、地図などの資料を使って調べ、交通とまちの様子の変化について理解することができるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・子供の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入 (5)	○路面電車の写真から昭和22年の交通の様子を話し合う。 ・今は四谷では走っていない。なんでだろう。 ・早稲田で見たことがある。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">新宿区の交通はどのように変わってきたのだろう。</div> ○本時の問いの予想をする。 ・写真の電車はないから、なくなった路線がある。 ・今の電車はあたらしくできた交通だと思う。 ・バスもへったのかな？	◎路面電車の写真(昭和22年)。 □交通の様子の違いに着目できるようにする。 □子供の予想を整理し、調べる観点を焦点化する。(例:増えた交通、減った交通)
自分 タイム (10)	○新宿区の交通網の変化を副読本の地図や写真から調べる。 ・電車の路線が増え続けている。 ・地下鉄が増えている。 ・路面電車はなくなっている。 ・道路は変わっていない。 ・トロリーバスはいつ頃からできたのだろう。 ・路面電車やトロリーバスは新宿の中だけを走っていたのかな。	◎3つの時期の新宿区の交通の地図 ◎路面電車やロータリーの写真 □地図の各路線や駅の記号の意味を確認し、子供の気付きを促す。 □段階的に変化したことをつかませるため、気が付いたことを3つの時期に分類してメモする。 □副読本で調べ終えた子供はさらにインターネットを使って調べるようにする。
みんな タイム (15)	○交通網の変化について気付いたことを伝え合う。 ・路面電車は昭和39年ごろまでである。今はなくなっている。 ・トロリーバスは昭和39年ごろに新しくできて、すぐになくなっている。 ・昭和39年ごろから現代までで地下鉄がすごく増えている。 ・今の交通は網の目になっている。	□子供の気付きを結び付けて、時代ごとの様子の変化に気付けるように情報を整理する。
みんな タイム (10)	○地域の人から交通網の変化とまちの様子の変化を聞き取り、考えたことを伝え合う。 ・路面電車がなくなって、道路が広がったことを聞いて、おどろいた。 ・地下鉄ができて人の流れが変わった。 ・路面電車と看板の高さに関係があるなんて知らなかった。	◎当時の様子の話(映像) □地域の話の内容を板書したり、当時のまちの写真を提示したりし、子供がふり返られるようにする。 □まちの変化についての気付きは、次時に活用できるように板書する。
まとめ (5)	●交通の変化についてのまとめをワークシートに書く。 ・新宿区は路面電車などがなくなり、道路や地下鉄が網の目のように広がったりした。交通が変わると人の流れや建物の高さが変わり、まちの様子も少しずつ変化した。	【知識・技能】ノートの記述から「交通の時期による違いについて地図などの資料から情報を集め読取って、新宿区の交通と町の様子の変化を理解しているか」を評価する。

(3) 本時の板書計画

新宿区の交通はどのように変わってきたのだろう。

昭和22年ごろ	昭和39年ごろ	今
<p>路面電車 新宿の西と東の電車がバラバラ 建物が低い</p>	<p>トロリーバス 地下鉄ができた</p>	<p>路面電車× トロリーバス× 網の目のように広がった。 道路が広がった。 建物が高くなった。</p>

プロジェクター(映像を流した後、消す)

Yさん  
写真

路面電車からいろいろなお店の看板が見られた。

Tさん  
写真

路面電車がなくなって道路が広がった。人の流れが変わった

新宿区は路面電車などがなくなり、道路が広がったり、地下鉄が網の目のように広がったりして、建物や人の流れも変わった。

(1) 本時のねらい

現在の新宿区や区民の願いを調べることを通して、理由を明確にして区民の一人としての願いをもつ。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・子供の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入 (5)	○前時に大新宿区の歌を聴いて気付いたことを話し合う。 ・なんか古い感じがする。 ○「新宿区ができたころの区民や区長の願い」から大新宿区の歌と当時の区民の願いの関係を話し合う。 ・たくさんの建物が元にもどってほしかったのかな。 ・当時の人の願いがこめられた歌なんだ ・今の区民の願いはなんだろう。	◎「大新宿区の歌」 ◎「新宿区ができたころの区民や区長の願い」 □大新宿区の歌に含まれる当時の人の願いを分類し年表に位置付け、既習内容と関連させる。
今の人々はどんな願いをもち、これからの新宿区にどのようにしていきたいのだろう。		
自分タイム (15)	○区役所の人や地域の人のお話を通じて、今の新宿区の人々の願いを調べる。 ・新宿にはたくさんの人がいるから、区役所の人はいろいろな人が住みやすいまちをめざしているんだ。 ・災害に強いまちにするには、みんなの協力が大事なんだ。 ・新宿は外国の人にとって住みやすいまちなんだ。	◎映像 (区役所の人、地域の人のお話、外国人の人) □共感する人を見付けるという観点で映像を視聴するように指導する。 □映像に登場する人々のそれぞれの願いをまとめ、板書に反映し、願いを後から確認できるようにする。 □願いを分類し年表に位置付け、既習内容との関連させる。
みんなタイム (10)	○区役所の人、地域の人のお話を聞いて考えたことをグループで話し合う。 【区役所の人】 いろいろな施設がふえると、過ごしやすくなる。人口をふやすこともできる。 【地域の人】 災害につよいまちになれば、安心して暮らせる。 【外国の人】 このままの新宿がいいということがうれしい。今の良い所を大切にしたい。	□それぞれの願いの良さ、願いの理由を考え、意見を出し合う。 □賛成した人について、理由を各グループ内で交流するように指導する。 □意見を移動ホワイトボードに書いて整理する。
みんなタイム (10)	○グループで話し合っ考えたことを発表し合う。 【区役所の人】 いろいろな家族を大切にすることは新宿区が発展する上で大切だと思った。 【地域の人】 いろいろな人が住んでいるなら、災害に強いまちにすることが大切だと思った。 【外国の人】 今の新宿区を大切にすれば、外国人がたくさん来る国際的なまちになると思った。	□選んだ人物ごとに意見を発表して、子供の発言を板書に整理する。 □考えが変化したり、深まったりした子供は、その点についても発言するように促す。 □理由を述べて発言するように指導する。
まとめる (5)	○学習を通じて新宿区民としてどんな新宿区にしたいか考えたことをノートに書く。 ・これからの新宿区はもっと外国人が増え、にぎやかになっていくと思う。日本人も外国人もみんながなかよく笑顔でくらせるような新宿区になってほしい。	□年表と映像の話、友達の見解から自分の意見を考えるように促す。 □願いを分類し年表に位置付け、既習内容との関連させる。 【思考表②】 ノートの記述から「学んだことを基にして区を発展を考え、表現しているか」を評価する。

(3) 本時の板書計画

今の人々はどんな願いをもち、これからの新宿区にどのようにしていきたいのだろう。

昔の願い

大新宿区の歌  
焼野原の新宿  
・道は八方  
・ビジネスセンター

写真の

今の願い

写真

いろいろな人が暮らしやすいまち

写真

住む人々が協力する災害に強いまち

写真

外国人が住みやすいまち

これからのいろいろな人が増えていくと思うから。

みんなが安心して暮らせるように、災害につよいまちになってほしいから

日本に来てくれる外国人が増えれば、新宿が国際的な街になっていくから。

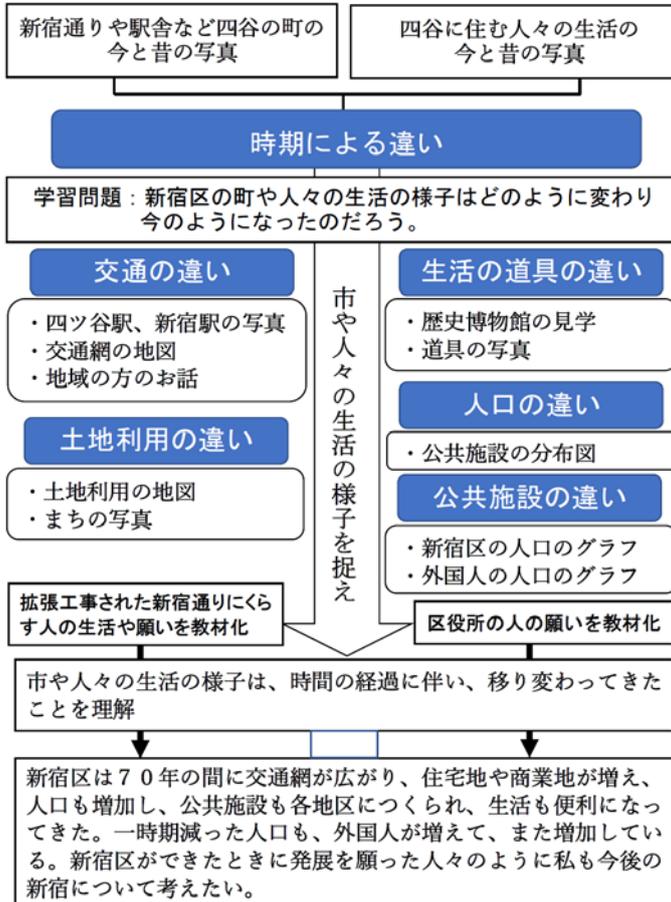
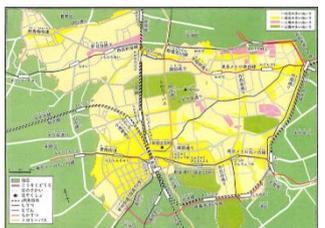
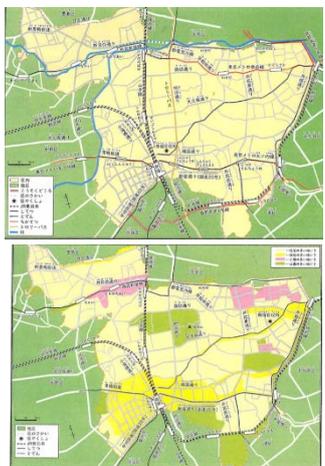
どんな新宿区にしたいか

- ・にぎやかなまち
- ・みんなの仲の良いまち
- ・いろいろな国の人が住みやすいまち
- ・子どもを育てやすいまち

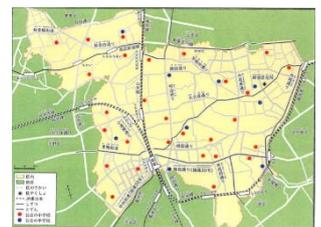
プロジェクター (映像を流した後、消す)

# 令和4年度全小社研東京大会プレ発表会（四谷小学校）補助資料 3年「新宿区のうつりかわり」

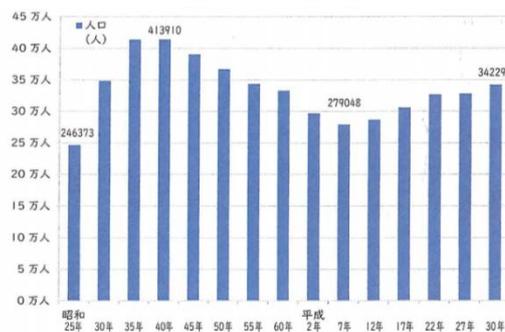
## 1 教材の構造と主な資料



生活の変化



公共施設の変化



学習の実際

	○主な学習活動 ◆問い【】 評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	○昭和22年、39年、現在の写真をみて気が付いたことを話し合う。 ●疑問や知りたいことをノートに書く。 【思判表①】	昔の人口と昔の道具について知りたい。	電柱が曲がっているのはなぜか。 なんで家に旗があるのか。 新宿駅西口の原っぱみたいのは何だったのか	・三つの時期それぞれの様子に対する関心は写真資料によって高まった。変化に対して関心を持たせる手だてが必要になる。
2時	○学習問題、学習計画を立てる。 ●「つかむ」段階の学習を振り返り、学び方カードに記入する。【態度①】	建物や人口について疑問を見つけて、目立たないところにも注目することができた。みんな意見を集めたけどうまく学習問題にできなかった。	学習計画を立てて、学習問題についての予想も考えることができた。	・ほかの地域の様子の変化について知ること、新宿区全体の変化に関心を持つことができ、学習問題に結びつけることができた。意見の集約は3年生には難しく手だてが必要になる。
3時	○資料から新宿区の交通の変化を調べる。 ◆土地の使われ方はどのように変わってきたのだろう。 【知技②】	なくなったものや新しくできたものがあった。	新宿駅の交通は駅が多くなり、トロリーバスはなくなった。	・複数の地図を読み取るため、情報のとらえ方が大雑把になっている。交通の変化はとらえやすいので、時代ごとの変化を読み取ることはできている。
4時	○資料から新宿区の土地の使われ方の変化を調べる。 ◆土地の使われ方はどのように変わってきたのだろう。 【知技②】	住宅をなくして、お店を増やしている。工場も増えた。	新宿区の土地利用は公園が少なくなって、お店は増えている。	・減ったものと増えたものに関連付けて思考しており、前時よりも細かく変化をとらえることができた。
5時	○資料から新宿区の公共施設の変化を調べる。 ◆公共施設はどのように変わってきたのだろう。【知技②】	小中学校が増えたり減ったりしている。昭和41年が一番多い。	新宿区の公共施設は、小学校も中学校も増えた後に減っていった。	・増加と減少を同時にとらえるために、表現が難しい様子が見える。転機になる時期に関心をもつことができています。
6時	○資料から新宿区の人口を調べる。 ◆新宿区の人口はどのように変わってきたのだろう。 【知技②】	人口が増えたり減ったりしている。事故が多くなったり少なくなったりしたからだと思う。	昭和40年までは人口が増え続けて、その後平成7年まで減る。その後再び増え始めている。	・グラフを通じて、新宿区の人口の変化を捉えることができています。人口の流出という発想はできず、人口の変化について考察しています。
7 8 9時	○資料から人々のくらしの変化を調べる。 ◆人々のくらしはどのように変わってきたのだろう。 ◆生活の道具はどのように変わってきたのだろう。 【知技②】	昔は電気もガスの使われなかったから苦労していたけど、今はどんどん発展して、電気やガスを使っている。昔はお金がかからないから昔の方が良いと思う。	道具は今になるにつれて、自動になり、くらしも楽になった。昔の方がお金がかからないからいいと思う。	・体験したことをもとに、道具の変化を全体的にとらえ、エネルギー変化と結び付けて考えることができています。便利さだけでなく、コストの面で昔の暮らしを評価することができています。

10 11 時	○学習したことをまとめ、学習問題に対する答えを出す。 ◆新宿区の様子や人々のくらしは、どのように変わってきたと言えるだろう。 【知技②】	道具が発展していて、ほぼほぼ自動に近づいている。町には商店が増えていっている。	今になるにつれて道具が自動になったり、高い建物が多くなったりして、町が便利になっている。	・子供は人口や公共施設に関する記述を避けており、時代の流れと町の発展が単純な比例関係にないことが子供のまとめを難しくしていることがうかがえる。
12 13 時	○学んだことをもとにこれからの新宿区について話し合う。 ◆今の人々はどんな願いをもち、これかこれからの新宿区をどのようにしていきたいのだろう。 【態度②】	人の命を守る、安全なまちにしたい。 (ふりかえりより) 高山さんの話をヒントにしながら、自分の言葉で表現することができた。	ごみの落ちていないきれいなまち。 (ふりかえりより) タブレットで調べたり、友達と話して、自分の考えを開設したりしたから、新しい発展を考えることができた。	・子供は、VTRの資料で分かったことや、友達との話し合いを通じて自分なりの考えをまとめることができた。一方で、「まとめ」までの学習内容が生かしづらいことや普段の生活経験が児童の「区民としての願い」につながりやすいことがうかがえた。

### 考察

・第3学年では「移り変わってきた新宿区への愛着を持ち、未来の新宿区の発展を担っていく一人になろうとする子供」を目指す子供像としている。A児、B児共に、当初は新宿区の「昔」の様子に対しての関心が高く、まちの「変化」を意識できなかった。学習が進むにつれて、街並み、土地の種類や数、人口などの「変化」を意識するようになり、新宿区全体の「変化」をとらえることができるようになった。一方で、「昔の道具」については、「町」の学習とつながらず、「昔」に対する関心が高まるのみであった。このような子供の様子、変容から以下の点が、考えられる。

- ①子供は写真資料、地図資料に対する関心が高く、多くの発見をすることができる。
- ②「同じ場所」の「異なる時代」の資料を提示したことが、その時代のみで捉えていた知識を線で結ばせることにつながった。また、くり返し「変化」を調べることで、子供の「変化」を捉える力が伸びていることが考えられる。
- ③「町」を軸とした学習と「人々の生活」を軸とした学習を結び付けるには、手だてが必要である。



【第3学年分科会の成果と課題】

目指す子供像		自分の考えをもち、相手に伝えようとする子供 友達の意見をよく聞き、協力し合える子供 何事にも「やってみよう」と考えられる子供	
「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり			
研究内容	① <u>主体的に問いを追究する工夫</u>	② <u>社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫</u>	③ <u>子供の学びを確かにする評価の工夫</u>
○ 成 果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○導入で地域の変化の写真を用いることで、自発的に町の変容に気が付くことができた。</li> <li>○地域の人を取材した VTR を教材化したことにより、子供が関心をもって学習課題に取り組む姿勢を持つことができた。</li> <li>○資料を読み取って分かったことを班ごとにホワイトボードにまとめながら、考えのやり取りをしたことで、学習活動が活発になった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調べる際に、三つの時代を比較する活動を繰り返したことにより、時代と新宿区の様子の変化を結び付けて考えることができた。</li> <li>○地域の人を取材した VTR を通じて、人々が感じたことや思いを共感的に知ることができ、その共感を通じて、新宿区の未来像を考えることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び方カード」を用いることで、学習の展開がイメージでき、子供は見通しを持ちながら学習活動に取り組むことができた。</li> </ul>
● 課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●資料の読み取る力に子供ごとに差異があり、話合いに参加できない子供もいる。発問を精選し、学習活動のユニバーサルデザイン化を考えなくてはならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●それぞれの時間で考えたことがほかの時間とつながらず、関連付けることは難しかった。それぞれの時間の学び、事象の関連性に気が付くための思考ツールなどの手だてが必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習段階ごとに学び型カードを使用しているが、学習内容のふり返りと、学び方の振り返りと一つの学習において2重のふり返りを行うことが活動として難しい。</li> </ul>



## 第4学年 社会科学習指導案

### 1 小単元名 「ごみはどこへ」 (12時間)

### 2 小単元の目標

廃棄物を処理する事業について、処理の仕組みや再利用、都内外の人々の協力などに着目して、見学・調査したり、地図などの資料を活用して調べたりしてまとめ、廃棄物の処理のための事業の様子を捉え、その事業が果たす役割を考え、表現することを通して、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、地域の人々の生活環境の維持と向上を支えていることを理解できるようにするとともに、処理の仕組みや再利用、都内外の人々の活動について、地域社会の一員として、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、廃棄物の減量や衛生的な生活を維持するために自分たちが協力できることを考えようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

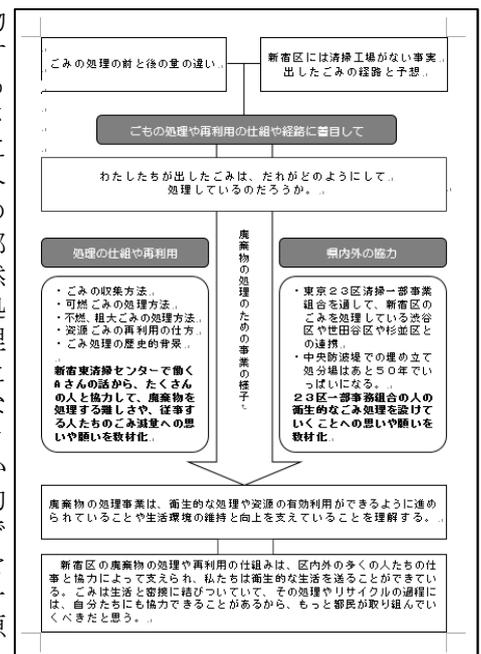
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①廃棄物の処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などについて、調査・見学したり、地図などの資料で調べたりして、必要な情報を集め、読み取り、廃棄物の処理のための事業の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを基にごみのゆくえをスライドにまとめ、廃棄物処理に関する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるよう進められていることや、生活環境の維持と向上を支えていることについて理解している。</p>	<p>①廃棄物処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などに着目して、問いを見出し、廃棄物処理のための事業の様子について考え、表現している。</p> <p>②廃棄物処理の仕組みや人々の協力の関係と地域の良い生活環境を関連付けて、その事業が果たす役割を考えたり、学習したことを基に、廃棄物の減量や衛生的な生活を維持するために自分たちが協力できることを考え選択・判断したりして、表現している。</p>	<p>①廃棄物を処理する事業について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、地域の人々の健康や生活環境を守るため、地域社会の一員として、廃棄物の減量や資源の再利用について自分たちにできることを考えようとしている。</p>

### 4 目指す児童像

本小単元で目指す児童像は、「新宿区の廃棄物の処理や再利用の仕組みは、区内外の多くの人たちの仕事と協力によって支えられ、衛生的な生活環境が維持されている。ごみは生活と密接に結びついていて、その処理やリサイクルの過程に、自分たちも協力できることがあるから、みんなでもっと強力していこう。」と考えられる子供である。

### 5 教材について

本小単元では、生活の中で切っても切れない存在である廃棄物の処理の仕組みについて、人々の生活との関連を踏まえて理解するために、廃棄物の処理を担う様々な施設と、そこに従事する人々の仕事について扱う。新宿区の各家庭から排出され、処理された可燃ごみの量は、令和3年度で66,224tである。新宿区には、清掃工場はなく、様々なごみが分別された後、それぞれ区外の専門の施設に運ばれ処理されている。新宿区内の廃棄物処理の委託・調整は、新宿区の3つの清掃センターと、23区23区一部事務組合で、各区から出される可燃ごみの搬入先を調整し、可燃ごみの焼却先は毎週変わっている。新宿区は廃棄物の安定的な処理のために、品川区、港区、江東区と協力し、1kg当たりの処理費用69円という多額の費用を必要としている。衛生環境が保たれた生活空間で、健康的な生活を送れることは当たり前ではない。過去には東京都でも、廃棄物の放置やずさんな処理で、人々の安全な暮らしを脅かす深刻な社会問題となっていた。時間をかけて、人々の知恵と努力で現在の仕組みが実現し、安全で健康的な生活が維持されている。しかしながら、23区の最終処分場である中央防波堤では、今後約50年ほどで処理の許容量が限界を迎えることから、新宿区では、平成20年度を初年度とし、「一般廃棄物処理基本計画」を策定し、10年おきに見直され、資源循環的社会的形成に向けた様々な取組を行ってきた。



## 6 小単元の構想

学習経験	<p>3年生の「地域の安全を守る働き」では、施設・設備などの配置、緊急時への備えや対応に着目して、関係機関が<b>相互に連携して緊急時に対処する体制</b>をとっていることや<b>関係機関が地域の人々と協力</b>して火災や事故などの防止に努めていることを調べ考える学習を行った。前小単元「水はどこから」では、飲料水確保のための<b>対策や事業が計画的・協力的に進められている</b>ことに着目して、それらが自分たちの健康な生活や生活環境を守り高めることに役立っていることを調べ考える学習を行った。これらの学習経験を生かし、本小単元では、<b>廃棄物処理の仕方や再利用に着目</b>したり、<b>様々な関係機関の連携から都内外の人々の協力に着目</b>したりして調べ、安全で衛生的な生活環境が保たれていることについて生活環境と関連付けて、その事業が果たす役割について考えられるようにしたい。</p>
------	---

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい見方・考え方	見方・考え方を働かせる資料・活動	子供が獲得できるようにしたい知識
つかむ	<p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校や家では、どのくらいのごみが出ているのだろう。</li> <li>ごみが小さくなっているのはなぜだろう。</li> <li>新宿のごみはどこで処理されているのだろう</li> </ul>	<p>← 処理の仕組みや再利用に着目して 処理の経路に着目して →</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ調べカード</li> <li>ごみの実物</li> <li>教室や給食室から出されたごみ</li> <li>用務主事の話</li> <li>処理後のごみ</li> <li>ごみ処理場分布図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちの生活の中で、多種多様で大量の廃棄物が出されている。</li> <li>集積所に出されたごみは、誰かが別の姿に変えている。</li> <li>新宿区には清掃工場がなく、他地区でごみ処理がされている。</li> </ul>
学習問題	わたしたちが出したごみは、だれが、どのようにして処理しているのだろう。			
しらべる	<p>&lt;しらべる問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの収集はどのように行われているのだろう。</li> <li>燃やすごみは、どのように処理されているのだろう。</li> <li>燃やさないごみは、どのように処理されているのだろう。</li> <li>粗大ごみは、どのように処理されているのだろう。</li> <li>資源は、どのように再利用されているのだろう。</li> </ul> <p>埋め立て処分場では、どのようにごみを処理しているのだろう。</p> <p>ごみ処理はどのように変わってきたのだろう。</p>	<p>← 処理の仕組みや再利用に着目して 都内外の人々の協力に着目して →</p> <p>← 処理の仕組みや再利用の変化に着目して →</p> <p>← 処理の仕組みや人々の協力と良好な生活環境を関連付けて →</p> <p>← 持続可能性に着目して →</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみ収集車の人の話</li> <li>収集車・集積所の看板（写真）</li> <li>清掃工場の様子（動画）</li> <li>みんなでつくろう 資源循環型社会</li> <li>燃やさないごみ・粗大ごみの写真</li> </ul> <p>埋め立て処分場の変化の写真</p> <p>埋め立て処分場で働く人の話</p> <p>過去のごみ問題（写真）</p> <p>ごみ問題を伝える当時の新聞</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみは計画的に収集されている。</li> <li>ごみは清掃工場です安全かつ衛生的に処理されている。</li> <li>環境に配慮し粗大ごみや不燃ごみが処理されている。</li> <li>資源ごみは再利用されている。</li> </ul> <p>埋め立て処分場では、衛生的に処分するための工夫をしている。</p> <p>最終処分場を通して都内外の関係機関が連携している。</p> <p>昔はごみの問題が深刻だったが、ごみの処理の変化によって改善されてきた。</p>
まとめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>だれがどのようにして処理しているのだろう。</li> <li>ごみ処理によって、私たちのくらしは、どう変わったのだろう。</li> </ul>	← →	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで学習したノートや資料</li> <li>ごみ処理の流れをスライドにまとめたもの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人々が健康で安心して暮らすために様々な人々が協力してごみが計画的・衛生的に処理されている。</li> </ul>
つなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域では、ごみを減らすために、どのようなことに取り組んでいるのだろう。</li> <li>ごみを減らすために私たちはどのようなことに協力していけばよいのだろう。</li> </ul>	← →	<ul style="list-style-type: none"> <li>写真レジ袋の有料化</li> <li>リサイクル・新宿区清掃事務所の方の話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でも、様々な立場の人々が協力してごみを減らす努力や工夫をしている。ごみを減らすために自分たちも協力できることがある。</li> </ul>

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

○本小単元では、各家庭でのごみ調べを通して、児童たちが、身近な所から多種多様なごみが大量に出されている事実と直面し、「ごみ」を意識させたい。その上で、新宿区では、それらの廃棄物を直接処理できない現状から、ごみの処理を切実に受け止め、問題意識をもって学習を進められるようにする。ごみ処理の前後を比較することで、工夫された処理の仕組みに着目できるようにしたり、新宿区以外の区の人々と協力してごみの処理や再利用を行っていたりすることを調べられるようにする。

○新宿区が行うごみの回収を全体で調べた後に、燃えるごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源（紙）の処理のルートと仕組みは、班の中で選んで分担して調べ、一人一人の問題意識やペースに合わせて主体的に調べる学習が進められるようにする。また調べたことをごみのスライドにまとめて教え合い、様々な人が協力・工夫していることやリサイクル以外は最終処分場に行くことを共有する。



### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

○経路に着目して調べられるように、新宿区より発行されている「みんなでつくろう資源循環型社会」を効果的に活用する。本誌では、主要な廃棄物の処理の仕方を流れ図に記しており、その様子が一目で網羅できるようになっている。まずは廃棄物の種類ごとに行き先を調べ、地図にまとめながら丁寧に押さえていく。その後、様々な施設の役割や相互関係などの事象を合わせ、それらを結び付けながら総合的な理解へとつなげられるようにする。ごみ処理の経過に着目して調べられるように、江戸時代に行われていた持続可能なごみ処理の仕組みから、オリンピック後1970年代の生産重視だった時代のごみ処理の様子、そして現在のごみ処理の仕組み、最後に中央防波堤の埋め立て処理が限界を迎える50年後のごみ処理の実態に焦点を当てる。

○都内外の人々の協力に着目できるように、「新宿区東清掃センター」の職員Aさんの話を通して、ごみの収集や委託の難しさ、多額の費用を新宿区が負担している現状について、より現実的な問題として児童が理解できるようにするとともに、それらが他区の協力のもとに成り立っていることや、その協力関係も日々変化し、多くの自治体との連携によって廃棄物の処理が成されていることを理解できるようにする。



### (3) 子供の学びを確かにする評価

○「学び方カード」を使い、単元内の「つかむ」「調べる」「まとめる」の学習段階ごとに、児童が自分の取組がどうであったか、観点に沿って自分の学び状況を振り返ることができるようにする。自分の学びを客観的に捉え見つけ直す経験を重ねることで、学習を自己調整していく力が高められていくと考える。

○1単位時間の学習の振り返りでは、問いについて「分かったこと」や「今日の自分の学習の仕方」など、振り返る内容を焦点化する。振り返りをして、毎時間児童が学びを実感し、その後の学習への意欲や見通しにつなげられるようにするとともに、教師は児童の学習状況を見取り、次時の展開の改善を図っていく。

### (4) 本時の学習の主張

○新宿区には廃棄物処理場がないという事実から、ごみ処理への切実感を高め、「どこで」と「だれが」という視点が必然的に生まれるようにする。

○学習問題をつくる際は、スカイメニューの発表ノートにあるグループワーク機能を活用し、自分タイムで個人の疑問や調べたいことを入力した後、みんなタイムでは互いの考えたことをグループで1枚の発表ノートに集めて共有することで、学習問題に必要な諸要素の「どこで」「だれが」「どのように」の3つの視点に気付くことができるようにしたい。

8 小単元の指導計画（全12時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	学校や家ですでに出されるごみを調べて、毎日の生活でたくさんのごみを出していることに気づき、ごみについて関心をもつ。①	<p>◆学校や家では、どのくらいのごみが出ているのだろう。</p> <p>○家庭でのごみ調べを基に調べたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べるものに関係するごみが多い。</li> <li>・毎日たくさんごみを出している。</li> </ul> <p>○教室のごみ箱を見て、気付いたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙くずやティッシュなどのごみが多く出される。</li> <li>・やっぱり紙やほこりが多い。給食の残菜もある。</li> </ul> <p>○用務主事の話やごみ捨て場から学校から出されるごみの量や種類を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校からは、多くのごみが出されている。</li> </ul> <p>●結果から分かったことをノートに書く。</p>	<p>◎資料 【評価】</p> <p>□教師の手立て</p> <p>◎多様なごみ（実物・写真）</p> <p>◎ごみ調べカード</p> <p>◎用務主事の話。</p> <p>□毎日の生活で出るごみの量や種類を把握するために、教室のごみ箱を見せる。</p> <p>【態度①】私たちは生活の中で、様々な種類の大量の廃棄物を出していることに関心や疑問をもっているかを評価する。（ノート）</p>
	ごみのゆくえと処理の仕方について話し合い、学習問題を設定する。②	<p>◆ごみが小さくなっているのはなぜだろう。</p> <p>○ブラックボックスを通して変化したごみに疑問をもち、調べたいことをノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやってごみを処理しているのだろう。</li> <li>・全く違うものになっているのはなぜだろう。</li> </ul> <p>◆新宿区のごみはどこで処理をされるのだろう。</p> <p>○可燃ごみの処理施設の場所を知り疑問をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ新宿区に処理する場所がないのだろう。</li> <li>・だれがごみを処理しているのだろう。</li> <li>・ほかのごみはどこで処理されているのだろう。</li> </ul> <p>○学習問題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>わたしたちが出したごみは、だれがどのようにして処理しているのだろう。</p> </div>	<p>◎生活から出たごみとそれらの処理後の様子</p> <p>◎東京都のごみ処理場の分布図</p> <p>□自分たちのごみが自分たちの区で処理できていない事実に出合わせることで、ごみ処理への問題意識を高める。</p> <p>【思判表①】廃棄物処理の仕組みや再利用の様子に着目して、ごみ処理についての問いを見出ししている。（ノート）</p>
	学習問題に対する学級での予想を基に、学習計画を立てる。③	<p>○学習問題を予想し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集車が順番にごみを集めているのを見たことがある。</li> <li>・もやさないごみは清掃工場で燃やされるのかな。</li> <li>・埋め立てられないものはどうなるのかな。</li> <li>・ごみの種類によって処理の仕方は違うと思う。</li> </ul> <p>●学習を振り返り、学び方カードを記入する。</p>	<p>□学習問題に対する予想を立てるために、流れ図の中抜けのものを配り、予想を書かせる。</p> <p>【態度①】学習問題を予想し、調べることについて見通しをもっているかを評価する。（学び方カード）</p>
調べる	ごみ収集員の話やごみ収集車を調べる活動を通して、ごみが計画的に収集されていることを理解している。④	<p>◆ごみの収集はどのように行われているのだろう。</p> <p>○収集作業員の話やごみ収集車について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみが計画的・衛生的に集められている。</li> <li>・収集車は、衛生的にごみを集めるために工夫している。</li> </ul> <p>●ごみの収集について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p>	<p>◎ごみ収集車の人の話</p> <p>◎収集車・集積所の看板（写真）</p> <p>□収集ルートを確認し、なるべく無駄を省き、計画的に集められていることを確かめる。</p> <p>【知技①】資料で調べ、ごみが計画的に収集されていることを理解しているかを評価する。（ノート）</p>

一人1つごみの種類を選択し、ごみの処理の仕組と都内外の協力について調べる。⑤⑥			
可燃ごみ	不燃ごみ	資源	粗大ごみ
燃やすごみのゆくえについて、資料から情報を読み取る活動を通して、ごみの処理のための事業の様子を理解する。	燃やさないごみの処理の仕組みについて調べ、環境に配慮して燃やさないごみが処理されていることを理解する。	古紙やびん、カン、ペットボトルなどのゆくえを調べ、資源物が再利用されていることを理解する。	粗大ごみの処理の仕組みについて調べ、環境に配慮して粗大ごみが処理されていることを理解する。
<p>◆燃やすごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>○清掃工場のごみ処理の仕組みを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを燃やすことで、大きさが20分の1の灰になる。</li> <li>・灰は埋め立て処分場に運ばれる。</li> </ul> <p>●燃やすごみの処理の仕方について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p>	<p>◆燃やさないごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>○資料を活用して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やさないごみは、リサイクルできるものは回収し、こなごなにしてうめる。</li> </ul> <p>●燃やさないごみの処理について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p>	<p>◆資源は、どのように再利用されているだろう。</p> <p>○資源物がどのように再利用されているのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル工場で働く人は、手作業で分別をしている。</li> <li>・分別後は機械で押しつぶし、リサイクル工場へ運ぶ。</li> </ul> <p>●資源物の処理について分かったことをまとめ、ノートに書く。</p>	<p>◆粗大ごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>○資料を活用して調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃やせる粗大ごみと、燃やせない粗大ごみに手作業で分けている。</li> <li>・燃やせない粗大ごみは、こなごなにして埋め立てる。</li> </ul> <p>●粗大ごみの処理について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p>
<p>○可燃ごみ (写真)</p> <p>○みんなでつくろう資源循環型社会</p> <p>○清掃工場の様子 (動画)</p> <p>○地図帳</p> <p>○私たちの東京都 (抜粋)</p> <p>□清掃工場働く人たちは、生活環境に配慮しながら作業していることを確かめる。</p>	<p>○不燃ごみ (写真)</p> <p>○みんなでつくろう資源循環型社会</p> <p>○地図帳</p> <p>○私たちの東京都 (抜粋)</p> <p>□都内外の人々が協力して、処理していることに気付かせる。</p>	<p>○資源物 (写真)</p> <p>○みんなでつくろう資源循環型社会</p> <p>○地図帳</p> <p>○私たちの東京都 (抜粋)</p> <p>□資源物の処理の仕方とともに、3Rも資料から読み取るようにする。</p>	<p>○粗大ごみ (写真)</p> <p>○みんなでつくろう資源循環型社会</p> <p>○地図帳</p> <p>○私たちの東京都 (抜粋)</p> <p>□都内外の人々が協力して、処理していることに気付かせる。</p>
【知技①】自分が担当したごみや資源について資料で調べ、処理の仕組みや再利用の様子について理解しているかを評価する。(ノート)			
<p>手分けして調べた内容を伝え合い、それぞれのごみがどのように処理されているのか理解する。⑦</p>	<p>◆(自分が調べたもの以外の)他のごみは、どうやって処理されているのだろう。</p> <p>○担当ごとに調べた情報を班に持ち帰り、互いに報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃えるごみは、.....</li> <li>・燃えないごみは、.....</li> <li>・資源は、.....</li> <li>・粗大ごみは、.....</li> </ul> <p>●それぞれのごみの処理の仕方について、分かったことをノートにまとめる。</p>	<p>○前時までに個人で調べた情報</p> <p>□どのごみの処理も、都内外の人々が協力して処理していることに気付かせる。</p> <p>【知技①】様々な廃棄物の処理の仕組みや再利用の様子、県内外の人々の協力などについて理解しているかを評価する。(ノート)</p>	
<p>埋め立て処分場での処理の仕方に着目し、処理の工夫について調べ、埋め立て処分場での処理の工夫について理解する。⑧</p>	<p>◆埋め立て処分場では、どのようにごみを処理しているのだろう。</p> <p>○埋め立て処分場の処理の工夫や課題について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生的に埋め立てるために土をかぶせることで、ごみが風で飛んだり、害虫が発生したりするのを防いでいる。</li> <li>・ごみを減らすことや、3Rを意識していきたい。</li> </ul>	<p>○処分場で働く人の話</p> <p>○処分場の変化の写真</p> <p>○東京湾の埋め立て地図</p> <p>□処分場を長く使うためには、ごみを減らすことが大事なことに気付かせる。</p>	

		●最終処分場の処理について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。	【知技①】資料で調べ、最終処分場での処理の仕方を調べ、ごみを処理し続けるには用地の確保が必要なことを理解しているかを評価する。(ノート)
	過去のごみ問題を知り、ごみの処理の変化や今後の課題について考える。⑨	◆ごみ処理はどのように変わってきたのだろう。 ・ごみが始末されなかったら、生活も汚くて大変だった。 ○東京都ではこれまでに、ごみについてどのような問題が起きたのか調べ、話し合う。 ・ごみが増えて、生活環境がとても悪いところがあった。 ・現在もごみが片付けられず、置かれたままのことがある。 ●ごみ処理の課題に対し考えたことをノートにまとめる。	◎過去のごみ問題(写真) ◎ごみの問題を伝える当時の新聞 ◎埋立処分場の変化(写真) □ごみを処理することが、自分たちの生活環境と関わっていることに気付かせる。 【思判表①】ごみの衛生的な処理の仕方や埋立地の限界について考えているかを評価する。(ノート)
まとめる	学習問題について自分の考えや調べたことをまとめ、ごみのゆくえ流れ図に表現する。⑩	○学習問題について話し合う。 ◆どうしてこんなにたくさんの人でごみの処理をしているのだろう。 ●自分の考えをノートに書く。 ・ごみの処理は衛生的な処理や資源の有効利用ができるように、現在に至るまで計画的・協力的に進められている。その働きによって、私たちは健康で快適に暮らすことができている。	◎これまでの学習したノートや資料 □健康で快適な生活は、たくさんの人が関わって成り立っていることに気付かせる。 【知技②】調べたことを流れ図にまとめ、関係機関や地域の人々が協力して対応していることを理解しているかを評価する。(ノート)
つなぐ	ごみを減らすために、自分たちの地域では誰がどのようなことを行っているのかまとめ、自分が考えたことを表現する。⑪	◆地域では、ごみを減らすために、どのようなことに取り組んでいるのだろう。 ○ごみを減らすために地域では、どのようなことが行われているのか、資料や町の人々の話を基に調べる。 ・レジ袋の有料化が行われている。 ・リサイクル展示室でリユース品を提供している。 ○ごみを減らすための地域の取り組みについてノートにまとめる。	◎写真レジ袋の有料化・リサイクル ◎新宿区東清掃センターの方の話 □学んだことを基に根拠をもって考えることができるようにする。 【思判表②】ごみ処理の取組と自分の生活を関連付けて考えているかを評価する。(ノート)
	これまで学習してきたことを基に、ごみを減らすために自分たちで協力できることを選択・判断する。⑫	◆ごみを減らすためにわたしたちはどのようなことに協力していけばよいのだろう。 ○自分たちが協力してできることと、自分たちではできないことを分けて考え、その理由も合わせて話し合う。 ・教室で出たごみは、分別するように心がけたい。 ・給食をできるだけ残さないことで、ごみを減らしたい。 ●学習を終えた振り返りを学び方カードに記入する。	◎これまでの学習したノートや資料 □学んだことを基に根拠をもって考えることができるようにする。 【態度②】地域社会の一員としてごみを減らすために自分たちが協力できることを考えようとしているかを評価する。(付箋・ノート・学び方カード)

## 9 本時の学習（2/12時）

### （1）本時のねらい

ごみのゆくえと処理の仕方について疑問をもち、学習問題をつくる。

### （2）本時の展開

	○主な学習活動 ●評価活動 ◆問い ・児童の予想される反応	◎資料【評価】 □教師の手立て						
導入（15）	<p>◆ごみが小さくなっているのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやってごみを処理しているのかな。</li> <li>・全く違うものになっているのはなぜなのかな。</li> <li>・ごみによって大きさが違うから、処理の仕方が違うのかな。</li> </ul> <p>◆新宿区のごみはどこで処理をされるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新宿区に清掃工場がない。</li> <li>・他の区には、清掃工場がある。</li> <li>・新宿区はどこでごみを処理しているのかな</li> <li>・2つ清掃工場がある区もある。</li> <li>・新宿区のごみは、他の区で処理されているのかな。</li> </ul>	<p>◎生活から出たごみと処理後の様子（ブラック Box 使用）</p> <p>◎東京都のごみ処理場の分布図</p> <p>□自分たちのごみが自分たちの区で処理できていない事実に出合わせることで、ごみ処理への問題意識を高める。</p>						
じぶんタイム（8）	<p>○疑問や調べたいことを発表ノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ新宿区に処理する場所がないのかな。</li> <li>・どこへごみを持っていつているのかな。</li> <li>・どうやってごみを処理しているのかな。</li> <li>・だれがごみを処理しているのかな。</li> <li>・他のごみはどこで処理されているのかな。</li> </ul>	<p>◎生活から出たごみと処理後の様子</p> <p>◎東京都のごみ処理場の分布図</p> <p>□グループワークの機能を活用し、他の児童の学びを見ることができるようにする。</p>						
みんなタイム（17）	<p>○考えた疑問や調べたいことをグループで話し合い、1枚の発表ノートにまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみを小さくするために、どんなことをしているのだろう。</li> </ul> <p>○考えた疑問や調べたいことを全体で発表する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">どこで</th> <th style="width: 33%;">だれが</th> <th style="width: 33%;">どのように</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>どこでごみの処理をしているのかな。 他の区でごみを処理しているのかな。 ごみはどこに集められているのだろう。</td> <td>だれがごみを集めているのかな。 何人くらいでごみを集めているのかな。 ごみ処理場では、どんな仕事をしているのかな。</td> <td>どうやってごみを処理しているのかな。 ごみの種類によって処理の仕方は違うのかな。 どうやってごみを小さくしているのかな。</td> </tr> </tbody> </table> <p>・分からないことがあるから調べるために学習問題が必要。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>学習問題</b> わたしたちが出したごみは、だれが、どのように処理しているのだろう。</p> </div>	どこで	だれが	どのように	どこでごみの処理をしているのかな。 他の区でごみを処理しているのかな。 ごみはどこに集められているのだろう。	だれがごみを集めているのかな。 何人くらいでごみを集めているのかな。 ごみ処理場では、どんな仕事をしているのかな。	どうやってごみを処理しているのかな。 ごみの種類によって処理の仕方は違うのかな。 どうやってごみを小さくしているのかな。	<p>□考えた疑問や調べたいことを、1枚の発表ノートにグループで分類するように指導する。</p> <p>□児童の考えを、どこで、だれが、どのようにの視点に分けて板書する。</p> <p>□板書の視点（どこで、だれが、どのように）をもとに、学習問題を児童の発言をもとにつくる。</p> <p><b>【思判表①】</b> 廃棄物処理の経路や再利用の仕組みに着目して、ごみ処理についての問いを見いだしているかを評価する。（ノート）</p>
どこで	だれが	どのように						
どこでごみの処理をしているのかな。 他の区でごみを処理しているのかな。 ごみはどこに集められているのだろう。	だれがごみを集めているのかな。 何人くらいでごみを集めているのかな。 ごみ処理場では、どんな仕事をしているのかな。	どうやってごみを処理しているのかな。 ごみの種類によって処理の仕方は違うのかな。 どうやってごみを小さくしているのかな。						
ふりかえりタイム（5）	<p>●ノートに振り返りを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でごみが小さくなるのか知りたいと思った。</li> <li>・新宿区に清掃工場がないと聞いて、びっくりした。どこで処理しているのか詳しく知りたい。</li> <li>・みんなで出した疑問の答えを見つけていきたい。</li> </ul>	<p>□次時の学習計画につながるよう、次の時間の学習の進め方についてもノートに書くようにさせる。</p>						

### <板書>

		調べたいことや疑問を考える。	どこで	だれが	どのように
可燃	処理前 → 処理後	<p>東京都の清掃工場の分布図</p> <p>新宿区のごみはどこで処理をされるのだろう。</p> <p>新宿区に清掃工場がない。 他の区には清掃工場がある。 新宿区のごみは、どこで処理しているのかな。</p>	<p>どこでごみの処理をしているのかな。</p> <p>他の区でごみを処理しているのかな。</p> <p>ごみはどこに集められているのかな。</p>	<p>だれがごみを集めているのかな。</p> <p>何人くらいでごみを集めているのかな。</p> <p>ごみ処理場では、どんな仕事をしているのかな。</p>	<p>どうやってごみを処理しているのかな。</p> <p>ごみの種類によって処理の仕方は違うのかな。</p> <p>ごみは最後にどうなるのかな。</p>
不燃	処理前 → 処理後				
粗大ごみ	処理前 → 処理後				
資源	処理前 → 処理後				
ごみが小さくなっているのはなぜだろう。					
全く違うものになっているのはなぜだろう。燃やしているのかな。					
			<p><b>学習問題</b> わたしたちが出したごみは、だれがどのように処理しているのだろう。</p>		

学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規 準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>◆学校や家では、どのくらいのごみが出ているのだろう。</p> <p>○家庭でのごみ調べを基に調べたことを共有する。</p> <p>○教室のごみ箱を見て、気付いたことを発表する。</p> <p>○用務主事の話やごみ捨て場から学校から出されるごみの量や種類を調べる。</p> <p>○わかったことから考えたことをノートに書く。</p> <p>【態度①】</p>	<p>・私の家では、紙のごみが多かった。</p> <p>・ごみは分けることができそう。家ではごみを分別していたから。</p> <p>・ごみは、可燃・不燃・資源・粗大ごみに分けられる。学校でもごみを1日にたくさんの量のごみが出ていることが分かった。</p>	<p>・食べ物が入っていた袋や牛乳パックのごみがあった。</p> <p>・友達の家と出ているごみが似ている。</p> <p>・学校や家では、1日にたくさんのごみが出されている。ごみは全部同じではなくて、可燃・不燃・資源・粗大ごみに分けられる。</p>	<p>・家庭学習で、家庭のごみを調べることで、身近にどのようなごみが出ているのかを知ることができた。</p> <p>・家庭や学校で出ているごみが分別されていることから、ごみはいくつかの種類に分けられていることに子供が気付くことができた。</p> <p>・なぜ分けられているのかを疑問にもつ子供が出てくるように、見通しをもたせるための発問の必要性を感じた。</p>
2時	<p>◆ごみが小さくなっているのはなぜだろう。</p> <p>○ブラックボックスを通して変化のごみに疑問をもち、調べたいことをノートに書く。</p> <p>◆新宿区のごみはどこで処理をされるのだろう。</p> <p>○可燃ごみの処理施設の場所を知り疑問をもつ。</p> <p>○学習問題を設定する。</p> <p>【思考①】</p>	<p>・ごみが処理された後が、ごみによって違う。</p> <p>・ごみを処理するために何かしていると思う。</p> <p>・ごみはどうやって処理をしているのだろう。</p> <p>・新宿区には、ごみ処理場がないのに、どうやってごみを小さくなるのかを考えたい。</p>	<p>・新宿区には、ごみ処理場がないのどうやって処理をしているのかな。</p> <p>・ごみはどこで処理をしているのだろう。</p> <p>・疑問から学習問題をつくることができた。</p>	<p>・ブラックボックスを活用し、ごみ処理の前後を見せることで、間の処理方法に目を向けさせることができた。</p> <p>・新宿区にごみ処理場がない事を清掃工場の分布図で確認し、子供からどうやって新宿区はごみの処理をしているのかという疑問を出させることができた。</p> <p>・学習問題にできるような言葉が、授業の前半で子供から出ていて、学習計画までできる授業展開でもあった。</p>
3時	<p>○学習問題を予想し、学習計画を立てる。</p> <p>○学習を振り返り、学び方カードを記入する。</p> <p>【態度①】</p>	<p>・ごみ処理場の人が、ごみの回収をしていると思う。</p> <p>・ごみの処理は機械が燃やしたり、砕いたりしていると思う。</p>	<p>・他の区のごみ収集車が新宿区に来て、ごみを集めていると思う。</p> <p>・処理されたごみはリサイクルされて、他の物に変わ</p>	<p>・前時で、ブラックボックスを用いて学習問題を作ったことで、子供の意欲が高まっていた。</p> <p>・生活の中で、ごみの分別やごみ収集車を見かけた経験がある子供が多かったため、予想がスムーズ</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちの予想がどのくらい合っているのか確かめたい。</li> </ul>	<p>っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習問題を資料やみんなとの話し合いで解決していきたい。</li> </ul>	<p>にできていた。</p>
4時	<p>◆ごみの収集はどのように行われているのだろう。</p> <p>○収集作業員の話やごみ収集車について調べる。</p> <p>○ごみの収集について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみを収集するときには、安全に気を付けている。</li> <li>ごみを収集する順番も考えている。</li> <li>ごみの収集は車で行われていて、安全にできるように車の中は工夫されていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみを回収するだけではなくて、安全にも気を付けている。</li> <li>ごみを収集する順番が無駄のない順番になるようにしている。</li> <li>ごみの収集車は、決まった順番で、安全にごみを運んでいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活の中でごみ収集車は見れていたが、中の仕組みについては知らない子供が多かったので、仕組みの絵はとても効果的だった。</li> <li>収集の順番を表す地図を読み取ることで、順番にも意味があることに子供が気付くことができた。</li> </ul>
5・6時	<p>◆燃やすごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>◆燃やさないごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>◆資源は、どのように再利用されているのだろう。</p> <p>◆粗大ごみは、どのように処理されているのだろう。</p> <p>○資料を活用して調べる。</p> <p>○ごみの処理について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみを燃やすことで、大きさが20分の1の灰になる。</li> <li>灰は埋め立て処分場に運ばれる。</li> <li>ごみを燃やすことで、においや害虫の発生を防ぐことができる。</li> <li>清掃工場では、燃やすごみを20分の1の大きさの灰にして、処理をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>燃やせる粗大ごみと、燃やせない粗大ごみに手作業で分けている。</li> <li>燃やせない粗大ごみは、こなごなにして埋め立てる。</li> <li>粗大ごみは、燃やす粗大ごみと燃やせない粗大ごみに分けられる。細かく砕いた後、ごみの種類によって清掃工場に運ばれたり、埋め立てられたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料やパンフレットを使って、それぞれのごみがどのように処理されているのか子供が気付くことができた。</li> <li>早く終わった子供は、タブレットを活用して、調べる活動を行うことで、処理方法についての考えを増やすことができた。</li> <li>ワークシートを活用して、調べる視点を子供に与えることで、調べ学習がスムーズだった。</li> </ul>
7時	<p>◆（自分が調べたもの以外の）他のごみは、どうやって処理されているのだろう。</p> <p>○担当ごとに調べた情報を班に持ち帰り、互いに報告する。</p> <p>○それぞれのごみの処理の仕方について、分かったことをノートにまとめる。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみによって処理の仕方はちがったけど、最初の大きさよりも小さくするところは同じだった。</li> <li>どのごみも、たくさんの人たちが関わって処理していることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの種類によって処理の仕方は違った。</li> <li>どのごみも、いろんな人たちが協力をして、安全に処理できるように努力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれが調べたごみの処理方法を発表することで、同じところや違うところに気付く子供がたくさんいた。</li> <li>自分が調べたごみの処理方法以外は知らないので、子供が発表を聞く必要性を感じていた。</li> </ul>

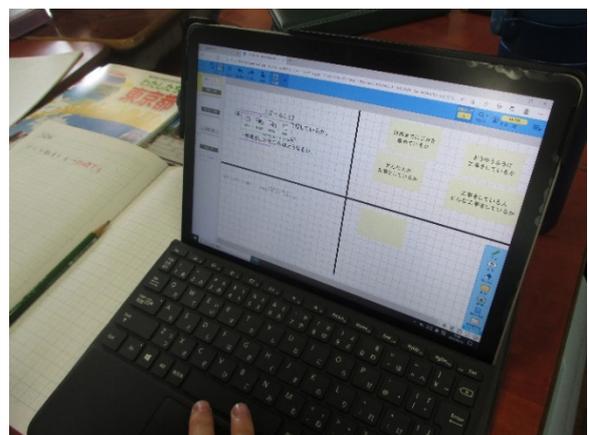
8時	<p>◆埋め立て処分場では、どのようにごみを処理しているのだろう。</p> <p>○埋め立て処分場の処理の工夫や課題について調べる。</p> <p>○最終処分場の処理について分かったことや考えたことをまとめ、ノートに書く。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみは東京湾に埋め立てられている。</li> <li>・ごみの上に土を被せて、害虫が出たりするのを防いでいる。</li> <li>・埋め立て処分場では、ごみを衛生的に埋め立てるために、土を被せている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみが風で飛ばないように、土を被せている。</li> <li>・このままだと、後50年で埋め立て処分場はいっぱいになる。</li> <li>・埋め立て処分場は、ごみが汚くならないように、人が協力をして埋め立てていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみは安全や衛生を考えて処理されていることに、たくさんの子供が気付いていたので、埋め立て処分場でも同じだと思おうと予想していた子供が多かった。</li> <li>・どのごみの処理の過程にも人が関わっていることに、資料から子供が気付くことができた。</li> </ul>
9時	<p>◆ごみ処理はどのように変わってきたのだろう。</p> <p>○東京都ではこれまでに、ごみについてどのような問題が起きたのか調べ、話し合う。</p> <p>○ごみ処理の課題に対し考えたことをノートにまとめる。</p> <p>【思考①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・埋め立て地が汚れている。</li> <li>・ごみが増えて、虫やにおいが発生した。</li> <li>・今まで調べてきたみたいに、安全やきれいにゴミを処理しないと、生活が大変。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞にもなるほどだから、昔の東京はすごく汚かったと思う。</li> <li>・ただ、ごみを捨てるだけではなく、町が汚れないように、ごみを処理することが大切だと分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習で、ごみは安全面や衛生面を考えて処理されていることに子供が気付いていたので、本時の学習でよりその大切さに気付くことができた。</li> </ul>
10時	<p>○学習問題について話し合う。</p> <p>◆どうしてこんなにたくさんの方がごみの処理をしているのだろう。</p> <p>○自分の考えをノートに書く。</p> <p>【知技②】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみはただ処理をするだけではなく、衛生面を考えた上で処理されている。また、ごみの処理の仕方は種類によって違って、リサイクルしたり、埋め立て処分場に埋め立てられたりしている。このようなごみの処理はたくさんの方が、協力して行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの処理にもたくさんの方が関わっていた。ごみの種類によって処理の方法は違って、リサイクルされる物もある。処理をするときには、汚くならないような工夫がされていて、そのおかげで自分たちの衛生的な暮らしが守られている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習のまとめを参考にしながら、子供は学習問題に対する考えを書いてきた。</li> <li>・学習を通して、たくさんの方が協力をして処理をしていることで、自分たちの暮らしが守られていることに、子供が気付いていた。</li> </ul>
11時	<p>◆地域では、ごみを減らすために、どのようなことに取り組んでいるのだろう。</p> <p>○ごみを減らすために地域では、どのようなことが行われているのか、資料や町の方の話に基づいて調べる。</p> <p>○ごみを減らすため</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋を有料化して、ごみを減らすようとしている。</li> <li>・リサイクルステーションで、リサイクルできそうなごみを集めている。</li> <li>・ごみを減らすために、レジ袋を有料にしたり、リサイ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レジ袋をもらうためには、お金を払う。これで、ごみを減らすようとしている。</li> <li>・リサイクルしたものを展示して、ごみを再利用している。</li> <li>・地域ではごみを減らすために、リサイクルできる資源</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のごみを減らすための取り組みを知ること、次は自分たちにできることを考えられそうと発言する子供が数名いた。</li> </ul>

	の地域の取り組みについてノートにまとめる。 【思考②】	クル品を展示したりしている。	を集めたり、リユース品を展示したりしている。	
1 2 時	◆ごみを減らすためにわたしたちはどのようなことに協力していけばよいのだろう。 ○自分たちが協力してできることと、自分たちではできないことを分けて考え、その理由も合わせて話し合う。 ○学習を終えた振り返りを学び方カードに記入する。 【態度②】	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちにできることを考えたい。</li> <li>教室や家で、ごみの分別をする。</li> <li>給食の残りもごみになるから、残さない。</li> <li>東京都のごみの処理について知り、自分たちにできることも考えられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物に行ったときは、レジ袋をもらわない。</li> <li>家でも、ごみを減らせるように、家族に呼びかけたい。</li> <li>地域のごみを減らすための取り組みを知って、自分たちにできることを考えた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「いますぐにできること」と「これから先にできること」に分けて子供に考えさせることで、具体的な行動を示したり、ごみを減らしたいという態度形成につながった。</li> <li>身近な学校や家で自分ができることを考えている子供が多かった。</li> </ul>

### 考察

・授業後の考察（よさや課題・協議会の質疑から）

- ①話し合いの基本ルールを押さえる必要がある。
- ②導入の資料が子供たちの実態にあっており、子供たちの驚きに繋がっていた。
- ③ICTのチャレンジは良かったが、発表ノートを集約する方法は考えないといけない。
- ④ブラックスボックスが子供たちの視点を導いていた。分類は子供たちが自然に行っていた。
- ⑤みんなタイム、自分タイムで調べたいことを書けていたので、学習計画を立てられる段階にあった。学習問題は3つの観点が出た時点で立っていたので、その後は学習問題に対する予想を立てて、学習計画を立てる時間に当てられた。





## 第4学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名「受け継がれる祭りと文化財」（12時間）

### 2 小単元の目標

東京都で受け継がれている文化財や年中行事について、歴史的背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取組などに着目して、話を聞いたり、資料で調べたりして、年表や文にまとめ、東京都の文化財や年中行事の様子を捉え、人々の願いや努力を考え、表現することを通して、東京都の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとし、学んだことを基に、地域の伝統や文化を継承していくために自分たちにできることを考えていこうとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組について話を聞いたり、地図や年表などの資料で調べたりして必要な情報を集め、読み取り、東京都の文化財や年中行事の様子を理解している。</p> <p>②調べたことを年表や地図、文にまとめ、東京都の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解している。</p>	<p>① 歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組、種類や分布などに着目して、問いを見だし、東京都の文化財や年中行事の様子について考え表現している。</p> <p>② 文化財や年中行事を保存したり受け継いだりしている人々の工夫や努力と地域の人々の願いを関連付けたり、須賀神社と複数の祭りを比べたりして、文化財や年中行事を受け継ぎ保存していることの意味を考えるとともに、学習したことを基に、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって持続可能性や実現性に着目して、自分たちができることを考えたり、選択・判断したりして表現している。</p>	<p>①東京都の伝統や文化について、予想や学習計画を立てたり、振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p> <p>②学習したことを基に、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって自分たちができることを考えようとしている。</p>

### 4 目指す子供像

本小単元では、「東京都には様々な文化財や年中行事が各地に広がっており、地域の人たちによって保存・継承されてきたことを理解し、文化財や年中行事を残そうとする人々の地域の発展への願いに共感し、伝統・文化が残る東京都に愛着を感じるとともに、地域の伝統や文化を保存・継承していく一人になろうとする子供」の育成を目指す。

### 5 教材について

本小単元は「受け継がれる祭りと文化財」と「玉川上水の開発」の2つの小単元で構成されている。その一つである本小単元では、東京都内で昔から地域に受け継がれてきた年中行事や文化財を扱う。

例えば、四谷地区にある須賀神社には、五穀豊穰と無病息災を願い、2つの神様が祀られている。その例大祭は390年前から続いている伝統的な行事で、「四谷担ぎ」と呼ばれる独特の神輿担ぎが特徴である。学級の半数以上の子供が毎年参加しており、子供にとって身近な祭りである。須賀神社の祭りを通して、祭りの始まり・祭りの特徴・現在までの経過・祭りを支える人々の継承への取組など、追究の視点を養う。その視点で深川祭（富岡八幡宮）、三社祭（浅草神社）、神田祭（神田明神）、くらやみ祭（大国魂神社）などの都内の伝統的な年中行事を子供が選択して調べ比較することで、東京都には様々な祭りがあり、人々の継承への取組や祭りに込める願いなどの共通点が見えてくる。

東京都の指定文化財は、令和3年度文化庁調べで826件登録されている。東京都に2つある国宝の一つである迎賓館は、学校から徒歩圏にある子供にとって身近な文化財であることから、迎賓館を中心事例として、指定文化財の現在に至る経緯や保存のための取組を教材化する。迎賓館は、明治42年に東宮御所として、日本で唯一のネオ・バロック様式による宮殿建築物として完成した。昭和49年に大規模な改修を施し、国の迎賓施設として新たな歩みを始め、令和6年に開館50周年を迎える。創建100年の平成21年に、明治期の日本の建築、美術、工芸界の総力を結集して建設された近代洋風建築の到達点としての文化的価値が認められ、国宝に指定されている。

本小単元では、保存・継承に取り組む人々を社会形成のモデルとして教材化する。祭りを運営する人々の願いや迎賓館の職員や市民ボランティアの願いに触れることで、貴重な年中行事や文化財を未来に残していくことの意味や人々の地域の発展への願いについて共感的に考え、地域の伝統や文化を保存・継承していく一人になろうとする子供を育成する。



## 6 小単元の構想

<b>学習経験</b>	<p>第3学年「新宿区のうつりかわり」では、交通や公共施設、土地利用や人口、生活の道具などの時期の違いに着目して、写真や地図などの資料で調べ、年表にまとめることで、区や人々の生活の様子の移り変わりについて理解してきた。また前小単元「玉川上水の開発」では、当時の世の中の課題や人々の願いなどに着目して、年表や地図で経過を読み取ったり、新宿歴史博物館を見学したりして調べ、地域の発展につくした先人が、様々な苦心や努力により当時の生活の向上に貢献したことを理解してきた。本小単元では、都内の伝統的な祭りの<b>歴史的背景や現在に至る経緯、保存や継承のための取組</b>などに着目して、実際に祭りを受け継いでいく取組を続ける人たちに話を聞いたり、取組の様子を調べたりして、それらを人々の願いや努力と関連付けて、未来に向けて伝統や文化を保存・継承することについて考え、表現できるようにしたい。</p>
-------------	---

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい見方・考え方	見方・考え方を働かせる資料・活動	子供が獲得できるようにしたい知識
<b>つかむ</b>	<p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りや迎賓館はいつから四谷にあるのだろう。</li> <li>東京都にはどんな有名な祭りや文化財があるのだろう。</li> </ul>	<p>年中行事や文化財の<b>歴史的経過</b>に着目して</p> <p><b>種類や分布</b>に着目して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りの今と昔の映像資料</li> <li>迎賓館の今と昔の写真</li> <li>東京都に残る主な年中行事や文化財が分かる地図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りは<b>390</b>年前から四谷で続いている。</li> <li>迎賓館は113年前に四谷に建てられて今も残っている。</li> <li>東京都には、歴史のある祭りや文化財があちこちにたくさん残っている。</li> </ul>
<b>学習問題</b>	<b>東京都にはどのような祭りや文化財があり、それらはどのように続いてきたのだろう。</b>			
<b>しらべる</b>	<p>&lt;調べる問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りはどのように続いてきたのだろう。</li> <li>東京都にはどんな祭りがあり、どのように続いてきたのだろう。</li> <li>それぞれの祭りにはどのような違いや共通点があるのだろう。</li> <li>東京都にはどんな文化財があるのだろう。</li> <li>迎賓館はどのように守られてきたのだろう。</li> </ul>	<p><b>歴史的背景や経過</b>に着目して</p> <p><b>継承のための取組</b>に着目して</p> <p>それぞれの祭りを<b>比較</b>して</p> <p>都内の文化財の<b>種類や分布</b>に着目して</p> <p><b>保存のための取組</b>に着目して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りの年表</li> <li>祭りの継承に取り組んできた氏子青年部長などの話</li> <li>深川祭、三社祭、神田祭、くらやみ祭など東京都の主な祭りの写真や年表、文章資料</li> <li>東京都の代表的な文化財の分布図や保存目的の文書資料</li> <li>迎賓館のパンフレットやHPの資料</li> <li>迎賓館の保存に関わる人の話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>須賀神社の祭りは、地域の協力で成り立ちっていて、地域の人々は地域の発展のために祭りを続けたいという願いがある。</li> <li>都内に残る伝統的な祭りは、それぞれの成り立ちや特色があり、地域の人々の願いと努力によって、今日まで続けられてきた。</li> <li>東京都には、寺などの建造物、歴史的に貴重な価値のある古文書、美術工芸品などの様々な文化財が各地に点在している。</li> <li>迎賓館は文化的価値の高い国宝として国に指定され、法律や多くの人々の努力で守られ今も残っている。</li> </ul>
<b>まとめる</b>	<p>&lt;特色や意味を考える問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>祭りや文化財は、なぜ、これほどの長い期間、受け継がれてきたのだろう。</li> </ul>	<p>保存・継承の取組と人々の<b>願いや努力を関連</b>付けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都の地図に調べた祭りや文化財の情報を整理する活動</li> <li>保存や継承の長さをテープ図に整理する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都に残る祭りや文化財は、須賀神社の祭りや迎賓館と同じように、地域の人々が力を合わせて受け継いできたことや人々の様々な願いが込められていることで今も存在している。</li> </ul>
<b>つなぐ</b>	<p>&lt;発展や選択・判断を考える問い&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>迎賓館の保存にはどのような課題があり、それに対してどのような取組をしているのだろう。</li> <li>迎賓館を未来に残していくために、地域にくらす私たちに何ができるだろう。</li> </ul>	<p>文化財の価値を踏まえた<b>保存への願いや協力</b>に着目して</p> <p>保存の取組の<b>持続可能性や実現性</b>に着目して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>迎賓館の歴史年表</li> <li>迎賓館50周年記念行事のポスター</li> <li>迎賓館職員の話</li> <li>迎賓館のボランティアガイドの話</li> <li>これまで学習したノートやワークシート</li> <li>人生年表に即して自分たちにもできることを話し合う活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の法律や予算により文化的価値のある文化財が指定されて保存されている。</li> <li>職員以外にも様々な人の協力で貴重な文化財が守られている。</li> <li>貴重な文化財である迎賓館の保存はたいへんだけれど、これからも四谷に生きていく一人として、未来に向けた文化財の保存にその時その時にできることで協力していくことが大切だ。</li> </ul>

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

#### ○問題意識を高める

- ・須賀神社の現在の例大祭と大正時代の例大祭の様子を動画で比較し100年以上経ち、四谷の街の様子は変わっても、神輿や法被を着ている人の様子、神輿の担ぎ方は変わっていないことに問題意識をもてるようにする。



#### ○東京都の主な祭りを選んで調べる

- ・東京都の主な祭りから、自分が調べる祭りを選択して、典型事例として須賀神社で養った祭りを調べる際の視点を生かして、一人一人が追究する時間を設定する。その際には、基本となる資料を教師が用意するとともに、各自が資料を集めて調べることができるよう、主体的な追究を支援していく。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ○追究の視点に着目して調べる学習活動

- ・祭りの分布など位置や広がり の視点に着目できるよう、東京都の祭りの分布図で祭りが各地で行われていることを読み取ったり、調べた祭りを地図に整理したりする学習活動を設定する。
- ・祭りの歴史的背景や現在に至る経過など時期や時間の経過の視点に着目できるよう、祭りの成り立ちや祭りの年表などの資料から祭りの継承について読み取って、調べる学習活動を設定する。



- ・保存や継承のための取組など相互関係的な視点に着目できるよう、祭りの運営組織や祭りの衰退を乗り越えて継承してきた資料などから、人々の協力について読み取って調べる学習活動を設定する。

#### ○人物の願いや努力を共感的に調べ考える学習活動

- ・須賀神社の祭りの継承に携わる宮司、氏子青年部、奉納太鼓演奏者、四番組（鳶職人）から地域の祭りの継承の経過について聞き、人々が地域の発展を願い、相互のつながりを大切にして祭りを継承してきたことを調べ考える学習活動を設定する。
- ・迎賓館の保存に取り組む職員やボランティアガイドの話聞くことで、保存に関わる人々が価値ある文化財を未来に残すことを願い、努力していることの意義について考える学習活動を設定する。

#### ○比較・関連付けて保存・継承について考える学習活動

- ・須賀神社の祭りに加えて複数の祭りを調べ、分かったことを比較することを通して、祭りに共通する地域の人々の発展への願いや協力関係について考えたり、継承の取組と人々の願いや努力を関連付けて考えたりして話し合う学習活動を設定する。また、祭りの継承への取組から文化財の保存の取組と関連付けて、地域に残る貴重な伝統や文化を受け継ぎ未来に残していくことの大切さを考える。

#### ○社会に見られる課題の解決に向けて構想する学習活動

- ・これからの文化財の保存に目を向ける「つなぐ」段階を設定し、今後の迎賓館の保存の課題を職員に聞き、より多くの人々が文化財の価値を知り、保存の取組に協力しようとする意識の向上や機会を増やすことについて考え合う学習活動を通して、文化財を未来に残す地域の一人としての自覚を高める。



### (3) 子供の学びを確かにする評価

- ・毎時間の問いに対して分かったことや考えたこと、次にやることの振り返りに加えて、「つかむ」「調べる」「まとめる」各段階及び単元末で、学び方の振り返りを行う。問題解決のチェック項目を参考に自分の学びを振り返ることで、学習の進め方を意識し、問題解決のプロセスを自覚していく自己評価の取組を通して、主体的に学ぶ力を高めていく。

8 小単元の指導計画 (全12時間)

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 □教師の手立て 【】評価
	<p>年中行事や文化財について関心をもち、四谷地区に残る身近な須賀神社の祭りや迎賓館が昔から存在していることに気付くことができるようにする。①</p>	<p>○須賀神社の祭りの写真を見て話し合う。 ・お神輿を担いでいる人がたくさんいる。 ・出店で～を買ったよ。校長先生もいた。 ◆須賀神社のお祭りは、いつごろから四谷にあるのだろう。 ○今と昔の須賀神社の祭りを比べる。 ・周りの景色は違うけど、祭りの様子はあまり変わってない。昔からありそう。 ○祭りの始まりについて確かめる。 ・江戸時代から390年も続く祭りだった。 ◆迎賓館は、いつごろから四谷にあるのだろう。 ○迎賓館のパンフレットで建設時の様子確かめる ・明治42年に宮殿建築物として建てられた。113年も四谷に建ち続けている。 ◆東京都にはどんな有名な祭りや文化財があるのだろう。 ○問いについての予想を話し合う。 ・祭りはたくさんある。神田祭や三社祭りはテレビでも見た。 ・文化財は玉川上水の記念碑がある。 ●祭りや文化財について分かったことやさらに知りたいことをノートに書く。</p>	<p>◎近年と大正の須賀神社の祭りの映像資料 □学級の子供が参加している祭りの様子を提示することで、当事者意識を高める。 □昔の祭りの映像と比較することで「祭りの始まり」に着目できるようにする。  ◎今と昔の迎賓館の写真資料 □昔の写真と比較することで迎賓館の歴史に着目できるようにする。 □祭り(年中行事)と文化財の用語の意味を補足する。 【知技①】ノートなどの記述から「須賀神社の祭りや迎賓館の昔の様子について資料から読み取り、四谷には昔から残る年中行事や文化財があることを理解しているか」を評価する。</p>
つかむ	<p>東京都には、伝統的な祭りがいろいろあることや様々な文化財があることを知り、年中行事や文化財についての疑問から、学習問題を設定し、学習計画を立てることができるようにする。②</p>	<p>○東京都の主な祭りや文化財の種類と場所を副読本で調べる。 ・東京都内に、いろいろな祭りがある。 ・文化財もあちこちにあるよ。 ・太鼓の上に人が乗るような変わった祭りもある。 ・多摩地区にも古い祭りや文化財がある。 ・八丈島にも古くから続く踊りがある。 ●東京都の祭りや文化財について知りたいことや疑問をノートに書く。 ・それぞれの祭りには、どんな特徴があるのか。 ・なぜ祭りは、長い間続いてきたのか。</p>	<p>◎副読本「私たちの東京都」の祭りや文化財の分布地図 ◎地図帳や東京都の地図 □地図から祭りや文化財が東京都内各地に広がっていることに着目できるようにする。 【思判表①】ノートなどの記述から、「東京都の祭りや文化財の種類や分布、歴史的経過に着目して、祭りや文化財について問いを見いだしているか」を評価する。</p>
	<p>東京都にはどのような祭りや文化財があり、それらはどのように続いてきたのだろう。</p>	<p>○学習問題に対する予想を話し合い、予想を基に学習計画を立てる。 &lt;祭りについて&gt; ・どこでどのような祭りがあるのか？ ・いつごろどのようにして始まったか？ ・祭りはどのように続いてきたか？ &lt;文化財について&gt; ・どこでどのような文化財があるか？ ・いつごろどのような理由でつくったか？ ・文化財はどのように続いてきたか？ ●つかむ段階の学びを振り返り、学び方カードに記入する。</p>	<p>□疑問を分類した項目に照らして予想を話し合うことで、解決の見通しをもてるようにする。 □つかむ段階を学び方カードのチェック項目を参考にして振り返るようにする。  【態度①】学び方カードの記述から「予想や学習計画を立て、学習問題の解決に向けて見通しをもとうとしているか」を評価する。</p>

<p>須賀神社の祭りが古くから続いていることについて調べ、地域の年中行事の歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承の取組について理解できるようにする。③</p>	<p>◆須賀神社の祭りは、390年間どのように続いてきたのだろう。  ○須賀神社の祭りの継承について調べたことをワークシートに書く。  ○調べたことを話し合う。  ・祭りは、390年前に五穀豊穡と無病息災の2つの神様を祭ったことから始まる。  ・「四谷担ぎ」と呼ばれる神輿を揺らさずに静かに担ぐ独特の神輿担ぎが特徴。  ・戦争後に神社や神輿が焼かれるなど中止された年があったが、地域の人々の努力によって続けられている。  ・祭りの準備には様々な仕事をする人の協力が必要で、その技術を伝えている。  ・祭りを継承する若い人たちの参加が増えるよう工夫をしてくれている。  ○まだ分からないことをノートに書く。  ●須賀神社の祭りについて分かったことをワークシートにまとめる。</p>	<p>◎須賀神社の祭りの歴史年表  ◎自作の須賀神社の祭り資料  ◎須賀神社のHP  □祭りの始まり、祭りの特徴、現在までの経過、祭りを支える人々の継承への取組の4つの観点で調べることで、他の祭りについても同様の観点で調べることができるようにする。  □観点が意識できるように、板書を工夫する。  【知技①】ワークシートの記述から「資料で調べ、地域の年中行事の歴史的背景や現在に至る経緯、継承の取組について理解しているか」を評価する。</p>			
<p>地域の須賀神社の祭りに関わる人から話を聞き、継承の取組に着目して、祭りを継承している人々の努力や祭りに込められた願いについて考え、表現することができるようにする。④  (1組本時)</p>	<p>◆祭りを支える人たちは、大変な仕事を、なぜ毎年進んで行っているのだろう。  ○前時を振り返り問いについて予想する。  ○一人一人の疑問や学級の問いを解決するために、ゲストティーチャーに質問する。  ・一人一人が違う役割をしている。  ・お祭りを続けたい願いが人々にはある。  ○聞き取った情報を班で共有する。  ○学級全体で祭りに対する共通の思いや願いについて話し合う。  ・祭りを支える人や参加する人たちは、人々のつながりや地域の発展を願って祭りをしてきた。  ・祭りは地域のたくさんの人の参加や協力があるからこそ続いてきた。  ●祭りについての自分の考えをノートに書く。  ・地域の人たちは、祭りを通して、人と人とのつながりを大事にしてきた。  ・祭りを支える人や参加する人たちは、人々のつながりや地域の発展を願って祭りを行ってきた。だからこれからも祭りを続けていくべきだと思う。</p>	<p>◎祭りに関わる地域の人々の話(ゲストティーチャー)  ・須賀神社の宮司  ・氏子青年部  ・奉納太鼓演奏者  ・四番組(鳶職人)  □授業は体育館で行い、主体的で流動的な学習活動(インタビュー)となるようにする。  □ゲストティーチャーの代表にこれからは祭りを続けていくために必要な考えについてメッセージを送ってもらう。  【思判表①】ノートの記述から、年中行事の継承の取組に着目して、地域の年中行事が受け継がれている様子について考えているか。」を評価する。</p>			
	<p>家庭学習</p>	<p>□東京都内の年中行事を探してくるよう促す。調べた情報(名称・位置)を集め、分布図を作成する。</p>			
<p>ねらい：自分が選んだ東京都の伝統的な祭りについて調べ、歴史的背景や現在に至る経緯、継承のための人々の取組について理解することができるようにする。⑤⑥</p>					
<p>◆東京都にはどんな祭りがありどのように続いてきたのだろう。</p>					
<p>しらべる</p>	<p>深川祭</p> <p>◆深川祭は、どのような祭りなのだろう。  ○年表や文章資料から深川祭の歴史的背景を調べる。  ○資料から深川祭の様子(概要)を調べる。  ○祭りに関わる人々</p>	<p>三社祭</p> <p>◆三社祭は、どのような祭りなのだろう。  ○年表や文章資料から三社祭の歴史的背景を調べる。  ○資料から三社祭の様子(概要)を調べる。  ○祭りに関わる人々</p>	<p>神田祭</p> <p>◆神田祭は、どのような祭りなのだろう。  ○年表や文章資料から神田祭の歴史的背景を調べる。  ○資料から神田祭の様子(概要)を調べる。  ○祭りに関わる人々</p>	<p>くらやみ祭り</p> <p>◆くらやみ祭は、どのような祭りなのだろう。  ○年表や文章資料からくらやみ祭の歴史的背景を調べる。  ○資料からくらやみ祭の様子(概要)を調べる。</p>	<p>その他</p> <p>4つの祭りを基本とするが八丈島の祭りなど4つ以外にも祭りを追加して調べてもよいこ</p>

<p>の取組を調べる。 ●調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>の取組を調べる。 ●調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>の取組を調べる。 ●調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>○祭りに関わる人々の取組を調べる。 ●調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</p>	<p>とにする。</p>
<p>◎深川祭の概要 (共通形式の表) ◎インターネット (補足資料)</p>	<p>◎三社祭の概要 (共通形式の表) ◎インターネット (補足資料)</p>	<p>◎神田祭の概要 (共通形式の表) ◎インターネット (補足資料)</p>	<p>◎くらやみ祭概要 (共通形式の表) ◎インターネット (補足資料)</p>	<p>◎パンフレット ◎当該のHP</p>
<p>【知技①】ワークシートの記述から「自分が担当した祭りについて資料で調べ、歴史的背景や継承のための取組について理解しているか」を評価する。 【態度①】学び方カードの記述から「学習問題や学習計画に即して学習の進め方を振り返って、自己の学習を主体的に進めていようとしているか」を評価する。</p>				
<p>担当した祭りについて調べた内容を伝え合い、それぞれの祭りの歴史的背景や継承のための取組について比較することを通して、祭りに共通する継承への取組と祭りに込められた願いについて考えて、表現できるようにする。⑦</p>	<p>◆それぞれの祭りには、どのような違いや共通点があるのだろう。 ○班内で、調べたことを報告し合い、情報を共有する。 ・私の調べた祭りは、・・・・・・・・。 ・祭りで行う催し物は違う。 ・祭りの雰囲気は違う。 ・祭りをを行う日数が違う。 ・祭りを支える人がいることは共通。 ○東京を代表する4つの祭りなどにおける違いと共通点について考え、話し合う。 ●それぞれの祭りに共通していることについて考えをまとめ、ノートに書く。 ・どの祭りも、多くの人たちが楽しめるように工夫をしていた。 ・どの祭りも、祭りを続けるための人や仕事の存在があった。 ●東京都の祭りを調べる学習を振り返り、次の文化財を調べる計画を見直して、学び方カードに記述する。</p>		<p>◎4つの祭りなどの写真や資料 ◎子供が収集した資料 ◎調べてまとめたワークシート □ワークシートを写真に撮り、タブレット上で情報を確認・共有できる環境設定をする。 □共通点が視覚化できるように板書を工夫する。 【思判表②】ノートなどの記述から「観点ごとに調べたことを比較して情報を整理することで、祭りは地域の人々が受け継いできたことや、それらには地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解しているか。」を評価する。 【態度①】学び方カードの記述から「祭りの学習を振り返り、東京都の文化財について調べる計画を見直して、追究の見通しをもとうとしているか。」を評価する。</p>	
	<p>家庭学習</p>		<p>□東京都内の文化財を探してくるよう促す。(名称・位置)後日分布図に追記する。</p>	
<p>身近な地域にある国宝の迎賓館の他にも、東京都には様々な文化財が各地で保存され、受け継がれていることを理解できるようにする。⑧</p>	<p>◆東京都にはどんな文化財があるのだろう。 ○東京都の指定文化財を調べる。 ・寺や神社などの建造物、歴史的に貴重な古い文書、彫刻などの美術工芸品など様々な文化財が東京各地にある。 ・多くの文化財が各地で保存されている。 ○調べた文化財の名称と位置を東京都の地図に印し、気付いたことを話し合う。 ・いろいろな種類があってびっくりした。 ・東京のあちこちであって、その場所に残されている理由もあることが分かった。 ・法律でも守られていることが分かった。 ●分かったことをノートにまとめる。</p>		<p>◎子供が調べた文化財の情報 ◎東京都指定文化財の分布地図 ◎代表的な文化財の保存年数 □家庭学習で探してきた文化財を紹介し合い、文化財の種類ごとに分類し、東京都の地図にその場所を整理し気付いたことを話し合う。 【知技①】ワークシートの記述から「資料で調べ、東京都には、様々な文化財が各地にあり、文化的な価値が認められ保存されてきたことについて理解しているか」を評価する。</p>	
<p>迎賓館の歴史的背景や現在に至る経緯、文化財保護に対する人々の思いや願いについて理解できるようにする。⑨</p>	<p>◆迎賓館は、どのように守られてきたのだろう。 ○迎賓館の保存の取組について調べる。 ・最初は東宮御所として建てられた。 ・外国の代表者などを迎える場所だ。 ・昭和49年に「迎賓館」になった。 ・迎賓館は美術的価値が高く、平成21年に国宝に指定されている。</p>		<p>◎迎賓館のパンフレット ◎迎賓館のHP □祭りを調べた際の観点を参考に「始まり」「現在までの経緯」「特徴(価値)」「保存の取組」「人々の願い」の観点に焦点化して調べる。 ◎ボランティアガイドに携わる人々</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財は文化財保護法に基づいて、国の予算で管理している。</li> <li>○調べたことを話し合い、本時の問いについて考えを交流する。</li> <li>・貴重な文化財を未来に残すために、法律や予算によって守られている。</li> <li>・文化財を守るためには、専門的な技術をもった人の協力が必要になってくる。</li> <li>・ボランティアなど文化財の保存に願いをもった人が保存活動に協力している。</li> <li>●分かったことをノートにまとめる。</li> </ul>	<p>のインタビュー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□人物が登場することで、法律や予算だけでなく、文化的な価値や地域の宝として残したいという人々の願いに気付くことができるようにする。</li> <li>【知技①】ワークシートの記述から「資料で調べ、迎賓館の歴史的背景や現在に至る経緯、文化財保護に対する人々の思いや願いについて理解しているか」を評価する。</li> </ul>
まとめ	<p>地域の文化財や年中行事は、地域の人々が受け継いできたことや地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにする。⑩</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○これまでの学習を振り返り、学習問題に対する自分の考えをノートに書き、話し合う。</li> <li>◆祭りや文化財は、なぜ、これほどの長い期間、受け継がれてきたのだろう。</li> <li>○問いに対する自分の考えについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・どの祭りや文化財も地域の人々が大切に、それを残すために、地域の人たちが努力や工夫を重ねてきた。</li> <li>・どの祭りや文化財も地域の人たちの「地域の発展のために残していきたい。」という願いがある。</li> </ul> </li> <li>●祭りや文化財を受け継いできた人が、共通に大切にしてきたことを考えてノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎これまで学習したノートやワークシート</li> <li>□共通点を整理して板書し、視覚的に関連付けられるようにする。</li> <li>□受け継がれてきた理由を考えると、人々の願いと保存や継承の取組を関連付ける。</li> <li>【思判表②】ノートなどの記述から「祭りや文化財を比較したり、人々の願いと継承の取組を関連付けたりして、人々の願いや努力を考え、表現しているか」を評価する。</li> </ul>
つなぐ	<p>迎賓館の保存に取り組む人の話から、文化財の長期的な保存に関する課題について、文化財への思いや願いと関連付けて考えることができるようにする。⑪</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○迎賓館の保存には課題があることについて話を聞き、考えたことを話し合う。</li> <li>◆迎賓館の保存にはどのような課題があり、それに対して、どんな取組をしているのだろう。</li> <li>○課題の解決について予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報の人は、様々な方法で迎賓館を宣伝しているが、もっとたくさん行くべき。</li> <li>・文化財を修復する技術を継承したり、知識を継承したりしていく必要がある。</li> </ul> </li> <li>○どのように取り組んでいるのか質問し、考えたことを話し合う。</li> <li>●迎賓館の職員の話を読み、保存の課題や文化財への思いを考えてノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎迎賓館運営課企画調整官の話（文章）と写真</li> <li>◎迎賓館のパフレット</li> <li>◎迎賓館運営課企画調整官の話（対面）</li> <li>□保存の課題を捉え、今の取組がなくなった時を想像する。</li> <li>□現場の職員の方に常に質問できる状態にして調べる。</li> <li>【思判表②】ノートなどの記述から「文化財保存への願いと文化財保存の課題を関連付けて、文化財保存の協力的な取組の意味を考えているか」を評価する。</li> </ul>
	<p>学習したことを基に、迎賓館の保存の取組に協力できることを話し合い、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって自分たちができることをしようとする態度を養うようにする。⑫ (2組本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆迎賓館を未来に残していくために、地域にくらす私たちに、何ができるだろう。</li> <li>○未来へ保存するために何ができるか考え自分年表に表し、学級で話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館の歴史や文化的な価値を知ってもらうためのパンフレットを作る。</li> <li>・イベントに参加して、観光客や地域の人に迎賓館の素晴らしさを直接伝えたい。</li> <li>・迎賓館開館 50 周年行事の飾りを作ったから、来年も参加を呼びかける。</li> <li>・将来、迎賓館についてもっと詳しく学んで、ボランティアガイドをしてみたい。</li> </ul> </li> <li>●単元を振り返り伝統文化の保存・継承について考えたことを学び方カードに記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎迎賓館の職員の動画メッセージ（前時と同様）</li> <li>◎迎賓館開館 50 周年行事の概要</li> <li>□すぐにできることや将来的にできることを考え、自分年表に直接的・間接的に関わることでできることを位置付けて話し合う。</li> <li>【態度②】学び方カードから「学習したことを基に、迎賓館など地域の伝統や文化の保存・継承に関わって、自分たちにできることを考えようとしているか」を評価する。</li> </ul>

## 9 本時の学習1 (4/12時)

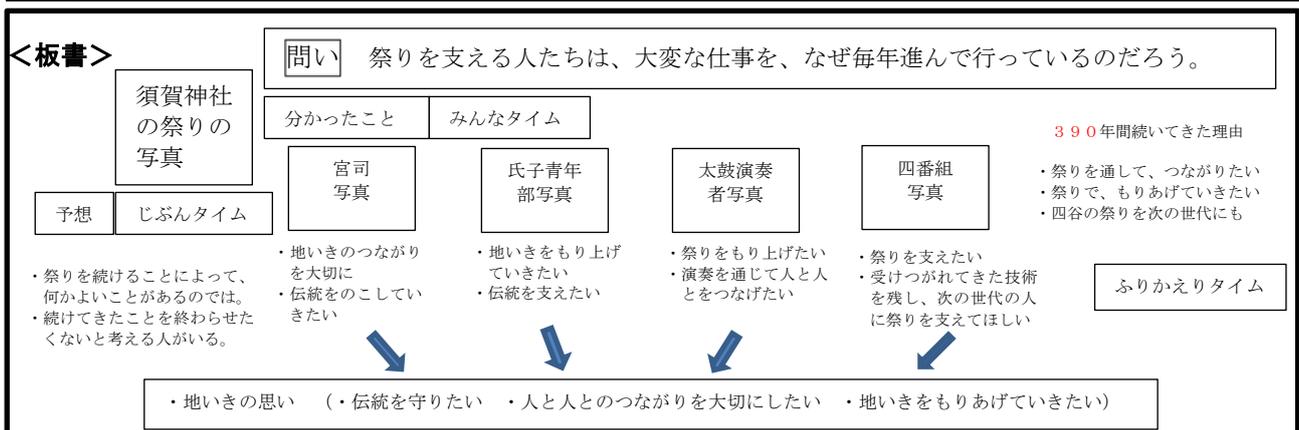
4年1組 主任教諭 早川 雅

### (1) 本時のねらい

地域の須賀神社の祭りに関わる人から話を聞き、継承の取組に着目して、祭りを継承している人々の努力や祭りに込められた願いについて考え、表現することができるようにする。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・子供の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入 5分	○前時の学習を振り返り、本時の問いを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">祭りを支える人たちは、大変な仕事を、なぜ毎年進んで行っているのだろう。</div> ○問いに対する予想を話し合う。	◎須賀神社の祭りの写真 ◎前時に調べた情報 (ワークシート) □予想を話し合うことを通して、調べ考える視点を焦点化する。
じぶん タイム 5分	○自分の予想とそれを確かめるためにゲストティーチャーに質問することをノートに書く。 ・祭りを続けることで何かよいことがあるのでは。 ・伝統を守りたいという思いがあるのでは。 ・他に祭りに関係する人はいないのか。 ・どんな思いで祭りに参加しているのか。 ・祭りを行う上で大変なことはないか。	□児童にゲストティーチャーの方のそれぞれの立場を紹介して、質問者を選択できるようにする。 □疑問や質問が、本時の問いの解決とどうつながるかを見取り、机間指導しながら必要に応じて声をかける。
みんな タイム 15分	○予想や疑問を班で共有する。 ○ゲストティーチャーに質問をしながら、 <b>個々の疑問</b> を解決する。 ・祭りを残したいと願う人がいるのでは。 ・祭りに関わっている人はどんな人がいるのか。 ・祭りを支える人たちの目的は何なのか。 ・祭りに関係する仕事で大変なことはないか。	◎ゲストティーチャー ・須賀神社の宮司 ・氏子青年部 ・奉納太鼓演奏者 ・四番組(鳶職人) □ <b>児童が自身の興味関心に応じて自由に質問できるようにする。</b>
みんな タイム 15分	○質問を通して分かったことを学級で話し合う。 ・神社の人だけでなく地域の人々が協力するお祭り。 ・お祭りで地域を盛り上げていきたいという願い。 ・お祭りで地域の人がつながってほしいという思い。 ・伝統をこれからも守っていきたいという願い。 ○ <b>390</b> 年間も祭りが続いてきた理由を考え話し合う。 ・お祭りを続けて地域をまとめたい願いがあるから。 ・地域の人たちが祭りを通して、人と人とのつながりを大事にしてきたから。	□それぞれのゲストティーチャーの継承への取組を確認しながら、思いや願いに迫るようにする。 □共通する思いや願いが視覚的に捉えられるよう板書を工夫する。 □ゲストティーチャーの代表にこれからも祭りを続けていくために必要な考えについてメッセージを送ってもらう。
ふりか えり タイム 5分	●本時の問いについて考えたことをノートに書く。 ・祭りを支える人や参加する人たちは、人々のつながりや地域の発展を願って祭りを行ってきた。だから私は、祭りは、これからもずっと続けていくべきだと考えた。	【思判表①】ノートなどの記述から「地域の人々の継承の取組に着目して、須賀神社の祭りを継承している人々の努力や願いを考え、表現している。」かを評価する。



本時の学習 2 (12/12時)

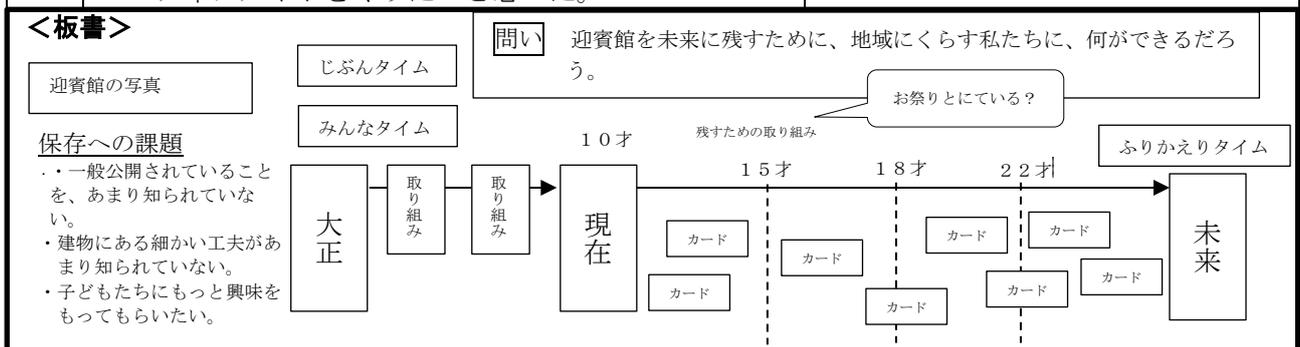
4年2組 教諭 松木 貴太

(1) 本時のねらい

学習したことを基に、迎賓館の保存の取組に協力できることを話し合い、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって自分たちができることをしようとする態度を養うようにする。

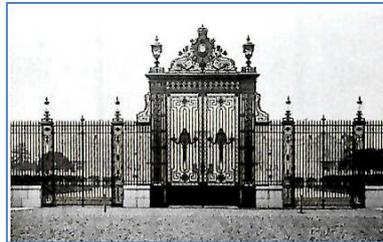
(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・子供の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
導入 7分	○前時を振り返り、迎賓館の保存の課題を確認する。 ・一般公開されていることを、あまり知られていない。 ・建物にある細かい工夫があまり知られていない。 ・子どもたちにもっと興味をもってもらいたい。 ○迎賓館の保存の課題についての感想を伝える。 ・たくさんの人の理解や協力が必要なんだと思う。	□大正3年から現在までの主な取組を年表で確かめる。 ◎迎賓館の方のインタビュー動画 □迎賓館を保存する上での課題をインタビュー動画で確かめる。 □感想を交換して、課題の解決に関心をもたせる。
じぶん タイム 10分	迎賓館を未来に残すために、地域にくらす私たちに、何ができるだろう。 ●自分にできそうなことをノートに書き、最もおすすめのアイディアをアイデアカードに記入する。 ・より多くの人に迎賓館のことを知ってもらおう。 ・ボランティアガイドさんのように直接協力する。	□迎賓館のボランティア活動やお祭りの継承の取組を想起させる。 【思判表②】 アイデアカードから「学習したことを基に、地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちができることを考えて表現しているか」を評価する。
みんな タイム 班 10分	○おすすめのアイディアカードを班で紹介し合う。 ・迎賓館の文化的価値を伝えるパンフレットを作る。 ・観光客や地域に迎賓館の素晴らしさを宣伝する。 ・迎賓館についてもっと詳しく学んで、将来はボランティアガイドをしてみたい。	□グループで自分のカードを紹介するときは、理由を伝え合う。 □いつできることかを意識させる。 □協働学習ツールを使って共有する。
みんな タイム 班 全体 13分	○自分に協力できることや協力したいことを選択し、考えを書き紹介し合う。 ・たくさんの人に迎賓館に行ってもらおうよう、小学生や保護者や地域の商店街にチラシを配る。 ・来年は迎賓館の50周年イベントがあるから迎賓館の魅力を案内ポスターにして、駅や街に貼り出す。 ・大人になったら迎賓館の素敵な場所を知ってもらうために、ボランティアガイドになり案内したい。	□現在だけではなく、将来にできることも認め、ホワイトボード上で共有する。(いつ、何を) □班の話し合いやホワイトボードの友達の意見から、自分でもできそうなことがあれば付け加える。
ふりか えり タイム 5分	●単元の学習全体を振り返り、考えたことを学び方カードに記入する。 ・東京都にはたくさんの年中行事や文化財があり、それらはたくさんの人々の願いや取り組みによって保存・継承されていることを知った。また、地域に古くから残る、須賀神社のお祭りや迎賓館をこれからも残していくために、たくさんの人たちに知ってもらうためにチラシを配ったり、大人になったらボランティアガイドをやりたいと思った。	【態度②】 学び方カードから「迎賓館など地域の伝統や文化の保存や継承に関わって自分たちにできることを考えようとしているか」を評価する。



# 令和4年度全小社研東京大会プレ発表会（四谷小学校）補助資料 4年「受け継がれる祭りと文化財」

## 1 教材の構造と主な資料



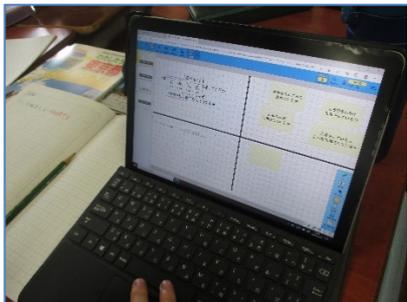
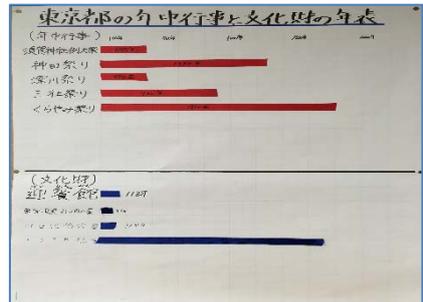
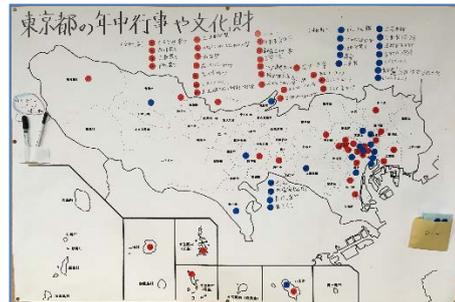
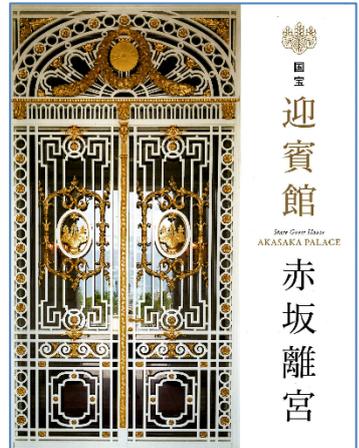
須賀神社の祭り  
(須賀神社)

くらやみ祭  
(大園魂神社)

三社祭  
(浅草神社)

神田祭り  
(神田明神)

水かけ祭り  
(富岡八幡宮)



学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】 評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>○須賀神社の祭りの写真を見て話し合う。</p> <p>◆須賀神社のお祭りは、いつごろから四谷にあるのだろう。</p> <p>○今と昔の須賀神社の祭りを比べる。</p> <p>○祭りの始まりについて確かめる。</p> <p>◆迎賓館は、いつごろから四谷にあるのだろう。</p> <p>○迎賓館のパンフレットで建設時の様子を確かめる</p> <p>◆四谷以外にも東京には有名な祭りや文化財があるのだろう。</p> <p>○問いについての予想を話し合う。</p> <p>○祭りや文化財について分かったことやさらに知りたいことをノートに書く。</p> <p>【知技①】 【思判表①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須賀神社の鳥居や建物は、今とあまり変わらない。</li> <li>・神輿は、昔は小さいけど、今のの方が大きくて豪華な気がする。</li> <li>・迎賓館は昔から、建物の見た目が少しだけ変わったように見える。</li> <li>・須賀神社のお祭りや迎賓館は、昔からあることを知った。他にも年中行事や文化財があるのか知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須賀神社は、とても昔からある。</li> <li>・380年も前だったとは、知らなかった。</li> <li>・昔の迎賓館は、木や葉っぱだけだったけど、今は花を植えて、整備をしているように見える。</li> <li>・四谷には、須賀神社のお祭りや迎賓館があり、とても歴史が長いと知った。昔も今も、やっていることはあまり変わらないと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須賀神社のお祭りと迎賓館の今と昔を比べるために、映像資料や写真を見せることで、長く続いている伝統ある年中行事と文化財であることを捉えさせることができた。</li> <li>・今と昔の資料を比較したときに、昔よりもきれいになって整備されていることに気付いた子供が数名いて、残すための工夫や思いに繋がる考えを引き出すことができた。</li> </ul>
2時	<p>○東京都の主な祭りや文化財の種類と場所を副読本で知る。</p> <p>○東京都の祭りや文化財について知りたいことや疑問をノートに書く。</p> <p><b>東京都にはどのような祭りや文化財があり、それらはどのように続いてきたのだろう。</b></p> <p>○学習問題に対する予想を話し合い、予想を基に学習計画を立てる。</p> <p>○つかむ段階の学びを振り返り、学び方カードをに記入する。</p> <p>【思判表①】 【態度①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りと文化財には、何か関係があると思う。</li> <li>・年中行事や文化財は、何年くらい続いているのだろう。</li> <li>・どうして文化財は残されているのだろう。</li> <li>・地域の人がおまつりを受け継ぎたいと思って取り組んでいると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他にも年中行事や文化財があると思う。</li> <li>・文化財が1つの区にどのくらいあるのか知りたい。</li> <li>・お祭りは何のためにやっているのかな。</li> <li>・年中行事や文化財も人が関わっていると思う。</li> <li>・地域をよくしたいという思いから、お祭りが始まったと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1時で地域の年中行事や文化財をやっていたので、子供から自然と東京にも年中行事や文化財があると思うと意見が出てきた。</li> <li>・東京都の年中行事と文化財について疑問を考えることで、「いつから始まったのか」「だれが関わっているのか」「どのように残されてきたのか」という視点を子供の発言から分類することができた。</li> <li>・子供から出る疑問の幅が広く、視点を絞るような発問が必要であると感じた。</li> </ul>

3時	<p>◆須賀神社の祭りは、380年間どのように続いてきたのだろう。</p> <p>○須賀神社の祭りの継承について調べたことをワークシートに書く。</p> <p>○調べたことを話し合う。</p> <p>○まだ分からないことをノートに書く。</p> <p>○須賀神社の祭りについて分かったことをワークシートにまとめる。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・380年間も続いているのは、きっと何かやっているからだ。</li> <li>・須賀神社のお祭りに関わる人たちは、みんなに楽しんでほしいとか、残していきたいみたいなきもちがあると思う。</li> <li>・須賀神社のお祭りを残すために、色々な人が協力し、神社の伝統を大切にしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須賀神社のお祭りは、みんなが楽しむために、取り組んでいることがあると思う。</li> <li>・地域の人たちは、お祭りをみんなのために残すことを考えていると思う。</li> <li>・須賀神社のお祭りは、戦争で六年間中止になったり、参加する人が減って神輿が落ちてしまうなどの悲しい出来事もあったが、四番組や須賀神社社務などが協力し、今でも続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から読み取ったことを、ワークシートに書くときには、自分が大事だと思ったことを書くように伝えた。全ての情報を書き写す子供がいなくなり、自分なりに大事なことは何か考えながら、読み取っているように見えた。</li> <li>・最後にお祭りに関わる人々の取り組みに目を向けることで、その人たちのお祭りに対する気持ちや思いについて触れることができ、次時につながる意識をもたせることができた。</li> </ul>
4時	<p>◆須賀神社の祭りは、人々のどのような思いから380年間も続いてきたのだろう。</p> <p>○前時を振り返り問いについて予想する。</p> <p>○ゲストティーチャーに質問をしながら、一人一人の疑問や学級の問いについて聞き取ったことを班で情報共有する。</p> <p>○学級全体で祭りに対する共通の思いや願いを話し合う。</p> <p>○祭りが今日まで続いてきた理由について考えをまとめてノートに書く。</p> <p>【思判表②】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統をつないでいきたいという思いがあると思う。</li> <li>・歴史を終わらせたくない。地域の発展を願っている。</li> <li>・地域の発展、地域のつながりはみんな思っている。</li> <li>・地域の人たちは、お祭りに関わることで、地域の発展や伝統を受け継ぎたいと思っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなが楽しみ、幸せになれることを考えて、お祭りに関わっていると思う。</li> <li>・地域の人たちがつながり、みんなが笑顔になってほしい。</li> <li>・地域のつながりを支えていきたい。</li> <li>・地域の発展を願い、お祭りに関わっていることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な立場の人たちの思いや取組をまとめた資料を読み取り、共通点を見つけることで、全員のお祭りに対する思いが、地域の発展や伝統を受け継いでいくことであると子供が気付くことができた。</li> <li>・地域のお祭りを支える人たちを教材にすることは、子供にとって身近で、思いや願いを考えやすいように感じた。</li> <li>・子供が、違う立場の人たちを調べることで、考えを集約したときに、子供が共通点に気付くことができていた。</li> </ul>
5・6時	<p>◆深川祭は、どのような祭りなのだろう。</p> <p>◆三社祭は、どのような祭りなのだろう。</p> <p>◆神田祭は、どのような祭りなのだろう。</p> <p>◆くらやみ祭は、ど</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・須賀神社のお祭りと同じように、お祭りを支えている人がいると思う。</li> <li>・他のお祭りにも、これからも</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りの続いた年月が長いほど、お祭りを支える人の役割や人数は多くなると思う。</li> <li>・受け継ぐ思いがないと、祭りはこん</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な須賀神社のお祭りで、人の思いがあって受け継がれていることに子供が気付いていたので、問いまでがスムーズだった。</li> <li>・須賀神社のお祭りを調べ</li> </ul>

	<p>のような祭りなのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○年表や文章資料から4つの祭りの歴史的背景を調べる。</li> <li>○資料から4つの祭りの様子(概要)を調べる。</li> <li>○祭りに関わる人々の取組を調べる。</li> <li>○調べて分かったことや考えたことをワークシートにまとめる。</li> </ul> <p>【知技①】 【態度①】</p>	<p>続けていきたいと思っている人たちがいると思う。</p>	<p>なにか続かないと思う。</p>	<p>た経験から、他のお祭りがどのように続いてきたのかを予想することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りを一つ調べた後に、自分で調べたいお祭りをタブレットで調べることで、どのお祭りにも、お祭りを残すために取り組んでいる人たちがいることに気付くことができた。</li> </ul>
<p>7時</p>	<p>◆それぞれの祭りには、どのような違いや共通点があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○班内で、調べたことを報告し合い、情報を共有する。</li> <li>○東京を代表する4つの祭りなどにおける違いと共通点について考え、話し合う。</li> <li>○それぞれの祭りに共通していることについて考えをまとめ、ノートに書く。</li> <li>○東京都の祭りを調べる学習を振り返り、次の文化財を調べる計画を見直して、学び方カードに記述する。</li> </ul> <p>【思判表②】 【態度①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4つのお祭りには、違うところがあったと思う。</li> <li>・お祭りへの思いが同じだった気がする。</li> <li>・お祭りののはじまったきっかけは違った。</li> <li>・地域みんなを楽しませたいという思いが同じだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お祭りの内容は違ったけど、神輿はどの祭りにも出ていた。</li> <li>・お祭りを支える人たちが、楽しんでほしい気持ちや受け継いでいきたい思いは、どの祭りも同じだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の人が調べたワークシートを写真で撮影し、自分が調べたワークシートと比べながら共通点を探すことで、どの祭りにも支える人たちの思いがあることに気付くことができた。</li> <li>・グループで見つけた共通点を共有することで、祭りを支える人たちの具体的な思いに子供が迫ることができた。</li> </ul>
<p>8時</p>	<p>◆東京都にはどんな文化財があるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○東京都の指定文化財を調べる。</li> <li>○調べた文化財の名称と位置を東京都の地図に印し、気付いたことを話し合う。</li> <li>○分かったことをノートにまとめる。</li> </ul> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館以外にも、たくさん文化財があった。</li> <li>・地図で見ると、東京都の東側に文化財が多い。</li> <li>・台東区に文化財がたくさんあった。</li> <li>・東京都には神社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都の東側に文化財が多いけど、西側にも文化財があった。</li> <li>・迎賓館が長く続いているのは、お祭りと同じように、関わる人の受け継ぎたい思いがあると思う。</li> <li>・東京都には、たく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習で文化財の位置と名前を出したことで、文化財の分布をグループで共有し、子供が気付いたことをノートにまとめることができた。</li> <li>・授業の最後に、文化財が昔からあることを確かめたことで、お祭りと同じように、文化財を受け継ぐためには、関わる人たちの思いがあるかもしれ</li> </ul>

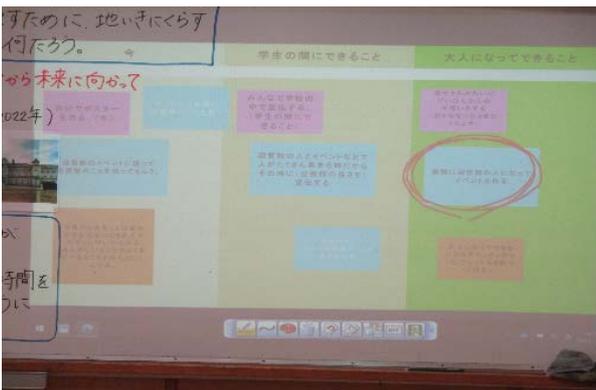
		や建物だけではなく、お祭りのような文化財があることが分かった。	さんの文化財があることが分かった。昔から続いている文化財に関わる人たちの思いを調べてみたい。	ないと、次時への見通しをもって終わることができた。
9時	<p>◆迎賓館は、どのように守られてきたのだろう。</p> <p>○迎賓館の保存の取組について調べる。</p> <p>○調べたことを話し合い、本時の問いについて考えを交流する。</p> <p>○分かったことをノートにまとめる。</p> <p>【知技①】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・113年間も続いているから、きっと何かしているはず。</li> <li>・地域や社会が文化財を保存するために、計画的に取り組んでいる。</li> <li>・迎賓館では、できたときと同じ形で残すために、文化財保護法で守られていたり、高い技術で修理したりしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・113年前と見た目は変わっていない。</li> <li>・カーテンや絨毯を高い技術力で、残し続けている。</li> <li>・迎賓館がどのように続いてきたかという、文化財保護法で計画的に残すために取り組んでいることや、すごい技術をもった職人さんが修理をして、昔と同じように残す努力をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館のボランティアの方に話していただくことで、迎賓館の魅力を伝えることで、良さを知ってもらいたいという思いをもった人がいることに子供が気付くことができた。</li> <li>・技術力の例として、カーテンや絨毯の修復について取り上げたことで、保存するためには、高い技術力が必要であることに子供が気付くことができた。</li> </ul>
10時	<p>○これまでの学習を振り返る。</p> <p>○学習問題に対する自分の考えをノートに書く。</p> <p>◆祭りや文化財は、なぜ、これほどの長い期間、受け継がれてきたのだろう。</p> <p>○問いに対する自分の考えについて話し合う。</p> <p>○祭りや文化財を受け継いできた人が、共通に大切にしてきたことを考えてノートに書く。</p> <p>【思判表②】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・祭りや文化財は、長く続いているけど、続けるための努力をしていた。</li> <li>・年中行事と文化財は、残している人が受け継いでいるから続いている。地域の人が支えているところは、年中行事も文化財も同じだった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年中行事や文化財は、人々に支えられながら続いてきた。高い技術がある人が、みんなに楽しんでもらいたい、見てもらいたいという思いで大変な仕事をやってくれている。このような気持ちはお祭りや文化財の共通点である。このように、お祭りや文化財は、受け継ぎたいという思いがある人に支えられながら続いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習で、年中行事にも文化財にも関わる人たちの思いがあることに子供が気付くことができていたので、共通点を基にしてまとめを書くことができていた。</li> <li>・考えたまとめ写真で撮影し、発表ノートのグループワークの機能を使って共有することで、友達のまとめを見て学ぶことができた。</li> </ul>
11時	<p>○迎賓館の保存には課題があることを知る。</p> <p>◆迎賓館の保存にはどのような課題があり、それに対して、どんな取組をしているのだろう。</p> <p>○課題について予想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館の人も、困っていることがあると思う。</li> <li>・イベントで迎賓館の魅力を宣伝していると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館の人たちは、困っていることをどうにかするために、何か努力をしているはず。</li> <li>・ポスターやチラシを掲示板に貼って、みんなに知っ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際にゲストティーチャーに課題を話してもらうことで、子供が予想を考える活動がとても活発だった。</li> <li>・今までの学習の積み重ねがあり、年中行事と文化財には、受け継ぎたいと</li> </ul>

<p>する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保存の課題を聞いて感想を話し合う。</li> <li>○どのように取り組んでいるのか質問し、考えたことを話し合う。</li> <li>○迎賓館の職員の話聞き、保存の課題や文化財への思いを考えてノートに書く。</li> </ul> <p>【思判表②】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなに迎賓館を知ってもらうために、パンフレットやポスターで宣伝している。このようなことをしているのは、知ってもらいたい気持ちがあるから。</li> </ul>	<p>てもらおう活動を知っていると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・迎賓館の人たちは課題を解決するために、パンフレットを作ったり、テレビで魅力を紹介したりしている。それは、知ってもらいたいという思いがあるから。</li> </ul>	<p>いう思いが、共通していることに気付いていた子供がとても多かった。</p>
---	--	---	---

**考察**

- ・授業後の考察（よさや課題・協議会の質疑から）

- ①ゲストティーチャーを活用することで、祭りを継承する人たちの思いを、体験的に捉えることができた。
- ②子供が質問する相手（ゲストティーチャー）は、子供自らの選択で決めさせるべきであった。個々の興味関心に即した自由で流動的なインタビューの時間を設けるようにする。質問の偏りや時間配分などに課題がある。
- ③子供一人一人の考えを発信・共有したことで、学習のねらいに集団で迫ることができた。ICT の活用によって、活動も円滑で時間も短縮でき、その分話し合いに十分な時間を確保できた。
- ④子供の考えを最終的に受け止める（価値付ける）場面があると、「参画者」としての意識が、より高まったのではないかと考える。



【第4学年分科会の成果と課題】

目指す子供像		課題を把握し、目的に向かって自ら考え行動する子供 仲間を尊重し、様々な活動に対して協働的に取り組む子供 問題や課題を自分事として受け止め、最後まで粘り強くやりぬく子供	
「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり			
研究内容	① 主体的に問いを追究する工夫	② 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫	③ 子供の学びを確かにする評価の工夫
○ 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童が自ら問いを見出し（設定し）、問題解決に取り組む学習の流れを構築する。</li> <li>○事象や人物との距離を近づけ、問題意識を持てるような資料を活用する。</li> <li>○調べたり考えたりすることを自発的に行えるような資料提示の工夫。</li> <li>○資料を基に話し合い、「学習の問いを自分たちで生み出す」という意識がもてるようになった。</li> <li>○人物の営みに共感し、当事者意識をもって問題を解決しようとする姿が見られるようになった</li> <li>○予想から資料の必要性を感じ、資料を問題解決のツールとして活用できるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料を精選することで、見方・考え方が必然的に働くようにする。</li> <li>○可能な限り実物や人物を活用し、体験的に見方・考え方が働くようにする。</li> <li>○単元の最後には、学習したことを「自分」の立場や視点に置き換えて、あり方や行動について考えられるようにする。</li> <li>○社会的事象について、相関的に物事を捉えようとする児童が多くなった。時間や空間における変化や、相互間の協力関係などに着目し、関連付けながら問題を解決できるようになった。</li> <li>○学習したことを生かし、自分のできることや貢献できることを考えられるようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「学び方カード」を活用して、自分の学習の仕方を振り返り、その後のよりよい学習活動につなげられるようにする。</li> <li>○学び方カードで記した内容は、学級で共有することで、学習への取り組み方が向上した。学習内容を関連付けて問題を解決したり、発展的な資料を自ら探して問題解決に結び付けたりと、学習の仕方を発展させている児童がたくさんいた。</li> </ul>
● 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●個別追究での調べ学習では、資料の選択が難しい児童が多くいる。指導者がどこまで資料を選択・作成したらよいのか、児童の発達段階も踏まえた検討が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●学習したことを生かす「つなぐ」の場面では、内容や方法がマンネリ化してしまった。見方・考え方を広げ深めるためにも、多様な学習活動を展開していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「学び方」という言葉への理解が不十分で、毎回個人指導をしないと単元の内容に対する感想のみを書いてしまう児童が一定数いた。</li> </ul>



## 第5学年 社会科学習指導案

### 1 小単元名 「低い土地の暮らし」 (5時間)

### 2 小単元の目標

我が国の国土の様子と国民生活について、地形などに着目して地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色のある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境と国民生活との関連を考え、表現することを通して、人々は自然環境に適応して生活していることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決しようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地形などについて、地図帳や各種の資料などで調べて、必要な情報を集め、読み取り、自然条件からみて特色ある地域の人々の生活を理解している。 ②調べたことを図表や文にまとめ人々は自然環境に適応して生活していることを理解している。	①地形に着目して、問いを見だし、自然条件から見て特色のある地域の人々の生活について考え、表現している。 ②特色ある地域の自然条件と人々の生活や産業を関連付け、国土の自然環境と国民生活との関連を考え、適切に表現している。	①我が国の国土の様子と国民生活について、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究し、解決しようとしている。

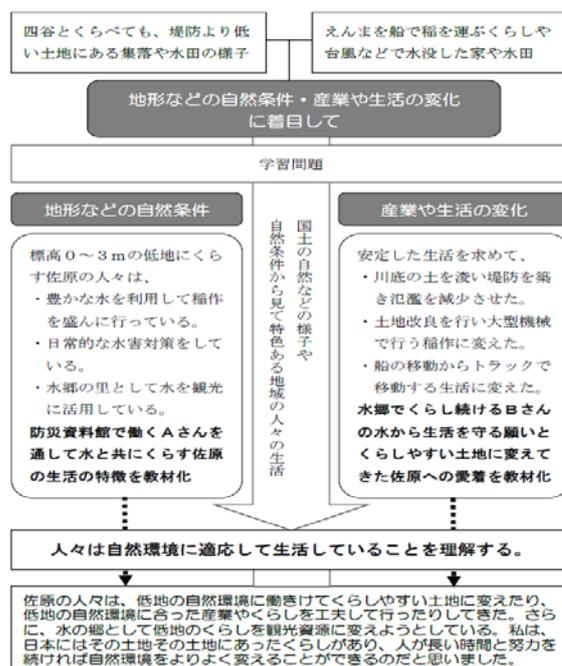
### 4 目指す子供像

本単元で目指す子供像は、「佐原の人々は、低地の自然条件を克服、適応、利活用して生活を豊かにしてきた。佐原の人々のように、自然環境に働きかけて、よりよい暮らしをつくっていくことは大切なことである。」と考えることができる子供である。

### 5 教材について

本小単元では、子供が「人々が自然環境に適応して生活している」ことを理解するために、地形条件から見て特色のある地域を扱う。事例地として取り上げる千葉県香取市の佐原北部は、江戸時代の利根川の東遷事業により河口近くの生まれた標高0mから3mの低地である。川に囲まれた低地という地形ながら、江戸時代より肥沃な土壌と豊かな水による稲作が盛んで、県内でも有数の米どころである。この地域では、治水工事として川底の土をさらい、水位を確保するとともにその土を堤防建設に活用するなど、人々が積極的に自然環境へ働きかけてきた。水害から暮らしを守るために、100年以上の間、堤防や水門を築き、排水機場を整備し、利根川の底をさらって川を深くする工事を続けてきた。現代でも、様々な水防整備や防災訓練を行っている。稲作においても、堤防で囲まれた土地の水路を埋め立てて土地改良を行い、大型機械が使えるようにし、水門や排水機を整備して水田の水の高さを調整できるようにしたことで、安定した生産が可能になった。また、江戸時代からの水路活用による水運が盛んだった佐原は、かつての産業や文化などが感じられる景観が残されており、近年は水郷の佐原の観光資源として有効活用されている。

本小単元では、昔から佐原に暮らし続けるAさんやBさんのよりよい街にしたいという願いと営みを教材化し、佐原の人々は、自然に働きかけ、より暮らしやすい土地につくり変えるとともに、豊かな水を生かす「川と共に生きる水郷の里」として、低地の特色ある暮らしを営んでいることを理解できるようにする。



6 小単元の構想

学習経験	<p>4年生の東京都の特色ある地域では、自然環境や産業の歴史的背景に着目して、小笠原について調べている。また、前小単元「国土の地形と気候の特色」では、地形や気候に着目して、日本の自然環境の特色について調べている。また、これまで思考ツール例示し、選択して調べたことをまとめてきた。本小単元では、これまでも養ってきた地形などの自然条件や産業・生活の変化に着目して、主体的に問いを追究できるようにしたい。そして、思考ツール（Yチャート）を使うことで、人々の営みや働きについて調べたことを関連付け、自然環境に適応した生活が営まれている地域の特徴を考えることができるようにしたいと考えた。</p>
------	---

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	見方・考え方を働 かせる資料・活動	子供が獲得できるよ うにしたい知識
つかむ	<p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt; ・佐原はどこにあるのだろう。 ・佐原はどのような場所なのだろう。 ・佐原の人々は、どのように暮らしているのだろう。</p>	← <b>地形などの自然条件</b> に着目して →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防に立つ先生の写真</li> <li>・関東平野の地形図（地図帳）</li> <li>・香取市佐原北部の航空写真</li> <li>・Google ストリートビュー</li> <li>・防災資料館の方の話</li> </ul>	<p>千葉県香取市佐原北部は、利根川を中心にいくつもの河川にはさまれた水の豊かな場所である。川の水面より低い土地では、昔から水害が頻繁に発生する中でも、低地ならではの 방법으로稲作がさかんに行われてきた。</p>
学習問題	<b>佐原のような低い土地では、どのような暮らしの特徴があるのだろう。</b>			
しらべる	<p>&lt;しらべる問い&gt; 水害が起こりやすい低地の佐原で、稲作はどのように続けてきたのだろう。</p> <p>&lt;しらべる問い&gt; 低地の佐原でくらす人々は、どのように水害からくらしを守ってきたのだろう。</p> <p>&lt;しらべる問い&gt; 佐原の人々は、稲作のほかに、豊かな水を何に生かしているのだろう。</p>	← <b>生活や産業の変化</b> に着目して  ← <b>地形などの自然条件</b> に着目して ←	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地改良前と後の航空写真</li> <li>・八筋川排水機場</li> <li>・洪水時の写真</li> <li>・香取市治水年表</li> <li>・地域の方の話</li> <li>・水塚</li> <li>・水の郷さわらの防災展示</li> <li>・水防演習の様子</li> <li>・地域の方の話（動画）</li> <li>・水生植物園</li> <li>・舟下り、釣り</li> <li>・佐原地区の行事</li> </ul>	<p>佐原の人々は、堤防などを築いて洪水を防ぎ、土地改良をして安定して稲作ができる土地につくり変えてきた。</p> <p>佐原の人々は、協力して水害からくらしを守ってきた。水害の心配は少なくなってきたが今も水防演習を行い、水害の対策している。</p> <p>佐原の人々は、豊かな水や河川の自然などを利用した観光業を行い、水と共にくらす街づくりをすすめている。</p>
まとめる	<p>&lt;特色や意味を考える問い&gt; 調べたことで共通して言えることは何だろう。</p> <p>&lt;特色や意味を考える問い&gt; 佐原の人々のくらしや産業は、地形とどのような関わりがあるのだろう。</p>	調べた事象を <b>比較し、自然条件と産業や生活を関連付けて考え</b> →	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Yチャートに調べたことを整理して共通点を考え、自然と産業や生活のつながりを話し合う学習活動</li> </ul>	<p>佐原では、人々が自然条件を克服、適応、利活用して生活を豊かにしてきた。佐原のように、自然環境に働きかけてよりよい暮らしをつくっていくことは大切なことだと思った。</p>

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

- 本小単元では、第1時の導入で、「堤防に立つ先生の写真」を扱う。地形などの自然条件における特色をつかむために、屋根よりも高い位置に道があることや大きな堤防によって囲まれている土地の様子について写真資料から関心を高め、地図帳を用いて位置関係を捉えながら、身近な人物を通して社会的事象と出会うことで、調べる意欲を生み出していく。
- 学習問題の設定場面において、自分たちが住む地域との地形の違いをつかみ、そこに住む人々の営みや働きへの関心を高める。ICTを活用し、実際の低地の風景を見ながら、そこに住む人々がどのように自然条件に適応して暮らしてきたのかを想起することで、低地の暮らしの特徴について問題意識を高めることができるようにする。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

- 地形などの自然条件に着目できるように、香取市佐原北部の航空写真や地形図、ハザードマップなどの資料を用いる。それらの資料を自分たちの住む四谷地域と比較しながら調べる活動を行うことで、香取市の佐原北部の地形の特徴に気付くことができるようにする。
- 産業や生活の変化に着目できるように、土地改良の前と後の写真、治水の年表等を用いる。変化に着目して調べることで、人々が地形などの自然条件を背景に起こる水害を克服してきた姿やその結果、現在の産業や生活が成り立ってきたことを捉えることができるようにする。
- 調べたことをYチャートにまとめ、稲作、水害対策、観光の取組を比較して共通点を考えることを通して、低地の自然環境と生活との関連を考えることができるようにする。昔から佐原に暮らし続ける香取市防災資料館の館長 Y さんの話の内容について考えたことを伝え合うことで、長い時間をかけて、地形などの自然条件に適応し、克服し、活用して産業や生活を営んできたことについて共感的に考えることができるようにする。



### (3) 子供の学びを確かにする評価

- 1時間ごとに調べたことやまとめたことをYチャートに書き込み、まとめる段階で考えたことを記述する。その過程で、佐原市の様子を一人一人がどのように捉えていったのか見取って。Yチャートの作成においては、子どもたちがグループで取り組んだり、1時間ごとのまとめを活用したりして、低い土地の暮らしにおける人々の営みや働きを総合して捉えることができるようにする。
- 本小単元では、タブレット端末内のソフトを用いて、調べる段階で、学習計画について振り返る時間を設定する。自分たちの学習の進捗状況を捉え、調べ足りないことや新たな問いについて追究する必要はないかなど、学習の見直しを図る。
- 「学び方カード」を活用して、つかむ段階、調べる段階、まとめる段階ごとに学習の進め方を振り返って次の段階での追究の見通しをもてるようにする。また、小単元終了時に小単元全体の振り返りを行い、学習を通して考えが深まった自分や、自分ができるようになったことに気づき、積み重なってきた学びを次の単元での学習に生かしていこうとする態度を養っていく。

### (4) 本時の学習の主張

- 本時では、導入で地形に着目できるように佐原北部の昔の航空写真を用いる。その際、豊かな水との関わりから問いを見出し、今日までの治水の様子と稲作の変化に着目して調べることができるように資料提示を工夫する。
- 本学級では、「発言 SDGp」と題した発言ルールを学級開きで設定して継続的に取り組んでいる。挙手に頼らず、子どもたちが決まったルールをもとに自分たちで話し合いや意見交換ができるようすることで、子どもたちの対話を促し、情報交換や共有が学級全体で実現できるようにしていく。

8 小単元の指導計画（全5時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	香取市の地形や人々の様子から、学習問題を設定し、予想から学習計画を立てる。①	<p>○「堤防に立つ先生の写真」と航空写真から、そこが日本のどこかの場所当てクイズを行う。</p> <p>◆この場所はどこにあるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家が低い位置にあるから、低い土地の場所だ。</li> <li>・川や湖か海のような水が近くにある地域だ。</li> </ul> <p>○クイズの場所が千葉県香取市の佐原北部の堤防であることを知り、本時の問いを立てる。</p> <p>◆佐原北部はどのような場所なのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○四谷地域と佐原北部の写真などの資料を比較して、佐原北部の地形の様子を調べる。</li> <li>・四谷とは違って建物が低い場所にある。</li> <li>・海拔が低くて、水害が起きやすい。</li> <li>○GoogleMap のストリートビューを使い、佐原にある小学校の周りの様子を調べる。</li> <li>・広く平らな土地に田んぼや学校がある。</li> <li>・米づくりが盛んな地域だ。</li> <li>○防災資料館の方の話を中心に、本時の問いをまとめ、これからの学習で調べたいことや疑問に思ったことを出し合い、学習問題を考える。</li> <li>・低い土地で苦労や工夫などはないのだろうか。</li> <li>・昔はどうだったかな。・最近はどうな様子か。</li> </ul>	<p>◎資料 【評価】</p> <p>□教師の手立て</p> <p>◎堤防に立つ先生の写真</p> <p>◎香取市佐原北部の航空写真</p> <p>◎地図帳（関東地域）</p> <p>□写っている土地の様子から、どの都道府県であるかを予想できるようにする。</p> <p>◎四谷地域の写真</p> <p>◎新宿区と香取市のハザードマップ</p> <p>◎GoogleMap ストリートビューの佐原北部</p> <p>◎防災資料館館長Y氏の話</p> <p>【思考①】ノート記述などから「地形などの自然条件に着目して、問いを見だし、表現しているか」を評価する。</p>
<p>学習問題：佐原のような低い土地では、どのような暮らしの特徴があるのだろう。</p>			
調べる	香取市佐原北部に住む人々は、昔から低地の豊かな水を生かし、低地特有の水害を克服する取組を続けて稲作の盛んな地域にしてきたことを理解する。②（本時）	<p>○土地改良前の香取市佐原北部の航空写真や洪水時の写真から、本時の問いを設定する。</p> <p>◆水害が起こりやすい低地の佐原で、稲作はどのように続けてきたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○過去の稲作から変化してきたことを予想する。</li> <li>・昔は田んぼの中に舟がある。</li> <li>・現在は機械があるんじゃないか。</li> <li>○各種資料をもとに、佐原北部の稲作の変化や治水工事の取組やその働きについて調べる。</li> <li>・水田を整備して、作業をしやすくした。</li> <li>・現在は排水機場ができて水はけがよくなった。</li> <li>・大型の機械を使い豊かな水を管理している。</li> <li>○防災資料館の方の話から、佐原北部ではどのように稲作を続けてきたのかを話し合う。</li> <li>・洪水で稲が無駄にならないように土地改良をして米づくりを続けてきた。</li> <li>・香取市では豊かな水を稲作に利用している。</li> <li>●問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</li> </ul>	<p>◎土地改良前の航空写真とその水路</p> <p>◎洪水時の田んぼの写真</p> <p>◎香取市の水田の様子</p> <p>□地形と稲作の関係について問いを見出すことができるようにする。</p> <p>◎土地改良後の航空写真</p> <p>◎香取市の治水年表</p> <p>◎八筋川排水機場</p> <p>◎防災資料館の方の話</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料などで調べて、香取市では、自然条件を生かしたり、克服したりしていることについて理解しているか」を評価する。</p>

	<p>香取市佐原北部に住む人々が水害から稲作やくらしを守るために様々な取組を続け、地形などの自然条件に適応してきたことを理解する。③</p>	<p>◆低地の佐原でくらし人々は、どのように水害からくらしを守ってきたのだろう。</p> <p>○予想を話し合い、調べる見直しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害からくらしを守るため、協力して堤防を築いたのではないか。</li> <li>・建物など、洪水に対応した造りになっているのではないか。</li> </ul> <p>○各種資料から、佐原市の人々の菅井に備える取組について調べ、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防を造って、水害に備えている。</li> <li>・少しでも高い土地に家を建てたり、水塚を建てたりしている。</li> <li>・市と住民が協力して水防演習を行っている。</li> <li>・堤防を作り川底の泥をさらい水深を深くした。</li> </ul> <p>●問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</p> <p>●学習計画の進捗状況を振り返り、学習計画を見直したことを「学び方カード」に記述する。</p>	<p>◎水の郷さわら防災展示</p> <p>◎水防演習の様子</p> <p>◎地域の方の話（動画）</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料で調べ、佐原の人々は様々な水害対策をしたり、日常的に水害への意識をもって生活したりしていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】「学び方カード」の記述から「学習計画を振り返り、学習の進捗を見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか」を評価する。</p>
	<p>香取市佐原北部の人々が、観光業などに豊かな水を生かして、低地の自然条件を活用して街をよりよくしようとしていることを理解する。④</p>	<p>○学習計画をもとに、本時の問いを確認する。</p> <p>◆佐原の人々は、稲作のほかに、豊かな水を何に生かしているのだろう。</p> <p>○資料から香取市の観光業の取組を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光船を使って、観光客の人が楽しめるようにしている。</li> <li>・豊かな水を生かしたお祭りなどを行っている。</li> </ul> <p>○香取市の観光業の特色について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな水や河川敷の自然などを利用した観光業を行っている。</li> </ul> <p>●問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</p>	<p>◎水生植物園</p> <p>◎舟下り、釣り</p> <p>◎佐原地区の行事</p> <p>□マイナス影響のある川の水を観光に生かす取組を紹介する。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料で調べ、佐原では、豊かな水を観光業に生かしていることについて理解しているか」を評価する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>学習問題について調べてYチャートにまとめたことを基に、低地の自然条件と人々の生活や産業との関連について考え、人々はその土地の自然条件に適応した生活を営んでいることを理解する。⑤</p>	<p>◆調べたことで共通して言えることは何だろう。</p> <p>●Yチャートから共通していること見つけ合い、学習問題の結論（特徴）について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水害の対策が行われていた。</li> <li>・土地改良をして、水を使いやすくしていた。</li> <li>・水に関連するお祭りを行っていた。</li> <li>・観光業と農業は豊かな水を生かしている。</li> <li>・低い土地に合った生活をしている。</li> </ul> <p>◆佐原の人々のくらしや産業は、地形とどのような関わりがあるのだろう。</p> <p>●考えたことをノートにまとめる。</p> <div data-bbox="467 1641 1106 1921" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>佐原の人々は、低地の自然環境に働きかけてくらしやすい土地に変えたり、低地の自然環境に合った産業やくらしを工夫して行ったりしてきた。さらに、水の郷として低地のくらしを観光資源に変えようとしている。私は、日本にはその土地その土地にあったくらしがあり、人が長い時間と努力を続ければ自然環境をよりよく変えることができるのだと思いました。</p> </div> <p>●単元を通しての学び方について振り返り、学習内容や学習方法などで次の学びに生かせると思うことなどを学び方カードに記述する。</p>	<p>◎Yチャート</p> <p>□既習の学習を比較し、自然条件から見て特色ある地域の暮らしについて記述できるようにする。</p> <p>【思判表②】Yチャートやノートのまとめの記述から「低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】Yチャートやノートのまとめの文章の内容から「佐原に住む人々は、自然環境に適応したり生かしたりしながら川と共にくらしをつくってきたことを理解しているか」を評価する。</p>

9 本時の学習（2/5時）

指導者 杉本 季穂

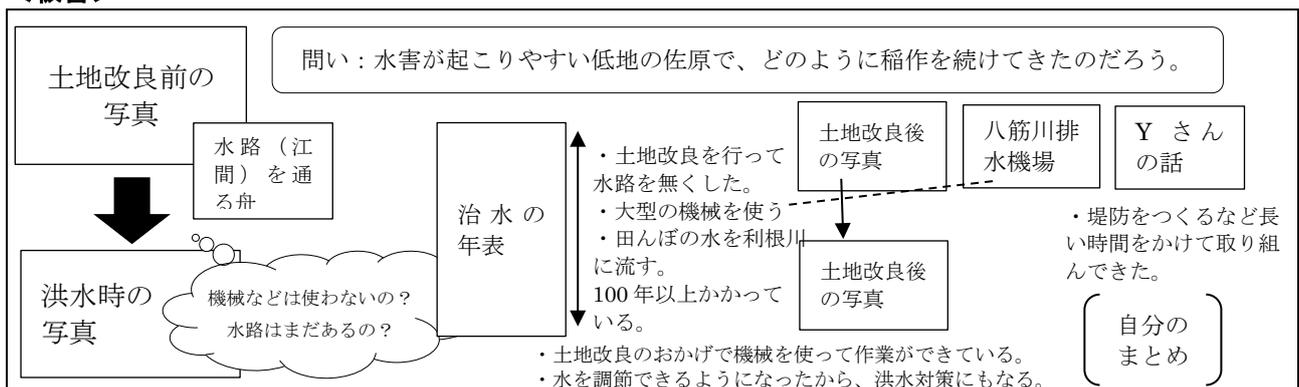
(1) 本時のねらい

香取市佐原北部に住む人々は、昔から低地の豊かな水を生かし、低地特有の水害を克服する取組を続けて稲作の盛んな地域にしてきたことを理解する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価活動 ・子供の予想される反応	◎資料 【評価】 □教師の手立て
つかむ	<p>○土地改良前の稲作の様子を知り、本時の問いを設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の田んぼは川の水が網の目のように広がっている。</li> <li>・この中で稲刈りなどの作業をやるのは大変そう。</li> <li>・洪水になると被害がひどい。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>水害が起こりやすい低地の佐原で、稲作はどのように続けてきたのだろう。</p> </div> <p>○現在の稲作について変化していそうなことを予想する。</p>	<p>◎土地改良前の航空写真とその水路</p> <p>◎水路（江間）を通る舟</p> <p>◎洪水時の田んぼの写真</p>
じぶんタイム	<p>○各種資料をもとに、佐原北部の稲作の変化について調べる。</p> <p>【自分タイム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・堤防をつくったり、川底をさらったりして川を深くしている。</li> <li>・土地改良を行って、低い土地や水路を埋めて無くした。</li> <li>・水田を大きくして用水を整備して、作業をしやすくした。</li> <li>・大型ポンプを使って田んぼの水が増えると利根川に流している。</li> </ul>	<p>◎土地改良後の航空写真</p> <p>◎香取市の治水年表</p> <p>◎八筋川排水機場</p> <p>□治水の年表を中心に治水と稲作の考えることができるようにする。</p>
みんなタイム	<p>○調べたことを発表し合い、治水工事の取組やその働きについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は、排水機場ができて水はけがよくなった。</li> <li>・土地改良や排水機場が町中の洪水も防いでいる。</li> <li>・土地改良のおかげで機械を使って作業ができています。</li> <li>・水を調節できるようになったから、洪水対策にもなる。</li> </ul> <p>○防災資料館の方の話から、佐原北部ではどのように稲作を続けてきたのかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土地の様子と稲作の仕方は、つながっている。</li> <li>・佐原に住む人々は、川の豊かな水を農業に生かすために、堤防や排水機場などをつくって土地をつくりかえてきた。</li> <li>・Yさんは、あきらめずに川の水とずっとつきあってきたんだ。</li> <li>・苦労があっても時間をかけて取り組んできたところがすごい。</li> </ul>	<p>□発言ルール「SDGp」を用いて意見が共有できるようにする。</p> <p>□防災資料館の方の話から治水工事が稲作へ与えた影響について考えられるようにする。</p> <p>◎防災資料館の方の話</p> <p>□人の話から治水への願いに共感させる。</p> <p>□治水の取組と稲作の変化をつなげて板書する。</p>
ふりかえりタイム	<p>●問いについて調べ考えたことをノートに記述する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>香取市の人々は、流れる川の水を利用して稲を育てるなど、豊かな水を農業に生かす工夫をしている。また土地改良を行ったり、排水機場を整備したりすることで、自然に負けないよう工夫して稲作を続けてきた。</p> </div>	<p>【知技①】 発言やノートなどの記述から「必要な情報を集め、読み取り、佐原北部では、自然条件を生かしたり、克服したりして稲作に取り組んできたことについて理解しているか」を評価する。</p>

<板書>



10 学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>◆佐原はどのような場所なのだろう。</p> <p>○防災資料館の方の話を基に、本時の問いをまとめ、これからの学習で調べたいことや疑問に思ったことを出し合い、学習問題を考える。</p> <p>【思考①】ノート記述などから「地形などの自然条件に着目して、問いを見いだし、表現しているか」を評価する。</p> <p>○つかむ段階の学習を振り返り、「学び方カード」に記入する。</p> <p>【態度①】学び方カードの記述などから「香取市の様子とそこに住む人々について予想や学習計画を立て、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐原北部にある堤防のことを知りたい。お米について、種類とか量とかつくり方について知りたい。</li> <li>・防災資料館のことを調べてみたいです。行ってみたいなど思ったからです。今日の学習で佐原北部について、いろいろなことを調べたいと思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害が起きた時の対策は、どんなことをやっているのか。自然災害が起きた時の避難場所はどこなんだろうと思いました。</li> <li>・千葉県の佐原北部は海拔3mなので、水害が起きた場合の取組は何をしているのかを調べてみたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐原北部の地形に着目して、産業や人々の生活などに興味をもつことができた。四谷地域との比較を通して、高低差や堤防の役目などに気付き、問いを見い出すことができた。</li> </ul>
2時	<p>◆水害が起こりやすい低地の佐原で、稲作はどのように続けてきたのだろう。</p> <p>○各種資料をもとに、佐原北部の稲作の変化や治水工事の取組やその働きについて調べる。</p> <p>○問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料などで調べて、香取市では、自然条件を生かしたり、克服したりしていることについて理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水害がたくさん起きたから堤防をつくった→水害がへって、米のしゅうかくが安定する→米のしゅうかくが増える。関東一の米どころになる。</li> <li>・川を広げてあまった土で土地のかさ上げや水路の埋め立てをする（土地のかさ上げで被害が少なくなる）→整備がすすんで→2022年ごろには、大雨がふっても大きな被害にあわない。</li> <li>・佐原北部では、米づくりをするために堤防をつくったり、ポンプ場をつくったりした。米づくりだけじゃなくて、家なども安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利根川沿いで堤防の工事が行われる→ポンプ場完成→水害が減る→米の収穫が安定。</li> <li>・川はばを広げ、川を深くする工事が計画される→余る土→利用して、土地かさ上げ、水路の埋め立て。</li> <li>・佐原北部では、水害をなるべく防ぐために、<u>ポンプ場をつくったり、土地をかさ上げし、川を深くしたりなどして、今まで米づくりを続けられたんだ</u>と思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年表を用いて、耕地改良や農業設備の変化を捉えることで、時間的な経過に着目して、自然条件を生かして米づくりを進めてきたことを理解できた。</li> <li>・年表による治水工事の変遷と地域で暮らす人の話を関連付けることで、自然条件を生かしたり、乗り越えたりして低地の環境を利用して暮らす人々の生活について理解できた。</li> </ul>

		<p>心できる。<u>水を生かして、さまざまな工夫とみんなの協力がある</u> と思った。</p>		
3時	<p>◆低地の佐原でくらす人々は、どのように水害からくらしを守ってきたのだろう。</p> <p>○各種資料から、佐原市の人々の水害に備える取組について調べ、話し合う。</p> <p>○問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</p> <p>○学習計画の進捗状況を振り返り、学習計画を見直したことを「学び方カード」に記述する。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料で調べ、佐原の人々は様々な水害対策をしたり、日常的に水害への意識をもって生活したりしていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】「学び方カード」の記述から「学習計画を振り返り、学習の進捗を見直したりして、学習問題を追究・解決しようとしているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさんの方が訓練に参加。→土のうを積まなきゃ、洪水が堤防を越えるのかも。→土のうを積むことを <u>みんなで協力して、とても大切なこと。</u></li> <li>・佐原北部では、川に堤防をつけたり、もり土で家の高さをあげたり、水防訓練を行ったり、<u>いろいろな水害対策を国、県、市、住民などが協力して行っている。</u></li> <li>・佐原北部の魅力について、もっと知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家をもり土して高くしている。川が氾濫したときに備え、高くもった土の上に避難するための小屋をつくった。</li> <li>・杭ごしらえ、土のうづくり、竹とげをして集中豪雨の準備をする。</li> <li>・佐原北部では、<u>水防演習をやったり、土を高くもって、その上に小屋を建てて避難場所を確保したりなどして、洪水が起きても大丈夫なように水害対策が行われてきた。</u></li> <li>・今回は調べられたことが多くなったし、発表もできてよかった。佐原北部の観光のことなど、詳しく調べられないことがあったので、これからもっと早く調べることができるようにしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人々の営みが見える水防訓練やもり土低地に暮らす人々が自然条件に対応しながら、生活していることを理解することができた。</li> <li>・振り返りの場面を設定することで、水を生かした産業やイベントなどさらに調べるべきことを見直したり、自分たちの学びについて振り返ったりすることができた。</li> </ul>
4時	<p>◆佐原の人々は、稲作のほかに、豊かな水を何に生かしているのだろう。</p> <p>○資料から香取市の観光業の取組を調べる。</p> <p>○問いについて調べ分かったことをノートにまとめる。</p> <p>【知技①】発言やノートなどの記述から「資料で調べ、佐原では、豊かな水を観光業に生かしていることについて理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川で釣りや舟で川を通る。→観光客もたくさん来る。</li> <li>・イベントが3・5・6・7・8・9・10月にある。</li> <li>・道の駅ではなく、川の駅があるくらい。</li> <li>・佐原北部は、川を生かしてお米づくりや舟下りや舟で運ぶ仕事などをしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の駅には、香取産の野菜や米を使った定直がある。</li> <li>・ボートで遊べる。</li> <li>・佐原北部は、<u>川や水を生かして川で釣りをしたり、水生植物園があったりして、観光地やイベントができるのでYさんは佐原北部が好きなのではないか</u> と思いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光業の具体的な取組について、資料をもとに調べることで、低地を流れる川やその水を生かして観光や地域を盛り上げる活動をしていることが理解できた。</li> <li>・人物の営みを教材化してきたことで、その人物の思いについて考えることができた。</li> </ul>

<p>5時</p>	<p>◆調べたことで共通して言えることは何だろう。 ◆佐原の人々のくらしや産業は、地形とどのような関わりがあるのだろう。</p> <p>○Yチャートから共通していることを見つけ合い、学習問題の結論(特徴)について話し合う。</p> <p>○考えたことをノートにまとめる。</p> <p>【思判表②】Yチャートやノートのまとめの記述から「低い土地の自然条件と人々の生活や産業を関連付けて考え、適切に表現しているか」を評価する。</p> <p>【知技②】Yチャートやノートのまとめの文章の内容から「佐原に住む人々は、自然環境に適応したり生かしたりしながら川と共にくらしをつくってきたことを理解しているか」を評価する。</p>	<p>・佐原北部は、<u>水害対策、米づくり、川を生かしたこと</u>などを行っている。例えば、水害対策では、水防訓練などを協力して行っている。米づくりは安心して育てられるように堤防やポンプ場を作ったりしている。</p>	<p>・佐原北部は、海拔3mだから洪水が起きやすいので、水害の対策をしている。例えば、<u>ポンプ場を作ったり、土を高くもり、その上に小屋を建てて避難場所にした</u>りなどしている。<u>しかし、川を生かしたこともやっている。</u>例えば川で釣りをしたり、水生植物園を開いたりしている。</p> <p>・水害が多く起こる低い土地のくらしを学習したので、逆に高い土地などは何が問題でどんな対策をしているか調べてみたいです。</p>	<p>・思考ツール(Yチャート)を用いることで、調べることを整理し、低地における生活の具体的な取組をまとめることができた。またそれぞれの取組における共通点として、「人々の協力」や「自然条件を生かすこと」などについて理解できた。</p>
-----------	--	--	--	---

### 考察

本小単元では、「佐原の人々は、低地の自然条件を克服、適応、利活用して生活を豊かにしてきた。佐原の人々のように、自然環境に働きかけて、よりよいくらしをつくっていくことは大切なことである」と考えることができる子供を目指す子供像としている。

A児は第2時や第3時で、「水を生かして、さまざまな工夫とみんなの協力があると思った。」や「佐原北部では、川に堤防をつけたり、もり土で家の高さをあげたり、水防訓練を行ったり、いろいろな水害対策を国、県、市、住民などが協力して行っている。」などのように記述しており、低地に暮らす人々の工夫や努力、協力について理解していると考えられる。

B児は第4時で「佐原北部は、川や水を生かして川で釣りをしたり、水生植物園があつたりして、観光地やイベントができるのでYさんは佐原北部が好きなのではないかと思いました。」と記述している。この記述より、人物の営みを教材化し、その人物の暮らしや生活に関する言葉をもとに、7思いや願いを考え、自然環境に働きかけてよりよいくらしをつくっていくことの大切さを理解していると考えられる。また第5時の振り返りでは、「水害が多く起こる低い土地のくらしを学習したので、逆に高い土地などは何が問題でどんな対策をしているか調べてみたいです。」と記述しており単元の学習を「学び方カード」で振り返ることで、地形などの国土の特色に着目しながら、人々の暮らしや働きに関心をもつことができた。

・目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントが以下の2点である。

- ① 単元のねらいを達成するために教材開発を行い、自然条件を生かす具体的な取組を教材で提示したりすることで地形などの自然条件に着目しながら調べることにつながった。
- ② 調べたことを思考ツールで整理することにより、低地に暮らす人々の取組について共通点を見出し、人々の工夫や努力、自然条件を生かして協力する姿を考える際の手立てとなった。



## 第5学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「くらしと産業を変える情報通信技術」 (8時間)

### 2 小単元の目標

我が国の産業と情報の関わりについて、情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、聞き取り調査をしたり映像などの資料で調べたりしてまとめ、産業における情報活用の現状を捉え、情報を活用して発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現することを通して、大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基にして、産業と国民の立場から多角的に情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①情報の種類、情報の活用の仕方について聞き取り調査をしたり、映像などの各種資料で調べたりして、必要な情報を集め、読みとり、産業における情報活用の現状について理解している。 ②調べたことを図表などにまとめ、大量の情報や情報通信技術の活用は、様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解している。	①情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、問いを見だし、産業における情報活用の現状について考え、表現している。 ②情報化の進展に伴う産業の変化と国民生活の向上に関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活の向上や社会的な課題の解決に果たす役割について多角的に考え、表現している。	①我が国の産業と情報の関わりについて、予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。 ②学習したことを基に、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとしている。

### 4 目指す子供像

本小単元では、「販売業をはじめとする様々な産業で大量の情報や情報通信機器を活用して産業を発展させ人々の生活をよりよくしていることや情報の活用が社会的な課題の解決につながっていることを理解し、情報化による社会の進展に希望をもつ子供」の育成を目指す。

### 5 教材について

本小単元では販売業を事例として取り上げ、情報を活用して発展しているTスーパーマーケットを中心教材とする。Tスーパーマーケットでは、AI カメラやスマートショッピングカートなど、最先端の情報通信機器を導入し、顧客のニーズの把握や消費者の購買傾向の分析を進めている。そうした情報や情報機器を活用して、人口減少に伴う労働力不足を補うための省人化を図ったり、少子高齢化に伴う過疎地域への買い物支援のために少ない従業員で店舗運営を可能にしたりしている。情報活用により、省人化や効率化を実現した店舗では、商品をより安価に提供したり、顧客のニーズに合わせた販売形態を実施したりして、国民の消費行動に変化や影響を与えている。また、このような取組には、企業の理念や働く人の思いや願いが反映されている。Tスーパーマーケット広報担当のNさんの言葉には「販売を科学する」「ムリ・ムダ・ムラを省く」といったものがある。こうした言葉からは、販売業における情報活用を推進し、これからの社会に役立つ産業の在り方を目指そうとする思いや願いが捉えられる。Tスーパーマーケットの取組は、情報と情報機器の活用によって、省人化や効率化を図ることで、これからの社会的な課題の解決につながっている。

この販売業の事例学習に加えて、他産業における情報活用の取組も選択して学習していく。各分野における情報化の進展に伴う産業の発展と国民生活の向上が、社会的な課題の解決につながることを捉え、情報化による社会の進展に希望をもとうとする態度を養うことができると考える。



6 小単元の構想

<b>学習経験</b>	<p>これからの食料生産では、人々の協力関係や努力や工夫に着目して調べたり、工業単位でも自動車の生産で、優れた技術や人々の工夫や努力に着目して学習したりするなど、これまでの産業学習では、人々の営みを教材化し、産業に従事する人々の工夫や努力を捉え、国民生活との関連を考える学習を進めてきた。本小単元では、情報の種類や情報の活用の仕方に着目して調べ、産業の発展と国民生活の向上に関連付けてその役割を考え、大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解し、人々の思いや願いに着目して情報を活用した産業の未来に希望を持てるようにする。</p>
-------------	--

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	見方・考え方を働かせる 資料や学習活動	子供が獲得できるようにしたい知識
つかむ	<p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt; ・わたしたちは、どんな情報をどのように使っているのだろう。</p> <p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt; ・Tスーパーマーケットのレジは、今までのレジとどこなところが違うのだろう。</p>	← 情報機器や販売の様子の <b>変化</b> に着目して →	<ul style="list-style-type: none"> <li>昔と今のレジと改札</li> <li>「電子マネーでの支払いの回数の変化のグラフ」</li> <li>Tスーパーマーケットで会計している様子の動画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちは生活の中で情報を活用し、便利に暮らしている。特に物を売り買いする販売の仕事で電子マネーの支払いなど情報化が進んでいる。</li> </ul>
学習問題	Tスーパーマーケットなどの情報活用は、販売業やわたしたちの生活をどのように変えていくのだろう。			
しらべる	<p>&lt;しらべる問い&gt; ・Tスーパーマーケットのレジカートにはどのような機能やよさがあるのだろう。</p> <p>&lt;しらべる問い&gt; ・Tスーパーマーケットのカメラにはどのような機能やよさがあるのだろう。</p> <p>&lt;しらべる問い&gt; ・本社や他の店舗とどのようにつながっているのだろう。</p>	← 情報の <b>種類</b> に着目して →  ← 情報の <b>活用の仕方</b> に着目して →	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来のショッピングカートとスマートショッピングカートの写真と機能についての文章資料</li> <li>広報 N さんのスマートショッピングカートのよさの話</li> <li>AI カメラの写真</li> <li>自動発注の仕組み</li> <li>広報 T さんの AI リテールカメラの良さの話</li> <li>トライアルの店舗の分布図</li> <li>スマートストア図 (情報の流れ図)</li> <li>配送トラックの写真</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tスーパーマーケットが顧客情報などを収集、分析し消費者に情報を伝えることで便利に買い物できるようにしている。</li> <li>店頭在庫情報などの情報を収集、分析し、陳列や発注に生かしている。</li> <li>店舗以外の場所と情報のやり取りをして売り場の改善や消費者のニーズ把握を進めている。</li> </ul>
まとめる	<p>&lt;特色や意味を考える問い&gt; ・Tスーパーマーケットの情報活用は、販売業やわたしたちの生活とどのようなつながりがあるのだろう。</p>	← 情報化の進展に伴う産業の変化と国民生活の向上を <b>関連付けて</b> 考え →	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報活用のフロー図</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を活用することで消費者のニーズに応え、お店の省人化によりムリ・ムダ・ムラを省いて暮らしを豊かにしている。</li> </ul>
つなぐ	<p>&lt;発展を考える問い&gt; ・なぜTスーパーマーケットは、医療の分野にも情報を提供しているのだろう。</p> <p>・社会で情報活用が進展することは自分たちの生活をどのように変化させていくのだろう。</p>	← 課題解決に取り組む <b>人々の思いや願い</b> に着目して →	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tスーパーマーケットと K 大学のデータ共有に関する報道記事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの産業で様々な情報や情報通信機器を生かすことで、社会的課題を解決し、国民の生活も向上することができる。</li> </ul>

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

○子供が見通しをもつ

- ・学習問題について調べることを整理して学習計画を問いの形で立てるようにする。学習問題と学習計画を常時掲示し、調べる活動では、毎時間、学習計画を確認して調べていく。その際、学習問題に対する予想を子供一人一人がもつことで、子供が自身の予想を確かめるために必要な資料や調べる内容を選び、追究できるように時間を設定する。

○子供が選んで調べる

- ・「しらべる」段階では子供が一単位時間の問いに必要な文章資料、インタビュー動画、VR映像、店内の動画の中から選択して調べられるようにする。早く調べられた子供は学級のホワイトボードに調べたことをまとめたり、必要に応じて友達と共有したり、インターネットで追加資料を調べたりするなど、個に応じた調べ活動を展開する。



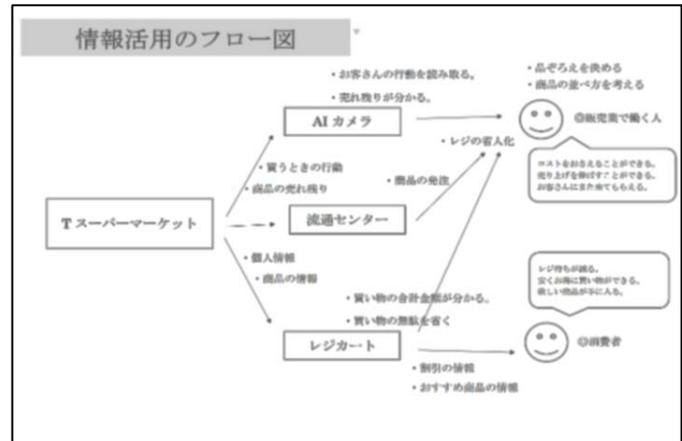
### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

○追究の視点に着目して調べる学習活動の工夫

情報の種類や活用の仕方、事象や人々の相互関係に着目できるように、AI リテールカメラやスマートショッピングカートなどの資料を読み取り調べる学習活動を設定する。Tスーパーマーケット消費者の個人情報、購買履歴や購買行動などの多様な情報は情報通信機器の活用により入手していること、さらには入手した情報を活用して店内のレイアウトを工夫したり、買い物中の消費者にタブレット等を通じて情報を発信することでより便利に買い物をできるようにしたりしていることなどを理解できるようにする。

○関連・総合して意味を考える学習活動の工夫

- ・「まとめる」段階では「Tスーパーマーケットの情報活用は、販売業やわたしたちの生活とどのようにつながりがあるのだろうか。」という問いについて考えることができるように、フロー図にまとめる学習活動を設定する。ここでは、情報通信機器の機能、収集される情報、情報活用の仕方とそれらの良さを関連付けて図式化する。



○産業の発展を考える学習活動の工夫

- ・子供が上記の問いを考えた上で広報室のNさんのインタビュー動画を視聴し、Tスーパーマーケットは日本が抱える働き手不足などの解決に向けて努力をしていることを捉えさせる。さらに、働き手不足に対して情報を活用することで課題を解決しようとしている取り組みを子供が家庭学習で調べる活動を設定する。そして調べてきた取り組みを人々の思いや願いに着目して、比較関連付けることで、社会の課題を解決するには情報活用による産業の発展が欠かせないということを考えられるようにする。

### (3) 子供の学びを確かにする評価

○学び方カードによる振り返りの工夫

- ・学び方カードを活用して、チェック項目を基に、学びを振り返ったり「つかむ」段階「調べる」段階「まとめる」段階「つなぐ」段階ごとに学習の進め方を振り返ったりすることで、次の段階での追究の見通しをもてるようにする。また、小単元終了時に小単元全体の振り返りを行い、学習を通して考えが深まったことや、自分ができるようになったことに気付き、振り返ることを通して自己有用感を高め、積み重なってきた学びを次の小単元の学習や実生活に生かしていこうとする態度を養っていく。

8 小単元の指導計画（全8時間）

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	自分たちの身の回りには多くの情報が様々な生活の場面で使われており、特に販売業では情報通信機器を用いて電子化や効率化が進み、買い物便利になってきていることを理解できるようにする。①	<p>○「暮らしのなかの情報」のイラストを見て、自分たちの生活で、様々な情報が活用されていることをつかむ。</p> <p>◆わたしたちは、どんな情報をどのように使っているのだろう。</p> <p>○生活経験を基にして話し合いをする。</p> <p>○情報通信機器を通して情報を活用するレジ、改札の昔と今の変化について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジでは、クレジットカードなどを使って、お金が無くても買い物ができる。</li> <li>・駅の改札では、スイカなどを使って、運賃の支払いに電子マネーの情報を使っている。</li> </ul> <p>○「電子マネーでの支払いの回数の変化のグラフ」と電子マネーを活用している様子の写真を読み取り、今後どのように自分たちの生活が変化していくのかを予想し、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現金を使わずに、電子マネーでのやり取りが増えていくと思う。</li> <li>・生活も便利になっていくと思う。</li> </ul> <p>●本時の学習から分かったことをノートに記述する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちは生活の中で情報を活用し、便利に暮らしている。特に物を売り買いする販売の仕事で電子マネーの支払いなど情報化が進んでいる。</li> </ul>	<p>◎暮らしのなかの情報</p> <p>□情報、情報通信機器、情報活用という言葉の意味を確認する。</p> <p>◎昔と今のレジの写真</p> <p>◎昔と今の駅改札の写真</p> <p>□電子マネーなどに個人情報登録していることをおさえる。</p> <p>◎電子マネーでの支払いの回数の変化のグラフ</p> <p>◎販売業での電子マネー活用の様子（無人レジ、ネット通販のスマホ決済）の写真</p> <p>【知技①】発言やノートの記述から「自分たちの身の回りには多くの情報が様々な生活の場面で使われており、特に販売業では情報通信機器を用いて電子化や効率化が進んでいることを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>Tスーパーマーケットにおける情報通信機器の変化に着目して、販売業の情報活用について問いを見だし、調べる計画を立てて追究の見通しをもつことができるようにする。② (1組本時)</p>	<p>○Tスーパーマーケットの昔のレジコーナーと今のレジコーナーを比較する。</p> <p>◆Tスーパーマーケットのレジは、今までのレジとどんなところが違うのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジの機械が進化しているから、何か情報を活用できるようになっているのではないか。</li> </ul> <p>○会計をしている様子の動画や利用者の話を基に、自分の考えをノートに書き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を払ったり、レジを打ったりしなくてもいいから、昔と比べて自動でできる機能が増えている。だから並ばなくてすむ。</li> </ul> <p>●Tスーパーマーケットが進めるAIレベルの資料から、Tスーパーマーケットの情報活用についての疑問を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジにはどんな機能が付いているのだろう。</li> <li>・レジ以外にも機械はないのだろうか。</li> <li>・どうやってAIレベルを100%にするのか。</li> <li>・AIレベルが100%のお店ではどんな買い物ができるのだろう。</li> </ul> <p>○疑問を分類し、学習問題を設定する。</p>	<p>◎Tスーパーマーケットの昔と今のレジの写真</p> <p>◎会計の様子の動画</p> <p>◎Tスーパーマーケットを利用する人の話</p> <p>□今のレジの利点について、買い物する消費者の立場で考えることができるようにする。</p> <p>◎AIレベルのグラフ</p> <p>【思判表①】発言やノートの記述から「情報機器や販売の仕事の変化に着目して、問いを見だし、学習計画を立てているか」を評価する。</p> <p>□Tスーパーマーケット以外にも視野を広げて学習問題を設定する。</p>
		<p>○動画を基に、学習問題に対する予想を立てる。</p>	<p>◎Tスーパーマーケット</p>

Tスーパーマーケットなどの情報活用は、販売業やわたしたちの生活をどのように変えていくのだろう。

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラやレジカートなどの機械化を進めてより買い物しやすく、働きやすくしていると思う。</li> <li>・インターネットなどの通信技術を使って本社や他の店舗と協力していると思う。</li> <li>○予想を基に学習計画を立てる。</li> <li>・レジカートにはどのような機能やよさがあるのだろう。</li> <li>・カメラにはどのような機能やよさがあるのだろう。</li> <li>・本社や他の店舗とどのようにつながっているのだろう。</li> <li>●「つかむ」段階の自分の学習を振り返り、学び方カードに記述する。</li> <li>・AI レベルのグラフからどんな機能があるのか、疑問をもつことができた。</li> </ul>	<p>の概要の動画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>□調べる視点を情報活用に絞るために動画を活用する。</li> <li>□調べるべきことを子供の言葉から問いの形にする。</li> </ul> <p>【態度①】発言や学び方カードの記述から「情報活用の仕方や販売業の仕事の変化について、予想や学習計画を立て、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。</p>
しゃべる	<p>Tスーパーマーケットはレジカートを用いて、消費者が買い物しやすしたり店舗レジの効率化を行ったりして情報や情報通信機器を活用していることを理解できるようにする。③ (3組本時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○従来のショッピングカートとスマートショッピングカートと比較し、本時の問いを立て、予想をする。</li> <li>◆Tスーパーマーケットのレジカートにはどのような機能やよさがあるのだろう。</li> <li>○必要な資料を選択して調べ、気付いたことを話し合う。</li> <li>・お客さんについての情報と買ったものの情報を集めて、お客さんに合わせたクーポンなどのお買い得情報を伝えている</li> <li>・お客さんがお得に買い物できる。</li> <li>○なぜスマートショッピングカートを導入しているかということについて考え、話し合う。</li> <li>・お客にもお店にも良い点があるから。</li> <li>○広報室のTさんの話を聞き、スマートショッピングカート導入の効果について考え、話し合う</li> <li>・コストを削減することが大きい。</li> <li>●本時のまとめとしてスマートショッピングカートの機能や良さについてノートに書く。</li> <li>・Tスーパーマーケットでは、スマートショッピングカート、レジなどを使って、お客さんの情報や買った物の情報を集めて活用している。それにより、お客さんにとって便利になったり、少ない人数で店を運営したりしている。お客さんは簡単に買い物をすることができたり、欲しい商品を安く買うことができたりするので便利である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎スマートショッピングカート)の写真と資料</li> <li>◎スマートショッピングカートで買い物する動画</li> <li>◎広報室のNさんのスマートショッピングカートの良さについての話し</li> <li>□具体的な情報とその活用方法を押さえることで、情報活用がもたらす効果を理解できるようにする。</li> <li>□レジの省人化がコスト削減につながっていることを押さえる。</li> <li>【知技①】発言やノートの記述から「必要な資料から読み取って調べ、Tスーパーマーケットのスマートショッピングカートの活用の様子やその効果について理解しているか」を評価する。</li> </ul>
	<p>TスーパーマーケットはAIカメラを用いて、消費者の購買行動を分析し、商品の在庫を管理したり、効果的な発注や陳列変更したりしていることを理解でき</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆TスーパーマーケットのAIカメラにはどのような機能やよさがあるのだろう。</li> <li>○必要な資料を選択して調べ、気付いたことを話し合う。</li> <li>・商品の在庫情報をAIカメラが集め、店員に伝えたり、発注をしたりしているのでいつでも商品が棚に並んでいる状態にできる。</li> <li>・お客さんの店内での行動情報を分析して品ぞろえに反映させている。</li> <li>・商品の売れ行きを店員が調べる手間が省ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎T店舗内の様子のVR教材</li> <li>◎商品管理の仕組みの資料</li> <li>◎AIカメラ</li> <li>◎T店舗内の様子のVR教材</li> <li>◎広報TさんのAIリテールカメラの良さについての話し</li> </ul>

	<p>るようにする。 ④</p>	<p>○情報や情報通信機器を活用することで、スーパーマーケットと消費者には、それぞれどのような良さがあるのかを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お店は売れる商品を知ることができ、売り上げUPにつながり、消費者は、いつでも自分の欲しい商品を買うことができる。</li> <li>●本時のまとめとしてAIリテールカメラの機能や良さについてノートに書く。</li> <li>・Tスーパーマーケットは、リテールカメラを活用してお客さんの行動や商品の在庫などの情報を分析している。これにより、お客さんの欲しい商品をいつでもお店に並べることができ、売り上げアップにつなげることができる。お客さんにとっても使いやすい店になっている。</li> </ul>	<p>□リテール（小売り）など難しい言葉について適宜補足する。</p> <p>【知技①】発言やノート記述から「必要な資料から読み取って調べ、TスーパーマーケットのAIリテールカメラの活用の様子やその効果について理解しているか」を評価する。</p>
	<p>Tスーパーマーケットでは、集めた情報を分析したり、自社以外のメーカーや工場、倉庫などと共有したりして、情報活用していることを理解できるようにする。⑤</p>	<p>◆本社や他の店舗とどのように繋がっているのだろう。</p> <p>○本時の問いについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・売り切れそうな商品はインターネットを通じて工場に自動的に送ってもらうようになっているのではないか。</li> <li>・AIリテールカメラで読み取った消費者の行動を本部が分析して、売り場に役立っている。</li> </ul> <p>○Tスーパーマーケットのスマートストア図や店員さんの話から、情報の収集や蓄積・解析、共有の仕方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗内にある情報通信機器が集めた情報をプラットフォームにためて、外部のメーカーや工場が情報を共有できるようにしている。</li> <li>●Tスーパーマーケットが目指す「売り場の最適化」や「新しい買い物体験」という目的のために、外部のメーカーや工場にはどのようなつながっているのかを考え、ノートに記述する。</li> <li>・工場と連携して仕入れの量を把握したり、調整したりして商品の売り切れを防いで、より良い売り場を目指している。</li> <li>・作業の効率化が進むと、瞬時に自分の欲しい商品情報が見られたり、省人化でコストを抑えたり、商品が安く手に入れたりすることができるようになるなど消費者にとって買い物中も嬉しい経験ができるようにしている。</li> </ul> <p>○「しらべる」段階の自分たちの学習を振り返り、学び方カードに記述する。</p>	<p>◎AIリテールカメラ</p> <p>◎スマートストア図</p> <p>◎Tスーパーマーケットの店員さんの話</p> <p>【知技①】発言やノートの記述から「必要な資料から読み取って調べ、Tスーパーマーケットは情報機器を使って、店舗以外の場所と情報のやり取りをして売り場の改善や消費者のニーズ把握を進めていることを理解しているか」を評価する。</p> <p>◎学び方カード</p>
<p>ま と め る</p>	<p>Tスーパーマーケットで活用されている情報や情報通信機器について整理したフロー図を基に、販売業における情報活用の仕方について考え、表現できるようにする。⑥</p>	<p>◆Tスーパーマーケットの情報活用は、販売業やわたしたちの生活とどのようなつながりがあるのだろう。</p> <p>●Tスーパーマーケットの情報活用について調べたことをフロー図にまとめる。</p> <p>【AIリテールカメラ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人気な商品が多く店内に並ぶようにする。</li> <li>・商品が減った場合には補充するように指示が出るようになっている。</li> </ul> <p>【レジカート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者が必要とするだろう商品はショッピング</li> </ul>	<p>◎情報活用のフロー図</p> <p>【知技②】図表などの記述から「大量の情報や情報通信技術の活用は、販売業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解しているか」について評価する。</p> <p>□「情報通信機器の機能」と「情報活用によ</p>

		<p>カードを通じて知らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジの店員が少なくして済み人件費を削減できる。</li> <li>●フロー図を基にして、学習問題に対する自分の考えを文章でまとめ、表現する。</li> <li>・Tスーパーマーケットは情報を活用することによって、お客さんが欲しいものを欲しいときに買えるようにしたり、便利に買い物をしたりできるようにしている。さらには、これらの情報活用の変化によって、お店も少ない人で営業することができ、ムリ・ムダ・ムラを省くことができ、お店の売り上げを上げることもできる。</li> <li>○「まとめる」段階の自分たちの学習を振り返り、学び方カードに記述する。</li> </ul>	<p>る良さ」が分かるようにフロー図の書き方のモデルを示す。</p> <p>【思判表②】発言やノートの記述から「情報化の進展に伴う産業の変化や発展と国民生活の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現しているか」を評価する。</p> <p>◎学び方カード</p>
つなぐ	<p>省人化や効率化などの情報活用の進展は、産業が維持・発展し、国民の生活がより豊かになったり、社会の課題を解決したりすることを捉え、社会の課題を克服しようとする人々の思いや願いに共感しながら、これからの情報活用と自分たちの生活について考えることができるようにする。⑦⑧</p>	<p>○報道記事からTスーパーマーケットとK大学がデータ分析で協力していることについて読み取る。</p> <p>◆なぜ、Tスーパーマーケットは、医療の分野にも情報を提供しているのだろう。</p> <p>○本時の問いについて予想を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気の人が欲しい物、薬などを病院が分かるようにしているのではないか。</li> <li>○Tスーパーマーケットの広報Nさんのインタビュー動画やAIレベルのグラフを見て、Tスーパーマーケットが情報活用を進める理由について自分の考えをもち、話し合う。</li> <li>・情報化で、無駄を省いて、少子高齢化が進んでも少ない人数で販売の仕事を進めることができるようにしている。</li> <li>・産業で情報活用が進めば暮らしが便利になるだけでなく、少子高齢化などの課題対策になる。</li> <li>○Tスーパーマーケット以外に情報活用によって働き手不足を解消しようとしている人とその取り組み内容について調べてくる。</li> <li>・レストランでは機械が情報を活用して商品を運ぶことで働き手を補っていた。</li> <li>・スマート農業でお年寄りでも楽に作業ができたり、作物の情報を管理して無駄のない生産を目指したりしていた。</li> <li>◆社会で情報活用が進展することは、自分たちの生活をどのように変化させていくのだろう。</li> <li>●社会で情報活用が進展することは、自分たちの生活をどのように変化させていくと思うかをノートに記述し、話し合う。</li> <li>・情報化が進めば、今まで時間や人手が必要だった作業が楽になり、生活で困っていることを解決できたり、暮らしが豊かになったりしていくと思う。</li> <li>・情報活用が進めば世の中の課題が解決できる。</li> <li>●単元を振り返り、学び方カードに記述する。</li> </ul>	<p>◎TスーパーマーケットとK大学のデータ共有に関する報道記事</p> <p>◎広報Nさんのインタビュー動画</p> <p>◎TスーパーマーケットにおけるAIレベルのグラフ</p> <p>□広報Nさんの話から、情報活用による省人化が少子高齢化による人材不足対策になることに気付けるようにする。</p> <p>□一週間の時間を設け、家庭学習で調べてくるようにする。</p> <p>【思判表②】発言やノートの記述などから「情報化の進展に伴う産業の変化や発展と国民生活の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割や社会の課題の解決につながることを考えているか」を評価する。</p> <p>【態度②】ノートや学び方カードの記述などから「学習したことを基に、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとしているか」を評価する。</p>

9 本時の学習 1 (2/8時)

5年1組 主任教諭 香取 桜子

(1) 本時のねらい

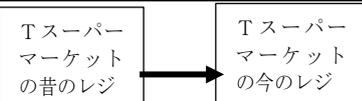
Tスーパーマーケットにおける情報通信機器の変化に着目して、販売業の情報活用について問いを見いだし、調べる計画を立てて追究の見通しをもつことができるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 10分	<p>○Tスーパーマーケットの昔と今のレジコーナーを比較する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジの機械が進化しているから、何か情報を活用できるようになっているのではないか。</li> </ul> <p>Tスーパーマーケットのレジは、今までのレジとどんなところが違うのだろう。</p> <p>○会計をしている様子の動画や利用者の話をもとに、本時の問いについて自分の考えをノートに書き、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を払ったり、レジを打ったりしなくてもいいから、昔と比べて自動でできる機能が増えている。だから並ばなくてすむ。</li> </ul>	<p>◎Tスーパーマーケットの昔と今のレジの写真</p> <p>◎会計の様子の動画</p> <p>◎Tスーパーマーケットを利用する人の話</p> <p>□今のレジの利点について、使用する消費者の立場で考えることができるようにする。</p>
じぶんタイム・みんなのタイム 15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Tスーパーマーケットが進めるAIレベルの資料から、Tスーパーマーケットの情報活用について疑問を話し合う。</li> <li>・レジ以外にも機械はないのだろうか。</li> <li>・AIレベルが100%の世界はどんな世の中になるのだろうか。</li> </ul> <p>○疑問を分類し、学習問題を設定する。</p> <p>学習問題：Tスーパーマーケットなどの情報活用は、販売業やわたしたちの生活をどのように変えていくのだろう。</p> <p>○動画を基に、学習問題に対する予想を立て、ノートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIカメラやレジカートなどの機械化を進めてより買い物しやすく、働きやすく変えていると思う。</li> </ul>	<p>◎AIレベルのグラフ</p> <p>【思判表①】発言やノートの記述から「情報機器や販売の仕事の変化に着目して、問いを見いだし、学習計画を立てているか」を評価する。</p> <p>◎Tスーパーマーケットの概要の動画</p>
みんなのタイム 15分	<p>○予想を基に学習問題を解決するために調べることを話し合い、学習計画を問いの形で立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レジカートにはどのような機能や良さがあるのだろう。</li> <li>・AIカメラにはどのような機能や良さがあるのだろう。</li> <li>・本社や他の店舗とどのようにつながって情報を活用しているのだろう。</li> </ul>	<p>□分類して整理したことから学習問題を解決するために調べるべきことを焦点化する。</p>
ふりかえりタイム 5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「つかむ」段階の学習を振り返り、学び方カードに記入する。</li> <li>・AIレベルのグラフからどんな機能があるのか、疑問をもつことができた。私は、学習計画のレジカートやAIカメラの情報がどこに行くのか気になったので調べたいと思いました。</li> </ul>	<p>【態度①】発言や学び方カードの記述から「情報活用の仕方や販売業の仕事の変化について、予想や学習計画を立て、学習問題を追究し、解決しようとしているか」を評価する。</p>

<板書>

Tスーパーマーケットのレジは、今までのレジとどんなところが違うのだろう。



- ・レジの機械が進化しているから、何か情報を活用できるようになっているのではないか。
- ・お金を払ったり、レジを打ったりしなくてもいいから、昔と比べて自動でできる機能が増えている。

【疑問】

- ・レジ以外にも機械はないのだろうか。
- ・AIレベルが100%の世界はどんな世の中になるのだろうか。

学習問題

Tスーパーマーケットなどの情報活用は、販売業やわたしたちの生活をどのように変えていくのだろう。

【予想】

- ・カメラやレジカートなどの機械化を進めてより買い物しやすく、働きやすく変えていると思う。
- ・インターネットなどの通信技術を使って本社や他の店舗とどのようにつながって情報活用しているのだろう。

学習計画

- ・レジカートにはどのような機能や良さがあるのだろう。
- ・カメラにはどのような機能や良さがあるのだろう。
- ・お店以外とどのような情報をどのようにやり取りして、販売の仕事に役立っているのだろう。

振り返り

9 本時の学習2 (3/8時)

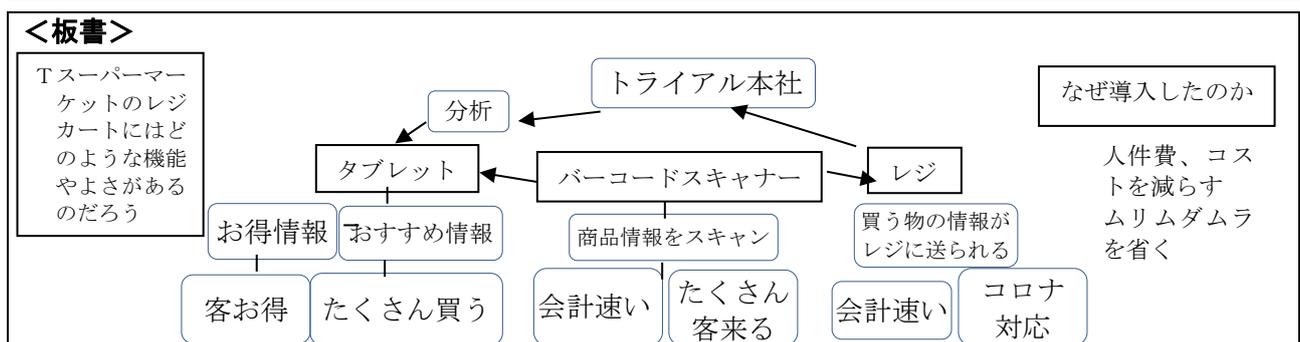
5年3組 主任教諭 坪田 真尚

(1) 本時のねらい

Tスーパーマーケットはレジカートを用いて、消費者が買い物しやすくしたり店舗レジの効率化を行ったりして情報や情報通信機器を活用していることを理解できるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 7分	○従来のショッピングカートとスマートショッピングカートと比較し、本時の問いを立て、予想をする。  Tスーパーマーケットのレジカートにはどのような機能やよさがあるのだろう。  ・タブレット画面で何か調べられるのではないかな。 ・自分でスキャンするのではないかな。 ・下の部分のバーコードから情報を読み取るのではないかな。	◎従来のショッピングカートとスマートショッピングカートの写真と資料
じぶん タイム みんな タイム ー 23分	○必要な資料を選択して調べ、気付いたことを話し合う。 【タブレット】 ・お客さんについての情報と買ったものの情報を集めて、お客さんに合わせたクーポンなどのお買い得情報を伝えている。 ・お客さんがお得に買い物できる。 【バーコードスキャナー】 ・商品の品数や合計金額などの情報をお客さんが自分で読み取ることができる 【バーコードとレジ】 ・買い物情報をレジに送るだけで支払いが終わるのでレジに並ばなくていい。	□自分の調べたい資料から調べられるように選択できるようにする。 ◎タブレット、バーコードスキャナー、バーコードとレジ。 ◎スマートショッピングカートで買い物する動画 □工夫の良さについても考えられるようにする
みんな タイム ー 10分	○なぜスマートショッピングカートを導入しているかということについて考え、話し合う。 ・お客さんが買い物をしやすくし、多くのお客さんに買い物をしてもらって売り上げを伸ばすため。 ○広報室のNさんのインタビュー動画を見て、スマートショッピングカート導入の効果について話し合う。 ・働く人の人数を減らし、コストを削減することが大きい。	◎広報室のNさんの話 □レジの省人化を通してコスト削減をしていることを押さえる。
ふりか えり タイム 5分	●本時の問いについてまとめをノートに書く。 ・Tスーパーマーケットでは、スマートショッピングカート、レジなどを使って、お客さんの情報や買った物の情報を集めて活用している。それにより、お客さんにとって便利になったり、少ない人数で店を運営したりしている。お客さんは簡単に買い物をすることができたり、欲しい商品を安く買うことができたりするので便利である。	【知技①】 発言やノートの記述から「必要な資料から読み取って調べTスーパーマーケットのスマートショッピングカートの活用の様子やその効果について理解しているか」を評価する。



# 令和4年度全小社研東京大会プレ発表会（四谷小学校）補助資料 5年「くらしと産業を変える情報通信技術」

## 1 教材の構造と主な資料



トライアルのVR教材  
トライアルのIT活用  
(リテールAIショッピングカート)

昔と今のレジ、改札の写真  
企業の情報化設備投資額  
電子マネーの支払い回数の変化

情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して

Tスーパーマーケットなどの情報活用は、販売業やわたしたちの生活をどのように変えていくのだろうか。



**情報の種類**

Tスーパーマーケットは

- ・どのような人がいつ、何を買ったのかという購入履歴を収集している
- ・消費者が店内で行った購買行動を分析している
- ・商品の欠品情報をAIを活用して把握している
- ・それぞれの店舗の発注情報を集約している
- ・流通を科学して買い物を楽しめるようにしたい

進化した情報通信機器を使いサービスを向上させているTスーパーマーケット広報のTさんの取組を教材化

発展する産業における情報活用の現状や情報を生かして

**情報の活用の仕方**

情報通信機器や情報を活用して

- ・お客さんに合わせたおすすめの商品の情報をお客さんに送っている。
- ・情報分析を基にして店内のレイアウトを工夫している
- ・AIカメラの活用によって本社と店舗をつなぎ発注や補充の手間を省いている。
- ・スマートショッピングカートを活用することでレジを省人化している

働き手不足など社会的な課題を解決しようとするTスーパーマーケット広報のTさんの取組を教材化



大量の情報や情報通信技術の活用は様々な産業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解する。

スーパーマーケットなどの販売業に限らずその他の産業でも、様々な情報や情報通信機器を生かして、消費者のニーズをつかんだり、作業を効率的にしたりすることで、生産量を伸ばしている。また、情報機器を活用することで、労働力不足を補ったり、無駄を減らしたりするなど、社会的な課題の解決につながるよきや、国民の生活の利便性が向上する面もあるため、未来の日本をよりよくしていくためには欠かせないものだから、もっと有効に活用していきたい。



学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>○「暮らしのなかの情報」のイラストから情報が活用されていることをつかむ。</p> <p>◆わたしたちは、どんな情報をどのように受け取っているのだろう。</p> <p>○各種資料から、自分たちの生活が情報活用によりどのように変化していくと思うか話し合う。</p> <p>【知技①】発言やノートの記事から「自分たちの身の回りには多くの情報が様々な生活の場面で使われており、特に販売業では情報通信機器を用いて電子化や効率化が進んでいることを理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報には、交通情報があって、新聞やテレビから、情報を受け取っている。</li> <li>・昔と比べて、新しい技術や情報通信機器の発達によって、ぼくたちの生活が便利になっているのが分かりました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報には、ニュースがあり、ラジオから情報を受け取っている。他にも、カタログから受け取っていたりする。</li> <li>・情報活用が活発にしている今、生活が便利になったことを知った。電子マネーやセルフレジなどが特に使われていたことが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの身の周りの情報をどのように受け取っているのか見つける中で、情報、情報通信機器、情報活用と色分けして板書して言葉の意味を確認できたことは、情報活用の現状を理解するのに有効だった。</li> <li>・昔と今のレジや改札の変化の写真を比較したことで、情報通信機器の電子化や効率化が進み、生活が便利になっていることを理解することができた。</li> <li>・電子マネーの支払い回数のグラフや、セルフレジやネット通販の資料は、販売業で情報が活用されていることを捉えるのに有効だった。</li> </ul>
2時	<p>◆Tスーパーマーケットのレジは、今までのレジとどんなところが違うだろう。</p> <p>【思考①】発言やノートの記事から「情報機器や販売の仕事の変化に着目して、問いを見だし、学習計画を立てているか」を評価する。</p> <p>【態度①】発言や学び方カードの記事から「情報活用の仕方や販売業の仕事の変化について、予想や学習計画を立て、学習問題を追究し、解決しようとしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計がすぐだったので、タブレットからの情報を使って支払っているのだろうか。</li> <li>・これからどうやって機械を使って生活を便利していくのか。</li> <li>・AIを使うことでお客さんや働く人にとってどんなことがよいのか。</li> <li>・情報活用することで、何が便利になるのか。</li> <li>・動画を見た時に「支払い时间短い」ということに疑問をもちました。お客さんも待ち時間が短く楽が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を払っていないから、機械に情報を入れているのではないか。</li> <li>・レジに並ばなくてすむから便利だと思う。</li> <li>・生活に使われるAIってどんなことがあって、未来はどうなるのだろうか。</li> <li>・情報を活用することで、未来に変化はあるのだろうか。</li> <li>・昔と今のレジを比べ、AIレベルで現状を知り、調べたいことをつなげて考えることができました。また、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tスーパーマーケットがどのような情報をどのように活用しているのか、という問いを見いだすために、教師が実際に買い物をしている様子の動画を活用したことは効果的であった。</li> <li>・AIレベルのグラフの資料を学習問題づくりの前に提示したことで、現状よりも未来について考える問いを見いだすことができ、「発展」と発言が出てきたので効果的だった。</li> <li>・学習計画を設定する際に子供により見通しをもたせるために、実際の店舗内の動画を示すことが効果的であった。</li> <li>・「つかむ」段階での自身</li> </ul>

	か」を評価する。	<u>できて、お店の人</u> <u>も楽できるので、</u> <u>WINWINだと</u> <u>思いました。次回</u> <u>は、情報活用の便</u> <u>利なことを調べて</u> <u>いきたいです。</u>	予想を立てること でこれから調べる ことが分かり、見 通しをもつことが できました。	の学び方を振り返るため には学び方カードは有効 であり、「しらべる」段 階への見通しをもつこと にも効果的であった。
3 時	◆Tスーパーマーケ ットのレジカート にはどのような機能 やよさがあるのだ ろう。 【知技①】 発言やノートの記事 から「必要な資料か ら読み取って調べ、 Tスーパーマーケッ トのスマートショッ ピングカートの活用 の様子やその効果に ついて理解している か」を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バーコードスキャ ナーでお客様の情 報を読み込むこと ができる。買いた い商品のバーコ ードを読み取ると 合計金額や買った 品物の情報が送ら れてくることが 分かった。</li> <li>・よさは、レジ待ち を減らせることや その場で合計金額 が表示されるの で、消費者が買い 物をスムーズにで きと思う。</li> <li>・タブレットに送ら れた情報は、本社 に送られるから、 その情報をもと に、新しい商品を 開発するのにつな がると思った。 <u>ぼくは、情報活用</u> <u>することで、消費</u> <u>者は効率よく便利</u> <u>に買い物ができ、</u> <u>働く人にとって</u> <u>も、働く人が少な</u> <u>くすむことで楽</u> <u>になると思いま</u> <u>した。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物中に買った 物をスキャンでき る。その情報が本 社にも送られるこ とが分かった。ス キャナーは色々と 情報が読み取れる ので、情報がたく さん集まる。</li> <li>・QRコードのお陰 で、買い物が楽に できる。</li> <li>・スマートショッピ ングレジカートに は、お得な情報や 個人情報などが、 お客さんから本社 にいききして情報 を活用している。 お客さんにとって は、欲しい商品が 手に入り、買い物 が楽に便利にでき て、お店の人にと っては働く人数が 少なくてすむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tスーパーマーケッ トの従来のショッ ピングカートとスマ ートショッピング カートと比較した ことで、機能の違 いに着目でき、よ さを予想すること ができて有効だっ た。</li> <li>・スマートショッピ ングカートの「タ ブレット」「バー コードスキャナ ー」「QRコード」 の資料から選択し たことで、情報通 信機器により情報 を活用しているこ とを理解することが できた。</li> <li>・広報室のNさんの インタビュー動画 を聞いて話し合う ことで、スマート ショッピングカ ートの導入の効果 について考え話し 合うことを通して 、お客さんにとつ てのよさとお店側 にとつてのよさを 考え、問いに対し てまとめることに 効果的だった。</li> </ul>
4 時	◆Tスーパーマーケ ットのAIカメラ にはどのような機 能やよさがあるの だろう。 【知技①】 発言やノート記事 から「必要な資料か ら読み取って調べ、 Tスーパーマーケッ トのAIリテールカメ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の在庫がなく なると、商品の棚 のライトが光って 店員に知らせてく れる。</li> <li>・AIカメラを置く ことによって、お 客さんの動きやど の商品が売れるの かが分かり、情報 を活用しているこ とが分かった。</li> <li>・効率よく商品を配</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様の行動の 情報をAIカメラ が分析して、どこ に置くと買いやす いかが分かる。</li> <li>・情報を活用するこ とで、お客さんが 買いやすくなる。 快適に早く、買い 物ができると分か った。</li> <li>・リテールAIカメ ラを使うことで、</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習計画を確認し てから、商品管理 の仕組みの資料を 選択して、調べた ことで、調べるこ とを焦点化したこ とで、情報を活用 して分析している ことが理解できた。</li> <li>・Tスーパーマーケ ットのAIカメラ の情報や情報通 信機器を使うこと で、「消費者。販売 者に、それぞれど のようなよさがあ るのか」発問したこ と</li> </ul>

	<p>ラの活用の様子やその効果について理解しているか」を評価する。</p>	<p>置できると思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIリテールカメラを置くことで、お客様の行動や商品の在庫などの情報を分析している。欲しい物がいつでもお店に並べることができるから、消費者にとっても便利に使えると考えた。</li> </ul>	<p>お客様の行動や商品の在庫の分析をしている。つまり、人件費が安くなったり、買いたい物が無いということを防げたり、売り上げにもつながる。客にとってもトライアルスーパーが使いやすくなると考えた。</p>	<p>で、よさを考えることに効果的だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報Tさんのインタビュー動画を聞いてよさについて考えたことで、AIカメラの活用や効果について考えを深めることにつながった。</li> </ul>
5時	<p>◆本社や他の店舗とどのようにつながっているのだろう【知技①】</p> <p>発言やノートの記述から「必要な資料から読み取って調べ、Tスーパーマーケットは情報機器を使って、店舗以外の場所と情報のやり取りをして売り場の改善や消費者のニーズ把握を進めていることを理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIリテールカメラからお客様の行動を読み取り、本社に送られて、本社からも便利な情報を送っていると思う。</li> <li>・Tスーパーマーケットでは、情報を活用して、外部のメーカーや他の工場とつながって協力している。</li> <li>・情報を活用することによって、他の工場や外部のメーカーと情報でつながることで、商品がなくならないように調整して、よい売り場になるようにしている。</li> <li>・調べる時に、資料の大事な所から思考ツールを使ってまとめました。次は、ノートを見返して大事だと思うところを見つけてまとめたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を活用して、本社、メーカー、トラックで輸送して、商品が無くなるようにする。</li> <li>・お客様の行動を分析してお店に役立っている。</li> <li>・商品が無くなるように、情報通信機器で集めた情報をプラットフォームにためて、工場やメーカーと情報を交換している。</li> <li>・<u>情報を活用することで、省人化でコストを減らし、早く自分の欲しい商品が届き、安く買って、消費者にとって効率よく、買いたい物も楽しくなる。</u></li> <li>・資料を選択して調べ、友達と話し合っただけで問題を解決することができた。分かったことから考えたことをたくさん書けた。まとめる段階では、調べたことから大切なことをまとめたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物流センター、自社トラック、本社の資料を提示したことで、予想で、工業の学習の「ジャスト・イン・タイム」の様に「商品がなくなった時に、必要な量を必要な時に送ることができるのでは」と発言が出てきた。</li> <li>・Tスーパーマーケットのスマートストア図やTスーパーマーケットの店員の話の資料から、自分の予想を基に、調べることで問いを解決することにつながった。</li> <li>・Tスーパーマーケットの店員さんの話から、外部のメーカーや工場には、どのようなつながりがあるのか考えたことで、他の会社と情報活用してつながることで、消費者として、瞬時に「欲しい商品が安く手に入る」店側として「省人化で費用が少なくて済む」「商品の売り切れを防ぐ」などよさを考えることに有効だった。</li> </ul>
	<p>◆Tスーパーマーケットの情報活用は、販売業やわた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トライアルスーパーマーケットでは、レジカートに</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Tスーパーマーケットでは、省人化でお金がかからな</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる段階から、情報活用の取組とよさを考えていく時に「販売者」「消</li> </ul>

6時	<p>私たちの生活とどのようなつながりがあるのだろう。</p> <p>【知技②】 図表などの記述から「大量の情報や情報通信技術の活用は、販売業を発展させ、国民生活を向上させていることを理解しているか」について評価する。</p> <p>【思考②】 発言やノートの記述から「情報化の進展に伴う産業の変化や発展と国民生活の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考え、表現しているか」を評価する。</p>	<p>は、バーコードスキャナーがしており、その情報活用で合計金額が分かり、お勧めのクーポンが出てくる。AI カメラを配置することで、お客さんの行動や売れている人気商品等大切な情報が分かり、その情報を活かし効率よく商品を配置して、欠品が出ないようにしている。お客さんにとっては、欲しい物が欲しい時にあり、便利で生活が楽になる。販売者にとっても働く人が少なくすみ、お店も儲かる。ぼくは、情報活用することで、未来は、働く人が少なくても仕事ができるようになっていくと思いましたが</p>	<p>いようにすることとお客様が便利に楽しく買い物ができるように、お客様の行動を分析し、整理情報を活用して分りました。<u>私は、これから機械化や情報活用が進むと思います。省人化になり、働く人も少なくてもお店も効率的に仕事ができるようになっていき、お客さんも欲しい物が欲しい時に手に入り、便利に買い物ができて生活もよくなっていきます。これからもっともっと社会が発展していくと思います。</u></p>	<p>費者」の立場からよさを考えていたので、フロー図にまとめる時も、国民生活を多角的に考えることが有効だった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• どんな情報が情報通信技術の活用によって、情報活用によって販売業だけでなく、国民生活を向上させていることが、フロー図によって考えを整理することができて、学習問題に対しての自分の考えまとめて理解することができた。</li> </ul>
7時	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆なぜ、Tスーパーマーケットは、医療の分野にも情報を提供しているのだろう。</li> <li>◆社会で情報活用が進展することは、自分たちの生活をどのように変化させていくのだろう。</li> </ul> <p>【思判表②】 発言やノートの記述などから「情報化の進展に伴う産業の変化や発展と国民生活の向上を関連付けて、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割や社会の課</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療の分野とも情報活用しているのは、何の商品で病気になったか分かるとそれをまた活用できるから。</li> <li>• 情報活用が進むと、効率よく、ムダ無く、少ない人数で働ける。暮らしもより便利になっていく。</li> <li>• 医療はインターネットを使っていて病院にも行かなくても治療出来たりして患者も看護師も楽になったり、スマート農業では、AI を使ったりして、これからの少子高齢化対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 医療と連携することで、病気が分かり、薬が買えるように、新しく情報活用しているのではと思った。</li> <li>• 情報活用することで、医療でも、どんな病気で、どんな薬が欲しいか分かると思う。</li> <li>• 情報化で、ムリ、ムダ、ムラがなくなり、少ない人数で販売の仕事で働くことができるようにしている。</li> <li>• 産業で情報活用が進むと暮らしがより便利になるだけでなく、医療や農業、漁業等でもい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• TスーパーマーケットとK大学のデータ共有に関する報道記事を提示したことで、「なぜトライアルスーパーマーケットは、医療の分野とも情報を連携しているのだろう」といなぜ型の問いが生まれた。</li> <li>• KBCニュースのN社長の動画から、Tスーパーマーケットは、社会的な課題解決の取組を行い、未来に向けてさらなる産業の発展を目指していることを知り、話し合うことで、情報活用によって、少子高齢化や働き手不足を解決している産業以外の取組とよさについて家庭学習で調べていくこととした。</li> </ul>

<p>題の解決につながることを考えているか」を評価する。</p> <p>【態度②】ノートや学び方カードの記述などから「学習したことを基に、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について考えようとしているか」を評価する。</p>	<p>をしていた。だから、未来はもっと情報活用が進んで、生活も便利になっていくと思います。</p>	<p>える。少子高齢化や働き手不足の課題解決につながり、社会の未来の発展につながると思いました。しかし、情報化が進み過ぎると、情報が悪用されることもあるのでデメリットもあると思った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会的課題を「少子高齢化」と「働き手不足」に絞って調べたことは、学級全体として考える上でよかった。調べる時間ではないので、教科書の販売以外の事例から、社会的な課題解決の取組とよさを話し合い「社会で情報活用が進展することは、自分たちの生活をどのように変化させていくのだろうか」という問いについて考えることの方が子供の思考に沿った流れだったと考える。</li> </ul>
--	---	---	---

### 考察

本小单元では、「販売業をはじめとする様々な産業で大量の情報や情報通信機器を活用して産業を発展させ人々の生活をよりよくしていることや情報の活用が社会的な課題の解決につながっていることを理解し、情報化による社会の進展に希望をもつ」と考えることができる子供を目指す子供像としている。

A 児は第2時や第3時で「お客さんも待ち時間が短く楽ができて、お店の人も楽できるので、WINWINだと思いました。次回は、情報活用の便利なことを調べていきたい」や「情報活用することで、消費者は効率よく便利に買い物ができ、働く人にとっても、働く人が少なくすむことで楽になると思いました。」などのように記述しており、実際の買い物の様子や販売者側のインタビュー動画からTスーパーマーケットを事例とした情報活用の現状について理解していると考えられる。

B 児は第5時で「情報を活用することで、省人化でコストを減らし、早く自分の欲しい商品が届き、安く買えて、消費者にとって効率よく、買い物も楽しくなる。」この記述より、人物の営みを教材化し、人物の思いや願いを考え、情報を活用することで販売者や消費者にとってのよさを理解していると考えられる。また第6時の振り返りでは、「私は、これから機械化や情報活用が進むと思います。省人化になり、働く人も少なくお店も効率的に仕事ができるようになっていき、お客さんも欲しい物が欲しい時に手に入り、便利に買い物ができて生活もよくなっていきます。これからはもっともっと社会が発展していくと思います。」と記述しており単元の学習を「学び方カード」で振り返ることで、情報化が進むことで産業の発展や国民生活の向上に着目しながら、これからの産業の発展と社会の発展に関心をもつことができた。

・目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントが以下の2点である。

- ① 単元のねらいを達成するために教材開発を行い、必要な文章資料、インタビュー動画、VR映像、店内の動画の中から選択して追究の視点に着目して調べる活動を設定したことで情報の種類や活用の仕方に着目しながら調べることに繋がった。
- ② Tスーパーマーケットが販売だけでなく医療の分野でも情報提供している資料を提示して、日本が抱えている課題解決に向けての努力している取組を捉えることで、社会的課題を焦点化して情報活用によって産業以外での取組とよさを家庭学習でも調べることで、情報を生かして発展する産業が生活をよりよくして社会の課題の解決につながることを考える際の手立てとなった。

【第5学年分科会の成果と課題】

目指す子供像		自分の考えをもち、説明したり、発信したりする子供 友達の考えや意見を尊重し、認め合える子供 前向きにチャレンジする子供	
「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり			
研究内容	① 主体的に問いを追究する工夫	② 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫	③ 子供の学びを確かにする評価の工夫
○ 成果	<p>○子供が見通しをもつために学習問題を立てる際の資料を精選したり、学習計画を問いの形で立てたりした。これにより、「これから〇〇を調べる必要があると思います」「さらに～を調べることが必要だと思います」と見通しをもった子供の姿が見られた。</p> <p>○毎時間の問いについて調べる際に、児童が自分で立てた予想を基にして読み取る資料を選べるようにした。これにより「こういう資料で～かどうか確かめたい。」と見通しをもって主体的に調べることができた。</p>	<p>○学習問題に対して調べてきたことを比較、関連、総合して社会的事象の意味を考える学習活動をどの單元でも設定してきた。これにより「今回の内容は～でまとめると分かりやすいと思います」と学習内容に合わせてまとめ方を選び、見方・考え方を働かせられる子供の姿が見られるようになった。</p> <p>○「くらしと産業を変える情報通信技術」の学習では産業の発展を考えるために、社会の課題を情報活用によって克服しようとしている人を資料化した。これにより「〇〇さんのように情報活用の幅を広げて課題を解決しようとする気持ちが大切だと思う。自分にもできることがあるように感じた」と努力をしている人への共感的な理解を深め、自分事として考えることができた。</p>	<p>○各單元で「学び方カード」を活用することで、児童自身に自分の学びを振り返る習慣が身に付いてきた。児童の記述の中にも「自分は〇〇が苦手なので次の学習では～をしたい」というような言葉が増え、学習のつながりを意識できるようになった。</p> <p>○学び方カードを繰り返し使うことで、調べる方法について計画を立てたり、見通しをもって解決の手段を選んだりすることができるようになった。</p>
● 課題	<p>●学習計画を立てる際に、調べる見通しをもったり視点を焦点化したりするために適切な資料を検討する必要がある。</p> <p>●調べる際に児童の主体性を確保しようとするとき単位時間での時間配分が難しくなる。そのため無理のない学習計画、調べる際の資料の構成（グラフにするか写真にするか、など）や分量を考えて準備をする必要がある。</p>	<p>●調べてきたことをまとめて比較、関連、総合して考える活動をしなくても、それを基にして議論をする活動が十分にできなかった。そのため、議論ができるような学習計画、資料等の準備をしていく必要がある。</p> <p>●産業の発展を考えるために「つなぐ」段階では2050年の労働力不足問題を扱ったが、資料が難しくてしっかりと自分の考えをもつことのできない児童がいた。そのため、児童が考えることができるように資料を作成していく必要がある。</p>	<p>●学び方カードのどこに何を書かせるのかを教員間で共有することが不十分であった。</p> <p>●タブレットを活用して学び方を振り返りの共有の仕方についてはICT環境を踏まえながら必要がある。</p>





## 第6学年 社会科学学習指導案

### 1 小単元名 「わたしたちのくらしと日本国憲法」(12時間)

### 2 小単元の目標

我が国の政治の働きについて、日本国憲法の基本的な考え方に着目して、調査したり各種資料を活用したりして調べてまとめ、日本国憲法が国民生活に果たす役割や、国会、内閣、裁判と国民との関わりを考え、国家の理想や天皇の地位、国民の権利義務など国家や国民生活の基本を定めていること、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解できるようにするとともに、日本国憲法に関心を持ち、学習問題を主体的に追究・解決しようし、国民としての政治への関わり方について考えようとする態度を養う。

### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①我が国の政治の働きについて、聞き取り長や各種資料を活用して調べ、必要な情報を集め読み取り、我が国の民主政治を理解する。 ②調査や各種資料で調べたことを図表にまとめ、国家の理想や天皇の地位、国民の権利義務など国家や国民生活の基本を定めていること、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。	①日本国憲法の基本的な考え方に着目して、問いを見出し我が国の民主政治について考えている。 ②日本国憲法の基本的な考えと国民生活を関連付けて、その特色や役割を考え、政治への関わり方を多角的に考え表現している。	①我が国の政治の働きについて、主体的に学習問題を追究・解決しようとしている。 ②学習したことを基に、国民としての政治の関わりについて考えようとしている。

### 4 目指す子供像について

本小単元を通して、「新宿区では、選挙の他にも、国民主権の考え方に基づいた政治の取組が進められていて、区民の願いが政治に反映されるような仕組みが整えられている。豊かなくらしを実現するためには、私達も国民主権を大事に使いたい」と思える子供を育成したい。

### 5 教材について

本小単元では、日本国憲法が国家や国民生活の基本を定めていることや日本の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解するために、日本国憲法の3原則について、例えば、ユニバーサルデザインから基本的な人権尊重の具体を、選挙を通して国民主権の具体を、新宿区平和都市宣言を通して平和主義の具体を調べ、国民生活と関連を考察することができる資料を精選する。また、コロナ対策を進めるための国会を始め三権の仕組みと国民の関連を関係図の作成を通して理解できるようにする。

また、新宿区では、よりよい街づくりに向け、様々な年代や立場の方から願いや協力を得るための方法を導入し、区民の政治参画を可能にしている。また、国民主権の実現を支えるために努力する人々の取組について共感的に理解できるように、区民の選挙での投票率を上げるために様々な工夫に取り組む選挙管理委員会のAさんや区民の願いを条例の制定や予算に反映しようとしている区議会議員のBさんの営みを教材化する。



6 小単元の構想

<p><b>子供の 実態</b></p>	<p>4年の総合的な学習の時間では、視覚障害者と街を歩き基本的人権に着目してユニバーサルデザイン の大切さを学んでいる。4年の社会科では、人々の健康や生活環境や自然災害から人々を守る活動の学 習で、県内外の人々や関係機関の協力に着目して、行政の取組と生活を関連付けて考える学習をしてき ている、これからの学習経験を生かし、本小単元では、基本的人権の尊重の具現化であるユニバーサル デザインをきっかけに日本国憲法の基本的な考え方に着目し、我が国の民主政治を捉えさせたい。さら に、身近な新宿区の政治に目を向け、暮らしと日本国憲法のつながりについて考えられるようにしたい。</p>
--------------------------	--

過 程	子共の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から		
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい 見方・考え方	見方・考え方を働 かせる資料・活動	子供が獲得できるようにしたい知 識	
つか か む	<p>&lt;学習問題をつかむ問い&gt; ・なぜ、ユニバーサルデザ インを広めているのだろう。 ・日本国憲法はどのような 考え方でつくりられている のだろう。</p>	←  →  日本国憲 法の基本 的な考 え方に 着目 して	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パラリンピック の写真</li> <li>・公共施設の写真 や資料</li> <li>・日本国憲法の三 原則</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインは障害の 有無や年齢などに関係なく誰も が安心して暮らせる街にするた めに取り入れられている。日本 国憲法の基本的人権の尊重が関 係している。</li> <li>・日本国憲法は基本的人権の尊 重、国民主権、平和主義の3つ の考え方に基づいている。</li> </ul>	
習 題	日本国憲法はどのようなもので、どんな役割を果たしているのだろう。				
し ら べ る	<p>&lt;しらべる問い&gt; ・憲法の基本的人権の考え とわたしたちの暮らし は、どのようにつなが っているのだろう。 ・憲法の国民主権の考えと わたしたちの暮らしは、 どのようにつながって いるのだろう。 ・憲法の平和主義の考えと わたしたちの暮らしは、 どのようにつながって いるのだろう。  ・国会には、どのような働 きがあるのだろう。  ・内閣や裁判所には、どの ような働きがあるのだら う。</p>	←  ←  ←  ←  ←  ←	<p>基本的人 権の尊 重と生 活のつ なが りに着 目し て</p> <p>国民主 権と 生活の つな がりに 着目 して</p> <p>平和主 義と 生活の つな がりに 着目 して</p> <p>国会の 働き に着目 して</p> <p>内閣や 裁判 所の働 きに 着目し て</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法(国 民の権利、国民 の義務)</li> <li>・区報や区のホ ームページ</li> <li>・日本国憲法(国 民主権とは)</li> <li>・日本国憲法(平 和主義とは)</li> <li>・国会の仕事につ いての資料</li> <li>・わたしたちの国 会</li> <li>・内閣の仕事や仕 組みの資料</li> <li>・裁判所の働き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重によって私 たち一人一人が大切にされ様 々な権利が保障されている。国民 には権利と義務がある。</li> <li>・国民主権によって私たち一人 一人の意見が政治に反映される ようになっている。選挙を通 して意見を示すことができる。</li> <li>・平和主義によって戦争など武 力による不安から守られている。 学校の正門の近くにも「新宿 区平和都市宣言」のレリーフが たてられている。</li> <li>・国会では国民から選ばれた議 員が私たちの暮らしに関わるい ろんなことを話し合い決めて いる。</li> <li>・内閣は国会で決まったことを もとに実際の政治を行っている。 裁判所は争いごとを法律に基 づいて解決している。</li> <li>・国会、内閣、裁判所の三権が 分立することで権力の行き過ぎ を防ぎ私たちの暮らしを守って いる。</li> </ul>
ま と め る	<p>&lt;特色や意味を考える問い&gt; ・日本国憲法の三原則は、 わたしたちの生活とどの ようにつながっているの だろう。</p>	←	<p>日本国憲法と 国民生活を 関連付け て考 えて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同心円チャート にまとめる活動</li> <li>・関連図にまと める活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法は国民主権、基本 的人権の尊重、平和主義の3つ を原則として、私たちの生活 の基本となっているものであ り、個人として尊重され自由 に意見を言ったり、平和に暮 らしたりすることの支えにな っている。</li> </ul>
つ な ぐ	<p>&lt;関わり方を考える問い&gt; ・国民主権は実現されて いるのだろうか。 ・私たちは、どのように政 治に関わっていくとよい のだろう。</p>	←	<p>国民主権の 実況に 着目 して</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙管理委員 会のAさんの話</li> <li>・新宿が取り組 んでいる区民の 世辞参加の 方法</li> <li>・区議会議員B さんの話</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな暮らしを実現するた めには、大人も子供もたくさん の人が政治とつながる様 々な方法をもっと活用して いくことが大切だと思 う。まずは、区の政治につ いて、みんなが関心をも ち、自分たちも区の政治 につながることを考 えていきたいと思う。</li> </ul>

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

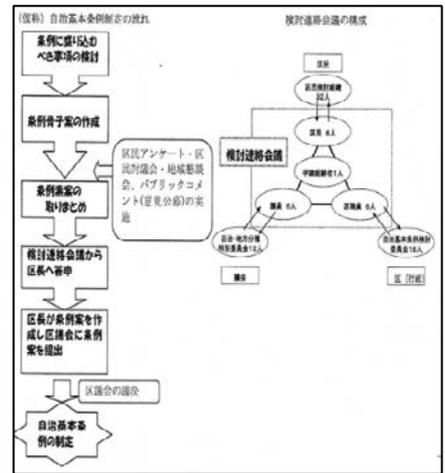
- 子供は昨年度、東京パラリンピックを国立競技場で観戦しており、関心も高い。そこで、パラリンピックの写真やパラリンピック選手の生活などを通して、ユニバーサルデザインが広がっている現状を取り上げることで、障害者と共にくらす社会の基本となる基本的人権の保障の考え方への関心を高め、そのおおもとなる日本国憲法に目を向けさせ、その特色や役割についての問題意識を高める。
- 学習計画ボードで学習問題や学習計画を掲示して随時確認できるようにする。また、日本国憲法や新宿区の事例を調べる際には、教科書の他にパンフレットやインターネットなど調べる資料を選べるようにする。
- 国会・内閣・裁判所の3原則と国民の関わりに関連図から、「国民主権が実現されているか？」と投げかけ、「より身近な新宿区ではどうだろう？」という問題意識を高めて、日本国憲法における国民主権の考え方の実現状況について身近で具体的な事例を通して追究できるようにする。また、タブレットPCソフトのポジショニングマップを活用し、様々に異なる立場からお互いの考えやその根拠を話し合うことを通して主体的に考えを深めていけるようにする。
- よりよい街づくりに尽力する選挙管理委員会のAさんと区議会議員のBさんの話を聞き、国民主権の考えを政治に反映させようとする人々の思いや願いに共感させる。



### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

- 日本国憲法とわたしたちのくらしのつながりに着目して見ることができるように、日本国憲法と自分のくらしとのつながりについて読み取ることができる資料や、区長・区民・区議会が様々な立場が互いに関連し合っ

- て暮らしを支えていることが分かる資料を活用して調べる学習活動を設定する。
- 国民主権の実現状況に着目し、新宿区の事例を通して、選挙管理委員会のAさんの取組や区議会議員のBさんの取組の話から自分たちの生活と国民主権の考え方がどのようにつながっているかの具体を対話的に調べる学習活動を設定する。
- 日本国憲法の三原則と国民生活とのつながりを年代ごとの同心円チャートにまとめる学習活動を通して、日本国憲法と国民生活を関連付けて考えることができるようにする。また、「日本国憲法と国民の関係」と「新宿区自治基本条例と区民の関係」を比べることで、そこに共通する国民主権の考え方を実現するために、各地区での取組が広がっていることを考えることができるようにする。

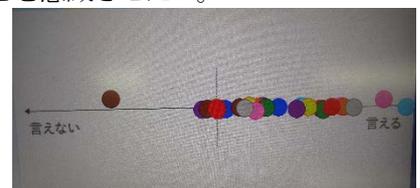


### (3) 子供の学びを確かにする評価

- 個に応じたノート指導を行う。毎時の学習で分かったことや次の学習に向けて考えたことをノートに記述させ、毎時間の子供の理解状況を把握し、その時間の子供への指導や次時の指導改善に導に生かす。
- 学び方カードを活用して問題解決の過程を意識させ、つかむ段階、調べる段階、まとめる段階ごとに、自己の学習の進め方を振り返り、次の段階の学習への見通しがもてるようにし、単元末で、自分の変容や学び方の高まりなど次の単元で生かしていくことができることを自覚化したり、自分の生活に生かしていくことに意識を向けたりさせる。

### (4) 本時の学習の主張

- 本時の学習では、区議会議員のBさんとの対話的な学習を中心にすすめることで、Bさんのよりよい街づくりへの思いに共感できるようにしたい。また、新宿区自治基本条例のパブリックコメントにおける条例前文の内容を考えて区に届ける疑似体験を設定し、実際に新宿区自治基本条例検討委員会に議員として参加した立場からコメントしてもらうことで、区民の立場で政治につながることでできることについて、より実感の伴った理解ができるようにする。また、新宿区自治基本条例(前文)と日本国憲法(前文)を比較し、どちらも国民主権の考えを大切にしていることに気付き、自分たち区民も政治に参画できることを意識させたい。
- 国民主権の実現度についてポジショニングマップに整理する活動を通して、互いの立場や根拠を学び合い、互いの考えを深められるようにしたい。



8 小単元の指導計画 (全11時間)

	ねらい	主な学習活動 (○) 評価につながる学習活動 (●) 問い (◆) 予想される子供の反応 (・)	◎資料 【評価】 □指導上の留意点
つかむ	ユニバーサルデザインの考え方を大切にしまちづくりが行われ、だれもが不自由なく生活していけることに気付く。①	◆なぜ、ユニバーサルデザインを広めているのだろう。 ○公共施設の写真や資料から気付いたことを話し合い、公共施設はどのような考え方でつくられるのかを考える。 ・点字ブロックが多くある。 ・必ずだれでもトイレがある。 ○担当者の話から、公共施設の基となる考えを深める。 ●ユニバーサルデザインが広められている理由について考えたことをノートに書く。 ・ユニバーサルデザインは障害の有無や年齢などに関係なく誰もが安心して暮らせる街にするために取り入れられている。 ・日本国憲法の基本的人権の尊重が関係している。	◎公共施設の写真や資料 ◎日本国憲法の条文 ◎担当者の話 □具体的な写真や話と日本国憲法の条文をつなげて、ユニバーサルデザインを広めている背景について目を向けさせる。  【知技①】ユニバーサルデザインは、日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。(発言、ノート)
	日本国憲法の考え方について確かめ、新宿区のくらしは憲法を基に進められていることを理解し、学習問題をつくる。②	◆憲法はどのような考え方でつくられているのだろう。 ○日本国憲法の三原則について確かめる。 ・基本的人権の尊重、国民主権、平和主義 ●疑問をノートに書く。疑問を出し合い、学習問題をつくる。 ・どんな内容か知りたい。・どんな影響があるのかな。	○日本国憲法の三原則 □日本国憲法には3原則があることを資料で確かめ、疑問や知りたいことを出し合い、分類・整理して学習問題を設定していく。 【思判表①】日本国憲法の基本的な考え方に対して疑問を出し合い、学習問題を設定している。 □予想を分類して、既習を調べることと調べる方法を話し合わせる。
	日本国憲法はどのようなもので、どんな役割を果たしているのだろう。		○予想したことを出し合い学習計画を立てる。 ・日本国憲法の三原則の内容を調べよう。 ・国会や内閣、裁判所について調べてみよう。 ●学習計画を基に、学習の見通しをもてたかを振り返り、「学び方カード」に記述する。  【態度①】学習問題に対して予想し、学習計画を立てることを通して、これからの学習に見通しをもっている。(学び方カード)
調べる	基本的人権の尊重に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を調べる。③	◆基本的人権の尊重の考えとわたしたちのくらしはどのようにつながっているのだろう。 ○基本的人権の尊重に基づいた取組を調べる。 ○国民の権利と義務について調べる。 ○基本的人権の尊重の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。 ・基本的人権の尊重があるから私たちは教育を受けたり、意見を自由に言ったりできる。 ●基本的人権の尊重についての考え方や具体的な取組について分かったことをノートにまとめる。 ・誰もがしあわせにくらせるためのもの。 ・社会が成り立つために大切なもの。	◎日本国憲法(国民の権利、国民の義務) ◎区報や区のホームページ □ユニバーサルデザイン以外に人権を守る取組について資料を通して調べ、読み取り、学級で確かめることができるようにする。  【知技①】基本的人権の尊重の考えが自分たちのくらしに関わることを資料から具体的に調べ、理解している。(ノート)
	国民主権に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を調べる。④	◆国民主権の考えとわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。 ○国民主権に基づいた具体的な取組を調べる。 ○国民主権の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。 ・選挙でつながっている。 ・国民の休日がある。・住民投票を行っている。 ○天皇の地位や国民の休日について調べる。 ●国民主権の考え方と自分たちの暮らしとの関わりについて分かったことをノートに書く。	◎日本国憲法(国民主権とは) ◎区報や区のホームページ □国民主権の取組について資料を通して調べ、読み取り、学級で確かめることができるようにする。  【知技①】国民主権が現在の政治や自分たちのくらしに関わることを資料から具体的に調べ、理解し

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権があるから選挙などを通して政治に関わることができる。</li> </ul>	<p>ている。(ノート)</p>
	<p>平和主義に基づく取組を調べ、自分たちの生活との関連を調べる。⑤</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆平和主義の考えとわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。</li> <li>○平和主義に基づいた取組を調べる。</li> <li>○平和主義の考え方と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。</li> <li>・毎年、日本で原水爆禁止世界大会を開いている。</li> <li>・学校の正門の近くにも「新宿区平和都市宣言」のレリーフがたてられている。</li> <li>●くらしの中の平和主義について分かったことをノートに記入する。</li> <li>・平和主義があることで安心して暮らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日本国憲法(平和主義とは)</li> <li>◎区報や区のホームページ</li> <li>□平和主義の取組について資料を通して調べ、読み取り、学級で確かめることができるようにする。</li> </ul> <p>【知技①】平和主義と自分たちのくらしの関わりを具体的に調べ、理解している。(ノート)</p>
	<p>国会の働きについて見学を通して調べ、自分たちの生活との関連を理解する。⑥</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国会には、どのような働きがあるのだろう。</li> <li>○国会の仕組みや働きについて調べる。</li> <li>・法律をつくる。</li> <li>・予算を承認する。</li> <li>○国会の役割と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。</li> <li>・法律によって私たちの暮らしに関わるいろいろなことが決まっている。</li> <li>・国会で話し合う国会議員は国民が選挙で選び、国民の願いを代わりに伝えてくれる。</li> <li>●国会見学を通して分かったことをまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎国会の仕事についての資料</li> <li>◎わたしたちの国会</li> <li>□見学を通して実際に分かったことをノートに書くようにさせる。</li> <li>□国会の役割を調べまとめるようにする。</li> </ul> <p>【知技①】国会の働きについて見学を通して分かったことをまとめる。</p>
	<p>内閣、裁判所の働きについて調べ、自分たちの生活との関連を理解する。⑦</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆内閣や裁判所には、どのような働きがあるのだろう。</li> <li>○内閣の仕組みや働きについて調べる。</li> <li>○裁判所の仕組みや働きについて調べる。</li> <li>・国会で決めた予算で国民の暮らしを支える。</li> <li>・争いごとを法律などにもとづいて判断し解決する。</li> <li>○選挙の仕組みや裁判員制度について調べる。</li> <li>○三権分立について調べ、図に整理する。</li> <li>○国会や内閣、裁判所の役割と自分たちのくらしとの関わりについて考え、話し合う。</li> <li>●国会や内閣、裁判所の働きと、国民生活のつながりで分かったことをノートに書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎内閣の仕事や仕組みの資料</li> <li>◎裁判所の働きについての資料</li> <li>□国会、内閣、裁判所それぞれの役割を調べまとめるようにする。</li> <li>◎三権分立や相互関係を表す図</li> <li>□国会、内閣、裁判所のつながりや、国民とのつながりについて相關図に整理するようにする。</li> </ul> <p>【知技①】国会、内閣、裁判所の働きや自分たちのくらしとの関わりを理解し、図にまとめている。</p>
ま と め る	<p>調べたことを同心円チャートにまとめ、国家や国民生活の基本、我が国の民主政治の基本的な考え方となっている日本国憲法や、立法、行政、司法の三権と国民生活との関連を理解している。⑧</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●日本国憲法の三原則がそれぞれ国民の生活とどのような関連があるか考え、同心円チャートにまとめる。</li> <li>・18歳以上では選挙で自分たちの代表を選ぶ。</li> <li>・子どもは教育を受ける権利が保障されている。</li> <li>●同心円チャートをもとに学習問題に対する自分の考えをまとめる。</li> <li>・日本国憲法は国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の3つを原則としている。日本国憲法は私たちが個人として尊重され自由に意見を言ったり、平和に暮らしたりすることの支えになっている。</li> <li>●三権と国民との関係を新宿区に当てはめて考え、国民主権の実現状況について話し合い、さらに調べたいことをノートにまとめる。</li> <li>・新宿では、国民主権は実現されているか?</li> <li>・選挙、区政参加機会、議員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□調べたことを同心円チャートに整理し、日本国憲法と国民生活との関わりについて確かめる。</li> <li>【思判表②】日本国憲法の基本的な考えと国民生活を関連付けて、その役割を考えている。(ノート)</li> <li>□日本国憲法の三原則が生かされている事柄を付箋に書き、整理できるようにする。</li> <li>【知技②】学習したことを図にまとめ、日本国憲法が国家や国民生活の基本を定めて、我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることを理解している。(同心円チャート)</li> <li>【態度①】学習問題を振り返り、国民主権の実現状況に関心を持ち、さらに調べることを見いだしている。(ノート)</li> </ul>

	<p>選挙管理委員会のAさんに話を聞き、選挙の仕組みや国民権の考え方に基づいて実施されていることを理解している。⑨</p> <p>※模擬投票は衆議院選挙後に実施する予定。</p>	<p>◆新宿区では、国民権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。 ～選挙管理委員会の人の話から考えよう～</p> <p>○選挙に関する子供の質問に答えていただく。 ・選挙管理委員会はどんな仕事をしているか？ ・選挙の準備にかかる時間や費用は？ ・実際の選挙で苦勞することは何か？</p> <p>○選挙管理委員会のAさんから選挙の仕組みや意義について話を聞く。 ・18歳以上は選挙権があり、国会議員だけでなく区議や区長も区民の選挙で直接選ぶ。 ・選挙の準備は3ヶ月以上前から準備をする。</p> <p>○投票率を高める取組について話を聞く。 ・投票率が上がらないことが課題である。 ・誰でも投票できるような工夫をしている。 ・模擬選挙の出前授業を行っている。 ・明るい選挙ポスターコンクールをしている。</p> <p>●国民権の実現度をポジショニングマップに位置づけ、その理由をノートに書く。 ・実現できている。なぜなら、Aさんのようにどんな人でも選挙に参加できるように工夫したり、選挙の投票率を上げようと努力したりしているから。</p>	<p>◎選挙管理委員会出前授業 ◎選挙権の変化 ◎選挙までのスケジュール ◎最近の選挙での投票率 ◎期日前投票や投票会場での配慮</p> <p>□選挙への関心を高め、選挙管理委員会の方から、一人一票の大切さを捉えたり自ら考えて投票することの重要性を考えたりさせる。</p> <p>□投票率が低いことの課題に着目させ、投票率を高めることへの願いやそのための取組について教えてもらう。</p> <p>□ポジショニングマップを活用して一人一人が考える実現状況を共有できるようにする。</p> <p>【知技①】新宿区においても国民権の考え方に基づいて選挙が行われており、選挙がわたしたちのくらしとも関わっていることや選挙を行うための様々な準備があることを理解している。(ノート)</p>
	<p>国民権を実現するために新宿区が行っている取組について知り、新宿区自治基本条例の前文について話し合い考える。⑩</p>	<p>◆新宿区では、国民権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。 ～選挙以外の区民の願いが届く仕組から考えよう～</p> <p>○自分たちが調べてきた区民の願いや声が政治に届く方法について紹介し合う。 ・区議会で様々なことが話し合われ、予算などを決めて実現されている。 ・市長への手紙やパブリックコメントで意見を募集している。 ・新宿区区民の声委員会が苦情を受け付ける。</p> <p>●国民権の実現度をポジショニングマップに位置づけ、その理由を話し合う。</p> <p>○新宿区自治基本条例を読み、前文に入れる内容についてパブリックコメントを考える。 ・区民一人一人を大切にしてほしい。 ・区民の声を区の政治に生かしてほしい。</p>	<p>◎国民権を実現するための選挙以外の取組を示す資料</p> <p>□タブレットPCを活用して、資料を配布したり、子供が集めてきた資料を拡大提示したりして、情報を共有できるようにする。</p> <p>□自分の立場を明確にして話し合わせ、理由を説明し合えるようにする。</p> <p>□ポジショニングマップを活用して一人一人が考える実現状況を共有できるようにする。</p> <p>【思判表②】新宿区の取組と国民権の考え方を関連付けて考え、国民権の実現度について考え、表現している。(ノート)</p>
つながる	<p>区議会議員のBさんとの対話を通して、国民権の大切さを考えようとする。⑪</p>	<p>◆新宿区では、国民権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。 ～区民の代表の議員の話から考えよう～</p> <p>○区議会の仕事について子供の質問に答えていただく。 ・区議会でどのようなことが議論されるのか？ ・いつ行われているのか？ ・議員はどんな仕事をしているのか？</p> <p>○前時に考えた自治基本条例についてのパブリックコメントを区議会議員Bさんに伝え、検討委員会委員の立場で答えていただく。 ・区民一人一人を大切にしてほしい。 ・区民の声を区の政治に生かしてほしい。</p> <p>○区民を代表する議員になろうと思った理由や議員として大切にしている考えを聞く。 ・より多くの区民の声を区政に生かす。</p> <p>○国民権の実現度をポジショニングマップに位置づけ、その理由を話し合う。</p> <p>●これまで選挙、区政参加、区議会議員について学習したことをもとに、国民権についての自分の考えをまとめる。</p>	<p>◎前時に考えた自治基本条例へのパブリックコメント案 ◎区議会議員Bさんの話 ◎「新宿区自治基本条例」 ◎「私たちのくらしと新宿区の政治」</p> <p>□区議会や議員の仕事について子供からの質問に答えていただき、対話的な質疑応答ができるよう配慮する。</p> <p>□自分たちで考えたパブリックコメントについて伝え、コメントをもらう経験を通して区政参加の疑似体験ができるようにする。</p> <p>□区議会議員に立候補しようと思った理由や新宿区をよりよくしたいと思う議員の立場での願いについて伝えていただく。</p> <p>【態度②】これまでの学習を基に、国民権の大切さや自分とのつながりについて考えようとしている。(学び方カード)</p>

## 9 本時の学習 (11/11時)

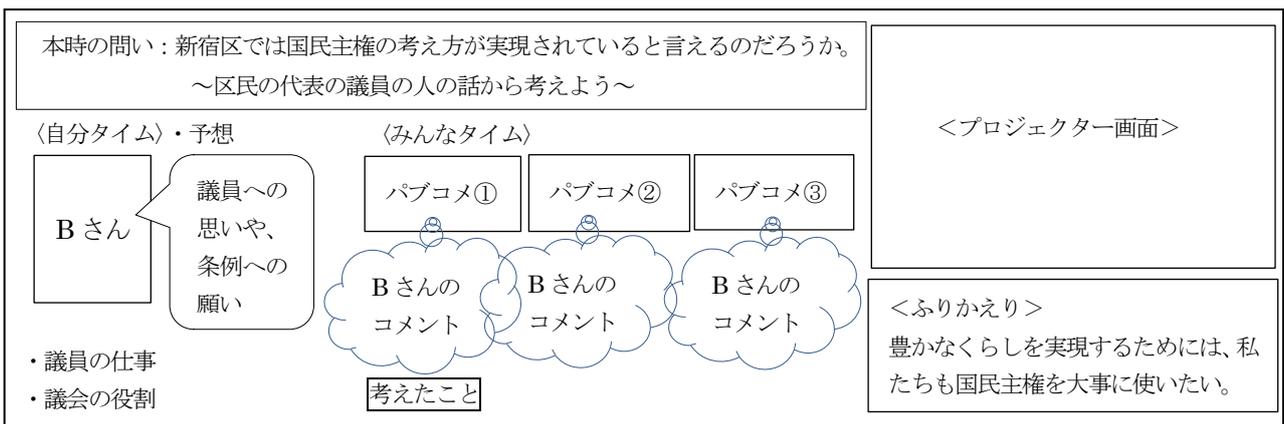
### (1) 本時のねらい

○区議会議員のBさんとの対話を通して、国民権の大切さや自分とのつながり考えようとする。

### (2) 本時の展開

	○主な学習活動 ・ 予想される子供の反応	◎資料 □指導上の留意点 【評価】
導入 (2)	○前々時・前時の学習での自分のポジショニングマップを振り返り、国民権についての考えがどのように変わったか確かめる。  本時の問い：新宿区では国民権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。 ～区民の代表の議員の人の話から考えよう～	□考えが変容した子供を取り上げ国民権についての考えを述べさせ、本時の問いを意識させる。
自分 タイム (3)	○本時の問いに対して予想する。 ・選挙で選ばれた区議会議員だから、区民の声を区政に反映していると思う。だから実現している。 ・区議会議員に区民の声を届ける仕組みがあまりなかったから、実現しているとはいえない。	□前時に学習したことを生かし予想できるようにする。 □予想することで、議員の話を聞く視点をしばったり意欲を高めたりする。
みんな タイム (20)	○前時に考えた区議会の仕事についての質問を区議会議員のBさんへ伝え、答えてもらう。 ・区議会でどのようなことが議論されているのか。 ・議員はどのような仕事をしているのか。 ・政策はどのように実現されるのか。 ○前時に考えた自治基本条例の前文へのパブリックコメントを区議会議員Bさんに伝え、検討委員会委員の立場で答えてもらう。また、議員として大切にしていることを聞く。 ・区民一人一人を大切にしてほしい。 ・区民の声を区の政治に生かしてほしい。	◎区議会議員のBさんの話 ◎「わたしたちのくらしと新宿区の政治」(パンフレット) □子供の質問を事前にBさんに伝え、区議会の様子を整理して子供へ伝えられるようにする。 ◎区議会議員のBさんの話 ◎「新宿区自治基本条例」(パンフレット) □議員に立候補しようと思った理由や新宿区をよりよくしたいと思う議員の立場での願いについて伝えていただく。
みんな タイム (10)	○新宿区の国民権の実現度をポジショニングマップに位置づけ、その理由を話し合う。 ・実現している・・・自治基本条例の前文にも区民の願いを大切にしよう書かれている。だから区民の声が反映されている。 ・実現していない・・・区議会議員の方が頑張っても、選挙の投票率が低かったので区民全員で選んだ代表とは言えない。	□ICTを活用し子供が選んだ立場の傾向について全員が確認できるようにする。 □ポジショニングマップを活用して一人一人が考える実現状況を共有し、国民権についての考えを深められるようにする。
振り返り タイム (5)	○これまで選挙、区政参加、区議会議員について学習したことを基に、国民権についての自分の考えをまとめる。 ・新宿区では、選挙の他にも国民権の考え方に基づいた取組が進められていて、区民の願いが政治に反映されるような仕組みが整えられている。豊かなくらしを実現するためには、私たちも国民権を大事にするためにも、これからも政治につながっていくことが大切だと思いました。	【態度②】これまでの学習を基に、国民権の大切さや自分とのつながりについて考えようとしている。 (学び方カード)

### (3) 本時の板書計画



学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>◆なぜ、ユニバーサルデザインを広めているのだろう。</p> <p>【知技①】ユニバーサルデザインは、日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅や公共施設など、たくさんの場所にユニバーサルデザインが取り入れられている。</li> <li>・ユニバーサルデザインは日本国憲法に関係がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインは車いす利用者や高齢者など、様々な人の役に立っている。</li> <li>・日本国憲法の基本的人権の尊重が関係している。基本的人権は、誰もが安心して暮らせるための考え方。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅や公共施設の具体的な写真を導入で扱ったことで、ユニバーサルデザインについて意欲的に考えるきっかけとなった。</li> </ul>
2時	<p>◆憲法はどのような考え方でつくられているのだろう。</p> <p>【思考①】日本国憲法の基本的な考え方に対して疑問を出し合い、学習問題を設定している。</p> <p>【態度①】学習問題に対して予想し、学習計画を立てることを通して、これからの学習に見通しをもっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の内容を知りたい。いつ、どのようにつくられたのだろう。</li> <li>・日本国憲法の三原則は自分たちの生活とどのように関係しているのだろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の三原則はどのようにつくられたのだろう。</li> <li>・基本的人権の尊重はユニバーサルデザインと関係があると前回勉強したので、他の国民主権と平和主義は自分たちの暮らしにどのような影響があるか調べたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法の三原則を知り疑問や調べたいことを出す際に戸惑う子供がいた。子供が三原則と自分たちの生活を結び付けて疑問が出せるような工夫がさらに必要である。</li> </ul>
3時	<p>◆基本的人権の尊重の考えとわたしたちのくらしはどのようにつながっているのだろう。</p> <p>【知技①】基本的人権の尊重の考えが自分たちのくらしに関わることを資料から具体的に調べ、理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが学校に行くことも基本的人権の尊重とつながっている。基本的人権の尊重がないと、言いたいことも言えなくなるので、世の中が大変になると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重があるから私たちは安心して暮らせる。子どもや高齢者、障害のある人など様々な立場の人が安心して暮らすために基本的人権の尊重がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的人権の尊重は子供ともつながりの深いところもあり、多くのつながりを見付けることができた、基本的人権の尊重と自分たちとの暮らしが深くつながっていることに多くの子供が気付いていた。</li> </ul>
4時	<p>◆国民主権の考えとわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。</p> <p>知技① 国民主権が現在の政治や自分たちのくらしに関わることを資料から具体的に調べ、理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国会議員や区議会議員などを選ぶときの選挙ができるのは国民主権があるから。</li> <li>・選挙で選ばれた代表の人が区や国の政治を行うことで暮らしをよくしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民主権があるので自分たちの代表を選挙で選ぶことができる。もし国民主権がなければ自分たちの代表を決めることができないので、一部の人がだけ得をする世の中になると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選挙以外で国民主権の考えが生かされている場面が少なく、自分たちの暮らしとのつながりが捉えにくかった。</li> </ul>

5時	<p>◆平和主義の考えとわたしたちのくらしは、どのようにつながっているのだろう。</p> <p>【知技①】平和主義と自分たちのくらしの関わりを具体的に調べ、理解している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎年、日本で原水爆禁止世界大会を開いている。各市区町村でも「平和都市宣言」が出されている。これは憲法の平和主義とつながっていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の正門の近くにも「新宿区平和都市宣言」のレリーフがたてられている。</li> <li>平和主義があることで安心して暮らせる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平和都市宣言」を出している都市を調べ、「なぜ出しているか」「どのような効果があるか」について考えることで、平和主義の意味を捉えることができた。</li> </ul>
6時	<p>◆国会には、どのような働きがあるのだろう。</p> <p>【知技①】国会の働きについて見学を通して分かったことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会には法律をつくらったり、予算を承認したりするはたらきがある。</li> <li>身近なことは様々な法律によって決められている。国会で決まった法律で私たちの生活が左右される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙で選ばれた国会議員が全国から集まり国全体に関わることを話し合っている。</li> <li>国会で話し合う国会議員は国民が選挙で選び、国民の願いを代わりに伝えてくれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会議事堂を見学したことで実感を伴った理解になった。</li> <li>「選挙で選ばれた国会議員は何をするのか」という問題意識をもって調べることができた。</li> </ul>
7時	<p>◆内閣や裁判所には、どのような働きがあるのだろう。</p> <p>【知技①】国会、内閣、裁判所の働きや自分たちのくらしとの関わりを理解し、図にまとめている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内閣、国会、裁判所は国民と密接にかかわって暮らしを支えていることや三権分立の仕組みが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会・内閣・裁判所・国民はすべてが関係しあっていて1つの所に権力が集まらないようになっていた。この仕組みは再び戦争を起ささないためだと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国会・内閣・裁判所の関係を整理することで三権分立の仕組みや目的を理解できた。</li> <li>三権分立のよさについて自分の考えをもつことができた子供が多かった。</li> </ul>
8時	<p>○日本国憲法の三原則がそれぞれ国民の生活とどのような関連があるか考え、同心円チャートにまとめる。</p> <p>【思考②】日本国憲法の基本的な考えと国民生活を関連付けて、その役割を考えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同心円チャートを利用して各年齢層ではどのように三原則が当てはまるのか、利用できるのか整理することができた。</li> <li>次回は区議会議員の方に話を聞いて「区」への理解を深めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同心円チャートにまとめることで、人は生まれてから死ぬまで権利をもっていることが分かった。18歳以上になると権利も義務も増えることが分かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同心円チャートにまとめることを通してこれまで学習した三原則が具体的にどのような場面に関わってくるか理解できた。</li> </ul>
9時	<p>◆新宿区では、国民主権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。～選挙管理委員会の人の話から考えよう～</p> <p>【知技①】新宿区においても国民主権の考え方に基づいて選</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙管理委員の人は公平に選挙が行われるように、時間や費用をかけて準備をしている。</li> <li>新宿区では国民主権が実現できている。なぜなら、Aさんのようにどんな人で</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>投票率が上がらないことが課題。投票率が低いと、区民の願いが政治に届かないこともある。</li> <li>新宿区では国民主権が実現できているとはいえない。なぜなら、投</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙管理委員会の方から、話を聞くことで投票の大切さや自ら考えて投票することの重要性を理解できた。</li> <li>ポジショニングマップを活用し考えを共有するには時間がやや不足していた。</li> </ul>

	<p>挙が行われており、選挙がわたしたちのくらしとも関わっていることや選挙を行うための様々な準備があることを理解している。</p>	<p><u>も選挙に参加できるように工夫したり、選挙の投票率を上げようと努力したりしているから。</u></p>	<p>票率がまだ低く、区民の願いが政治に届いているといえないから。</p>	
10時	<p>◆新宿区では、国民民主権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。～選挙以外の区民の願いが届く仕組みから考えよう～</p> <p>【思考②】新宿区の取組と国民民主権の考え方を関連付けて考え、国民民主権の実現度について考え、表現している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>区議会で様々なことが話し合われ、予算などを決めて実現されている。</li> <li>新宿区区民の声委員会が苦情を受け付ける。</li> <li>新宿区は外国人も増えているので、様々な国の人と仲良く暮らせるようにするといいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市長への手紙やパブリックコメントで意見を募集している。</li> <li>区民の声を区の政治に生かしてほしい。</li> <li>新宿区は交通が発達し近代的だが自然が少ない、もっと自然豊かな街にしてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙以外で区民の願いを届ける仕組みについてほとんどの子供は知識がなく、学習を通して様々なルートがあることを理解していた。</li> </ul>
11時	<p>◆新宿区では、国民民主権の考え方が実現されていると言えるのだろうか。～区民の代表の議員の話から考えよう～</p> <p>【態度②】これまでの学習を基に、国民民主権の大切さや自分とのつながりについて考えようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿区をふくめ様々な所で国民民主権になるよう努力していることが分かった。<u>国民民主権を実現するために意見を聞いているが、なかなか実現するのが難しいという現実が分かった。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習前は国民民主権の考えは実現していないと思っていた。しかし今は実現していると思う。なぜなら、<u>選挙管理委員会や区議会議員の方の話</u>を聞いて、<u>自分たちの意見が政治に反映される仕組みや活動がある</u>と学んだから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>選挙管理委員会や区議会議員といった区政に関わる様々な立場の方の話聞くことで、自分たちの住む自治体で国民民主権が実現しているか多角的に考えることができた。</li> </ul>

### 考察

本小単元では、「新宿区では、選挙の他にも、国民民主権の考え方に基づいた政治の取組が進められていて、区民の願いが政治に反映されるような仕組みが整えられている。豊かなくらしを実現するためには、私たちも国民民主権を大事に使いたい」と考えることができる子供を目指す子供像としている。

A 児は第 11 時で「新宿区をふくめ様々な所で国民民主権になるよう努力していることが分かった。国民民主権を実現するために意見を聞いているが、なかなか実現するのが難しいという現実が分かった。」と記述している。この記述から、新宿区ではよりよい街づくりに向け様々な年代や立場の方から願いや協力を得るための方法を導入し、区民の政治参画を可能にしていることを理解していると考えられる。

B 児は 11 時で「学習前は国民民主権の考えは実現していないと思っていた。しかし今は実現していると思う。なぜなら、選挙管理委員会や区議会議員の方の話聞いて、自分たちの意見が政治に反映される仕組みや活動があると学んだから。」と記述している。この記述から、国民民主権の実現を支えるために努力する人々の取組について共感的に理解していると考えられる。

・目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントが以下の 2 点である。

- ① 選挙管理委員会の A さんや区議会議員の B さんの話を聞くなど、国民民主権の考えを政治に反映させようとする人々の思いや願いに共感できるようにすることが主体的に問いを追究することにつながった。
- ② 憲法の三原則と国民生活とのつながりを年代ごとの同心円チャートにまとめる学習活動は、日本国憲法と国民生活に関連付けて考える際の手だてとなった。

## 第6学年 社会科学習指導案

### 1 小単元名 「明治の新しい国づくり」(8時間)

#### 2 小単元の目標

世の中の変化や外国との関わり、明治の国づくりに関わった人々の願いや働き、明治政府の仕組みや政策などに着目して、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて調べ、この頃の政治の仕組みや世の中の様子の変化を考え、表現することを通して、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

#### 3 小単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①世の中の変化や外国との関わり、明治の国づくりに関わった人々の願いや働き、明治政府の仕組みや政策などについて、地図や年表などの資料を活用して調べ、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて理解している。</p> <p>②調べたことを関係図にまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化をすすめたことを理解している。</p>	<p>①世の中の変化や外国との関わり、明治の国づくりに関わった人々の願いや働き、明治政府の仕組みや政策などに着目して問いを見だし、黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化などについて考え、表現している。</p> <p>②黒船の来航、廃藩置県や四民平等などの改革、文明開化による社会の変化などを関連付けたり総合したり、江戸の頃と比較したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の変化を考え、表現している。</p>	<p>①明治時代の近代化について予想や学習計画を立てたり、学習を振り返ったりして、主体的に学習問題を追究し、解決しようとしている。</p>

#### 4 目指す子供像

本小単元では、「新しい明治の世の中を創ろうとした歴史上の人物の願いや働きに共感しながら、明治維新を機に近代化を進めた時期の社会の変化を理解するとともに、地域に残る歴史の足跡にも目を向けることで、歴史を身近に感じ、過去の歴史の変化の上に今の社会があることに関心を向けようとする子供」の育成を目指す。

#### 5 教材について

幕末、列強の植民地化が東アジアに及び、1853年の黒船の来航をきっかけに幕府が開国し、200年あまり続いた鎖国が終わる。本小単元では、当時の外国とのつながりを教材化し、歴史世界地図を資料として活用する。その後起こった薩摩藩や長州藩を中心にした討幕運動により、1867年に幕府が大政奉還し、約260年続いた江戸幕府の政治が終わりを告げる。明治政府は、廃藩置県、四民平等などの諸改革を行い、天皇を中心とする中央集権化を進めるとともに、徴兵令による軍隊や殖産興業などの富国強兵の政策を進め、近代化の道を歩み出す。その時に新しい明治の世の中を創ろうとした人物の願いを基に人物の働きを資料化する。明治時期には東京が首都となり、文明開化が進み街の様子も西洋化していく。歴史的遺構の「高輪築堤」等が当時の様子を伝えている。学生発布により全国に小学校が設置され、鉄道の他に、郵便や電話、ガス灯が広まり、人々の衣食住も西洋化して、文明開化が進んでいった。日本が大きく変わる中、四谷周辺では、明治27年に鉄道が敷かれ、江戸時代の藩邸が軍事施設となったり印刷工場や鉛筆工場が建てられたり牛肉や牛乳を食べるために牧場がつけられたりしている。子供たちの生活の舞台である四谷が江戸時代とは大きく変わっていった様子を教材化する。



江戸時代の古地図



明治時代の古地図



四谷牧場

## 6 小単元の構想

<b>学習経験</b>	小単元「大陸に学んだ国づくり」では、挿絵の資料を基に当時の人々の思いに着目して読み取ったり、学習計画を立てる際に年表を活用して見通しをもったりする活動を行った。さらに国づくりに関わった人々の政策などを関連付けたり総合したりすることで、そこに込められた願いについて考えられた。本小単元とは、新しい国をつくる上で、外国とのつながりや政府中心の国づくりを目指す人々の願いなど、共通する視点を生かした追究が可能になる。また、江戸時代は四谷周辺には大名屋敷が建てられ甲州街道が整備されている。さらに、明治の新しい国づくりが自分たちの住む四谷でも行われたことを調べることを通して、歴史とのつながりを身近に感じることができる子供を育てたい。
-------------	---

過程	子供の主体的な問題解決の側面から		社会生活の確かな理解の側面から	
	想定される主な「問い」	子供に働かせたい見方・考え方	見方・考え方を働かせる資料・活動	子供が獲得できるようにしたい知識
つかむ	<学習問題をつかむ問い> ・なぜ江戸の町は短い期間で大きく変わったのだろうか。 ・開国によって世の中はどのように変化したのだろうか。 ・明治の国づくりに関わった人々はどのような思いだったのだろうか。	← 江戸から明治にかけての <b>町や人々の暮らし、社会の変化</b> に着目して →	・江戸時代と明治の高輪の様子 ・ペリーの肖像画 ・幕末の米の値段の推移 ・大政奉還 ・列強のアジア進出 ・木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通の業績	・江戸時代は鎖国であったにもかかわらず明治時代になると短期間で街や人々の暮らしが西洋風に変化した。 ・黒船来航により新しい政治を目指す動きが起き江戸幕府が倒れ武士の世の中が終わった。
習題	<b>明治の国づくりに関わった人々は、どのような国づくりを目指し、どのようなことをしたのだろう。</b>			
しらべる	<しらべる問い> ・明治政府は、どのような政治の仕組みを整えたのだろうか。 ・国を豊かにするために何をしたのだろうか。 ・国を強くするために何をしたのだろうか。 ・人々の生活はどのように変化したのだろうか。 ・明治政府の政策によって、新宿や四谷のまちは、どのように変化したのだろうか。	← <b>政治の仕組み</b> に着目して → ← <b>明治政府の政策</b> に着目して → ← <b>暮らしの変化</b> に着目して →	・廃藩置県 ・人口の割合（四民平等） ・富岡製糸場 ・地租改正・徴兵令 ・明治時代の始めの高輪の様子 ・小学校の授業風景 ・福沢諭吉 ・四谷の古地図、年表 ・四谷の江戸と明治の古地図を比べ、土地の利用の変化を比べる活動	・藩を廃止して県を置く廃藩置県を行い、各県に政府の役人を送り込んだ。 ・経済を発展させるために製糸場や兵器工場など官営工場をつくった。 ・軍隊を強くするために、西洋から戦い方や武器等の技術を取り入れ訓練した。 ・学校に通った子供の割合が多くなっていった。四谷のまちにも、西洋風のものが増えていった。
まとめる	<特色や意味を考える問い> ・武士の時代と比べて明治のころはどのような世の中になったと言えるだろう。	← 明治時代の人々が行ったことを <b>関連付けて</b> → ← 江戸時代と明治時代の政治の仕組みや人々の暮らしを <b>比較して</b> →	・木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通の肖像画 ・四民平等 ・廃藩置県 ・富岡製糸場 ・徴兵令 ・文明開化 ・調べたことを、年表に整理し、明治の世の中の様子を話し合う活動	・明治政府は、西洋の文化や仕組みを取り入れながら、近代的な国家になった。四谷のまちでも今につながる制度や暮らし方が始まった。 ・江戸時代は身分が分かれ武士が政治の中心にいたが、明治時代になると四民平等になった。

## 7 研究内容との関連

### (1) 主体的に問いを追究する工夫

#### ○問題意識を高める

- ・「つかむ」段階の第1時では、高輪の絵を比較し、時代の様子が大きく変わったことや政治の権力者の変化を捉えさせる。第2時では、米の値上がりや列強のアジア進出などの資料をもとに、当時の日本の置かれている状況を実感させる。この2時間で、問題意識を十分に高めた上で、学習問題を設定すれば、「しらべる」段階での追究意欲が高まるのではないかと考えた。

#### ○子供が資料を選んで学習をすすめる

- ・第3時の後半では、学習問題についての予想をグループで考える。そこで考えた「問い」から学習計画を立て、「しらべる」段階では、それぞれのグループが「問い」に合った資料を選びながら、学習を進められるようにする。また、「しらべる」段階で扱う資料は、教科書だけでなく資料集や子供用のデジタル教科書、シェアポイント内にあるリンク集などから、子供たちが自ら資料を選んで調べられるようにする。

#### ○身近な四谷のまちの変化を調べる

- ・「幕府の政治と人々の暮らし」の学習では、江戸幕府の政策によって四谷のまちがどのように変わってきたかを学習した。ここでは、参勤交代によって大名屋敷がつくられたことや五街道の整備によって甲州街道がつくられたことなど、江戸幕府の政策が子供の身近な場所にも影響を及ぼしていること実感していた。本小単元でもその学習経験をもとに、「しらべる」段階で、明治政府の政策の影響で、新宿や四谷のまちがどのように変わっていったのかを調べられるように、学習展開を工夫する。

### (2) 社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫

#### ○政治の仕組みや政策、暮らしの変化、外国とのつながりに着目して調べる学習活動の工夫

- ・第2時では、列強のアジア進出地図を提示する。日本が置かれている状況を国内からだけでなく、当時のアジアがどのような状況だったのかを、広い視野で捉えることができるようにする。第3時の学習問題の予想を考える場面では、それまでの小単元で培ってきた見方・考え方を働かせて予想させる。これまでに、聖武天皇の国づくり、鎌倉幕府の国づくり、江戸幕府の国づくりと、新しい国をつくる時に、必要な要素を考えて学習を進めてきた。本小単元では、これまでの学習を生かし、「為政者」「政治の仕組み」「外国との関係」「人々の生活の様子」という視点から、明治政府がどのような国づくりを目指したかを考えられるようにする。



#### ○比較して歴史の展開を考察する学習活動の工夫

- ・本小単元は、700年にわたって続いた武士の時代が終わる、歴史の大きな転換点である。そこで、「まとめる」段階では、これまでの武士の時代と明治のころの世の中を比較する学習活動を設定する。これまで学習してきた時代を概観したうえで、明治政府の国づくりと比較することで、明治時代の世の中の変化についてより具体的に考えることができるのではないかと考えた。

### (3) 子供の学びを確かにする評価

#### ○子供が資料を選んで学習をすすめる場面での振り返りの工夫

- ・「しらべる」段階の第5時では、それまでに調べてきたことを振り返る学習活動を設定する。自分の調べている内容が問いと正対しているか、次時以降で友達と情報を共有する時に今までの調べ方で十分かを振り返り、学び方カードに記入させる。振り返る中で、しっかりと調べることができた点や資料の選択で十分に調べられていない点などを自覚させることで、第6時までの間でもう少し調べてみようという意欲を高める姿や、次の小単元以降での学び方をよりよくしようとする姿につながるのではないかと考えた。

#### ○「学び方カード」の活用

- ・「つかむ」段階、「しらべる」段階、「まとめる」段階ごとに学習の進め方を振り返って次の段階での追究の見通しをもてるようにする。また、小単元終了時に小単元全体の振り返りを行い、学習を通して考えが深まった自分や、自分ができるようになったことに気付き、積み重なってきた学びを次の小単元での学習に自ら生かしていこうとする態度を養っていく。歴史の各単元において、このような積み重ねをしていくことで、子供が「歴史を学ぶ意味」について考えることができるようになるのではないかと考えた。

8 小単元指導計画 (全8時間)

過程	ねらい (数字は時数)	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ◆問い ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
つかむ	<p>黒船来航により、日本が不平等条約を結んで開国したことで、まちの様子が大きく変わったことを理解できるようにする。</p> <p>①</p>	<p>○明治時代と江戸時代の高輪の様子を比較し、違いについて話し合う。</p> <p>◆なぜ江戸の町は短い期間で大きく変わったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・洋風になっているから外国とのつながりが始まった。鎖国が終わった。</li> </ul> <p>○黒船来航をきっかけに開港したことや、不平等条約を結んだことについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・黒船でやってきたペリーは蒸気機関車などの進んだ技術を幕府に示し、開国を求めた。</li> </ul> <p>●問いについてのまとめをノートに書く。</p> <p>○開国後の日本の変化についての疑問をノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府はどうなったのかな。</li> <li>・いつから明治時代になったんだろう。</li> </ul>	<p>◎江戸時代と明治時代初期の高輪の様子</p> <p>□江戸時代は鎖国であったにも関わらず短期間で変化したことを確認した上で考えさせる。</p> <p>◎黒船来航の絵</p> <p>◎ペリーが示した優れた技術(電信機、蒸気機関車の模型、ピストル)</p> <p>◎外国と結んだ不平等条約</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「黒船来航により、日本が不平等条約を結んで開国したことで、まちの様子が大きく変わったことを理解しているか」を評価する。</p>
	<p>国内での幕府に対しての不満の高まりや新しい政治を目指す動きについて調べ、武士の世の中が終わった経緯を理解できるようにする。</p> <p>②</p>	<p>○前時の学習を振り返り、疑問を基にめあてをつかむ。</p> <p>◆開国によって世の中はどのように変化したのだろうか。</p> <p>○生活への影響について教科書で調べ当時の人々の気持ちを考え話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・米が値上がりしたら困るので、一揆や打ちこわしに参加した人々の気持ちも分かる。</li> </ul> <p>○列強のアジア進出の資料を基に、当時の日本が置かれた状況について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本以外のほとんどの国が侵略されている。</li> <li>・このままだと日本も危険だ。</li> </ul> <p>○維新の三人らが倒幕を目指し、江戸幕府が終わったことについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・木戸や西郷、大久保らが協力して倒幕運動を進めた。</li> <li>・徳川慶喜は政権を天皇に返した。</li> </ul> <p>●問いについてのまとめをノートに書く。</p> <p>○疑問をノートに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治の国づくりに関わった人々は困難をどう乗り越えようとしたのかな。</li> </ul>	<p>◎幕末の米の値段の移り変わり</p> <p>◎列強のアジア進出地図</p> <p>□列強が東アジアに進出していく 様子が分かるスライドから日本が置かれた状況について想像し、話し合う。</p> <p>◎木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通の肖像画</p> <p>◎江戸城の明けわたし</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「国内での幕府に対しての不満の高まりや新しい政治を目指す動きについて調べ、武士の世の中が終わった経緯を理解しているか」を評価する。</p>
	<p>黒船が来航した当時の人々の思いや願いについて話し合い、明治政府の国づくりについて調べる学習問題を設定し、学習計画を立てて追究の見通しをもてるようにする。</p>	<p>◆明治の国づくりが始まった当時の人々は、どのような思いだったのか。</p> <p>○予想を話し合い、学習問題を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大久保利通は、改革を進めたということは、今までの制度をたくさん変えようとしたのではないか。</li> <li>・西郷隆盛は、軍隊の指揮をとっていたから、国を強くしようとしたのではないか。</li> <li>・木戸孝允は、二人をサポートしていたから、同じ</li> </ul>	<p>◎大久保利通の資料(自作)</p> <p>◎西郷隆盛の資料(自作)</p> <p>◎木戸孝允の資料(自作)</p> <p>◎列強アジアの進出地図</p>

	<p>③ (2組本時)</p>	<p>思いをもっていたのではないか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;学習問題&gt; 明治の国づくりに関わった人々は、どのような国づくりを目指し、どのようなことをしたのだろう。</p> </div> <p>○明治時代の年表などを基に学習問題について予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強い国づくりを目指したと思う。</li> <li>・外国と対等に貿易ができるようにしたと思う。</li> <li>・高輪の浮世絵みたいに、近代的な国を目指したのだと思う。</li> </ul> <p>○学習問題についての予想を基に、どのような問いが必要なのかを考え、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような政治の仕組みをつくったのか。</li> <li>・国を強くするために何をしたのか。</li> <li>・国を豊かにするために何をしたのだろうか。</li> <li>・人々の生活はどのように変化したのか。</li> </ul> <p>●「つかむ」段階を振り返りカードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しがもてたから自分でも調べたい。</li> <li>・タブレットで検索して調べてみよう。</li> </ul>	<p>◎明治時代の年表 (自作)</p> <p>【思判表①】 ノートの記述から「明治の国づくりに関わった人々の思いについて着目して、問いを見いだしているか」を評価する。</p> <p>□子供の意見を「国の政治の仕組み」「豊かにする政策」「国を強くする政策」「人々の生活」に分類して板書する。</p> <p>□新宿や四谷のまちで明治の諸改革の影響を受けたことを年表に書き入れ、新宿や四谷のまちの変化に関心をもてるようにする。</p> <p>【態度①】 学び方カードの記述から「学習計画を立て、自分の追究の見通しをもっているか」を評価する。</p>
<p>資料を活用して調べ、明治政府がどのような政治の仕組みを整え、どのような政策を進めたのか、世の中の人々の暮らしにはどのような変化があったのかについて理解できるようにする。 ④⑤</p> <p>し ら べ る</p>		<p>◆明治政府は、どのような政治の仕組みを整えたのだろうか。</p> <p>○五箇条の御誓文から政府がどのような方針で国づくりを進めたのかを調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなの意見を聞いて、世界からも学び、天皇中心の国をつくろうとしている。</li> </ul> <p>○政府が行った諸改革を調べ、それによって社会がどのように変わったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大名が治めていた領地と領民を天皇に返すようにした。(版籍奉還)</li> <li>・藩を廃止して県を置く、廃藩置県を行い、各県に政府の役人を送り込んだ。(廃藩置県)</li> <li>・江戸時代までの古い身分制度を改めた。(四民平等)</li> </ul> <p>◆国を豊かにするために何をしたのだろうか。</p> <p>○殖産興業(富岡製紙場)、地租改正の内容について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済を発展させるために国の費用で外国から機械を買い入れ、製糸場や兵器工場などの官営工場をつくった。</li> </ul> <p>◆国を強くするために何をしたのだろうか。</p> <p>○徴兵令について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民による西洋式の強い軍隊をつくるために、20歳以上の男子全てに兵役の義務を定めた徴兵令を出した。</li> </ul> <p>◆人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p> <p>○学校制度や暮らしにどのような変化があったのか、絵画や年表などから調べる。</p>	<p>□グループで考えた学習計画を基に、2時間かけて調べ学習を進める。</p> <p>◎五箇条の御誓文</p> <p>◎廃藩置県</p> <p>◎人口の割合(四民平等)</p> <p>◎岩倉使節団</p> <p>□江戸幕府と明治政府の仕組みを比較することで明治政府の仕組みを理解しやすくする。</p> <p>◎江戸時代の組織図</p> <p>◎大久保利通</p> <p>◎富岡製糸場</p> <p>◎地租改正</p> <p>◎徴兵令</p> <p>◎江戸時代に描かれた高輪の様子</p> <p>◎明治時代の始めの高輪の様子</p> <p>◎小学校の授業風景</p> <p>◎福沢諭吉</p> <p>◎明治時代に始まったことの年表</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「資料で調べ、明治政府の近代的な国づくりの政策について理解してい</p>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に通った子供の割合が多くなっていった。</li> <li>・西洋風のもが増えていった。</li> </ul> <p>○福沢諭吉の業績について調べ、人々の生活や考え方の変化、現代の暮らしへの影響を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家柄などによって身分が決まるしくみは間違っている。学問をすることで自立していくべきだという主張が広がった。</li> </ul> <p>●それぞれの問いについてのまとめをノートに書く。</p> <p>●調べてきたことを問いに照らして確かめ合い、発表できるかどうか、さらに調べることはないかを振り返り、学び方カードに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料で調べてきたことを、年表で整理して、調べ足りないことがないかを確認したい。</li> <li>・友達と調べた内容を共有して、もっと情報を得られるようにしたい。</li> <li>・調べるための計画をもとに、学級全体で調べてきたことを情報共有したい。</li> </ul>	<p>るか」を評価する。</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「殖産興業や富国強兵の政策に着目して集めた情報から、明治政府の目指した国づくりを理解しているか」を評価する。</p> <p>【知技①】 ノートの記述から「人々の暮らしや考え方の変化に着目して集めた情報から、文明開化について理解しているか」を評価する。</p> <p>【態度①】 学び方カードの記述から「問いについて十分調べることができたか振り返り、発表に向けて準備をしたりしようとしているか」を評価する。</p>
<p>問いについて調べてきたことを確かめ合い、明治政府がどのような国づくりを目指していたのか考え、表現できるようにする。</p> <p>⑥</p>		<p>○問いについて調べてきたことを学級全体で確かめ合い、明治政府がどのような国づくりを目指したのかを考えて話し合う。</p> <p>&lt;明治政府の政治の仕組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府は外国に学んで政府を中心とした国の仕組みを目指した。</li> </ul> <p>→藩ごとに分かれていた日本を一つにまとめ、外国に対抗できるようにするため。</p> <p>&lt;明治政府の経済的な政策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富国強兵のスローガンのもと、明治政府は西洋の国々にも学びながら国を経済的に豊かにするための諸政策を行った。</li> </ul> <p>→政府に税金が集まるようにし、様々な事業を起こして、国を豊かにするため。</p> <p>&lt;明治政府の軍事的な政策&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富国強兵のスローガンのもと、明治政府は西洋の国々にも学びながら、国を軍事的に強くするための諸改革を行った。</li> </ul> <p>→もしも外国に攻め込まれても自分の力で守ることができるようにするため。</p> <p>&lt;世の中のくらしの変化&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代には、西洋の文化や考え方が取り入れられ、人々の考え方が大きく変わり、今につながる制度や暮らし方が始まった。</li> </ul> <p>→様々な面で西洋化が急速に進んだ。</p> <p>●明治政府がどのような国づくりを目指していたのかを考え、ノートにまとめる。</p> <p>○新宿や四谷の変化とこれまで調べたこととのつながりを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幕府から明治政府に変わって、四谷のまちの様子も変わったのかな。</li> <li>・学習計画を立てているときに、四谷のことも書</li> </ul>	<p>◎これまでの調べるために集めた資料や記録したノート</p> <p>□学級全体で調べたことを確かめ合う時間を活用して、調べ足りないことについて捉えるようにする。</p> <p>□学習計画の問いごとに、各グループで調べたことを確かめ合う。</p> <p>□問いごとに事実の共有ができたなら、明治政府の諸改革にはどのような意味や願いがあるのかを考えていく。</p> <p>□問いごとに考えたことを基に、明治政府に関わる人々がどのような国づくりを目指したのかを話し合い、お互いの考えが深まるようにする。</p> <p>【思判表①】 ノートの記述から「調べた事実を根拠にして、明治政府の政治の仕組みや政策の目的に着目し、諸改革のねらいや意味について考えているか」を評価する。(ノート)</p>

		<p>かっていたから、四谷のまちがどのように変わったのかを調べていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調べる際の順番などを自分たちで決めたい。</li> </ul>	
	<p>明治政府の政策や暮らしの変化に着目して、明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて考え、表現できるようにする。⑦ (1組本時)</p>	<p>◆<b>明治政府の政策によって、新宿や四谷のまちは、どのように変化したのだろうか。</b></p> <p>○明治時代の新宿や四谷の変化について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四谷軒という牧場ができて、人々の西洋化した食生活を支えた。</li> <li>・尾張徳川家上屋敷跡に、陸軍士官学校が開設された。</li> </ul> <p>○調べたことを伝え合い、江戸時代の古地図と明治時代の古地図で位置を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大名屋敷などがあつた広い土地に、牧場や工場などがつくられているんだな。</li> </ul> <p>●<b>新宿や四谷のまちが変化した理由を考え、ノートに書く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大名屋敷の広い跡地は、軍事訓練に向いている。</li> <li>・広い土地に牧場をつくることで、たくさんの牛乳をつくることできる。</li> </ul> <p>○「しらべる」段階の学習を振り返ったことを学び方カードに書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明治の諸改革と新宿や四谷のまちの変化がどのように関わっているのかを、次はまとめたい。</li> </ul>	<p>◎明治時代の四谷の写真 ◎江戸時代と明治時代の四谷周辺の古地図 ◎四谷のまちの変化(自作) □本時では新宿や四谷について考えることに目を向けさせる。 □新宿・四谷のまちの変化と明治政府の政策とのつながりを考えるように伝える。</p> <p>【思判表①】ノートの記述や発言内容から「調べた事実を根拠にして、明治政府の政策や暮らしの変化に着目して、明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて考えているか」を評価する。</p>
<p>まとめる</p>	<p>調べたことをまとめ、日本は欧米の文化を取り入れて近代化を進めたことを理解し、明治政府の政策と人々の暮らしや社会の変化を関連付け、どのような国が目指されたのかを考え、表現できるようにする。⑧</p>	<p>○新宿や四谷の変化で現在も残っているもの、いないものについてその理由を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軍隊がないため陸軍学校は今はない。でも自衛隊があるので現在にもつながっている。</li> <li>・石鹼や印刷工場は今もある。今の生活にも必要なため。</li> <li>・牧場は今はない。広い土地がないし技術が発達し郊外からも牛乳が運べるようになったから。</li> </ul> <p>●<b>学習問題に対する自分の考えを書く。</b></p> <p>【五箇条の御誓文】…木戸孝允が作成にかかわり、政府の方針を示した。</p> <p>【廃藩置県】…大久保利通が、政府の力を強めるようために行った。大久保は、近代的な工業を育て、強い国をつくらうとした。四谷にも、石鹼や印刷の工場ができた。</p> <p>【学制公布】…福沢諭吉は、「学問のすすめ」で多くの人の考え方に影響を与えた。6才以上の男女が学校に通うようになり、わたしたちの四谷小もこのころつくられた。</p> <p>◆<b>武士の時代と比べて明治のころはどのような世の中になったと言えるだろう。</b></p> <p>●<b>問いに対する自分の考えを書く。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸時代は武士の世の中で、徳川の江戸幕府が他の大名の上に立って政治を行っていたけど、明治政府は西洋の文化を取り入れて、強くて豊かな国をつくらうとした。世の中は、四民平等になり、国の仕組みが、現在の社会の様子に近い世の中になっていったと思う。</li> </ul>	<p>◎木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通の肖像画 ◎四民平等 ◎廃藩置県 ◎富岡製糸場 ◎徴兵令 ◎文明開化</p> <p>【知技②】年表の記述から「明治の国づくりについて調べたことをまとめ、我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化をすすめたことを理解しているか」を評価する。</p> <p>【思判表②】年表の記述から「明治政府の諸改革、文明開化による社会の変化などを関連付けたり、江戸の頃と比較したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の変化を考え、表現しているか」を評価する。</p>

9 本時の学習 1 (3/8時)

6年2組 主任教諭 瀧上 悠太

(1) 本時のねらい

黒船が来航した当時の人々の思いや願いについて話し合い、明治政府の国づくりについて調べる学習問題を設定し、学習計画を立てて追究の見通しをもつことができるようにする。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 10分	○前時を振り返り、明治の国づくりの中心人物（木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通）の思いを予想する。 ・このままでは日本が外国に侵略されてしまう。 ・日本を外国に負けない強い国にしたい。 ○予想した思いをもとに学習問題を考える。  <b>&lt;学習問題&gt;</b> 明治の国づくりに関わった人々は、どのような国づくりを目指して、どのようなことをしたのだろう。	◎木戸孝允、西郷隆盛、大久保利通の資料（自作） ◎列強のアジア進出地図  【思判表①】ノートの記述から「明治の国づくりに関わった人々の思いについて着目して、問いを見いだしているか」を評価する。
じぶんタイム 10分	○明治時代の年表をもとに、学習問題に対する予想を考える。 ・外国に負けない強い国にするために、政治の仕組みを変えた。 ・豊かな国にするために外国と貿易を行った。 ・新宿にも陸軍学校ができたので、軍隊を強くした。 ・外国に追いつくために人々の暮らしを変えた。	◎明治時代の年表 □新宿や四谷のまちで明治の諸改革の影響を受けたことを年表に入れ、新宿や四谷のまちの変化に関心をもてるようにする。
みんな 1タ 0イ 分	○学級全体で話し合い、追究する内容の分類をする。 ・どのような政治の仕組みを整えたのだろう。 ・国を豊かにするために何をしたのだろう。 ・国を強くするために何をしたのだろう。 ・人々の生活はどのように変化したのだろう。	□子供の意見を「国の政治の仕組み」「豊かにする政策」「国を強くする政策」「人々の生活」に分類して板書する。
みんな 1タ 0イ 分	●調べる課題を各自で選び、学習計画を立てる。 ・政治の仕組みを調べる⇒五箇条の御誓文・廃藩置県 ・国を豊かにする政策を調べる⇒殖産興業 ・国を強くする政策を調べる⇒徴兵令 ・人々の生活の変化を調べる⇒学制、文明開化	□学級の共通の学習計画を立てた後、調べることや調べる順番を考え、調べる2時間分の計画を各自で立てるようにする。
ふり 5か 分 えり タイム	●つかむ段階の学習を振り返り、自分の学び方と調べ学習の見通しについて学び方カードに書く。 ・見通しをしっかりとつことができた。学習計画通りに調べていきたい。 ・まずは教科書、資料集を中心にして調べていきたい。時間に余裕があればパソコンを使って、調べながら生まれた疑問について調べたい。	◎学び方カード 【態度①】学び方カードの記述から「学習計画を立てて、自分なりに追究の見通しをもっているか」を評価する。

<板書>

木戸	幕府を倒したい	西郷	長州と同盟を結ぶ	大久保	新しい日本へ
列強のアジア進出の地図		<ul style="list-style-type: none"> <li>・このままだと日本がなくなってしまう</li> <li>・日本を外国に負けない強い国にしたい</li> </ul>			
学習問題：明治の国づくりに関わった人々は、どのような国づくりを目指し、どのようなことをしたのだろう。					
年表 ※新宿・四谷の変化も含めた明治の年表			<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供が調べたいことを分類する</li> <li>1 国の仕組み</li> <li>2 豊かにする政策</li> <li>3 強くする政策</li> <li>4 人々の生活</li> <li>5 新宿や四谷の変化</li> </ul>		

(1) 本時のねらい

明治政府の政策や暮らしの変化に着目して、明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて考え、表現する。

(2) 本時の展開

	○主な学習活動 ●評価につながる学習活動 ・予想される子供の反応	◎資料 【評価】 □教師の手だて
導入 5分	○前時までの明治政府が進めた国づくりを振り返り、学習計画を確かめる。 ・政治の仕組みを整えた。 ・官営工場をつくり、国を豊かにした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">明治の国づくりによって新宿や四谷はどのように変わったのだろう。</div>	◎前時に確かめた明治政府の政策 ◎明治時代の四谷の写真 □本時では新宿や四谷について考えることに目を向けさせる。
じぶん タイム 10分	○明治時代の新宿や四谷の変化について調べる。 ・廃藩置県によって、尾張藩邸の跡地に陸軍士官学校がつくられた。 ・食生活の変化により、庶民が牛乳を飲むようになり、四谷軒という牧場がつくられた。 ・近代的な工業として、新宿にも石鹼工場や印刷工場がつくられた。 ・学制の発布により、四谷にも小学校がつくられた。	◎江戸時代と明治時代の四谷周辺の古地図 ◎四谷のまちの変化 (自作) □新宿・四谷のまちの変化と明治政府の政策とのつながりを考えるように伝える。 □明治期の四谷の周辺の写真資料等をタブレットに入れ、子供が必要な情報を選べるようにしておく。
みんな タイム 15分	○調べたことを伝え合い、江戸時代の古地図と明治時代の古地図で位置を確かめる。 ・廃藩置県によって、大名屋敷があった広い土地に、陸軍士官学校や牧場、工場、学校など明治政府の政策を実現するための施設が数多くつくられた。	◎子供が家庭学習で調べた新宿・四谷の明治期の変化の資料 ◎江戸時代と明治時代の四谷周辺の古地図
みんな タイム 10分	●なぜ、新宿や四谷のまちの様子がこのように変化したのかを考える。 ・大名屋敷の跡地が広く、軍事訓練に向いていたから。 ・牧場の土地をなるべく広くすることで、たくさんの牛乳をつくりたかったから。 ・学校をつくることで、様々な分野で活躍する人を育てたかったから。	◎既習の新宿・四谷の明治期の変化【思判表①】ノートの記述や発言内容から「調べた事実を根拠にし、明治政府の政策や暮らしの変化に着目して、明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて考えているか」を評価する。
ふりか えり 5分	○「しらべる」段階の学習を振り返り学び方カードに書く。 ・明治政府の諸改革と新宿や四谷のまちの変化がどのように関わっているのかを次はまとめたい。 ・学習問題の解決に向けて調べたことを整理したい。	◎学び方カード

**<板書>**

明治の国づくりによって新宿や四谷はどのように変わったのだろう。

<明治政府は>

- ・政治の仕組みを整える
- ・軍を強くする
- ・工業を発展させる

四谷周辺の古地図

※子供が調べた内容にかかわる場所を、地図上でマークをして、新しい国づくりの広がりを実感する

- ・藩邸があった場所に、陸軍学校ができた
- ・四谷軒という牧場があった(牛肉や牛乳を提供していた)
- ・石鹼工場がつくられた
- ・印刷工場ができた

富国強兵とつながっている

人々の暮らしの変化

工業が発展 (殖産興業)

明治の諸改革が行われたことで、江戸城近くにあった四谷も近代化したまちになっていった。その上に今の建物も建てられ私たちが暮らしている。

# 令和4年度全小社研東京大会プレ発表会（四谷小学校）補助資料

## 6年「明治の国づくり」

### 1 教材の構造と主な資料



外国の植民地支配がアジアにも広まり黒船が来航した。

幕末における江戸幕府や討幕の中心となった人物の願い。

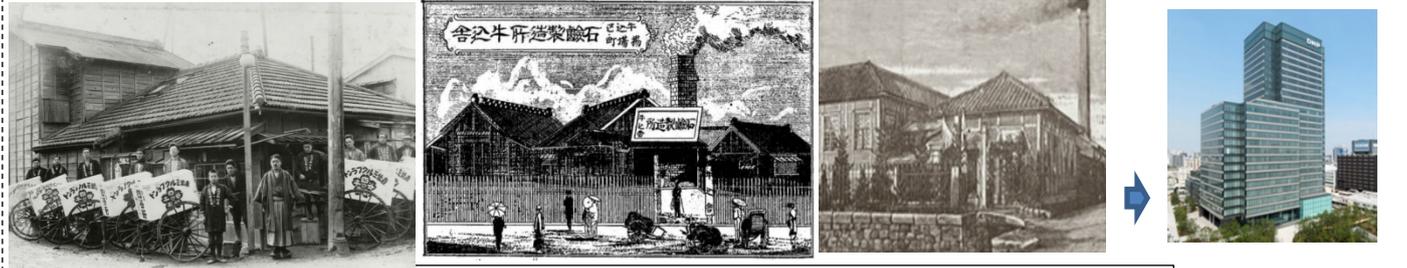
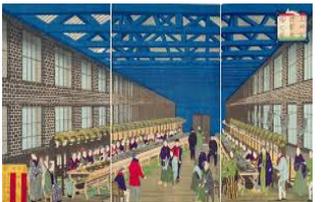
外国とのつながり・世の中の様子の変化  
人物の願い

学習問題：明治の国づくりに関わった人々は、どのような国を目指し、どのようなことをしたのだろう。

<p><b>世の中の様子の変化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○開国により欧米の文化を取り入れて文明開化が進んだ。</li> <li>・衣食住の西洋化</li> <li>・学制発布と学校建設</li> <li>・新聞や電話の普及</li> <li>・街の様子が西洋化</li> </ul>	<p>明治維新の頃の主な歴史的事象を捉え</p>	<p><b>人物の働き</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○明治政府の諸改革により日本の近代化が進んだ。</li> <li>・廃藩置県</li> <li>・四民平等</li> <li>・殖産興業</li> <li>・富国強兵</li> </ul>
<p>身近な新宿・四谷のまちな変化の教材化</p>		<p>西郷隆盛 大久保利通 木戸孝允などの願いと働きを教材化</p>

我が国が明治維新を機に欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことを理解する。

新しい明治の世の中を創ろうとした歴史上の人物の願いや働きに共感しながら、明治維新を機に近代化を進めた時期の社会の変化を理解するとともに、地域に残る歴史の足跡にも目を向けることで、歴史を身近に感じ、過去の歴史の変化の上に今の社会があることに関心を向けようとする。



明治時代の新宿・四谷のまちな変化

学習の実際 下線部は目指す子供像に迫る記述

	○主な学習活動 ◆問い【】評価規準	観察対象児童の学習記録		教師による考察
		A児	B児	
1時	<p>◆なぜ江戸の町は短い期間で大きく変わったのだろうか。</p> <p>【知技①】ノートの記述から「黒船来航により、日本が不平等条約を結んで開国したことで、まちの様子が大きく変わったことを理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>鎖国をしていたが西洋風のものや外国の人が多かったので開国したのでは。</li> <li>ペリーの来航をきっかけに江戸幕府はアメリカと日米和親条約、日米修好通商条約といった不利な条約を結び日本は約200年続いた鎖国から開国をして西洋の文化が取り入れられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>明治時代になると建物にレンガが使われている。建設技術や産業の発達があったのでは。</li> <li>江戸の町は当時黒船の来航で不平等条約を戦争の恐怖から結んでしまい、日本が不利な状況に立たされた。それらのことから短期間で変化があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代と明治時代の高輪の様子を比較する活動は、交通手段や人々の暮らし、外国との関係に様々な変化があったことを子供が捉えるうえで有効であった。</li> <li>日米和親条約、日米修好通商条約について詳しく調べたり互いに説明したりすることで不平等条約について子供の理解が深まった。</li> </ul>
2時	<p>◆開国によって世の中はどのように変化したのだろうか。</p> <p>【知技①】ノートの記述から「国内での幕府に対しての不満の高まりや新しい政治を目指す動きについて調べ、武士の世の中が終わった経緯を理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開国によって貿易が始まり、品物が値上がりして生活が苦しかった。</li> <li>西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の3人は約束を結び討幕を目指した。</li> <li>外国との貿易が始まると品物が値上がりして人々の生活が苦しくなり幕府に対する不満が高まった。また薩摩藩や長州藩が中心となって討幕運動を行い新しい世の中をつくる動きが起きた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開国によって外国から様々な品物が入り日本の産業の発展が妨げられた。</li> <li>木戸孝允は討幕を目指し薩摩藩と密かに軍事的な約束を結んだ。</li> <li>開国によって幕府が不平等条約を結び人々の不満が増えた。西郷隆盛や大久保利通などの人物が中心となって討幕運動が行われ、江戸幕府が倒れた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>列強が東アジアに進出していく様子が分かるスライドを提示することで、当時の人々が外国の進出に焦りを抱き、新しい国を目指した心情を想像するうえで有効だった。</li> <li>開国によって物価が高騰し幕府への不満が高まったことを多くの子供が理解できた。また、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允の3人について既に知っている子供も多く、調べる活動に意欲的に取り組むことができた。</li> </ul>
3時	<p>◆明治の国づくりが始まった当時の人は、どのような思いだったのか。</p> <p>【思判表①】ノートの記述から「明治の国づくりに関わった人々の思いについて着目して、問いを見いだしているか」を評価する。</p> <p>【態度①】学び方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>岩倉使節団が外国に学び、帰ってきてそれを日本に広めたことで印刷技術などが発達したのではないか。</li> <li>文化や学問、人々の生活の変化について調べたい。どんな文化や学問があったのかをまず調べ、次に外</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五か条の御誓文で国の方針を決めて国づくりをした。岩倉使節団が外国の文化を学んで日本に外国の文化を取り入れたのではないか。</li> <li>新しい政治の仕組みについて次回から調べたい。五か条の御誓文、徴兵令の順で調べたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新宿や四谷のまちで明治の諸改革の影響を受けたことを年表に入れたことで、学習計画を立てる際に地域の変化と明治の諸改革を関連付けて考える子供がいた。</li> <li>学習計画を子供自身が考える活動では、考えられずにいた子供も数名いた。そのため、具体例を挙げるなどの手だてが必要である。</li> </ul>

	<p>一どの記述から「学習計画を立て、自分の追究の見通しをもっているか」を評価する。</p>	<p>国からの考えや文化が人々の生活にどのような影響を与えたか調べたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問や予想をたくさん見付けて自分の考えを簡潔にまとめていきたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で年表をみて学習計画を立てるのは少し難しかったけれど、学習計画を立てられた。</li> </ul>	
4 ・ 5 時	<p>◆明治政府は、どのような政治の仕組みを整えたのだろうか。</p> <p>◆人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p> <p>【知技①】ノートの記述から「資料で調べ、明治政府の近代的な国づくりの政策について理解しているか」を評価する。</p> <p>【知技①】ノートの記述から「殖産興業や富国強兵の政策に着目して集めた情報から、明治政府の目指した国づくりを理解しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代には郵便制度や鉄道など、これまでなかったような人々の生活が便利になるものが生まれた。近代的なものを取り入れ西洋の国に追いつくために人々の生活を豊かにしていった。日本人の考え方や生き方が大きく変わった。</li> <li>・知りたいことはだいたい分かったが調べたところは東京や横浜など大都市だったので農村の人々の生活も調べたい。自分が調べたことを友達と共有して、自分が調べられなかったことを知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治政府は五か条の御誓文を基本方針とした政治を進めた。版籍奉還や廃藩置県、解放令により差別が無くなったようにおもえたが、生活はむしろ苦しくなり差別を受ける人が後を絶たなかった。</li> <li>・明治政府は欧米の国に追いつくために富岡製糸場など官営工場をつくり外国の技術者を招いて技術の発展に力を入れた。また、徴兵令を出すなどして西洋式の軍隊をつくった。</li> <li>・調べてノートに記録するときに物事を関連付けて書くように工夫した。明治時代に盛んになった学問などの文化をもっと調べたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で学習計画や本時の問いを考えたため、意欲的に問いを追究する子供が多かった。</li> <li>・教科書、資料集、タブレット、教師が用意した資料などから子供が自分に合ったものを選んで使うことで、意欲的に調べることができた。</li> <li>・子供によっては自分で設定した問いに合う資料が見つけれず、探すのに時間のかかる子供もいた。</li> <li>・第5時の最後の振り返りでは、自分が調べたことを友達と共有したり、自分が調べていないことを友達に教わったりしたいという記述が見られた。</li> </ul>
6 時	<p>◆明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか。</p> <p>【思判表①】ノートの記述から「調べた事実を根拠にして、明治政府の政治の仕組みや政策の目的に着目し、諸改革のねらいや意味について考えているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで鎖国をしていた日本が開国をすることで外国の技術を取り入れ、外国との関係を強める国を目指した。</li> <li>・新宿は江戸城に近いので、幕府が滅びた後衰退したのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は殖産興業や富国強兵の政策をとることで外国に負けない、物資の豊富な国を目指した。</li> </ul>	<p>グループごとに調べたことを共有し話し合うことで、互いの考えを深めることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合ったことを全体で発表し、自分が調べていない政策について知る機会を設けた。</li> </ul>
	<p>◆明治政府の政策によって、新宿や四谷のまちは、どのように変化したのだろうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸と明治の四谷の地図を比べることで、今の四谷と同じ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江戸・明治の地図を見比べ、「徳川政権がなくなったから松平・尾張</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古地図の読み取りは、江戸時代に扱った際やや読み取りが難しい様子だったが、回数を</li> </ul>

7時	<p><b>か。</b></p> <p>【思判表①】 ノートの記述や発言内容から「調べた事実を根拠にして、明治政府の政策や暮らしの変化に着目して、明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて考えているか」を評価する。</p>	<p><u>ところ・違うところを見付けた。</u>江戸時代に徳川の領地だったところが版籍奉還で国の土地になり、陸軍学校や防衛省になったことが分かった。</p>	<p><u>の領地がなくなったのでは」と歴史上の出来事と地図の変った点を結び付けて考えることができた。</u></p>	<p>重ねることで読み取りがスムーズになった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住む地域の古地図に興味をもち、意欲的に江戸から明治の変化をみつけていた。</li> <li>・明治政府の諸改革と地域に残る歴史的事象とのつながりについて子供がより深く考えられるような発問を精査していく必要がある。</li> </ul>
8時	<p>○学習問題に対する自分の考えを書く。</p> <p>【思判表②】 年表の記述から「明治政府の諸改革、文明開化による社会の変化などを関連付けたり、江戸の頃と比較したりして、この頃の政治の仕組みや世の中の変化を考え、表現しているか」を評価する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治の新しい国づくりでは、四文字の政策の標語を掲げていた。その意味をほどいていくと江戸幕府とは全然違う政策で国を豊かにしたり、強くしたりしていると考えました。政策には様々な特徴がありましたが、どれも、<u>どの人物も国を豊かにして強くしようという強い思いは変わらないのだ</u>と思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治時代には強くて近代的な国家を目指していたため殖産興業や富国強兵の政策を進めた。また、これらの政治は五か条の御誓文を基盤としていた。人々の間には西洋式の文化や学問の発展が盛んになり、より近代的な国家に近づいた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調べる」段階で、各自が選択したテーマを調べることで意欲的に追究し詳しく調べることで理解の深まった子供が多かった。自分の調べていないテーマについても、友達の発表を興味深く聞き、理解を深めていた。</li> </ul>

## 考察

本小単元では、「新しい明治の世の中を創ろうとした歴史上の人物の願いや働きに共感しながら、明治維新を機に近代化を進めた時期の社会の変化を理解するとともに、地域に残る歴史の足跡にも目を向けることで、歴史を身近に感じ、過去の歴史の変化の上に今の社会があることに興味を向けようとする」と子供を目指す子供像としている。

A 児は第8時で「政策には様々な特徴がありましたが、どれも、どの人物も国を豊かにして強くしようという強い思いは変わらないのだと思った。」と記述している。この記述から、新しい明治の世の中を創ろうとした歴史上の人物の願いや働きに共感して、近代化を進めた時期の社会の変化を捉えることができたと考えられる。

B 児は7時で「江戸・明治の地図を見比べ、「徳川政権がなくなったから松平・尾張の領地がなくなったのでは」と歴史上の出来事と地図の変った点を結び付けて考えることができた。」と記述している。この記述から、歴史を身近に感じ、過去の歴史の変化の上に今の社会があることを理解していると考えられる。

・目指す子供像の実現の背景にある指導のポイントが以下の2点である。

- ① 歴史上の変化と地域の変化を結びつけて考えることで、歴史を身近に感じ、過去の歴史の変化の上に今の社会があることに興味を向けることができる。
- ② 当時の人々の思いを予想しながら学習問題を設定することで、単元をとおして歴史上の人物の願いや働きに共感しながら学習することができる。

【第6学年分科会の成果と課題】

<p>目指す子供像</p> <p>自分の考えをもち、説明したり、発信したりする子供          友達の考えや意見を尊重し、認め合える子供          前向きにチャレンジする子供</p>			
<p>「自分発、みんな経由、自分行き」の授業づくり</p>			
研究内容	① <u>主体的に問いを追究する工夫</u>	② <u>社会的事象の見方・考え方が働く学習活動の工夫</u>	③ <u>子供の学びを確かにする評価の工夫</u>
○ 成果	<p>○単元のねらいに即して教材開発を行った。歴史単元では地域教材を開発し、子供が歴史を身近に感じ、主体的に問いを追究できるよう工夫できた。</p> <p>○よりよいまちづくりに尽力する選挙管理委員会の方や区議会議員の方の話など、人々の気持ちに共感できる教材や授業展開の工夫をすることで切実感をもって問いを追究することができた。</p>	<p>○日本国憲法の三原則と国民生活とのつながりを年代ごとの同心円チャートに整理するなど、まとめ方を工夫することで社会的事象を関連付けて考えることができた。</p> <p>○歴史学習において空間的な見方・考え方ができる資料（地図）を読み取ることによって当時の様子をより明確に理解することができたり、切実感をもって主体的に学ぶことができたりした。</p>	<p>○各単元で「学び方カード」を活用することで、子供自身に自分の学びを振り返る習慣が身に付いてきた。子供の記述の中にも「次の学習では～をしたい」というような言葉が増え、学習のつながりを意識できるようになった。</p>
● 課題	<p>●単元によっては関係する人々を取り扱うことが難しいものがある。そのため、人々の気持ちに共感する資料を作成することが課題である。</p>	<p>●様々な見方・考え方を働かせることのできる資料を扱ったが、その資料から情報を取り出し特色や意味まで考えられる子供が多くなかった。そのため、資料の読み取りや比較・分類・関連付け・総合していく方法について指導していくことが課題である。</p>	<p>●主体的に学ぶ態度を育成するうえで、学び方カードをどのように活用していけば効果的か検討していくことが課題である。</p>

## (1) 専科分科会の授業実践について

「自分発—みんな経由—自分行き」の授業づくりに向け、各教科で以下の取組を行った。

	手だて	成果(○)と課題(●)
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>導入部分で前時の振り返り等を活用し、これまでの学習のつながりを意識させる。</li> <li>内容や状況に応じてペア、グループ、全体と話合いの形態を変える。</li> <li>毎時間の振り返りを行う。</li> </ul> <p>①今日の学習で大切だと思ったこと②今日の学習から別の学習や生活で考えられること③次の学習でやりたいこと④今日の学習で疑問に思ったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時の振り返りから導入を始めたことで、学習のつながりを意識でき、それらの内容から本時で学習したい内容を自分たちで発信することが増えた。</li> <li>○振り返る内容を項目化・可視化し指示することで、何を振り返ればよいかという子供の不安感を減らせた。</li> <li>●振り返りの項目とめあてとの整合性をとるために、単元で身に付けたい資質能力を教師自身が明確にもち、項目を指示する必要がある。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>演奏前にどんな事に気を付ければよいか自分で振り返ってから練習するよう声をかけた。</li> <li>全体での演奏後、気を付ける事を発表させ全体で共有する。友達の意見も取り入れて自分の演奏に活かすよう促した。</li> <li>授業最後の演奏で、自分なりの表現や気を付ける事を意識して演奏できたか振り返りを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○演奏前にどのような事を意識するのか考えさせる事で、子供が課題意識をもって練習していた。</li> <li>●明確な意識をもって練習出来ていない子供も見受けられ、個別の支援を適切に行う必要がある。</li> <li>●技能的な面の課題意識に向きがちだが、みんな経由の段階で思いや表現の受容や共有をし、最終的な自分行きに戻って来た際に自分の音楽表現に繋がるよう指導していく。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の発想を引き出す題材、材料、発問を考え、設定した。</li> <li>材料と用具を試す時間を設けて、子供が試しながら表したいことを考えられるようにした。</li> <li>ICTを使い子供の活動や作品の写真を紹介して、自分や友達のよさや工夫を伝え合った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子供が材料と用具を試すことで、表したいものを自分で考えて表し方を工夫することができた。</li> <li>○自分や友達の活動や作品を紹介しながら活動のめあてを振り返ることができた。</li> <li>●子供の中で自分の表したいことや工夫を十分に考えられない子供もいるので引き続き、個別指導で声を掛けたり、作品例を示しスモールステップを与えて活動できるよう指導していったりする。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>Let's sing を繰り返し聞き、真似することを促し、自ら表現する文を身に付けることをした。</li> <li>Unit4 Summer vacations in the world では自分の夏休みの思い出を発表し合い、話す・聞くを繰り返し行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○繰り返し聞くことで発音の仕方や文の構成が音としてリズムで身に付いた。</li> <li>○自分の体験・経験を話すことで、主体的に活動を行えたとともに、話す・聞くの技能も身に付いた。</li> <li>●全体で行うことでうもれてしまう子供も見受けられる。グループに分けて行うべきときもある。</li> </ul>

## (2) 専科部会の取組について

専科部会では、生活科・社会科の基礎的な知識の定着を図る掲示物の作成を進めた。



3年



4年



6年



5年

各学習との関連

3年：わたしたちの四谷

4年：受け継がれる伝統や文化

5年：森林とともに生きる

6年：明治の国づくり



②プレ発表の振り返りでは、各学年の実態を踏まえて、「今後取り組むべきこと」を協議した。

	話し合いを活発にする手立て	ICT	振り返り
1年	・「お困りボード」が有効だった	・自分の作品を記録することが有効だった	・言葉で振り返ることを積み重ねると、自分の言葉で書けるようになる
2年	・自分の考えを決めさせる ・簡単に「分かった」風土を作らない。 ・相手意識を持たせる。	・書けない・苦手な児童に向けて見本を提示する。	・振り返る視点を必ずもたせる。
3年	・ホワイトボードをグループごとに使うことで話し合いが活発になった。 ・話し合いについてこられない児童をつくらない。そのためにも発問を精選する必要がある。	・資料の配布、探索、共有	・タブレットを活用すると記録がたまり、自己の変容が分かりやすい。
4年	・話し合う必要性、動機付けを行う。 ・話し合いの仕方が児童に根付くようにする。パターン化を図る。	・資料提示、共有、まとめの3場面が有効。	・振り返らせる項目を発達段階に応じてしぼる。
5年	・話し合うイメージを児童とも共有する。資料をしぼり話し合う時間を確保する。	・共有して編集できるもの（発表ノート等）	・学び方カードは3年生から積み重ね、項目を児童が意識することが大切。
6年	・共通の資料を使い、同じ土台で話し合えるようにする。	・使わせ方を考える。エクセル、パワーポイント等、共有できるものを使う。	・学び方カード以外にもそれぞれの教科で特性に応じて振り返りを行っていくことが必要。
<p>&lt;協議を終えて&gt;</p> <p>◎話し合いには、話し合える土台が必要。話し合えば分かる、話し合えば解決につながるという授業の展開を積み重ねていく。その際にホワイトボードやICTは話し合いを支える手段として有効。</p> <p>◎社会科では、共有する場面で子どもがタブレット端末を使うことは有効であると言える。すでにアプリケーションをしぼって活用している学年もあるので、「何を、どのアプリで共有し、その後どうするか」を明確にして社会科におけるICTの活用を進めていく。</p> <p>◎ふり返りの視点や項目が重要。改めて学び方カードの項目は各学年で設定する。</p>			

③プレ発表の振り返りを踏まえた次年度に向けての改善案

◆活発な話し合いの姿、子ども同士が議論する場面を生み出すための指導と問いの設定

①日ごろの授業から、話し合いの場面を取り入れ、「話し合えば分かる・話し合って解決できた。」という経験を積む。

②問いについては、二項対立を生む問い（「AとBどちらがいいか。」など）や立場を決めて話し合う問い（「だれが、どうすべきか。」など）を展開を踏まえて設定する。その際に資料を根拠に自分の考えを示すことができるよう指導する。

③「お困りボード」、「移動式ホワイトボード」など有効なツールは4月当初から積極的に活用する。

◆社会科では、共有場面においてICTの有効活用が必要である。学年ごとで通年的に使うアプリケーションソフトを決め、4月から取り入れる。

◆これまで同様に各学年における「学び方カード」の項目の決定、使い方の確認を行い、子どもたちに周知することは引き続き行う。さらに授業内では「どんな問いかけで、何を振り返るのか。」という表現させたいことを明確にしてふり返りタイムを行う。

## 2 児童アンケート調査 ～4年間の児童の変容～

①国立教育政策所が実施した「平成25年度学習指導要領実施状況調査」の児童質問用紙の項目に主体的に学習に取り組む態度に関する項目を独自設定し、令和元年度4月から児童アンケートを実施している。

質問項目「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合 単位:% ①-全国10%以上増加 ②-全国5%以上 ★-全国以下 △-増加 ▼-減少	令和4年度 3年生児童			令和4年度 4年生児童			令和4年度 5年生児童			令和4年度 6年生児童		
	実施年月	前年度	前々年度	実施年月	前年度	前々年度	実施年月	前年度	前々年度	実施年月	前年度	前々年度
1 社会科の学習が好きだ。			-			-	R2年12月	66.3	-	R2年3月	70.9	-
			-	R3年12月	91.1	-	R3年12月	87.2	△20.9	R3年12月	78.1	△7.2
	R4年9月	78.9	-	R4年9月	97.3	△6.2	R4年9月	73.7	▼13.5	R4年9月	67.2	▼3.1
	全国平均	(58.8)	◎20.1	全国平均	58.8	◎38.5	全国平均	55.2	◎18.5	全国平均	63.2	-
2 社会科の学習をすれば、自分の生活や社会に出て役に立つ。			-			-	R2年12月	85.2	-	R2年12月	81.3	△5.5
			-	R3年12月	94.9	-	R3年12月	91.5	△6.3	R3年12月	84.4	△2.9
	R4年9月	75.0	-	R4年9月	93.2	▼1.7	R4年9月	78.9	▼12.6	R4年9月	88.5	△4.1
	全国平均	(80.1)	◎5.1	全国平均	80.1	◎13.1	全国平均	80.1	★1.2	全国平均	78.8	◎9.2
3 問題を決めてその解決のために調べたり、考えたりすることが好きだ。			-			-	R2年12月	70.5	-	R2年3月	66.6	-
			-	R3年12月	91.1	-	R3年12月	86.2	△15.7	R3年12月	82.8	▼4.8
	R4年9月	72.6	-	R4年9月	85.1	▼6.0	R4年9月	71.6	▼14.6	R4年9月	72.1	▼10.7
	全国平均	(66.6)	◎6.0	全国平均	66.6	◎18.5	全国平均	63.3	◎8.3	全国平均	66.8	◎5.3
4 自分で資料を集めて調べることができる。			-			-	R2年12月	77.9	-	R2年12月	85.9	△3.6
			-	R3年12月	91.1	-	R3年12月	83.0	△5.1	R3年12月	81.3	▼4.6
	R4年9月	75.8	-	R4年9月	83.8	▼7.3	R4年9月	84.2	△1.2	R4年9月	83.6	△2.3
	全国平均	(75.2)	◎6	全国平均	75.2	◎8.6	全国平均	79.4	-	全国平均	85.0	★1.4
5 自分の考えを資料などを使って説明することができる。			-			-	R2年12月	66.3	-	R2年12月	76.6	△7.3
			-	R3年12月	89.9	-	R3年12月	94.0	△30.7	R3年12月	82.8	△6.2
	R4年9月	64.2	-	R4年9月	87.8	▼2.1	R4年9月	62.1	▼31.9	R4年9月	60.7	▼22.1
	全国平均	(61.0)	◎3.2	全国平均	61.0	◎26.8	全国平均	58.6	-	全国平均	62.6	★1.9
6 友達の意見に対して、自分の意見をもつことができる。			-			-	R2年12月	78.9	-	R2年12月	79.7	△2.3
			-	R3年12月	88.6	-	R3年12月	81.9	△3.0	R3年12月	78.1	▼1.6
	R4年9月	80.0	-	R4年9月	87.8	▼0.8	R4年9月	75.8	▼6.1	R4年9月	73.8	▼4.3
	全国平均	(72.8)	◎7.2	全国平均	72.8	◎15.0	全国平均	75.3	-	全国平均	76.7	★2.9
7 調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができる。			-			-	R2年12月	78.9	-	R2年12月	84.4	△2.6
			-	R3年12月	87.3	-	R3年12月	88.3	△9.4	R3年12月	78.1	▼6.3
	R4年9月	77.9	-	R4年9月	90.5	△3.2	R4年9月	83.2	▼5.1	R4年9月	75.4	▼2.7
	全国平均	(74.6)	◎3.3	全国平均	74.6	◎15.9	全国平均	72.9	◎10.3	全国平均	77.0	★1.6
8 問題やテーマを決めて討論(話し合い)することが好きだ。			-			-	R2年12月	69.5	-	R2年12月	77.4	-
			-	R3年12月	89.9	-	R3年12月	81.9	△12.4	R3年12月	79.8	△2.4
	R4年9月	78.9	-	R4年9月	86.5	▼3.4	R4年9月	70.5	▼11.4	R4年9月	63.9	▼0.2
	全国平均	(63.7)	◎15.2	全国平均	63.7	◎22.8	全国平均	55.3	◎15.2	全国平均	51.8	◎12.1
9 学んだことをもとにして、自分たちがすべきことを考えることがある。			-			-	R3年12月	76.8	-	R3年12月	79.7	△10.4
			-	R3年12月	89.9	-	R3年12月	85.1	△8.3	R3年12月	64.1	▼15.6
	R4年9月	68.4	66★	R4年9月	89.2	▼0.7	R4年9月	73.7	▼11.4	R4年9月	63.9	▼0.2
	全国平均	(75.0)	-	全国平均	75.0	◎14.2	全国平均	76.6	★2.9	全国平均	76.5	★12.6
10 問題の解決に向けて、学習の計画を立てたり解決の見通しをもったりして学習を進めている。(本校独自設定)			-			-	R2年12月	85.2	-	R2年12月	74.1	-
			-	R3年12月	89.9	-	R3年12月	77.7	▼7.5	R3年12月	76.6	△2.5
	R4年9月	68.4	-	R4年9月	87.8	▼2.1	R4年9月	83.2	△5.5	R4年9月	68.9	▼3.0
	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-
11 問題の解決に向けて、学習がうまく進んでいるか自分でチェックしながら調べたりしている。(本校独自設定)			-			-	R2年12月	76.8	-	R2年12月	70.9	-
			-	R3年12月	86.1	-	R3年12月	68.1	▼8.7	R3年12月	82.8	△11.9
	R4年9月	62.1	-	R4年9月	78.4	▼7.7	R4年9月	65.2	▼2.9	R4年9月	75.0	▼7.8
	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-
12 調べたり考えたりすることがうまくいかないときにも、ちがう方法を工夫したり友達や先生に自分から相談したりしてねばり強く取り組んでいる。(本校独自設定)			-			-	R2年12月	73.5	-	R2年12月	74.1	-
			-	R3年12月	82.3	-	R3年12月	79.8	△6.3	R3年12月	75.0	△0.9
	R4年9月	63.2	-	R4年9月	70.3	▼12.0	R4年9月	66.3	▼13.5	R4年9月	70.3	▼4.7
	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-	全国平均	-	-
13 社会の学習でタブレットを使うことができる。(本校独自設定)	R4年9月	84.2	-	R4年9月	98.6	-	R4年9月	88.4	-	R4年9月	77.0	-

(児童の調査結果を総年で表記している。第3学年の年度当初の調査はしていないため、第4学年の全国平均との比較結果を表記している。△前年比増加 ▼前年比減少 ◎全国比10%以上 ①全国比5%以上 ★全国平均以下)

## ②児童アンケート調査における各学年の考察

第3学年	<p>「社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役に立つ」「学んだことをもとにして、自分たちがすべきことを考える時がある。」の調査結果が低く出ている。学習の中で、自分の生活や地域とのつながりを意識できる展開で、学習を進める必要がある。また、自分とのつながりの理解が深まれば、「自分がすべきことを考えること」につながると考えられる。</p>
第4学年	<p>「社会科が好きだ。」の項目が、97.3%と非常に高い値を示しているのに対し、「問題の解決に向けて、学習がうまく進んでいるかを自分でチェックしながら調べたりしている。」の調査結果が低下している。社会的事象との出会いや問題解決的な学習は好きだが、立ち止まって自分の学習を俯瞰して見る、というのは苦手な児童が増えているようだ。社会科の内容が広がり、授業に前のめりな児童は多く、「知りたい」という思いが先行し、自身の学習の仕方については顧みなくなっているように思う。</p> <p>また「自分で資料を集めて調べることができる。」が下がった理由として考えられるのは、授業で使用する資料を、教師の方で（多くの場面で）一本化していることが影響しているのかもしれない。情報過多にならないように、問いと正対した情報を獲得できるようにと作成している資料が、結果として資料選択の幅を狭め、技能を低下させていることも考えられる。</p> <p>「調べたり考えたりすることがうまくいかないときにも、ちがう方法を工夫したり友達や先生に自分から相談したりしてねばり強く取り組んでいる。」の調査結果が低いのも、上記のことに起因しているように思う。学び方カードを活用して、計画に対して丁寧に進捗の振り返りを行う必要がある。教師は児童の考えを見取り、その考えを価値付けたり、時に方向づけたりしながら、粘り強く取り組める学習環境を保っていくべきである。</p>
第5学年	<p>「社会科の学習が好きだ。」、「自分で資料を集めて調べることができる。」、「調べたことをもとに自分の考えを文章で書くことができる。」の調査結果が、全国平均と比べて高く出ている。一方で、「社会科の学習をすれば、ふだんの生活や社会に出て役立つ。」、「学んだことをもとにして、自分たちがすべきことを考えることがある。」の調査結果が全国平均より低く出ている。これは第4学年では社会との関わり方を考える場面を設定する単元が多いが、第5学年では選択・判断を行う単元は、学年末に設定する国土の小単元2つのみであり、学習経験が減少していることが要因であると考えられる。また「自分の考えを資料などを使って説明することができる。」の調査結果が低く出しており、考える楽しさが不足しているからではないかと言える。</p>
第6学年	<p>「問題を決めてその解決のために調べたり、考えたりすることが好きだ」の調査結果が前年度に比べ低下した。今年度は独自の資料も多く配布しており情報過多となったことが原因の一つと考えられる。「自分で資料を集めて調べることができる。」の調査結果は全国平均を下回っている。これは教員の方で資料を準備することが多かったため、児童が資料の内容を十分に理解できていないことが原因と考えられる。「自分の考えを資料などを使って説明できる。」の調査結果が低く出ている点については、表現する活動が不足していたことが考えられる。</p>

## ③児童アンケート調査を踏まえた考察

- (1) 学校全体を通して、資料の活用の技能については、「自分の考えを資料などを使って説明することができる。」の調査結果が低く出ていることから、資料をもとに考えを説明したり、資料で調べたことを根拠に話したりする学習経験を積み重ねることが必要である。
- (2) また「学んだことをもとにして、自分たちがすべきことを考えることがある。」では、社会科学習における選択・判断の場面の経験が大きく関係していることから、選択・判断を行う単元においては、「自分たちがすべきことは何か。」という問いを柔軟に設定し、授業改善を図っていく。
- (3) タブレット活用については、学習内容や使用頻度によって子どもの意識に差が見られる。「社会の学習で」タブレットを積極的に活用する場面を決めて改善を図っていく。

# おわりに

副校長 田内 利美

本校は、令和5年度の全小社研東京大会の会場校として、昨年度より都小社研の研究主題・副主題と同様に「社会とつながり未来を創る子供の育成～社会的事象の見方・考え方を働かせ、主体的に問いを追究する学習を通して～」をテーマに全学年で研究授業を行い、さらに11月11日には全小社研東京大会プレ発表会を開催し、全職員一丸となって研究を進めてまいりました。

新型コロナウイルス感染症のため、今年度も教室の授業をオンライン中継しながら研究授業を行うなど、研究推進委員会を中心に知恵を出し合い工夫しながら充実した研究を進めることができました。研究授業やプレ発表会を開催するにあたって、都小社研の各学年部会の研究推進委員と連携を図り、指導案検討や教材開発をし、子供たちによりよい授業をしたいという思いを強くもちながら授業に臨みました。連携を深めることで、教員の協議会や事前の分科会でも、以前より活発な話し合いがなされ、研究の深まりが見られました。さらに、子供たちが、地域の方とかかわりながら、地域の教材のよさに触れながら、学んだことをもとに、自分の考えをもち、友達と意見を交流しながら、さらに四谷のまちのよさについて気付く姿が見られたのは、何よりの喜びとなりました。

最後になりますが、本研究を進めるにあたって厳しくも温かくご指導、ご助言を賜りました前聖徳大学大学院教授 廣嶋憲一郎先生、大妻女子大学教授 澤井陽介先生、文部科学省教科調査官 小倉勝登先生に心より感謝し、御礼申し上げます。

## <研究に携わった教職員>

校長 石井 正広		副校長 田内 利美	
1年1組 大島 なぎさ	4年1組 ◇早川 雅	養護教諭	松本 真美加
2組 ◇渡邊 正美	2組 松木 貫太	非常勤職員	辻本 啓子
3組 首藤 祥野	5年1組 香取 桜子		小林 裕子
4組 ◇藤野 淳子	2組 ◎杉本 季穂		櫻井 洋子
2年1組 ◇塚田 麻衣	3組 坪田 真尚		古内 信伍
2組 木月 康二	6年1組 ◇小松 里実	事務主事	宮島 砂織
3組 長田 英恵	2組 瀧上 悠太	栄養士	齋藤 愛
4組 馬見塚 拓也	少人数算数 ◇笹島 眞実	特別支援教室専門員	安藤 範子
3年1組 菊池 友也	音楽科 久保 安代	用務主事	高瀬 信一
2組 ◇下楠蘭 達也	図画工作科 村上 かおり		田崎 修男
3組 舟山 貴博	英語科家庭科 藤澤 舞羽		立花 園子
4組 山根 恵子			富士 淳子
今年度途中で産休・育休に入った職員	内野 まどか	育休の職員	今井 陽子

◎ 研究推進委員長

◇ 研究推進委員

